

筑西市こども計画策定に向けた 調査結果報告書

令和6年度

令和6年6月

筑 西 市

目 次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的・対象・概要・回収結果	3
2 報告書の見方	4
第2章 就学前児童保護者・小学生保護者調査	5
1 お子さまとご家族の状況について	6
2 保護者の就労状況について	10
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について[就学前調査]	20
4 地域の子育て支援拠点事業等の利用状況について[就学前調査]	26
5 病気の際の対応や一時預かり等の利用について	30
6 放課後の過ごし方について	40
7 育児休業について[就学前調査]	44
8 子育て環境について	46
9 こどもの権利について	57
第3章 生活実態調査（小学5年生・中学2年生）	63
1 分析の考え方	64
2 あなたと世帯のことについて[保護者調査]	67
3 子育てについて[保護者調査]	74
4 仕事や家計について[保護者調査]	84
5 お子さまの生活や教育について[保護者調査]	90
6 学校や将来について[本人調査]	122
7 毎日のことについて[本人調査]	128
8 生活のことについて[本人調査]	136
9 あなたの気持ちについて[本人調査]	148
第4章 青少年・若者調査	159
1 あなたのことについて	160
2 仕事について	162
3 将来のこと、地域のことや暮らしについて	165
4 あなたの気持ちについて	174
5 普段の活動について	182

第1章 調査概要

1 調査の目的・対象・概要・回収結果

(1) 調査目的

筑西市では、子どもを産み育てることに喜びを実感できるまちづくりを目指すとともに、計画の着実な実行により、子育て支援のまちづくりを更に前進させるため、新たに「筑西市こども計画」の策定作業を進めています。

本調査は、次期計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、また、こども・若者の現在の生活状況や将来に向けた要望・意見等をこれからの計画づくりに活用するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査対象

本調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

種類	対象	配布数
就学前保護者調査	市内に在住する0歳から5歳のお子さまの保護者	1,000件
小学生保護者調査	市内に在住する小学生のお子さまの保護者	1,000件
生活実態調査	市内に在住する小学5年生・中学2年生の本人及び保護者	小学5年生770件 中学2年生820件
青少年・若者調査	市内に在住する高校生から39歳までの方	1,500件

(3) 実施概要

種類	対象地域	配布・回収方法	調査時期
就学前保護者調査	市内全域	配布は、郵送による	令和6年4月
小学生保護者調査		回収は、郵送とインターネットによる回答から選択	
生活実態調査	市内全域	学校を通して配布・回収	
青少年・若者調査	市内全域	配布は、郵送による 回収は、郵送とインターネットによる回収から選択	

(4) 回収結果

本調査の回収結果は下表のとおりです。

種類	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前保護者調査	1,000件	309件	30.9%
小学生保護者調査	1,000件	356件	35.6%
生活実態調査	1,590件	1,421件	89.4%
青少年・若者調査	1,500件	296件	19.7%

2 報告書の見方

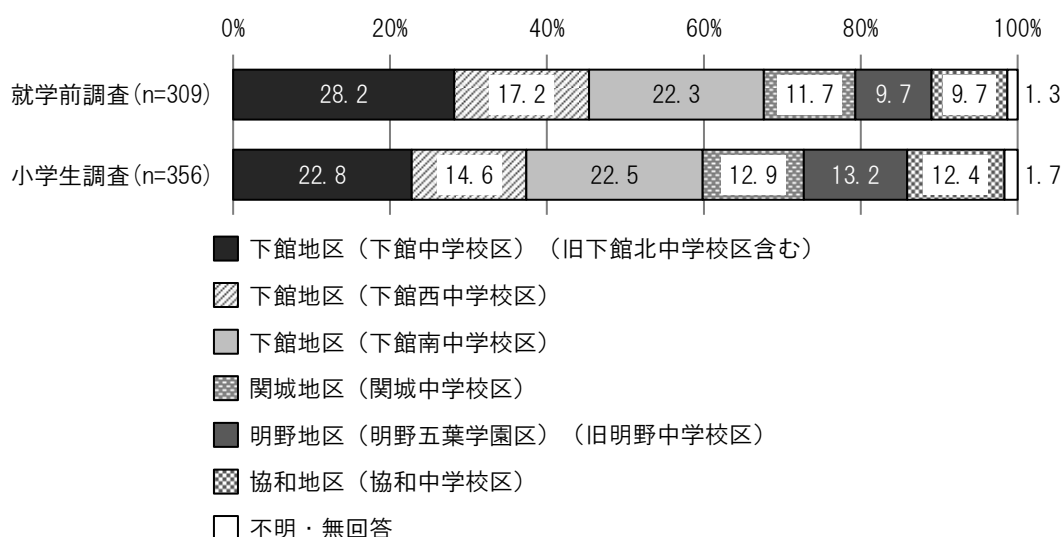
- ・ 調査結果の数値は、各問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表記しています。ただし、経年変化等の母数が異なるものを比較する場合は、割合の差(ポイント)で表記しています。
- ・ 集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数(n)に対する回答比率のため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- ・ 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。

第2章 就学前児童保護者・小学生保護者調査

1 お子さまとご家族の状況について

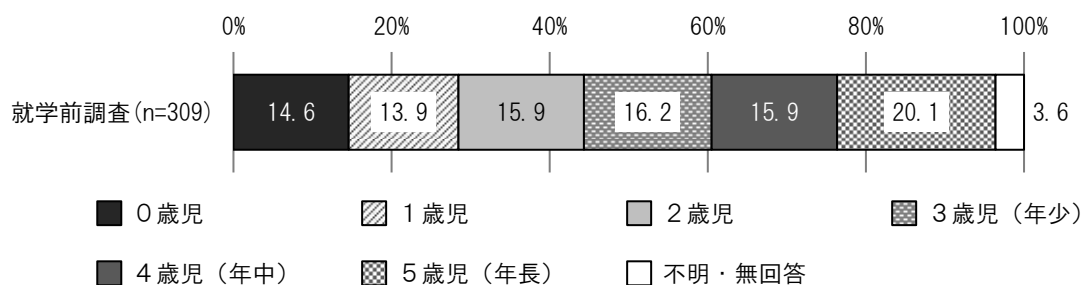
問1（就学前調査・小学生調査） お住まいの地区はどちらですか。（単数回答）

お住まいの地区についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「下館地区（下館中学校区）（旧下館北中学校区含む）」「下館地区（下館南中学校区）」が2割台となっています。



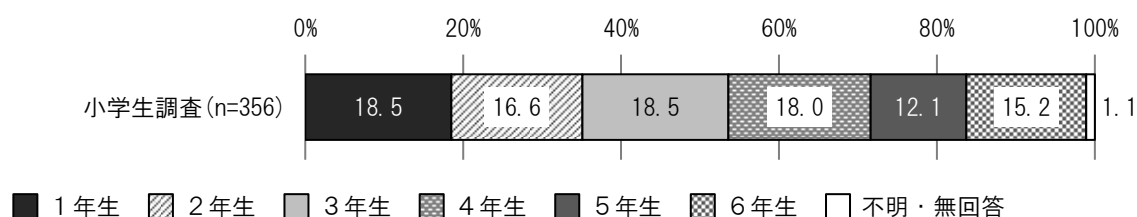
問2（就学前調査） 就学前のお子様の生年月をご記入ください。
年齢（2023年度の学年齢）（単数回答）

年齢についてみると、5歳児（年長）が 20.1%、0歳児から4歳児（年中）までの5区分がそれぞれ1割台となっています。



問2（小学生調査） 小学生のお子さまは何年生ですか。（単数回答）

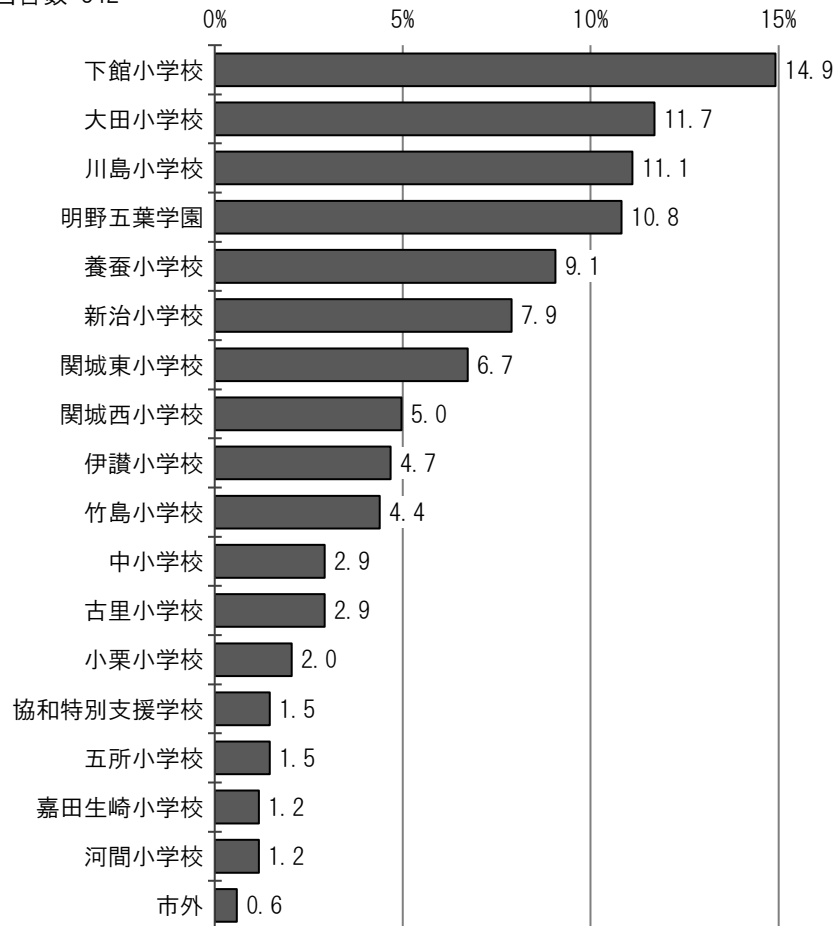
学年についてみると、1年生から6年生がそれぞれ1割台となっています。



問3（小学生調査） 小学生のお子さまが通っているのはどちらの小学校ですか。

通っている学校については、「下館小学校」が、回答があった中で最も多い 14.9%、次いで「大田小学校」が 11.7%、「川島小学校」が 11.1%、「明野五葉学園」が 10.8%となっています。

有効回答数 342

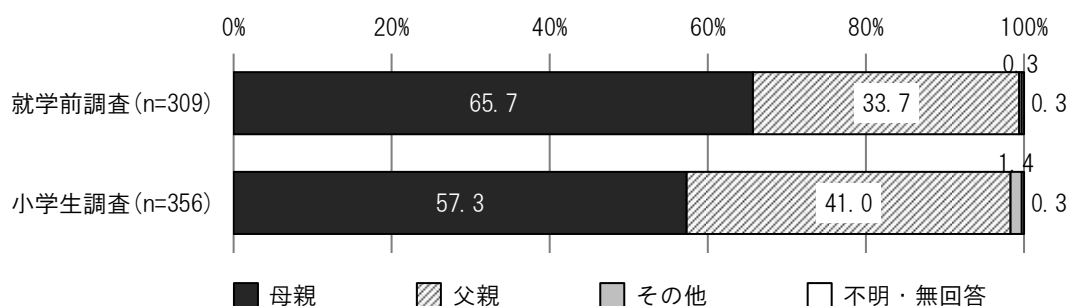


※他に不明・無回答14件

問 3（就学前調査）問 4（小学生調査） この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
就学前のお子さまからみた関係でお答えください。（単数回答）

調査票の回答者についてみると、＜就学前調査＞では、「母親」が 65.7%と最も多く、次いで「父親」が 33.7%となっています。

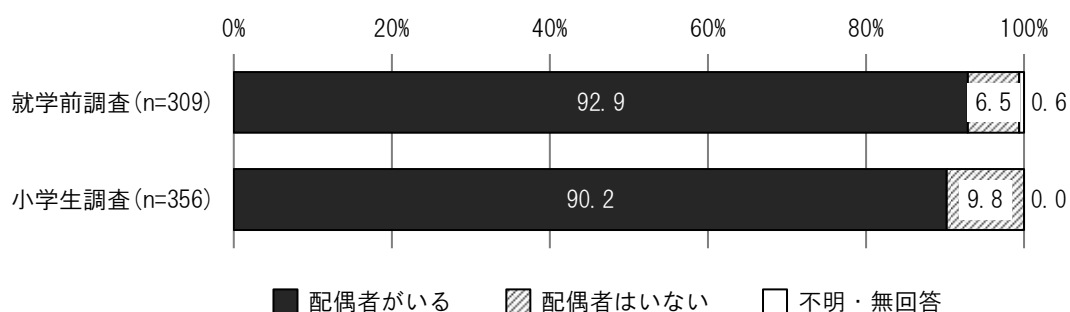
＜小学生調査＞では、「母親」が 57.3%と最も多く、次いで「父親」が 41.0%となっています。



問 4（就学前調査）問 5（小学生調査） この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（単数回答）

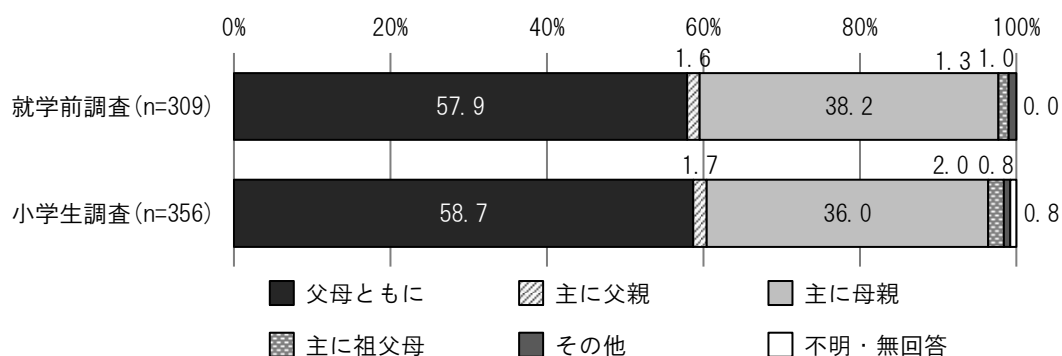
配偶関係についてみると、＜就学前調査＞では、「配偶者がいる」が 92.9%と最も多く、次いで「配偶者はいない」が 6.5%となっています。

＜小学生調査＞では、「配偶者がいる」が 90.2%と最も多く、次いで「配偶者はいない」が 9.8%となっています。



問5（就学前調査）問6（小学生調査） お子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。（単数回答）

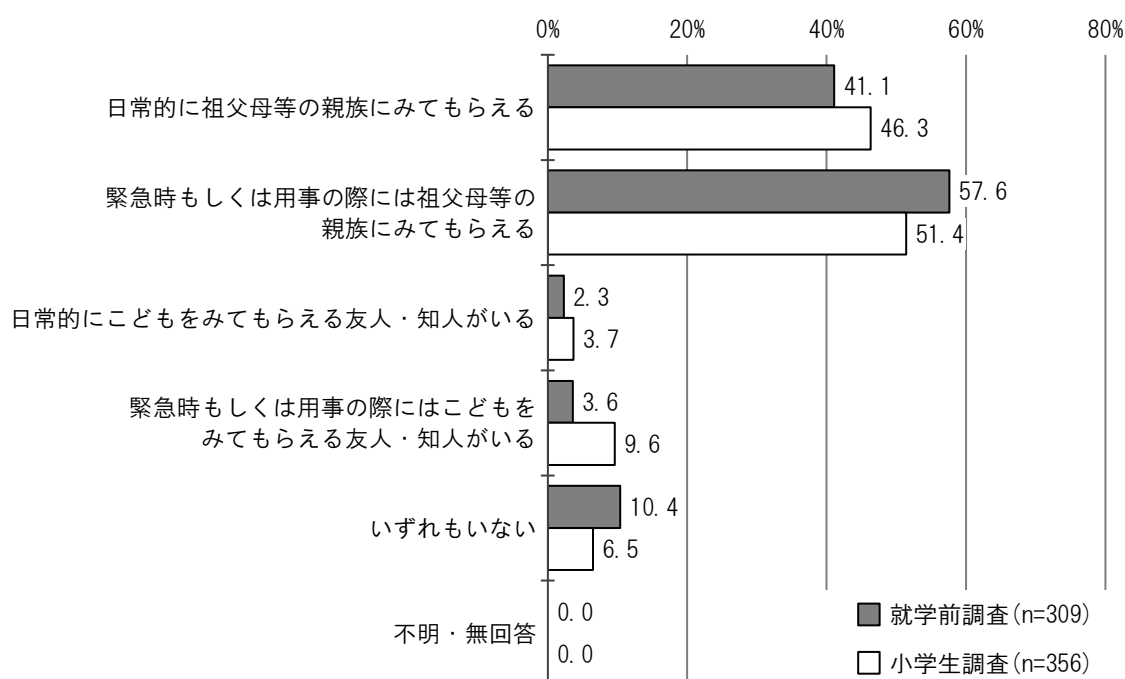
子育てを主に行っている方についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「父母ともに」が6割弱、次いで「主に母親」が3割台となっています。



問6（就学前調査）問7（小学生調査） 日頃、お子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。（複数回答）

お子さまをみてもらえるかについてみると、〈就学前調査〉では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 57.6%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 41.1%となっています。

〈小学生調査〉では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 51.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 46.3%となっています。



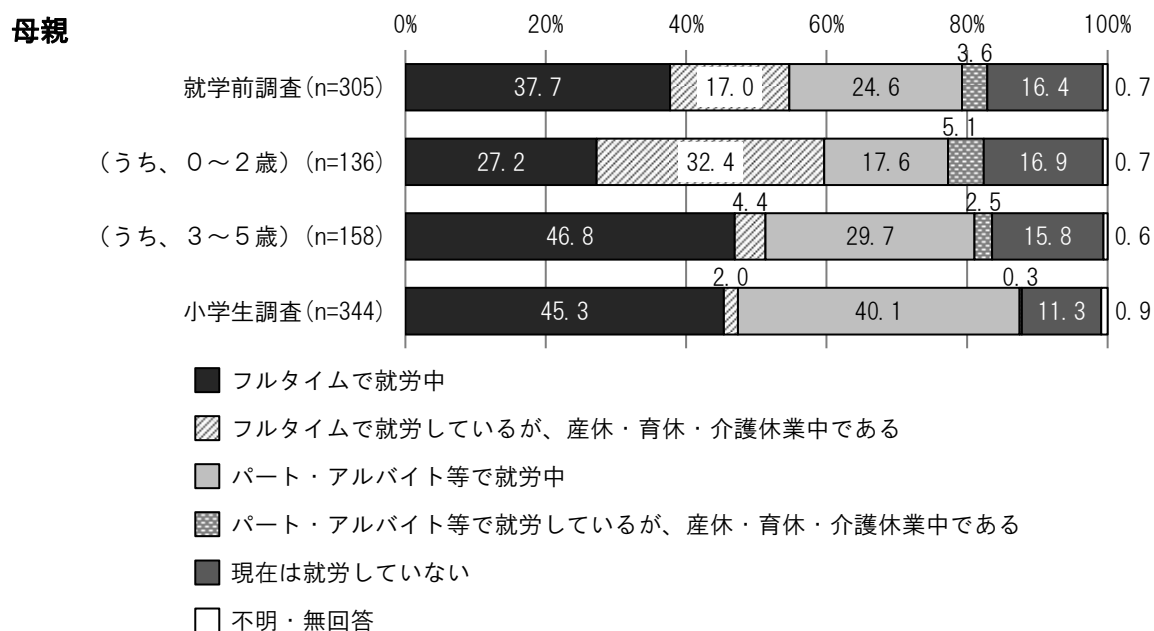
2 保護者の就労状況について

問3(4)・問4(5)をもとにひとり親家庭等を考慮し集計対象を設定

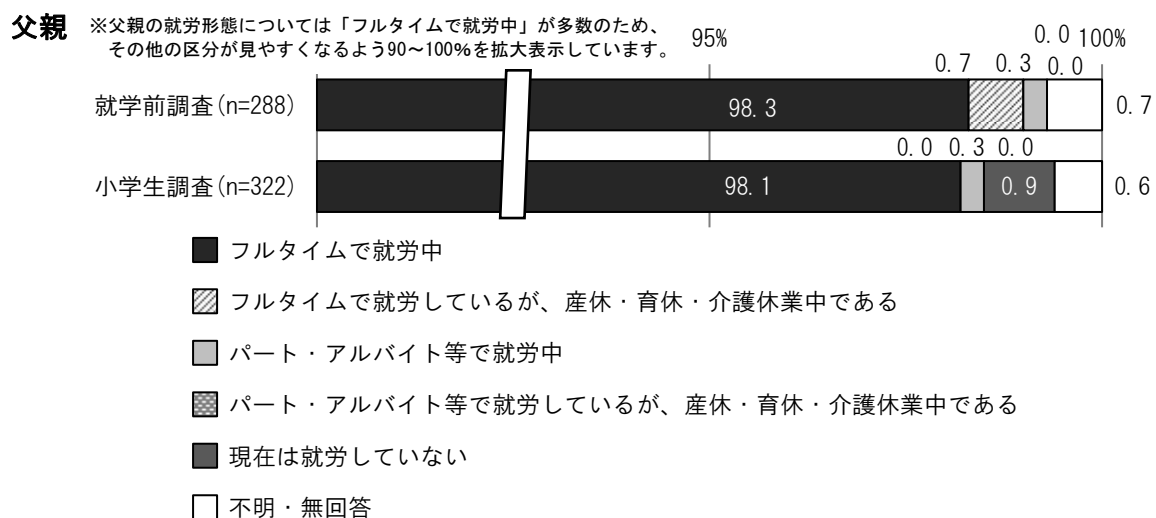
問7(就学前調査)問8(小学生調査) 保護者の現在の就労状況について、あてはまる番号に○を付けてください。(単数回答)

母親の就労状況についてみると、<就学前調査>の0～2歳では、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が32.4%と最も多く、次いで「フルタイムで就労中」が27.2%となっています。

<就学前調査>の3～5歳と、<小学生調査>では、「フルタイムで就労中」が4割台と最も多くなっています。



父親の就労状況についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「フルタイムで就労中」が9割台後半となっています。



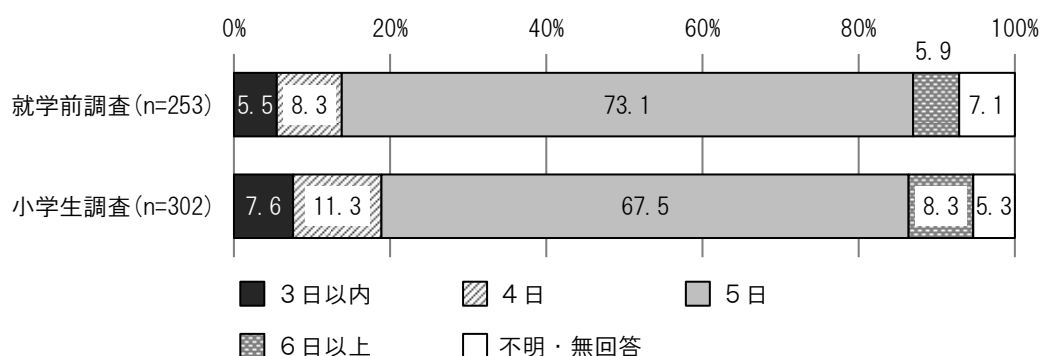
問7（母親）で就労していると答えた方（休業中を含む）のみ回答

●母親 週当たりの「就労日数」

（単数回答）

母親の就労日数についてみると、＜就学前調査＞では、「5日」が73.1%と最も多く、次いで「4日」が8.3%となっています。

＜小学生調査＞では、「5日」が67.5%と最も多く、次いで「4日」が11.3%となっています。

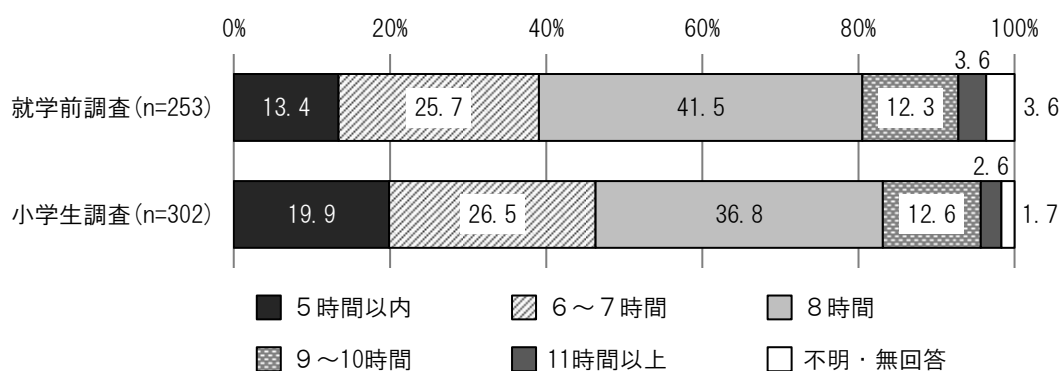


●母親 1日当たりの「就労時間（残業含む）」

（単数回答）

母親の就労時間についてみると、＜就学前調査＞では、「8時間」が41.5%と最も多く、次いで「6～7時間」が25.7%となっています。

＜小学生調査＞では、「8時間」が36.8%と最も多く、次いで「6～7時間」が26.5%となっています。

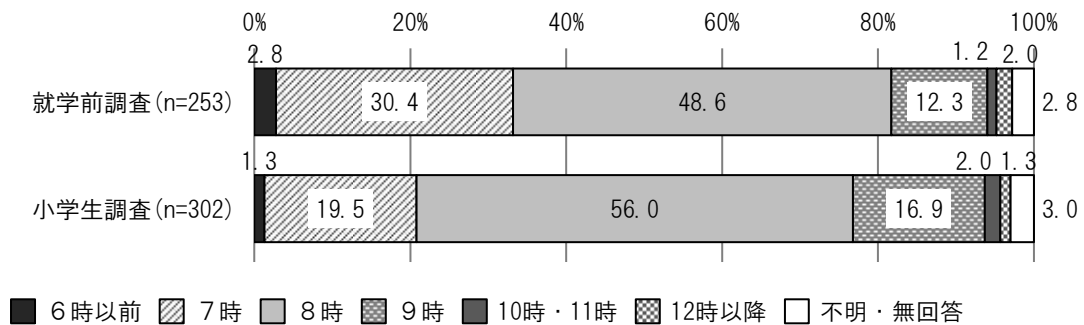


●母親 「家を出る時刻」

(単数回答)

母親の家を出る時刻についてみると、〈就学前調査〉では、「8時」が48.6%と最も多く、次いで「7時」が30.4%となっています。

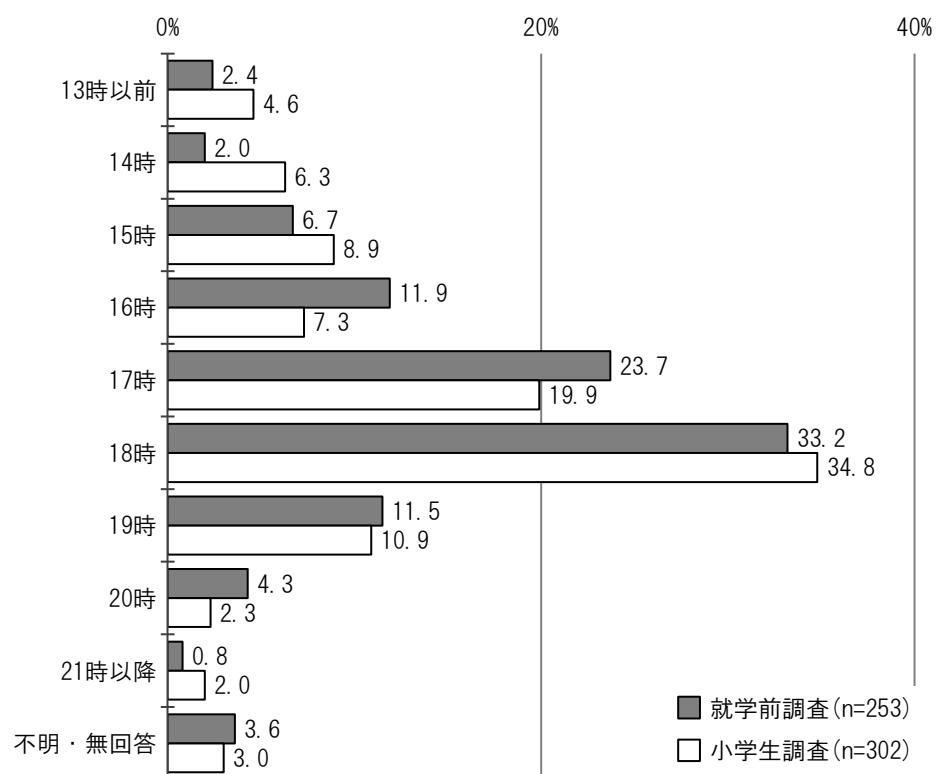
〈小学生調査〉では、「8時」が56.0%と最も多く、次いで「7時」が19.5%となっています。



●母親 「帰宅時刻」

(単数回答)

母親の帰宅時間についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「18時」が3割台と最も多く、次いで「17時」が2割前後となっています。



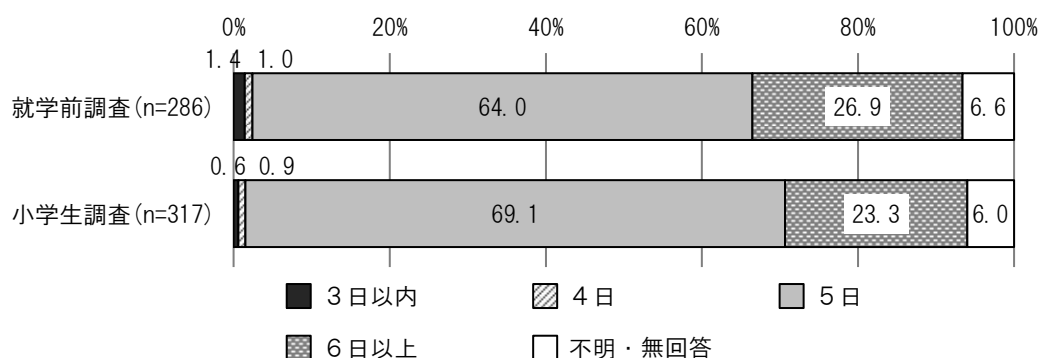
問7（父親）で就労していると答えた方（休業中を含む）のみ回答

●父親 週当たりの「就労日数」

（単数回答）

父親の就労日数についてみると、〈就学前調査〉では、「5日」が64.0%と最も多く、次いで「6日以上」が26.9%となっています。

〈小学生調査〉では、「5日」が69.1%と最も多く、次いで「6日以上」が23.3%となっています。

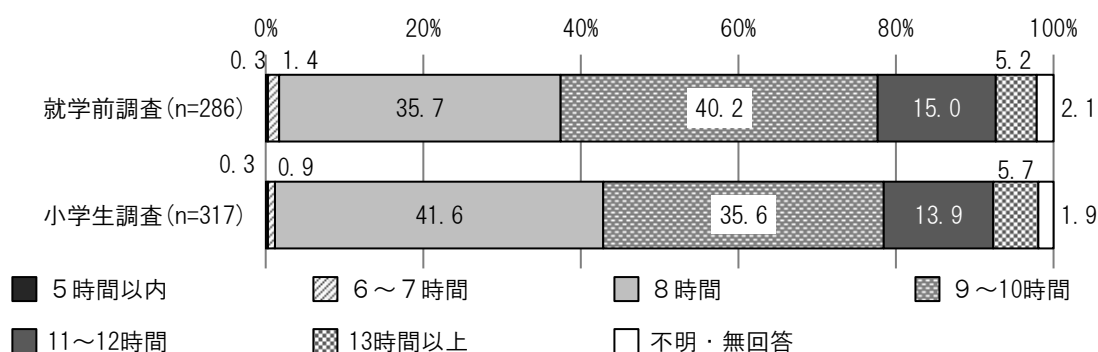


●父親 1日当たりの「就労時間（残業含む）」

（単数回答）

父親の就労時間についてみると、〈就学前調査〉では、「9～10 時間」が40.2%と最も多く、次いで「8時間」が35.7%となっています。

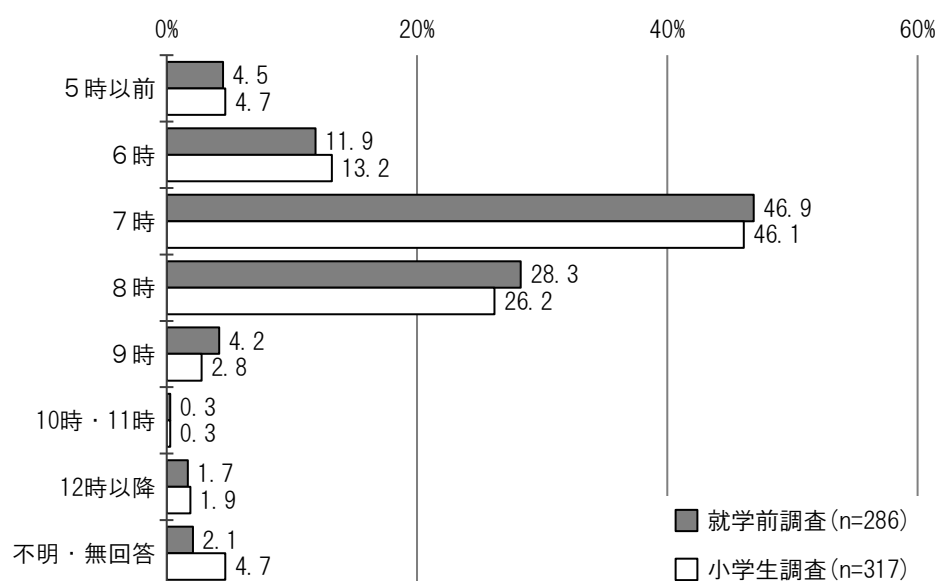
〈小学生調査〉では、「8時間」が41.6%と最も多く、次いで「9～10 時間」が35.6%となっています。



●父親 「家を出る時刻」

(単数回答)

父親の家を出る時刻についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「7時」が4割台半ばと最も多く、次いで「8時」が2割台後半となっています。

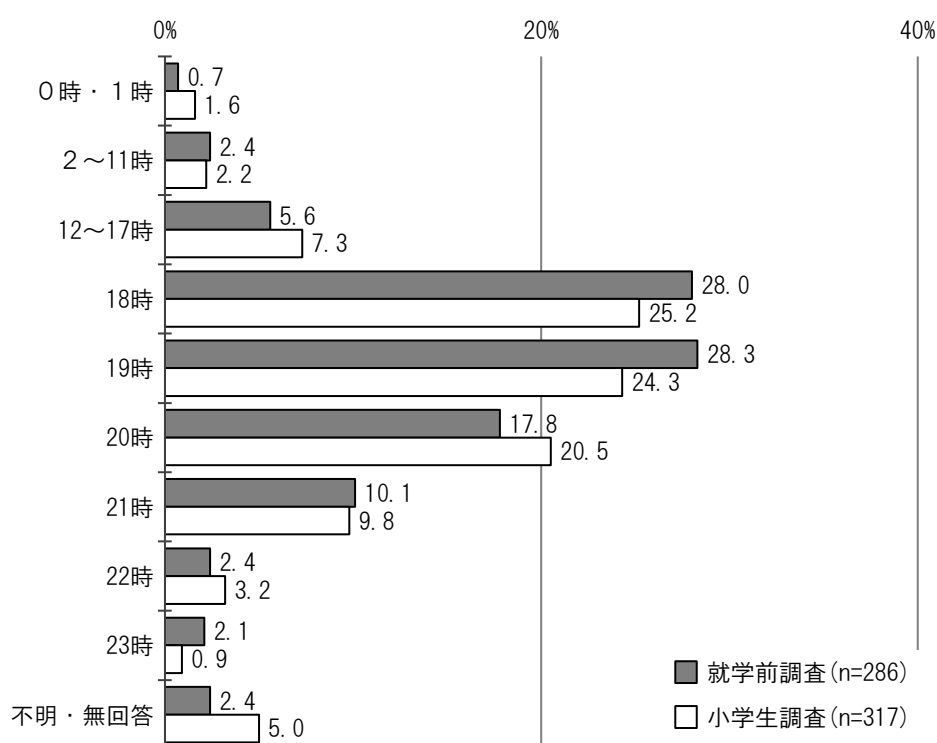


●父親 「帰宅時刻」

(単数回答)

父親の帰宅時刻についてみると、〈就学前調査〉では、「19 時」が 28.3%と最も多く、次いで「18 時」が 28.0%となっています。

〈小学生調査〉では、「18 時」が 25.2%と最も多く、次いで「19 時」が 24.3%となっています。

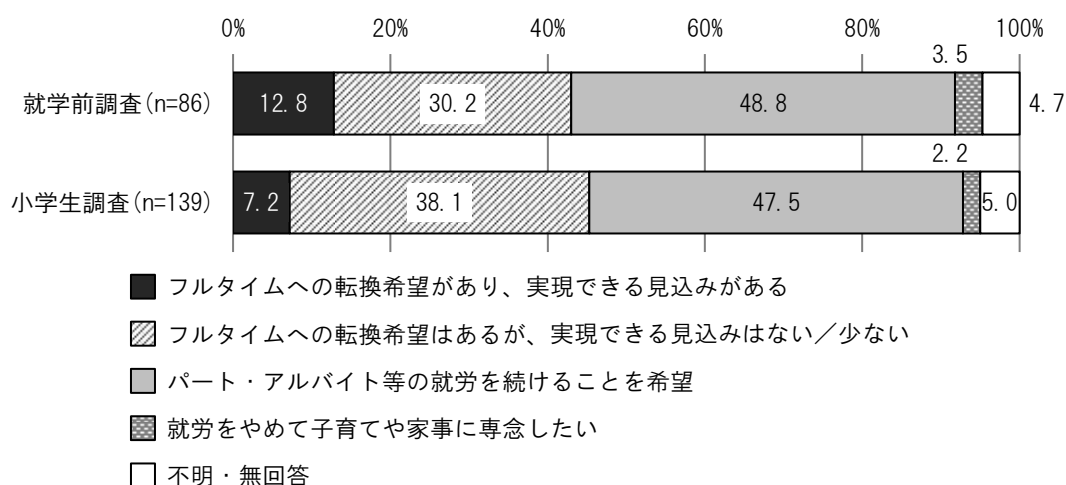


問7(8)のそれぞれでパート・アルバイト等と答えた方(休業中を含む)のみ回答

問8(就学前調査) 問9(小学生調査) フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

パート・アルバイト等で就労する母親の今後の意向についてみると、<就学前調査>では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.8%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が30.2%となっています。

<小学生調査>では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が47.5%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が38.1%となっています。



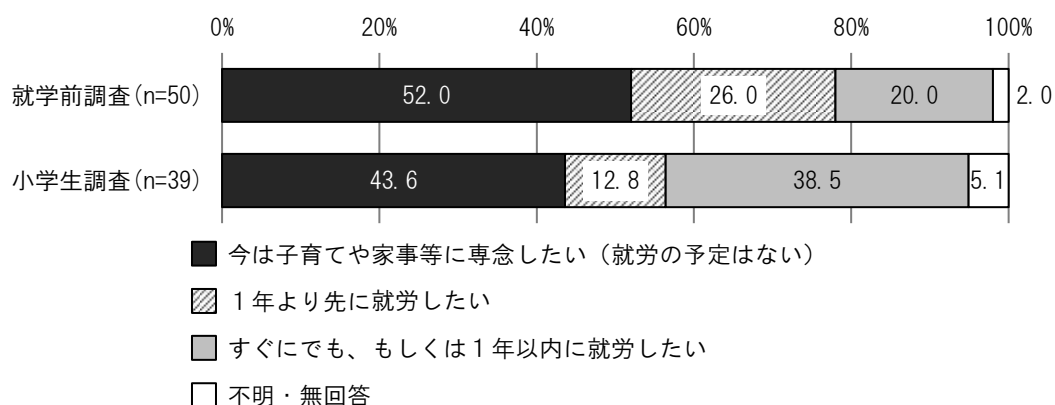
パート・アルバイト等で就労する父親の今後の意向について、<就学前調査><小学生調査>いずれも回答対象が1件で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」となっています。

問7(8)のそれぞれで「現在は就労していない」と答えた方のみ回答

問9(就学前調査) 問10(小学生調査) 就労したいという希望はありますか。(単数回答)

現在就労していない母親の今後の意向についてみると、<就学前調査>では、「今は子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」が52.0%と最も多く、次いで「1年より先に就労したい」が26.0%となっています。

<小学生調査>では、「今は子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」が43.6%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.5%となっています。



現在就労していない父親の今後の意向について、〈就学前調査〉は回答対象が0件となっています。

〈小学生調査〉は回答対象が3件で、「今は子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」が2件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

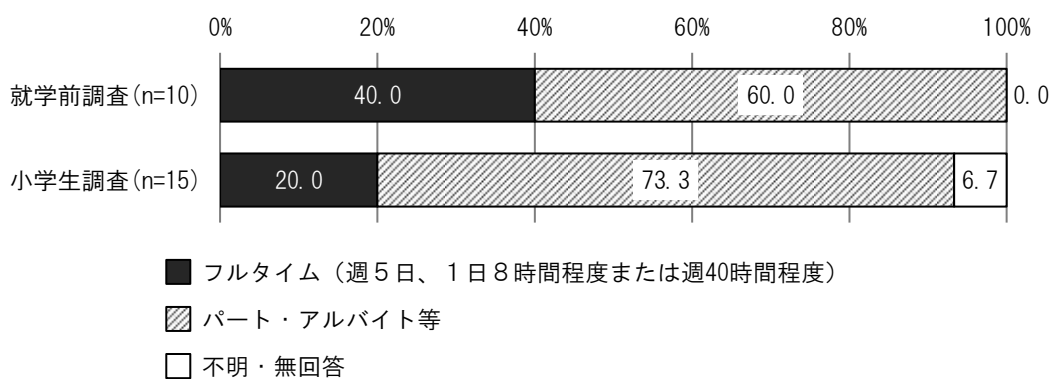
問9(10)のそれぞれで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方のみ回答

● 希望する就労形態

(単数回答)

今後就労したい母親の希望する就労形態についてみると、〈就学前調査〉では、「パート・アルバイト等」が60.0%と最も多く、次いで「フルタイム(週5日、1日8時間程度または週40時間程度)」が40.0%となっています。

〈小学生調査〉では、「パート・アルバイト等」が73.3%と最も多く、次いで「フルタイム(週5日、1日8時間程度または週40時間程度)」が20.0%となっています。



今後就労したい父親の希望する就労形態について、就学前調査は回答対象が0件となっています。

小学生調査は回答対象が1件で、「パート・アルバイト等」が1件となっています。

問9(10)の希望する就労形態で「パート・アルバイト等」と答えた方のみ回答

● パート・アルバイト等で希望する就労日数と時間

(単数回答)

パート・アルバイト等で就労を希望する母親について、〈就学前調査〉の回答対象は6件で、就労日数は「3日以内」が1件、「4日」が3件、「5日」が2件となっています。また、1日あたりの就労時間は「5時間以内」「6～7時間」がそれぞれ3件となっています。

〈小学生調査〉の回答対象は11件で、就労日数は「3日以内」が3件、「4日」が3件、「5日」が5件となっています。また、1日あたりの就労時間は「5時間以内」が9件、「6～7時間」「8時間」がそれぞれ1件となっています。

パート・アルバイト等で就労を希望する父親の就労日数について、〈就学前調査〉は回答対象が0件となっています。

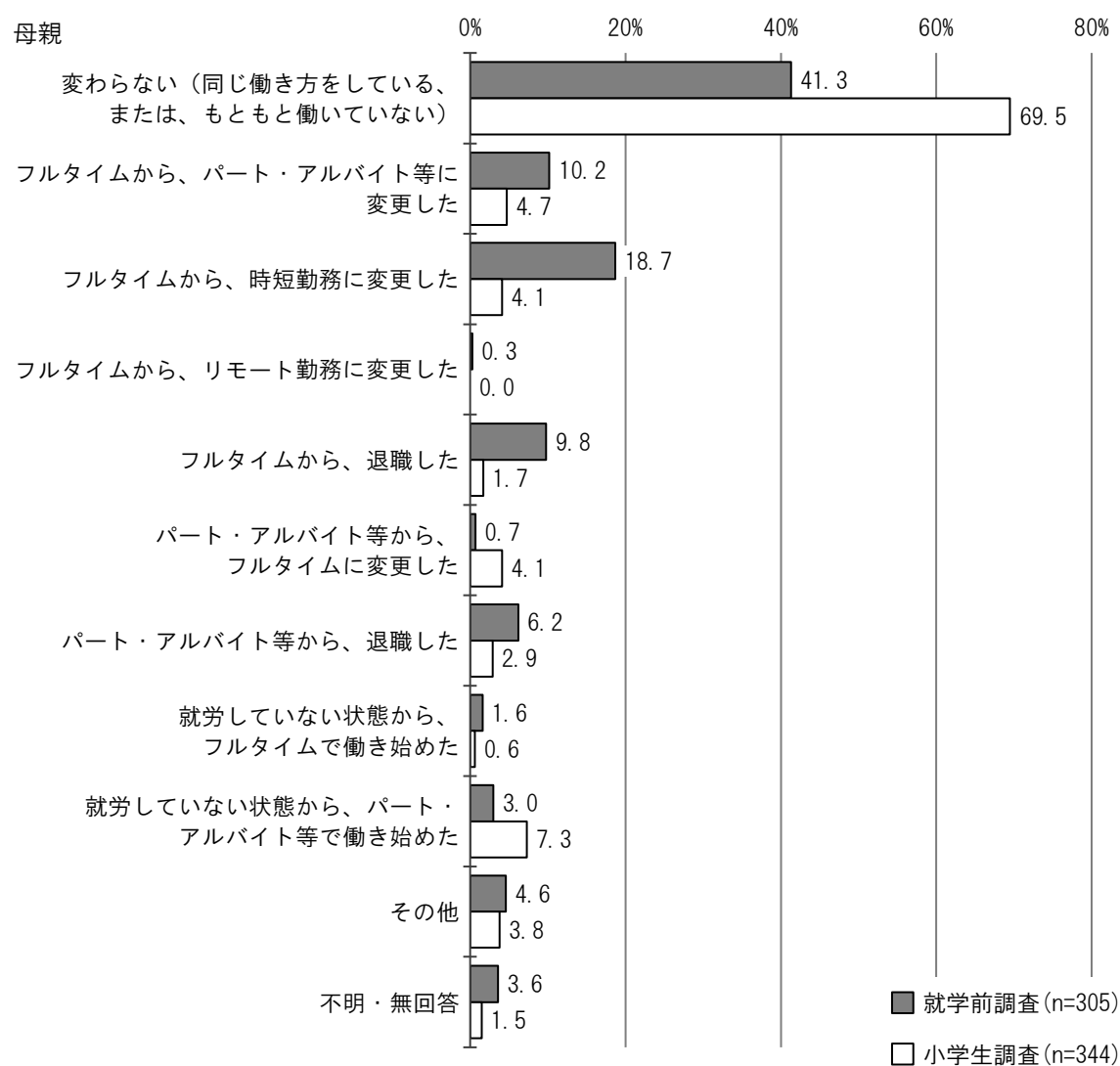
〈小学生調査〉の回答対象は1件で、就労日数は「3日以内」、1日あたりの就労時間は「5時間以内」となっています。

問 10（就学前調査） 就学前のお子さまの妊娠・出産を理由に、働き方の変更等がありましたか。（単数回答）

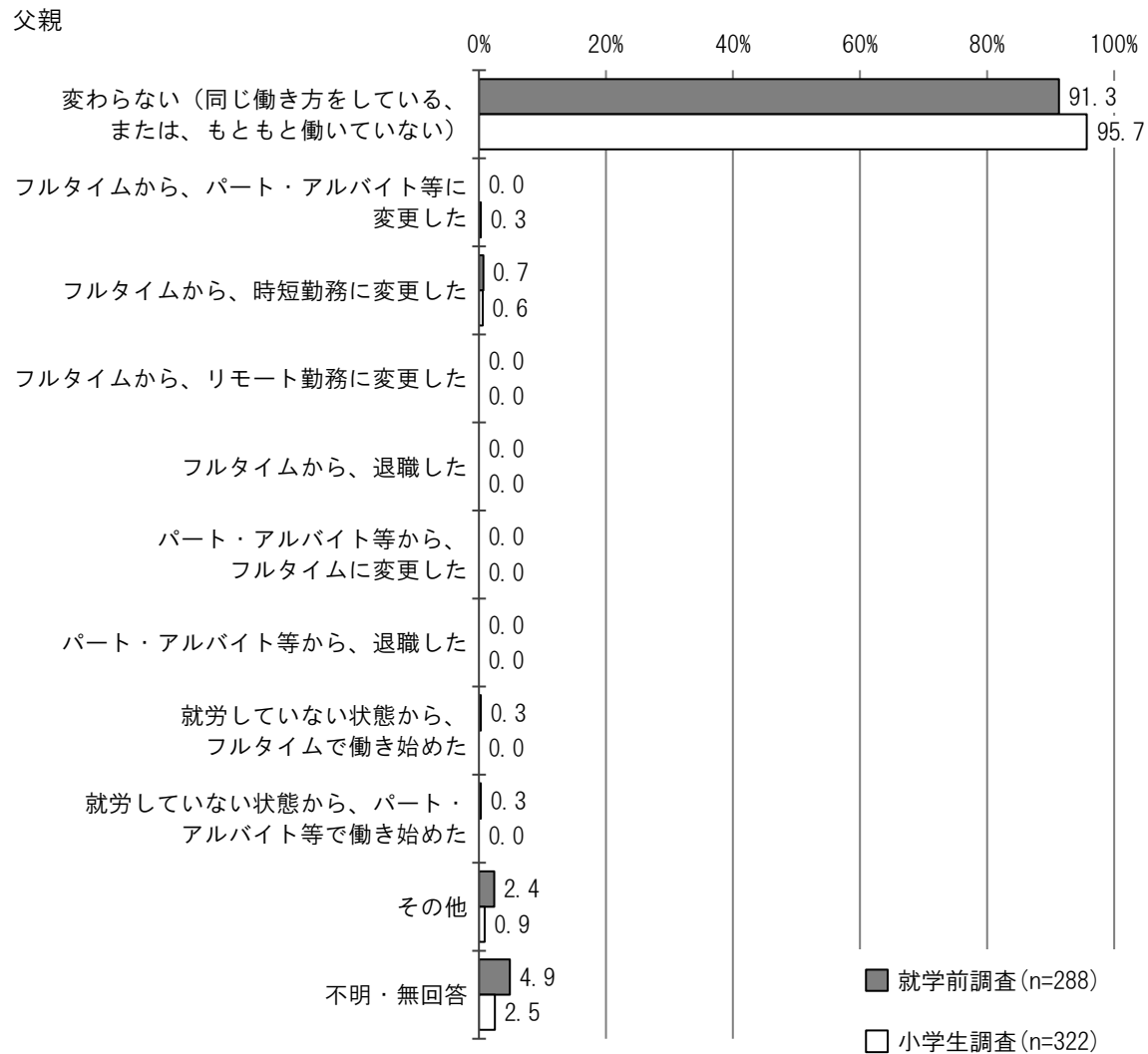
問 11（小学生調査） 小学生のお子さまの小学校入学前後に、働き方の変更等がありましたか。（単数回答）

母親の働き方の変更があったかについてみると、〈就学前調査〉では、「変わらない（同じ働き方をしている、または、もともと働いていない）」が 41.3%と最も多く、次いで「フルタイムから、時短勤務に変更した」が 18.7%となっています。

〈小学生調査〉では、「変わらない（同じ働き方をしている、または、もともと働いていない）」が 69.5%と最も多く、次いで「就労していない状態から、パート・アルバイト等で働き始めた」が 7.3%となっています。



父親の働き方の変更があったかについてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「変わらない(同じ働き方をしている、または、もともと働いていない)」が9割台となっています。

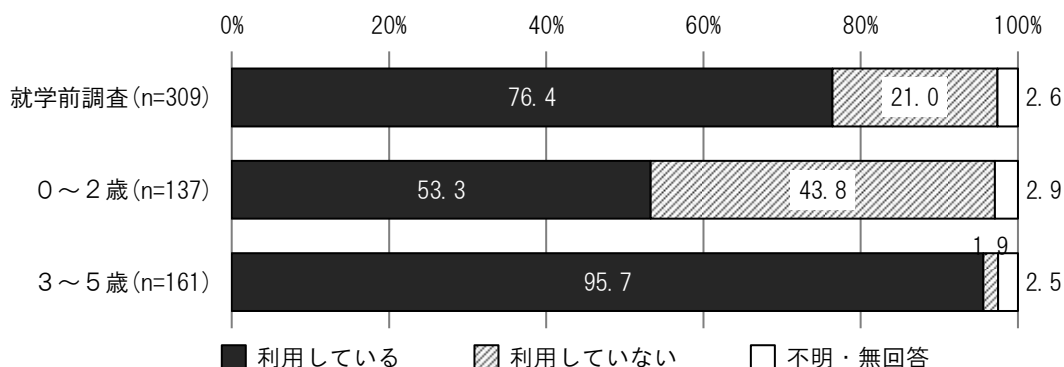


3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について [就学前調査]

問 11（就学前調査） 就学前のお子さまは現在、平日に幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（単数回答）

定期的な教育・保育事業の利用状況についてみると、〈0～2歳〉では、「利用している」が 53.3%、「利用していない」が 43.8%となっています。

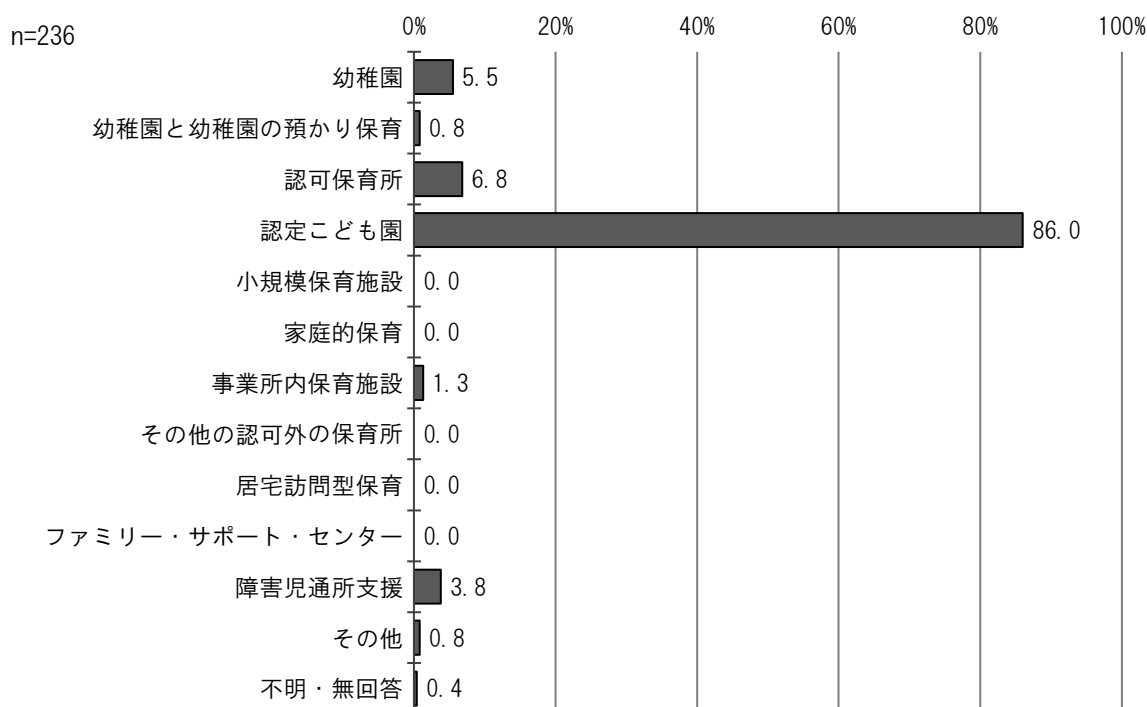
〈3～5歳〉では、「利用している」が 95.7%となっています。



問 11 で「利用している」と答えた方のみ回答

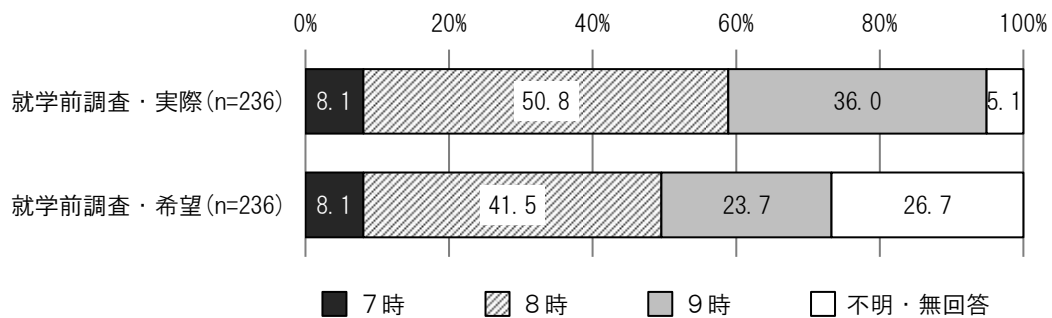
問 11-1（就学前調査） 就学前のお子さまは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（複数回答）

定期的に利用している事業についてみると、「認定こども園」が 86.0%と最も多く、次いで「認可保育所」が 6.8%となっています。



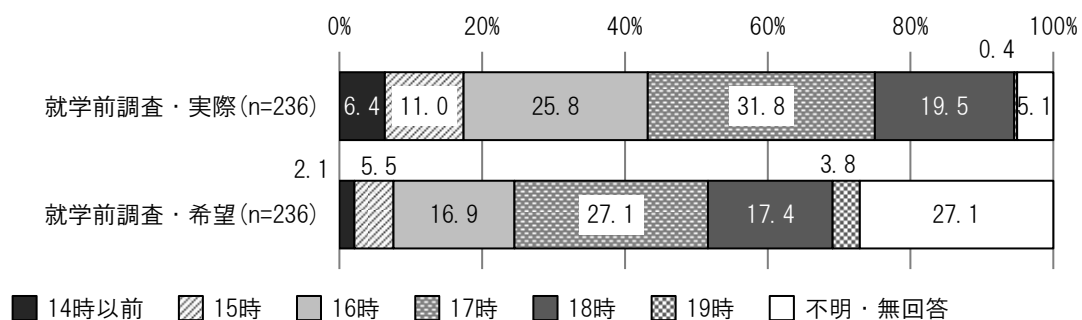
問 11-2（就学前調査） 事業の利用状況についてお答えください。（利用開始時間）
 （利用している事業のうち最大2種類について回答、より早い時間から利用している（したい）事業の利用開始時間について集計） （単数回答）

利用開始時間についてみると、実際は「8時」が 50.8%と最も多く、次いで「9時」が 36.0%となっています。
 希望は「9時」が実際と比べて少なくなっています。



問 11-2（就学前調査） 事業の利用状況についてお答えください。（利用終了時間）
 （利用している事業のうち最大2種類について回答、より遅い時間まで利用している（したい）事業の利用開始時間について集計） （単数回答）

利用開始時間についてみると、実際は「17 時」が 31.8%と最も多く、次いで「16 時」が 25.8%、「18 時」が 19.5%となっています。
 希望は「16 時」が実際と比べて少なくなっています。

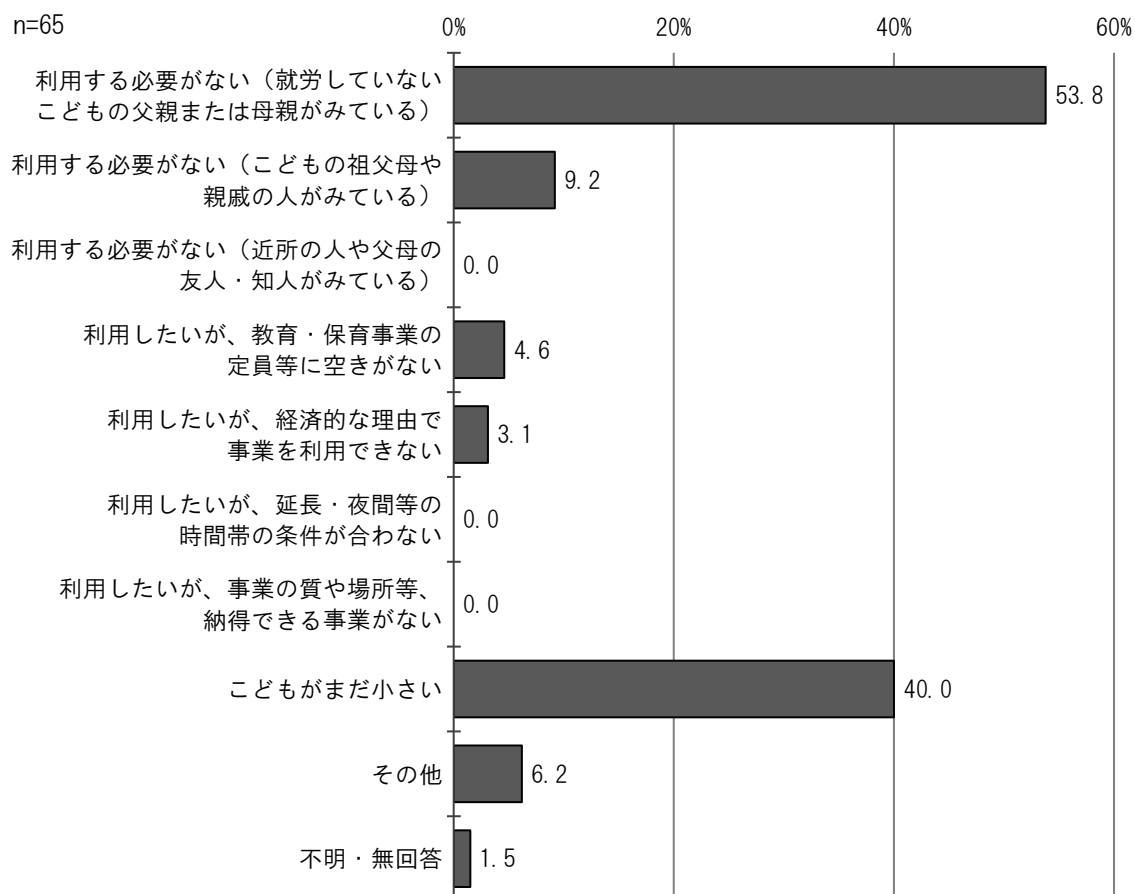


問 11 で「利用していない」と答えた方のみ回答

問 11-3（就学前調査） 利用していない理由は何ですか。

（複数回答）

定期的な事業を利用していない理由についてみると、「利用する必要がある（就労していないこどもの父親または母親がみている）」が 53.8%と最も多く、次いで「こどもがまだ小さい」が 40.0%となっています。

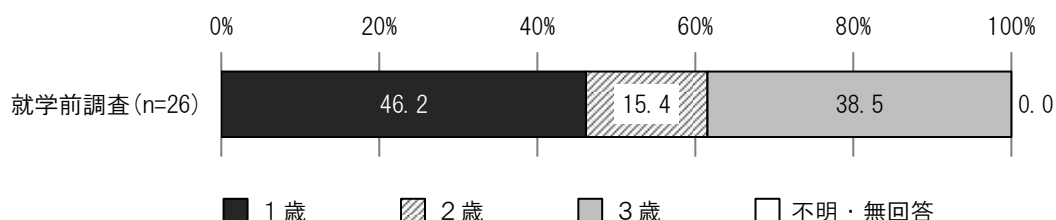


問 11-3 で「こどもがまだ小さい」と答えた方のみ回答

●こどもが何歳になったころから利用したいですか。

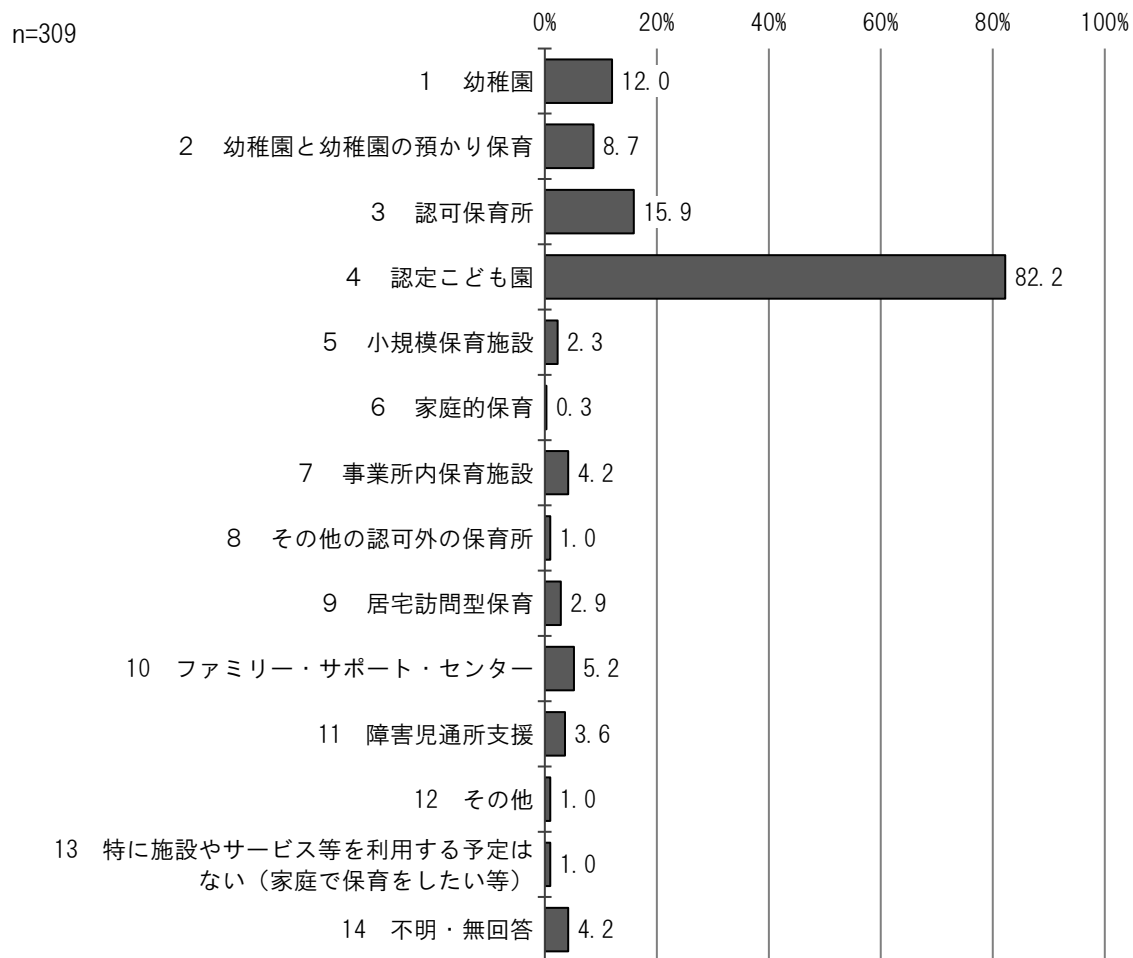
（単数回答）

こどもが何歳になったころから利用したいかについてみると、「1歳」が 46.2%と最も多く、次いで「3歳」が 38.5%となっています。



問 12（就学前調査） 現在、利用している、利用していないにかかわらず、就学前のお子さまの平日の教育・保育事業として、小学校入学までの間「定期的に」利用したいと考える事業は次のうちどれですか。（複数回答）

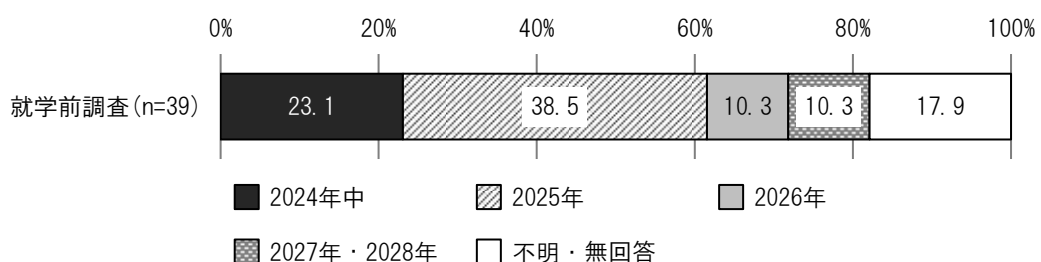
利用したい事業についてみると、「認定こども園」が 82.2%と最も多く、次いで「認可保育所」が 15.9%となっています。



問 11「利用していない」かつ、問 12で「1 幼稚園」～「12 その他」のいずれかと答えた方のみ回答

問 12-1（就学前調査） 就学前のお子さまはいつからその事業を利用したいですか。（単数回答）

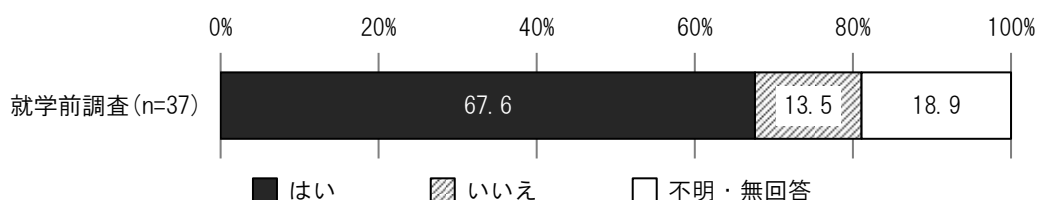
いつから事業を利用したいかについては、「2025 年」が 38.5%と最も多く、次いで「2024 年中」が 23.1%となっています。



問 12「幼稚園」「幼稚園と幼稚園の預かり保育」を選び、かつ「3 認可保育所」～「12 その他」のいずれかと答えた方のみ回答

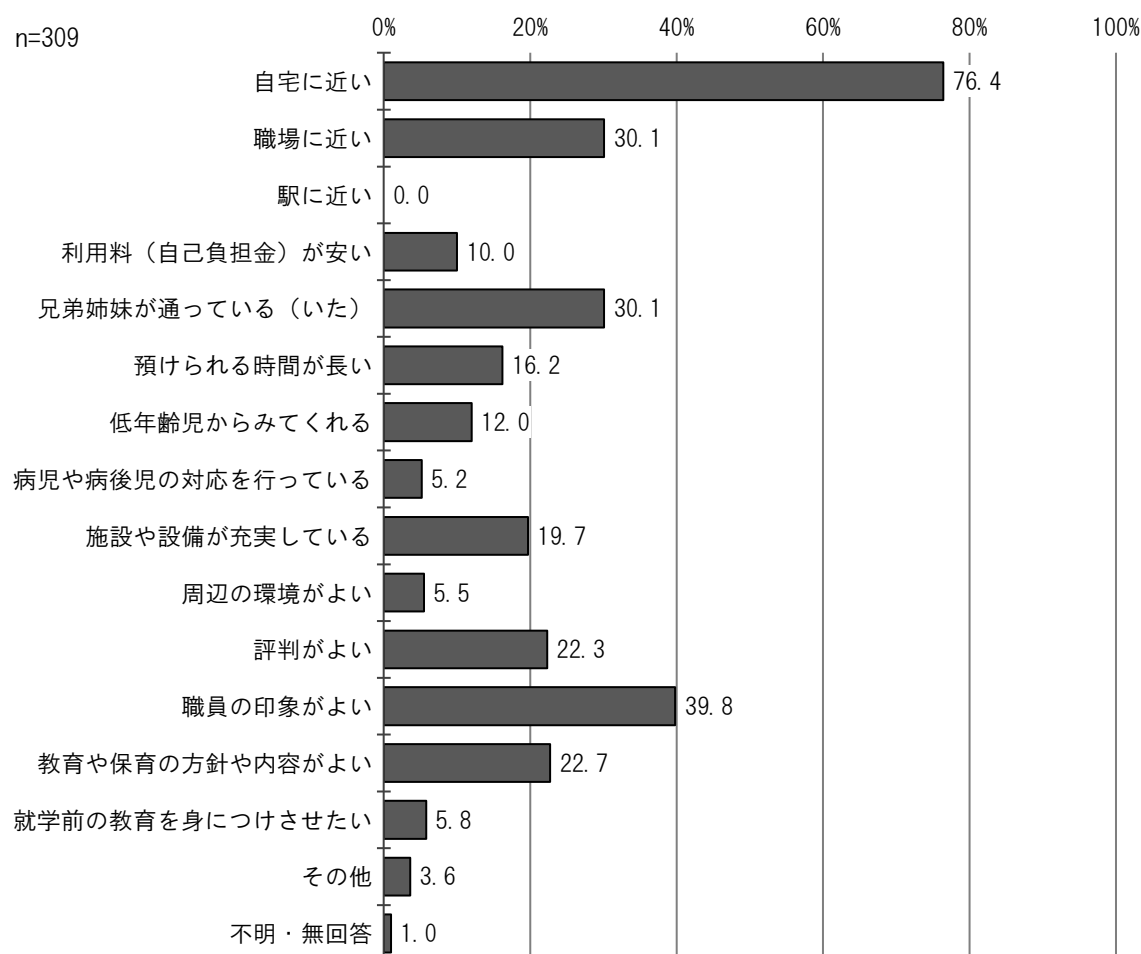
問 12-2（就学前調査） 就学前のお子さまは特に幼稚園及び認定こども園の1号利用（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
（単数回答）

幼稚園及び認定こども園の1号利用の利用を強く希望するかについてみると、「はい」が 67.6%、「いいえ」が 13.5%となっています。



問 13（就学前調査） 保育園や幼稚園等を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。
（複数回答）

保育園や幼稚園等を選ぶ際に重視する点についてみると、「自宅に近い」が 76.4%と最も多く、次いで「職員の印象がよい」が 39.8%、「職場に近い」「兄弟姉妹が通っている(いた)」が 30.1%となっています。



問11で「幼稚園」と答えた方のみ回答

問14（就学前調査） 就学前のお子さまについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（単数回答）

休暇期間中の事業の利用希望については、回答対象が13件で、「休みの期間中、週に数日利用したい」が7件、「利用する予定はない」が5件、「不明・無回答」が1件となっています。

問14で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方のみ回答

●利用したい時間帯をお答えください。（単数回答）

休暇期間中の利用開始希望時刻については、回答対象が7件で、「9時」が3件、「8時」「10時」がそれぞれ2件となっています。

利用終了希望時刻については、「14時」「16時」「18時」がそれぞれ2件、「15時」が1件となっています。

問14で「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方のみ回答

問14-1（就学前調査） 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（複数回答）

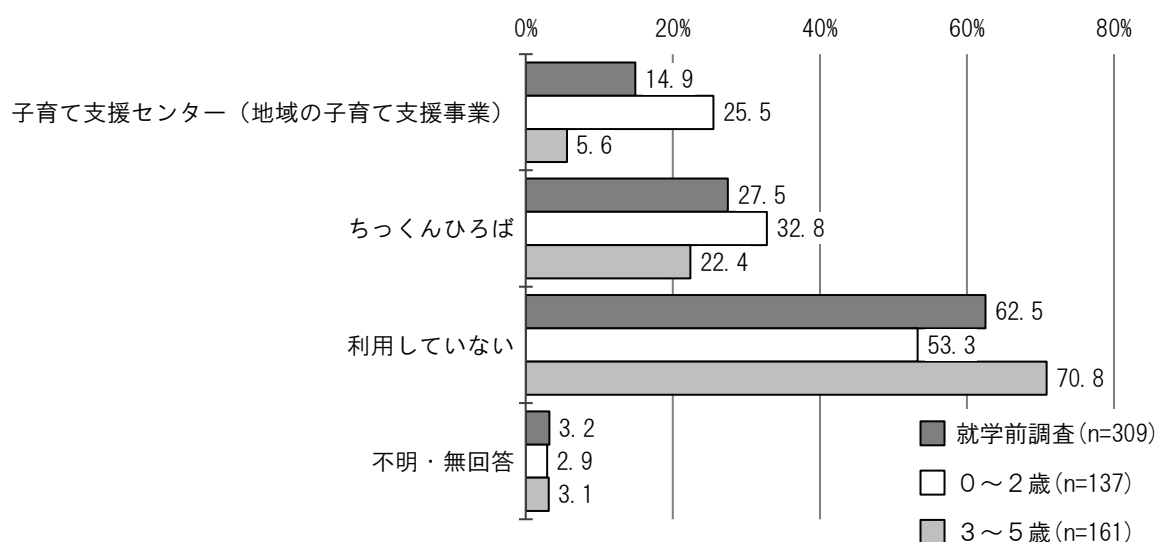
毎日ではなく、たまに利用したい理由については、回答対象が7件で、「こども同士で遊ぶ機会をつくるため」が6件、「買い物等まとめて済ませるため」が4件、「一時的なリフレッシュのため」が3件、「週に数回仕事が入るため」が2件となっています。

4 地域の子育て支援拠点事業等の利用状況について [就学前調査]

問 15（就学前調査） 就学前のお子さまは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。（複数回答）

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、就学前調査全体では「ちっくんひろば」が 27.5%、「子育て支援センター（地域の子育て支援事業）」が 14.9%となっています。

＜0～2歳＞では＜3～5歳＞と比べて利用が多く、「ちっくんひろば」が 32.8%、「子育て支援センター（地域の子育て支援事業）」が 25.5%となっています。



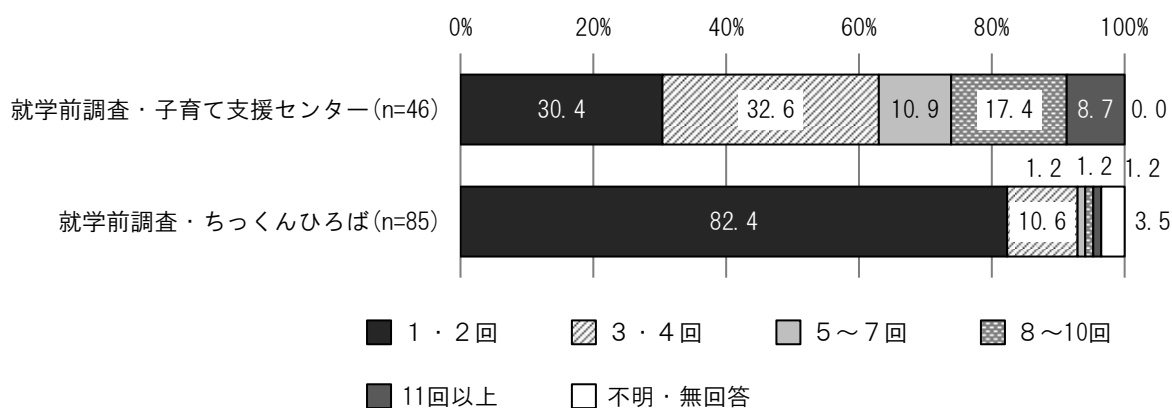
問 15 で答えたそれぞれの項目について回答

● 1ヶ月当たりの利用回数をお答えください。

（単数回答）

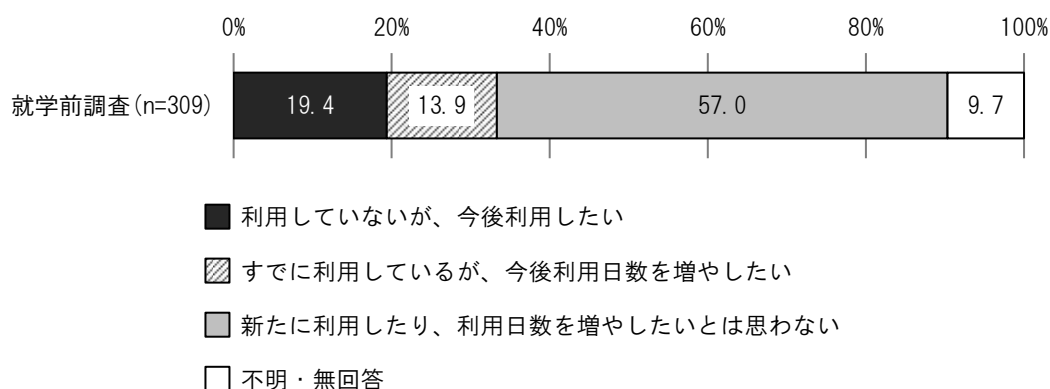
利用回数についてみると、＜子育て支援センター＞では「3・4回」が 32.6%と最も多く、次いで「1・2回」が 30.4%、「8～10回」が 17.4%となっています。

＜ちっくんひろば＞では「1・2回」が 82.4%と最も多くなっています。



問16（就学前調査） 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（単数回答）

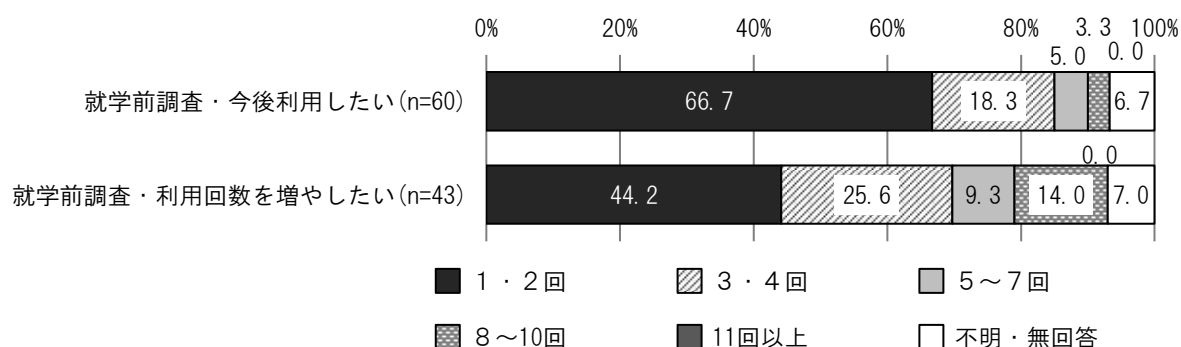
地域子育て支援事業の今後の利用意向についてみると、「利用していないが、今後利用したい」が19.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.9%となっています。



問16で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた方のみ回答

●利用していないが、今後利用したいと思う場合、1ヶ月当たり何回程度利用したいと思いますか。また、今後利用日数を増やしたいと思う場合、1ヶ月当たり何回程度利用を増やしたいと思いますか。（単数回答）

今後利用したい回数についてみると、「1・2回」が66.7%と最も多く、次いで「3・4回」が18.3%となっています。利用回数を増やしたいと思う場合の増やしたい回数についてみると、「1・2回」が44.2%と最も多く、次いで「3・4回」が25.6%となっています。

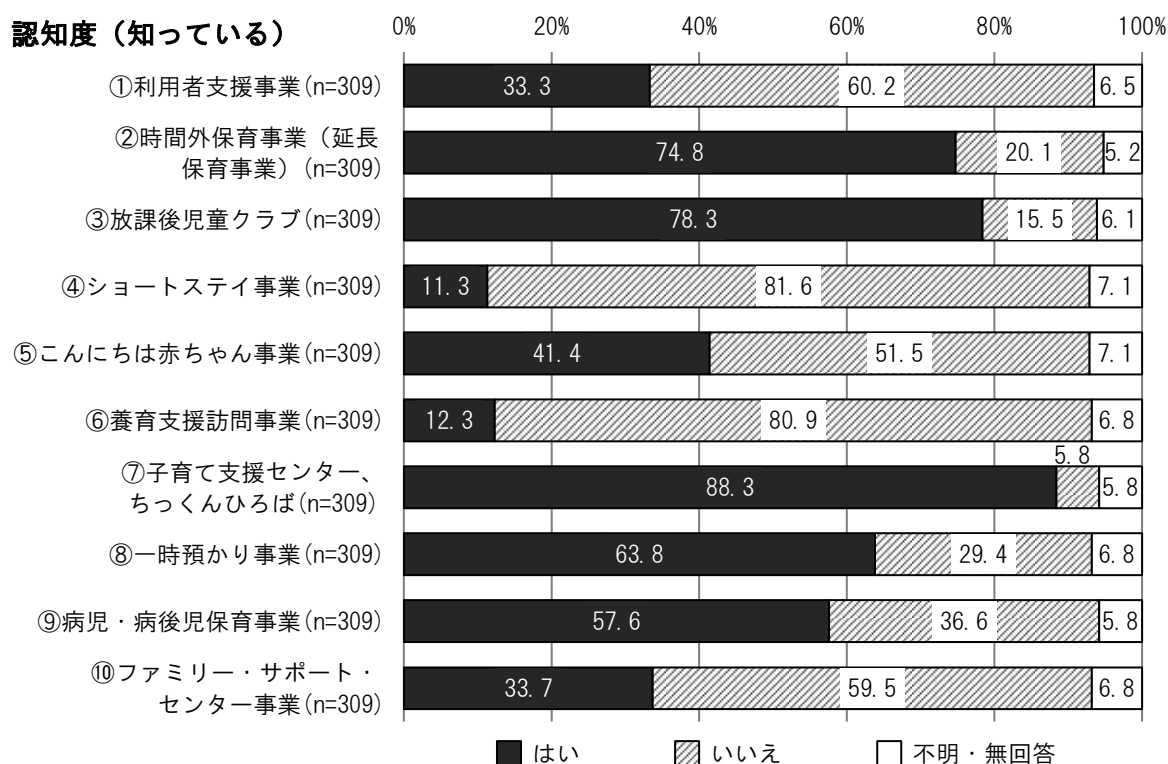


問 17（就学前調査） 下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。（単数回答）

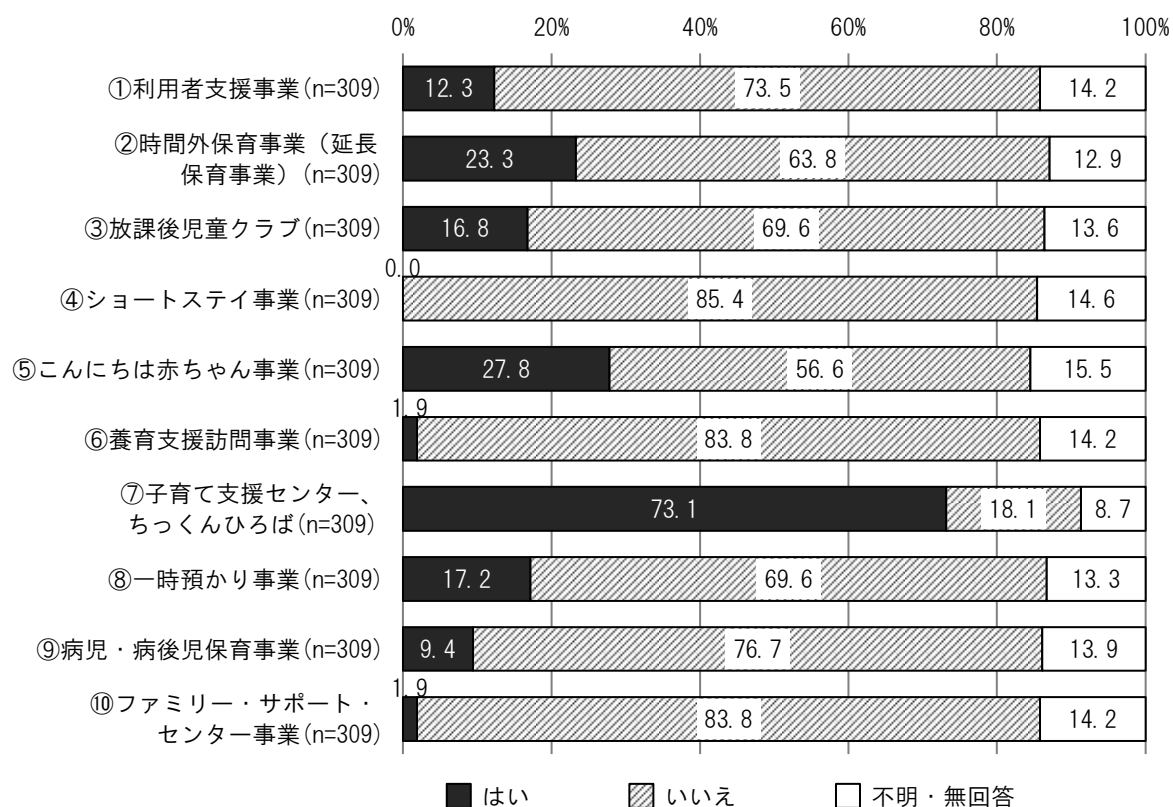
事業を知っているかについては、＜②時間外保育事業（延長保育事業）＞＜③放課後児童クラブ＞＜⑦子育て支援センター、ちっくんひろば＞で「はい」が7割以上と多く、＜④ショートステイ事業＞＜⑥養育支援訪問事業＞で「はい」が1割台と少なくなっています。

これまでに利用したことがあるかについては、＜⑦子育て支援センター、ちっくんひろば＞で「はい」が 73.1%と最も多く、次に多い＜⑤こんにちは赤ちゃん事業＞で27.8%、＜②時間外保育事業（延長保育事業）＞で23.3%となっています。

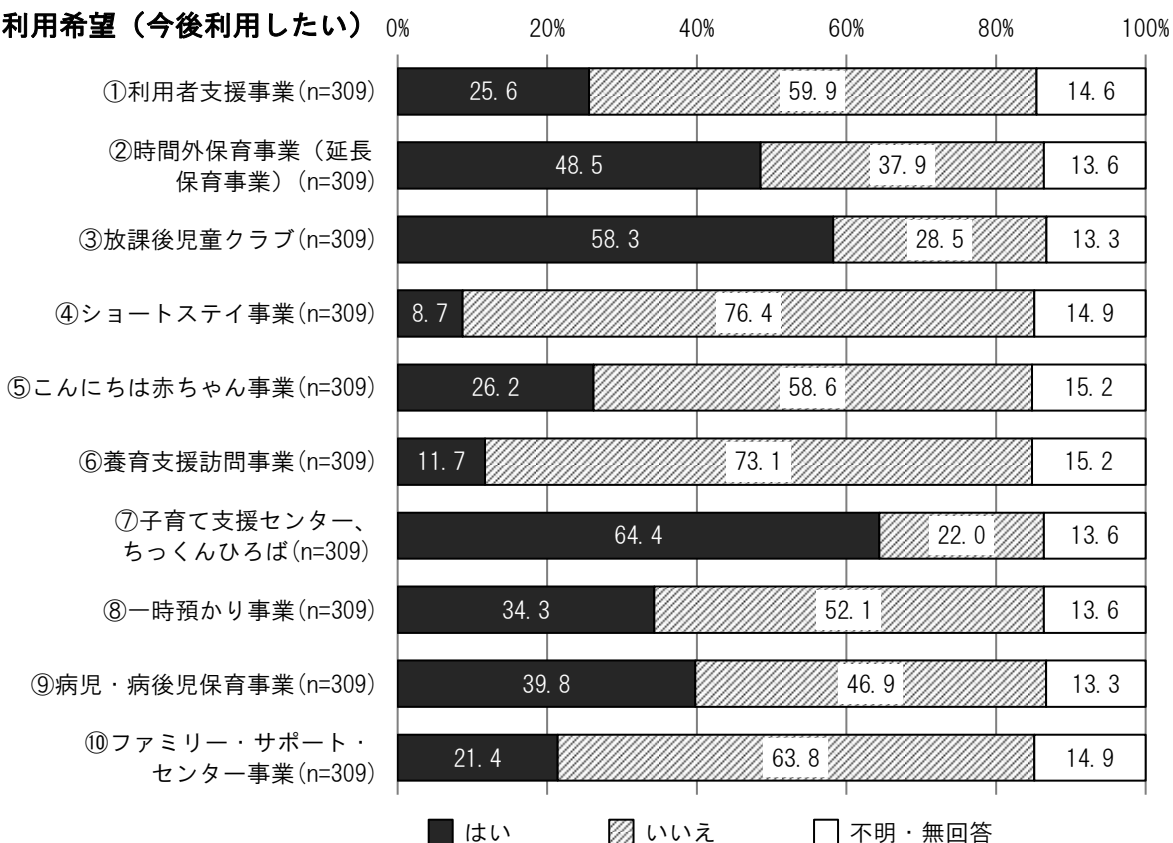
今後利用したいかについては、＜③放課後児童クラブ＞＜⑦子育て支援センター、ちっくんひろば＞で「はい」が6割前後と多くなっています。



利用経験（これまでに利用したことがある）



利用希望（今後利用したい）



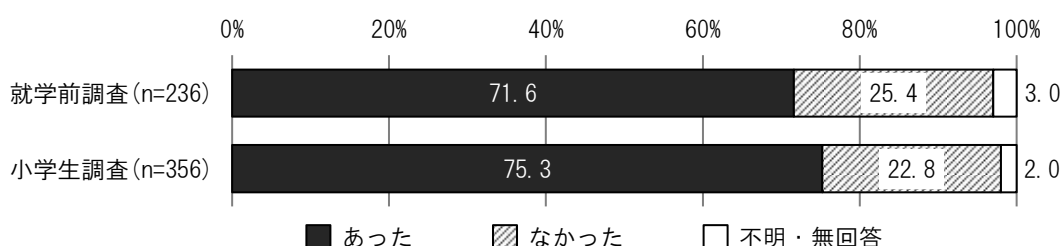
5 病気の際の対応や一時預かり等の利用について

問 11（定期的な教育・保育事業の利用）で「利用している」と答えた方のみ回答

問 18（就学前調査） この１年間に、就学前のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。（単数回答）

問 12（小学生調査） この１年間に、小学生のお子さまが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（単数回答）

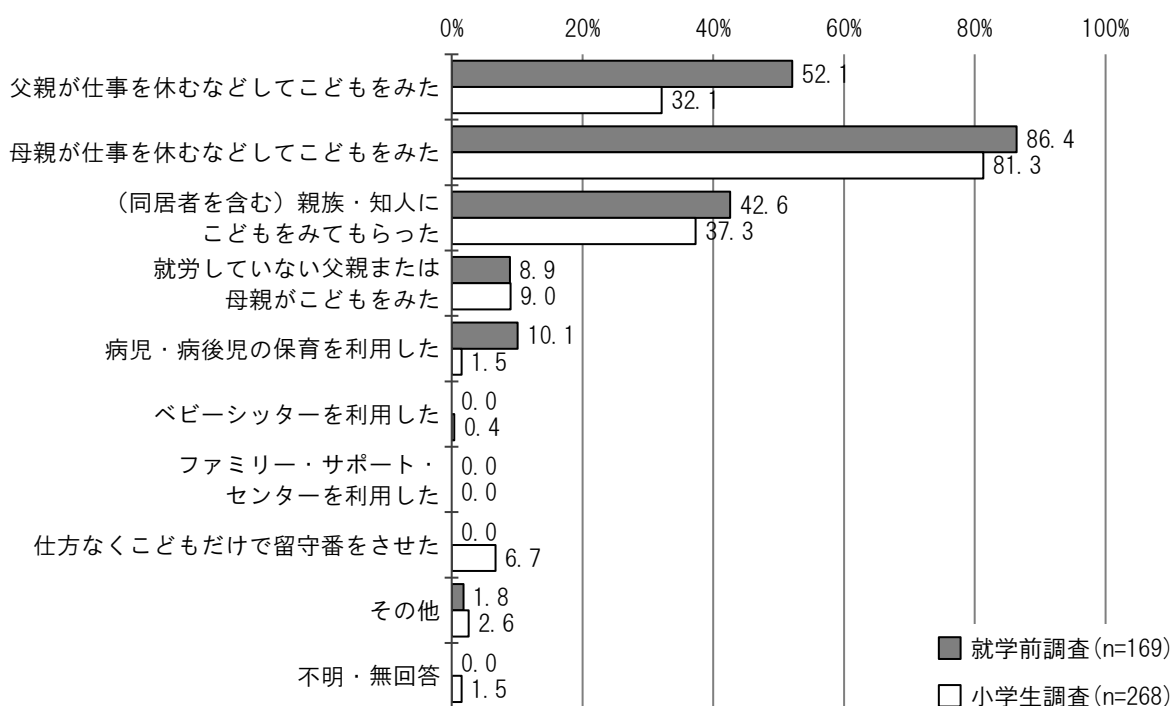
病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかったことがあるかについてみると、「あった」が＜就学前調査＞で 71.6%、＜小学生調査＞で 75.3%となっています。



問 18（12）で「はい」と答えた方のみ回答

問 18-1（就学前調査） 問 12-1（小学生調査） その場合に、この１年間で行った対処方法はどれですか。（複数回答）

対処方法についてみると、＜就学前調査＞＜小学生調査＞いずれも、「母親が仕事を休むなどしてこどもをみた」が8割台と最も多くなっています。



問 18-1 (12-1) で答えたそれぞれの項目について回答

● 1年間でそれぞれの対処を行った日数をお答えください。

(単数回答)

就学前調査におけるお子さまが病気・ケガの場合の対処方法についてみると、＜母親が仕事を休むなどしてこどもをみた＞で「8～10 日」「11～20 日」が他の対処方法より多くなっています。

また、＜父親が仕事を休むなどしてこどもをみた＞＜病児・病後児の保育を利用した＞で「1・2日」が約3割からそれ以上と多くなっています。

(就学前調査) %	1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
父親が仕事を休むなどしてこどもをみた(n=88)	29.5	19.3	26.1	12.5	3.4	2.3	6.8
母親が仕事を休むなどしてこどもをみた(n=146)	8.9	13.7	19.9	25.3	15.8	9.6	6.8
親族・知人にこどもをみてもらった(n=72)	27.8	22.2	23.6	20.8	1.4	-	4.2
就労していない父親・母親がこどもをみた(n=15)	26.7	13.3	26.7	6.7	13.3	13.3	-
病児・病後児の保育を利用した(n=17)	35.3	17.6	17.6	5.9	5.9	-	17.6

※表中では長い選択肢を省略して示しています

小学生調査におけるお子さまが病気・ケガの場合の対処方法についてみると、＜母親が仕事を休むなどしてこどもをみた＞＜就労していない父親または母親がこどもをみた＞で「5～7日」「8～10 日」が他の対処方法より多くなっています。

また、＜父親が仕事を休むなどしてこどもをみた＞で「1・2日」が 50.0%と多くなっています。

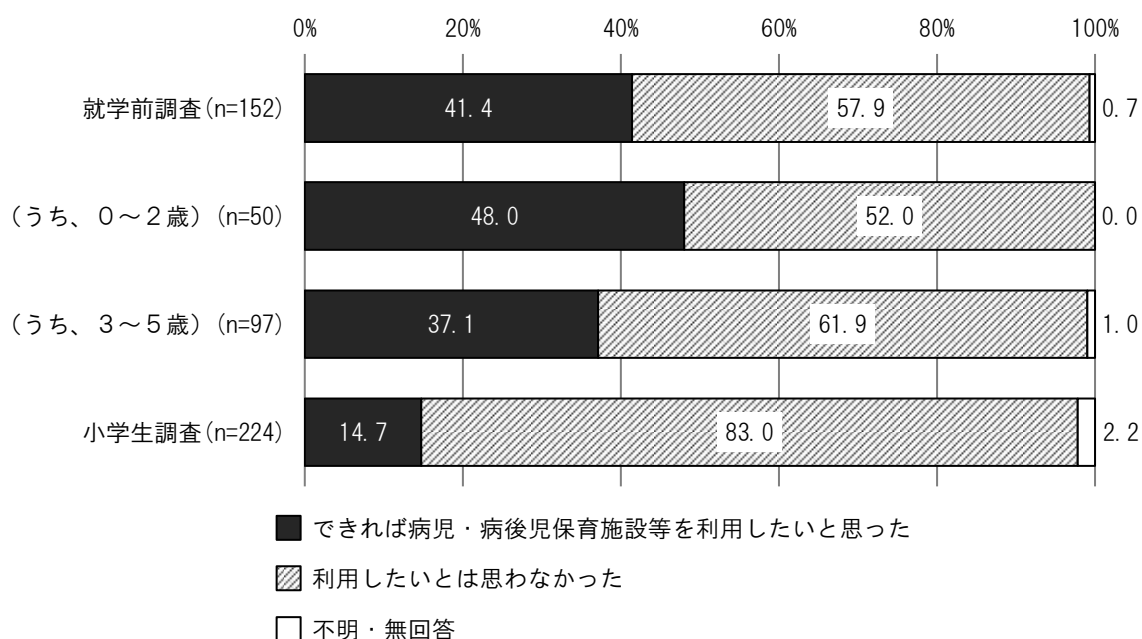
(小学生調査) %	1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
父親が仕事を休むなどしてこどもをみた(n=86)	50.0	14.0	25.6	8.1	1.2	-	1.2
母親が仕事を休むなどしてこどもをみた(n=218)	25.2	14.2	30.7	17.9	8.3	2.3	1.4
親族・知人にこどもをみてもらった(n=100)	29.0	20.0	34.0	11.0	4.0	1.0	1.0
就労していない父親・母親がこどもをみた(n=24)	8.3	16.7	37.5	20.8	4.2	8.3	4.2
病児・病後児の保育を利用した(n=4)	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
仕方なくこどもだけで留守番をさせた(n=18)	22.2	22.2	27.8	16.7	5.6	-	5.6

※表中では長い選択肢を省略して示しています

問 18-1 (12-1) で「父親が仕事を休むなどしてこどもをみた」「母親が仕事を休むなどしてこどもをみた」と答えた方のみ回答

問 18-2 (就学前調査) 問 12-2 (小学生調査) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(単数回答)

できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が<就学前調査>の0～2歳では 48.0%、<就学前調査>の3～5歳では 37.1%、<小学生調査>では 14.7%となっています。

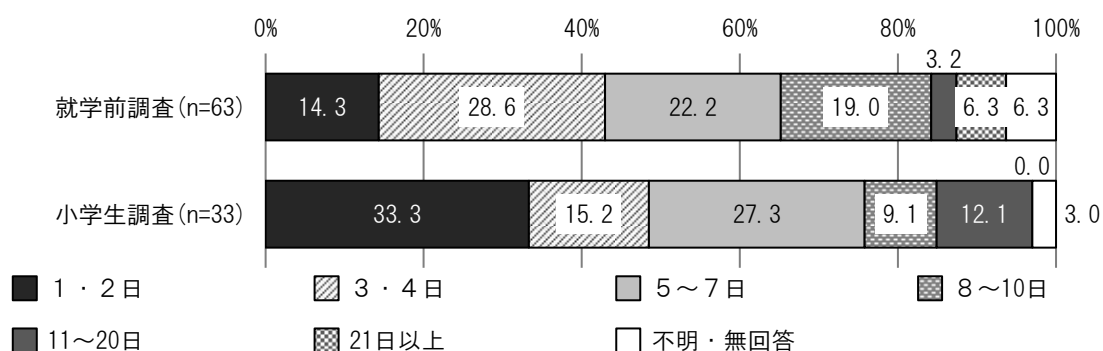


問 18-2 (12-2) で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った」と答えた方のみ回答

● 日数 (単数回答)

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思う日数についてみると、<就学前調査>では、「3・4日」が 28.6%と最も多く、次いで「5～7日」が 22.2%となっています。

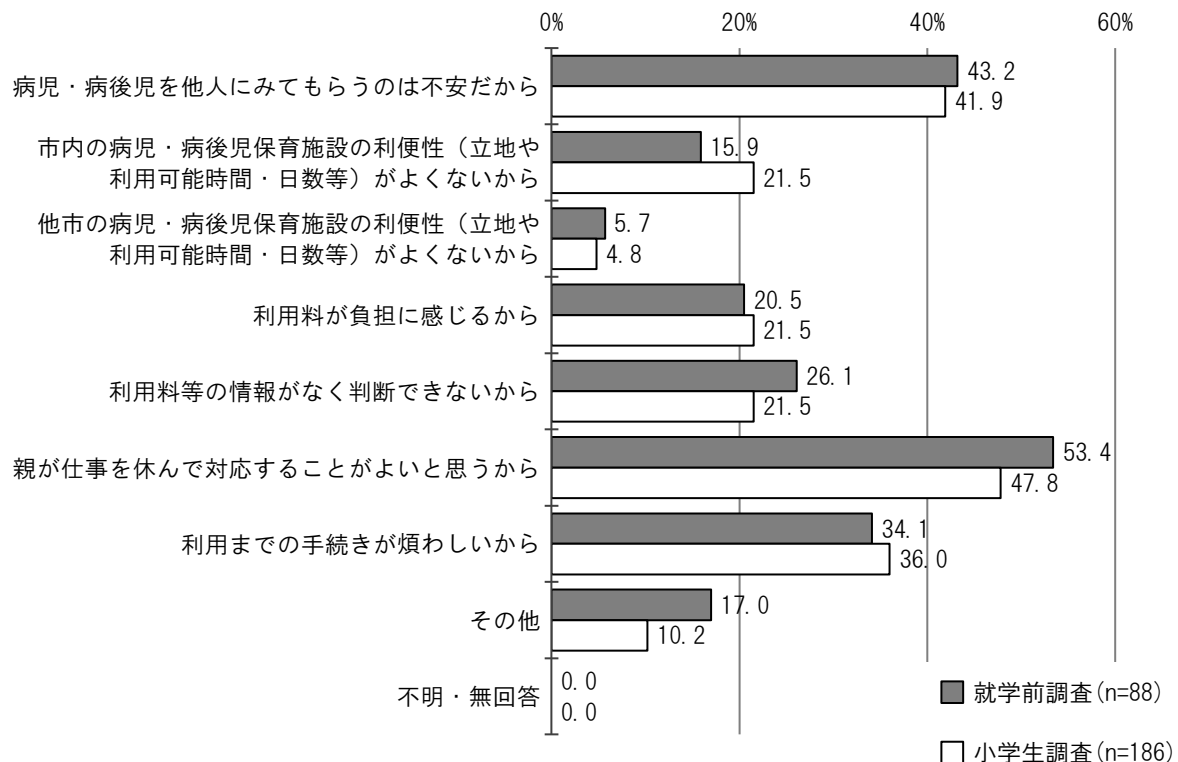
<小学生調査>では、「1・2日」が 33.3%と最も多く、次いで「5～7日」が 27.3%となっています。



問 18-2 (12-2) で「利用したいと思わなかった」と答えた方のみ回答

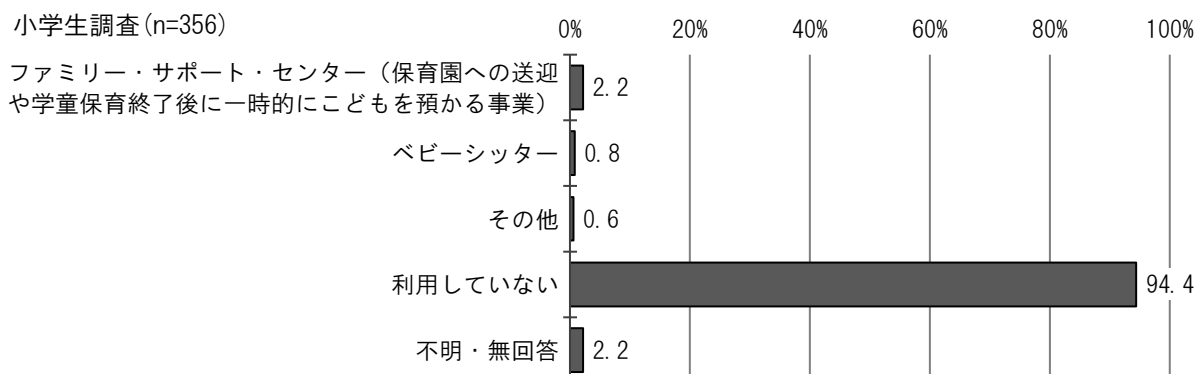
問 18-3 (就学前調査) 問 12-3 (小学生調査) そう思われる理由はなんですか。
(複数回答)

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、〈就学前調査〉〈小学生調査〉いずれも、「親が仕事を休んで対応することがよいと思うから」が5割前後と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」が4割台となっています。



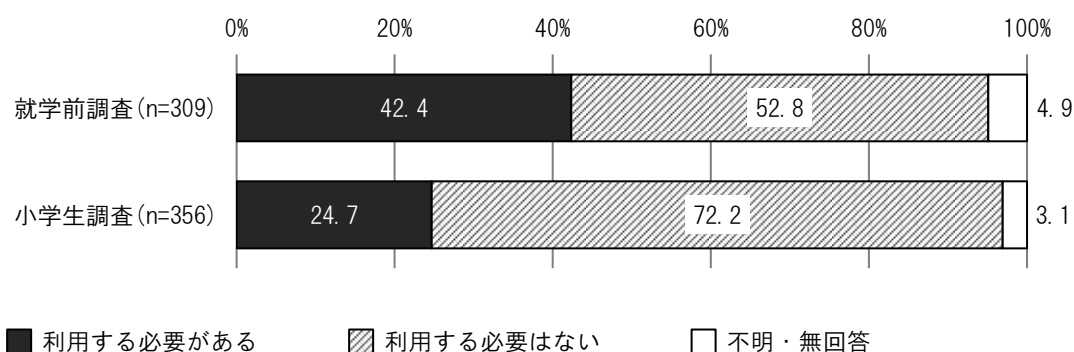
問 13 (小学生調査) 小学生のお子さまについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
(複数回答)

不定期の事業利用についてみると、「利用していない」が 94.4%、「ファミリー・サポート・センター」が 2.2%となっています。利用日数については、〈ファミリー・サポート・センター〉では8件の回答中、「5～7日」が3件、「1・2日」「8～10日」「11～20日」「20日以上」「不明・無回答」がそれぞれ1件となっています。〈ベビーシッター〉については3件の回答中、「8～10日」「11～20日」「20日以上」がそれぞれ1件となっています。



問 19（就学前調査）問 14（小学生調査） お子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい、不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。（単数回答）

不定期の事業を利用する必要があると思うかについてみると、「利用する必要がある」が、〈就学前調査〉では 42.4%、〈小学生調査〉では 24.7%となっています。

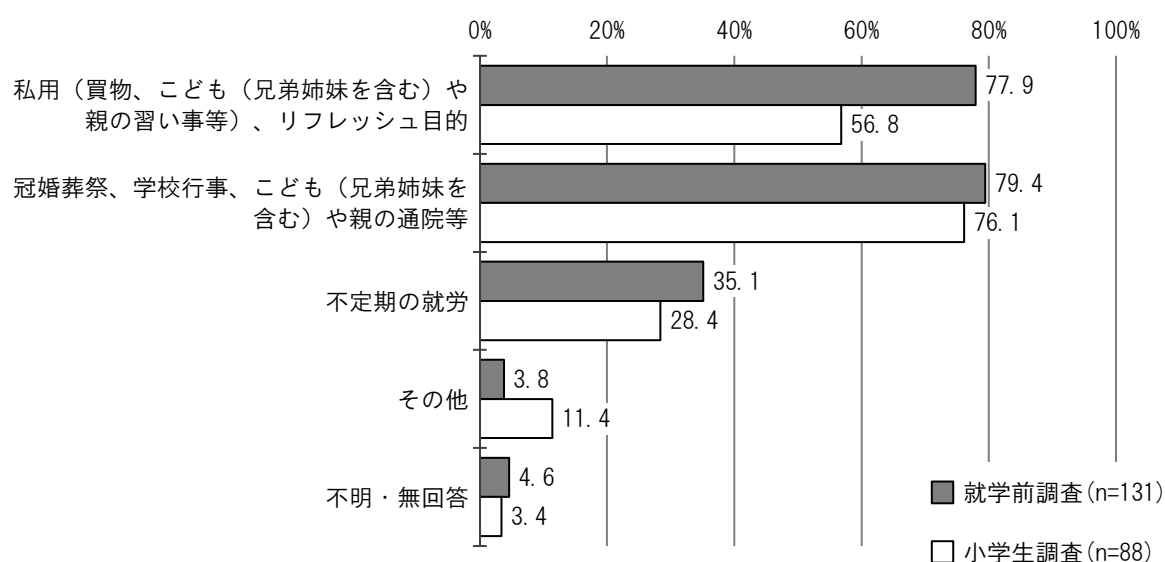


問 19（14）で「利用する必要がある」と答えた方のみ回答

● 利用目的（複数回答）

不定期の事業を利用したいと思う目的についてみると、〈就学前調査〉では、「冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 79.4%と最も多く、次いで「私用（買物、こども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 77.9%となっています。

〈小学生調査〉では、「冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 76.1%と最も多く、次いで「私用（買物、こども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 56.8%となっています。



問19(14)で答えたそれぞれの項目について回答

● 利用したいと思う日数をお答えください。

(単数回答)

〈就学前調査〉における不定期の事業を利用したいと思う日数についてみると、合計日数については「1～4日」「11～20日」がそれぞれ19.1%、「8～10日」が13.7%となっています。

利用目的別にみると、〈不定期の就労〉で「21日以上」が23.9%と、他の利用目的と比べて多くなっています。

(就学前調査) %		1～4日	5～7日	8～10日	11～20日	21～40日	41日以上	不明・無回答
合計日数(n=131)		19.1	13.0	13.7	19.1	10.7	12.2	12.2
内訳		1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
利用目的	私用、リフレッシュ目的 (n=102)	13.7	9.8	20.6	14.7	16.7	13.7	10.8
	冠婚葬祭、学校行事、 通院等(n=103)	15.4	9.6	23.1	13.5	7.7	6.7	24.0
	不定期の就労 (n=46)	6.5	8.7	19.6	8.7	2.2	23.9	30.4

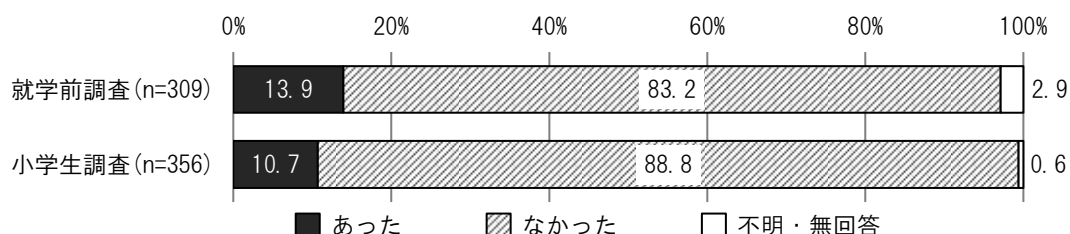
〈小学生調査〉における不定期の事業を利用したいと思う日数についてみると、合計日数については「5～7日」がそれぞれ26.1%、「8～10日」が20.5%となっています。

利用目的別にみると、〈私用、リフレッシュ目的〉〈冠婚葬祭、学校行事、通院等〉では「5～7日」が3割前後、〈不定期の就労〉では「1・2日」「21日以上」がそれぞれ2割台となっています。

(小学生調査) %		1～4日	5～7日	8～10日	11～20日	21～40日	41日以上	不明・無回答
合計日数(n=86)		8.1	26.1	20.5	13.6	13.6	13.6	4.5
内訳		1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
利用目的	私用、リフレッシュ目的 (n=49)	10.2	16.3	26.5	22.4	14.3	8.2	2.0
	冠婚葬祭、学校行事、 通院等(n=67)	9.0	14.9	35.8	22.4	7.5	6.0	4.5
	不定期の就労 (n=25)	28.0	8.0	16.0	12.0	8.0	24.0	4.0

問 20（就学前調査）問 15（小学生調査） この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、お子さまを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）（単数回答）

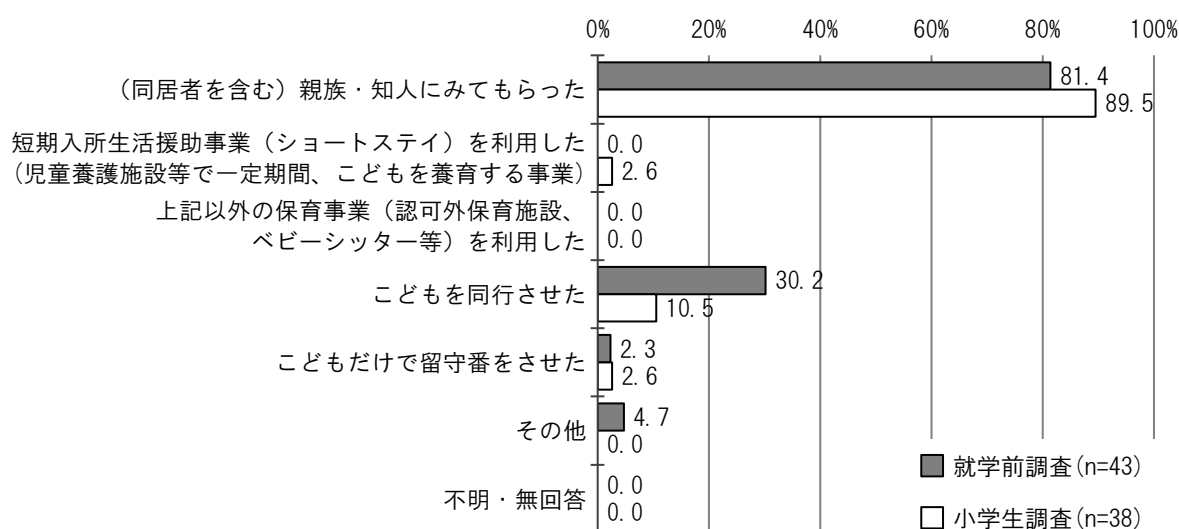
泊りがけでみてもらう必要があったかについてみると、「あった」について、＜就学前調査＞では 13.9%、＜小学生調査＞では 10.7%となっています。



問 20（15）で「あった」と答えた方のみ回答

● その場合に、この１年間で行った対処方法はどれですか。（複数回答）

泊りがけでみてもらう必要があった際の対処方法についてみると、＜就学前調査＞＜小学生調査＞いずれも、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が8割台と最も多くなっています。



問 20（15）で答えたそれぞれの項目について回答

● 泊りがけでみてもらう必要があった泊数（単数回答）

就学前調査における泊りがけでみてもらわなければならない日数についてみると、合計日数については「1・2日」が 46.5%となっています。

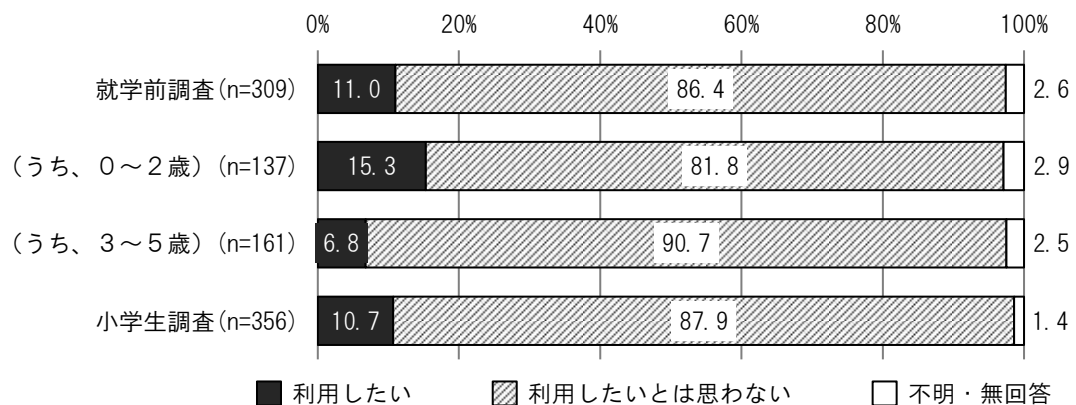
（就学前調査） %		1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
合計日数 (n=43)		46.5	14.0	9.3	4.7	9.3	7.0	9.3
対処方法	内訳	1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
	親族・知人にみてもらった (n=35)	37.1	11.4	2.9	5.7	8.6	-	34.3
対処方法	こどもを同行させた (n=13)	23.1	15.4	7.7	-	15.4	-	38.5

小学生調査における泊りがけでみてもらわなければならなかった日数についてみると、合計日数については「1・2日」が36.8%となっています。

(小学生調査) %		1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
合計日数(n=38)		36.8	13.2	18.4	15.8	2.6	5.3	7.9
内訳		1・2日	3・4日	5～7日	8～10日	11～20日	21日以上	不明・無回答
対処方法	親族・知人にみてもらった(n=34)	35.3	8.8	17.6	11.8	5.9	2.9	17.6
	こどもを同行させた(n=4)	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-

問 20-1（就学前調査）問 15-1（小学生調査） 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、泊りがけで家族以外に預ける必要が生じた場合、短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）を利用したいと思いますか。（単数回答）

短期入所生活援助事業を利用したいと思うかについて、「利用したい」が<就学前調査>の0～2歳では15.3%、<就学前調査>の3～5歳では6.8%、<小学生調査>では10.7%となっています。

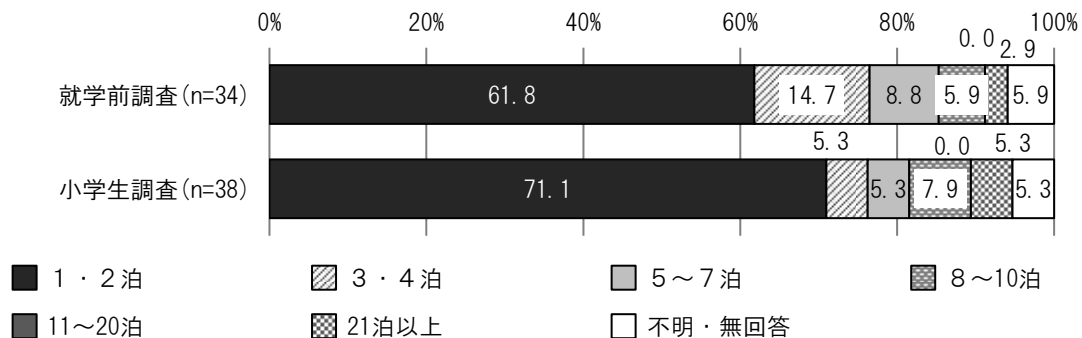


問 20-1（15-1）で「利用したい」と答えた方のみ回答

● 泊数 （単数回答）

短期入所生活援助事業を利用したいと思う泊数についてみると、<就学前調査>では、「1・2泊」が61.8%と最も多く、次いで「3・4泊」が14.7%となっています。

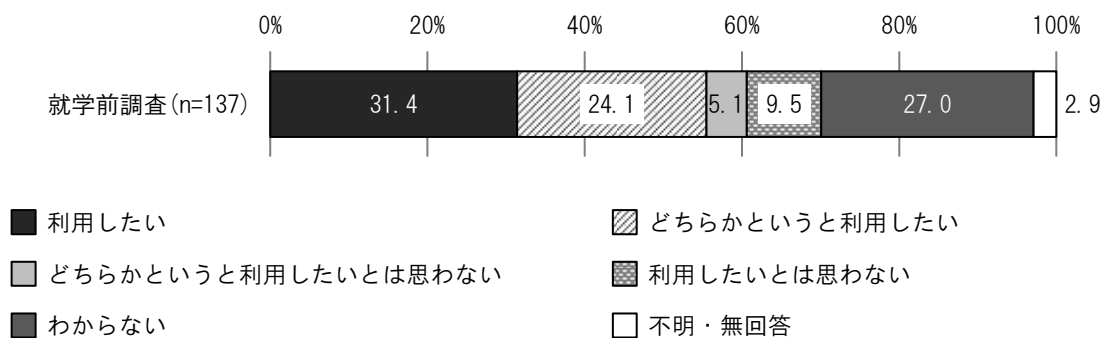
<小学生調査>では、「1・2泊」が71.1%と最も多く、次いで「8～10泊」が7.9%となっています。



お子さまが0～2歳の方のみ回答

問 21（就学前調査） あなたは、「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思いますか。（単数回答）

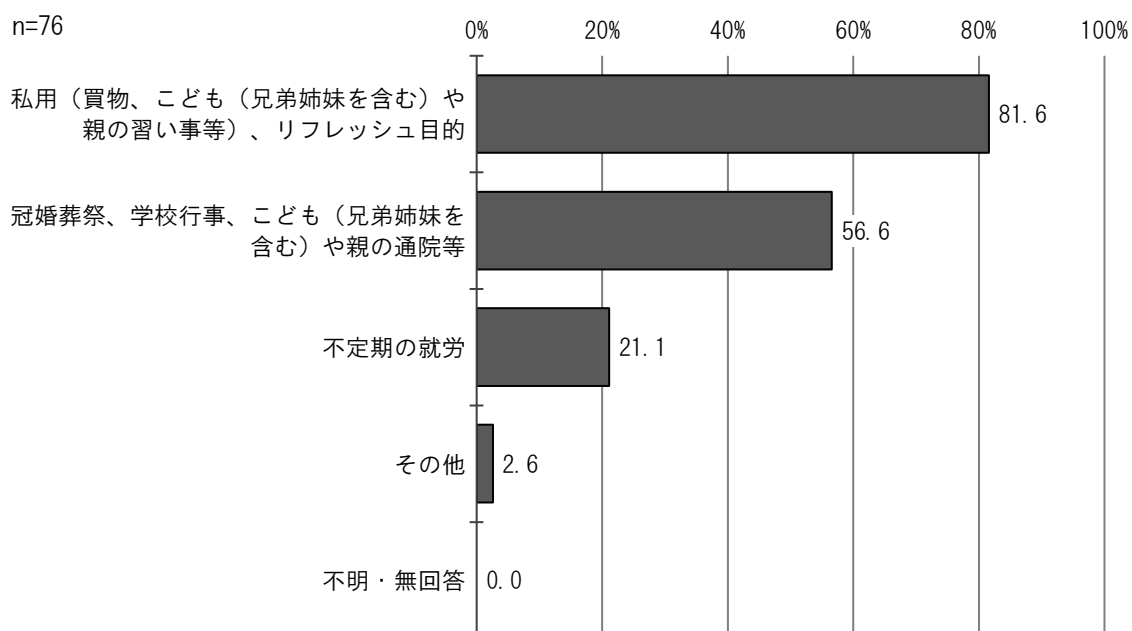
こども誰でも通園制度（仮称）を利用したいと思うかについてみると、「利用したい」が 31.4%と最も多く、「どちらかという利用したい」とあわせて半数以上の利用意向がみられます。



問 21 で「利用したい」「どちらかという利用したい」と答えた方のみ回答

問 21-1（就学前調査） どのような時の利用を考えていますか。（複数回答）

どのようなときにこども誰でも制度を利用したいと思うかについてみると、「私用、リフレッシュ目的」が 81.6%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」が 56.6%となっています。



問 21-1 で答えたそれぞれの項目について回答

● 利用したいと希望する時間数をお答えください。

(単数回答)

利用を希望する時間数についてみると、合計では「8～10 時間」が 48.7%と最も多くなっています。

利用目的別にみると、〈不定期の就労〉では、事業の利用上限である 10 時間を超える回答が 31.3%となっています。

(就学前調査) %		1・2 時間	3・4 時間	5～7 時間	8～10 時間	11～20 時間	21 時間以上	不明・無回答
合計時間(n=76)		1.3	5.3	9.2	48.7	3.9	10.5	21.1
内訳		1・2 時間	3・4 時間	5～7 時間	8～10 時間	11～20 時間	21 時間以上	不明・無回答
利用目的	私用、リフレッシュ目的 (n=62)	6.5	14.5	29.0	33.9	9.7	4.8	1.6
	冠婚葬祭、学校行事、 通院等(n=43)	16.3	11.6	37.2	20.9	9.3	-	4.7
	不定期の就労 (n=16)	6.3	6.3	25.0	31.3	12.5	18.8	-

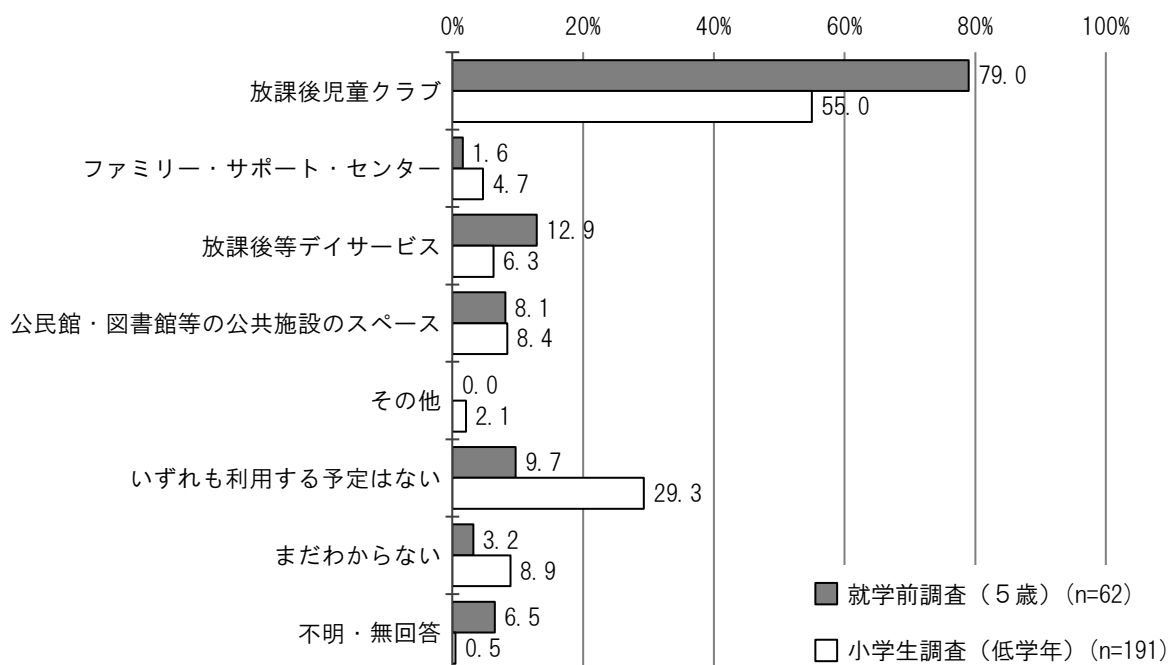
6 放課後の過ごし方について

就学前調査の「6 放課後の過ごし方」については全てお子さまが5歳の方のみ回答
問 16（小学生調査）はお子さまが1～3年生の方のみ回答

問 22（就学前調査）問 16（小学生調査） 小学校低学年（1～3年生）のうちに、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として利用したいものはありますか。（複数回答）

低学年のうちに過ごさせたい場所についてみると、＜就学前調査（5歳）＞では、「放課後児童クラブ」が79.0%と最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が12.9%となっています。

＜小学生調査（低学年）＞では、「放課後児童クラブ」が55.0%と最も多く、次いで「いずれも利用する予定はない」が29.3%となっています。



問 22（16）で答えたそれぞれの項目について回答

● それぞれの場所で過ごさせたい日数 （単数回答）

それぞれの場所で過ごさせたい日数についてみると、＜就学前調査（5歳）＞＜小学生調査（低学年）＞いずれも＜放課後児童クラブ＞で「5日以上」が8割台となっています。

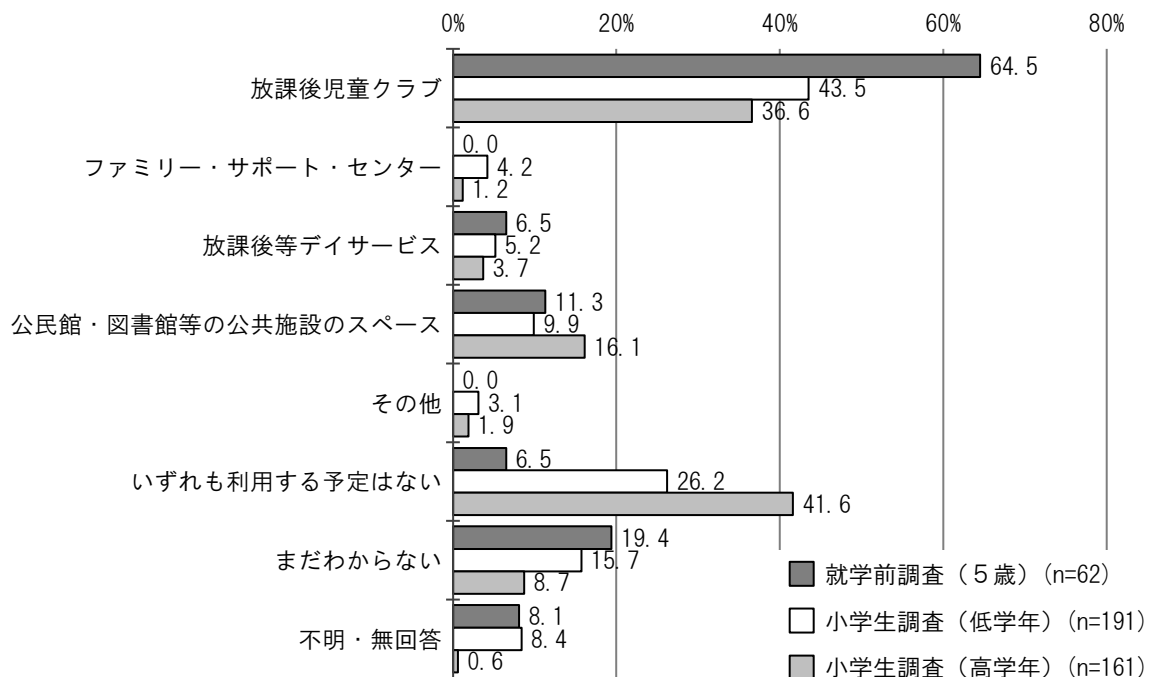
（就学前調査・5歳）%	1・2日	3・4日	5日以上	不明・無回答
放課後児童クラブ(n=49)	4.1	8.2	83.7	4.1
ファミリー・サポート・センター(n=4)	50.0	25.0	-	25.0
放課後等デイサービス(n=10)	30.0	10.0	40.0	20.0
公民館・図書館等の公共施設のスペース(n=13)	53.8	15.4	30.8	-

（小学生調査・低学年）%	1・2日	3・4日	5日以上	不明・無回答
放課後児童クラブ(n=105)	6.7	10.5	80.0	2.9
ファミリー・サポート・センター(n=9)	66.7	-	33.3	-
放課後等デイサービス(n=12)	33.3	16.7	41.7	8.3
公民館・図書館等の公共施設のスペース(n=16)	62.5	6.3	18.8	12.5

問 23（就学前調査）問 17（小学生調査） 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごす場所として利用したいものはありますか。（複数回答）

高学年のうちに過ごさせたい場所についてみると、＜就学前調査（5歳）＞では、「放課後児童クラブ」が64.5%と最も多く、次いで「まだわからない」が19.4%となっています。

＜小学生調査（低学年）＞では、「放課後児童クラブ」が43.5%と最も多く、次いで「いずれも利用する予定はない」が26.2%となっています。＜小学生調査（高学年）＞では、「いずれも利用する予定はない」が41.6%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が36.6%となっています。



問 23（17）で答えたそれぞれの項目について回答

● それぞれの場所で過ごさせたい日数

（単数回答）

それぞれの場所で過ごさせたい日数についてみると、＜就学前調査（5歳）＞＜小学生調査（低学年）＞＜小学生調査（高学年）＞それぞれ＜放課後児童クラブ＞で「5日以上」が6～7割台となっています。

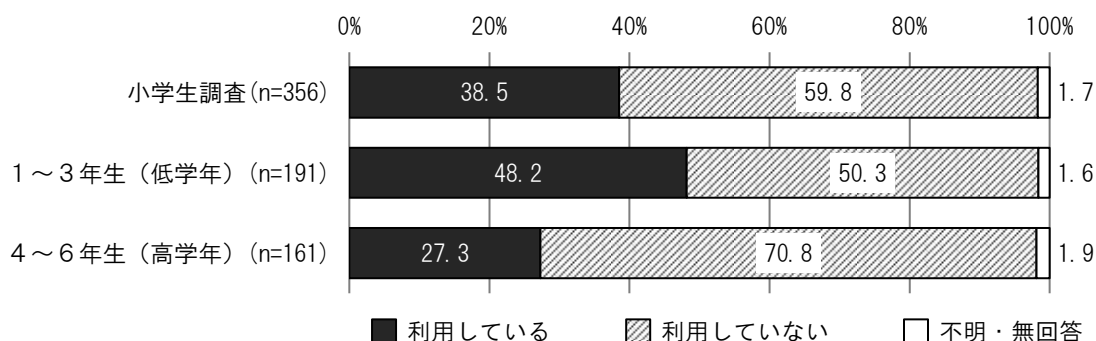
（就学前調査・5歳）%				
	1・2日	3・4日	5日以上	不明・無回答
放課後児童クラブ(n=40)	5.0	12.5	70.0	12.5
放課後等デイサービス(n=6)	33.3	-	50.0	16.7
公民館・図書館等の公共施設のスペース(n=16)	50.0	25.0	18.8	6.3

（小学生調査・低学年）%				
	1・2日	3・4日	5日以上	不明・無回答
放課後児童クラブ(n=83)	8.4	9.6	78.3	3.6
ファミリー・サポート・センター(n=8)	50.0	-	50.0	-
放課後等デイサービス(n=10)	50.0	10.0	40.0	-
公民館・図書館等の公共施設のスペース(n=19)	57.9	21.1	10.5	10.5

（小学生調査・高学年）%				
	1・2日	3・4日	5日以上	不明・無回答
放課後児童クラブ(n=59)	6.8	18.6	69.5	5.1
放課後等デイサービス(n=6)	16.7	33.3	50.0	-
公民館・図書館等の公共施設のスペース(n=26)	76.9	11.5	3.8	7.7

問 18（小学生調査） 小学生のお子さまは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。
（単数回答）

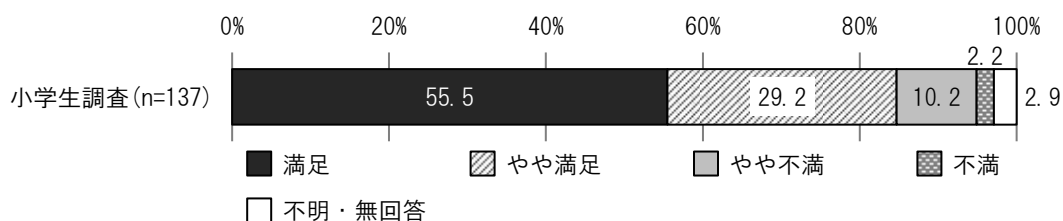
放課後児童クラブを利用しているかについてみると、「利用している」について、＜1～3年生（低学年）＞では 48.2%、＜4～6年生（高学年）＞では 27.3%となっています。



問 18 で「利用している」と答えた方のみ回答

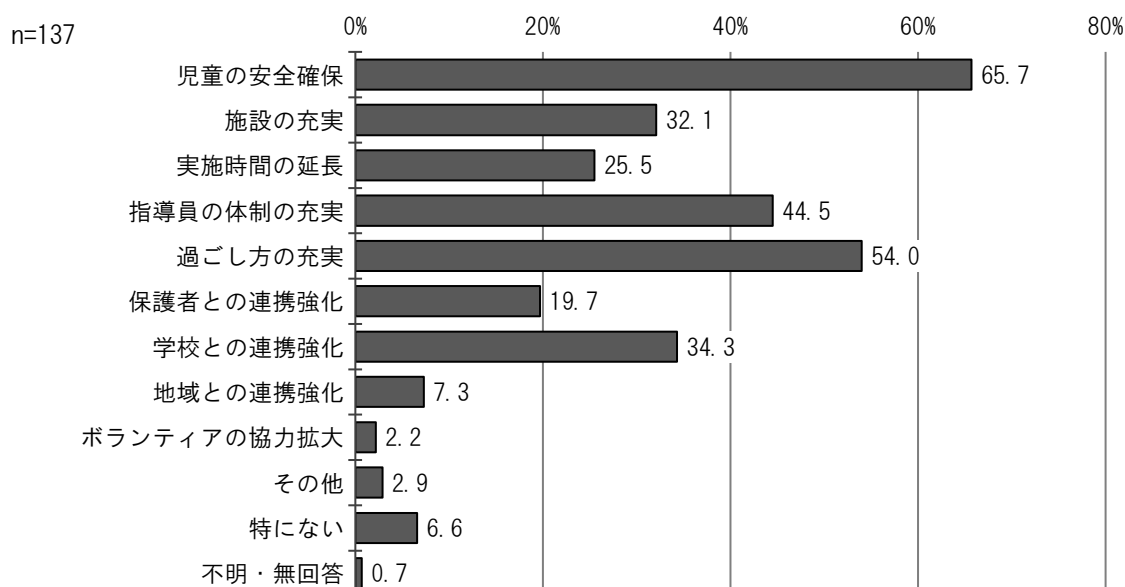
問 18-1（小学生調査） 利用した満足度はいかがですか。（単数回答）

放課後児童クラブの満足度についてみると、「満足」が 55.5%と最も多くなっています。



問 18-2 放課後児童クラブに今後望むのはどのようなことですか。（複数回答）

放課後児童クラブに今後望むことについてみると、「児童の安全確保」が 65.7%と最も多く、次いで「過ごし方の充実」が 54.0%、「指導員の体制の充実」が 44.5%となっています。

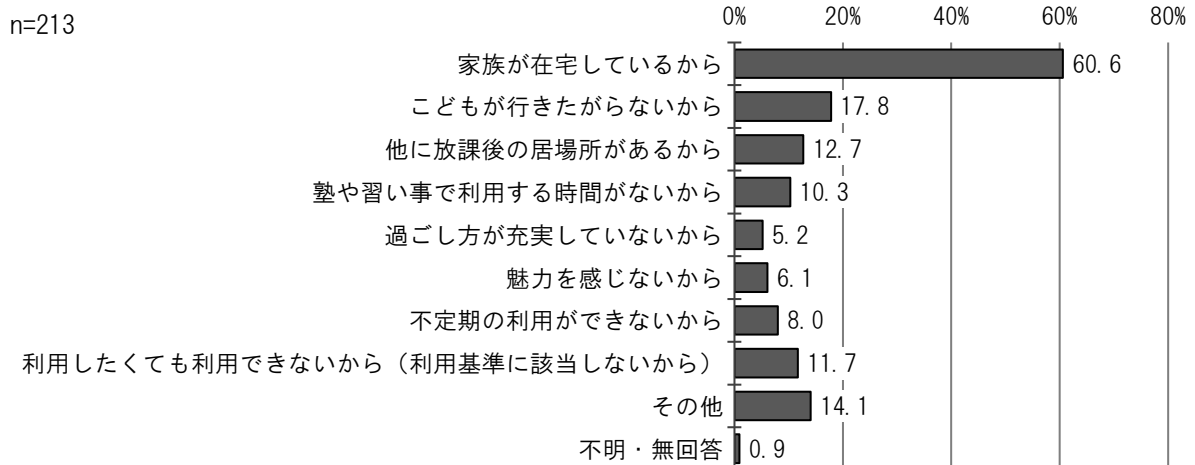


問18で「利用していない」と答えた方のみ回答

問18-3 放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。

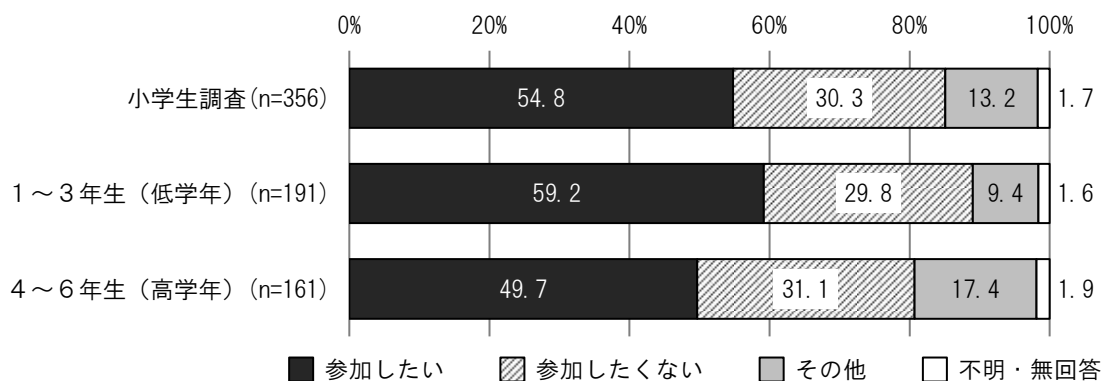
(複数回答)

放課後児童クラブを利用していない理由についてみると、「家族が在宅しているから」が60.6%と最も多くなっています。



問19 (小学生調査) 今後、「放課後子ども教室」が開催された場合、参加したいと思いますか。(単数回答)

「放課後子ども教室」に参加したいと思うかについて、「参加したい」が<1～3年生(低学年)>では59.2%、<4～6年生(高学年)>では49.7%となっています。



問20 (小学生調査) どういった内容の放課後子ども教室なら参加したいと思いますか。

放課後子ども教室の内容について、「スポーツ教室」が110件で最も多く、内容としては水泳や陸上といった種目の他、中学校の部活動と連携して欲しいという意見も挙げられています。

次いで「芸術・創作活動」が61件で、音楽やダンス、美術などが挙げられています。

「勉強・講習」は34件で、授業の補習や、科学、プログラミング、外国語などが挙げられています。

「文化体験」は20件で、昔遊びや伝統文化の体験、地域の高齢者との交流などが挙げられています。

「その他」として、内容にこだわらず実施して欲しい、こども本人の意見を聞いて欲しい、などが挙げられています。

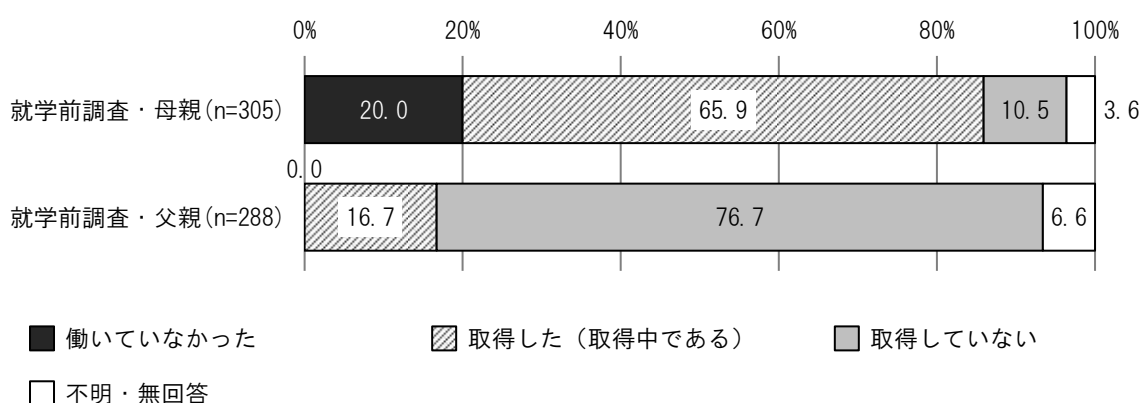
7 育児休業について[就学前調査]

問3・問4をもとにひとり親家庭等を考慮し集計対象を設定

問24（就学前調査） 就学前のお子さまが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（単数回答）

育児休業を取得したかについてみると、〈就学前調査・母親〉では、「取得した（取得中である）」が65.9%と最も多く、次いで「働いていなかった」が20.0%となっています。

〈就学前調査・父親〉では、「取得していない」が76.7%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が16.7%となっています。

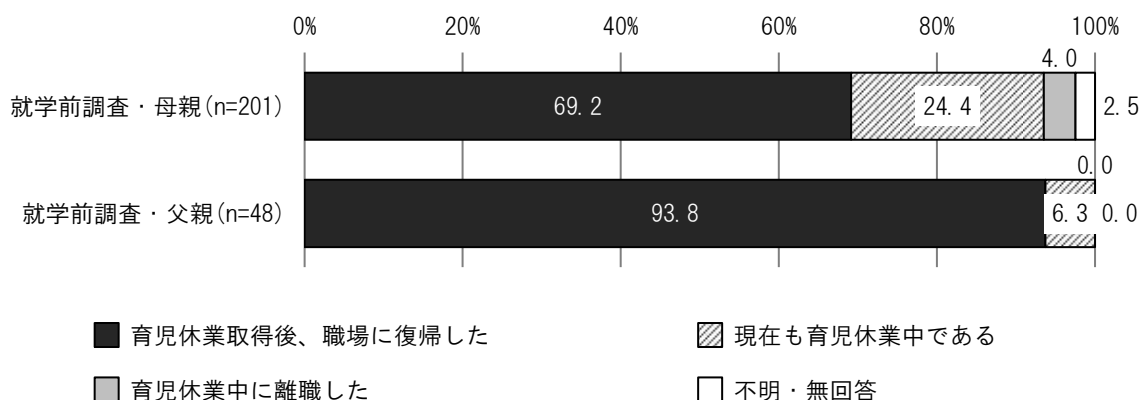


問24で「取得した（取得中である）」と答えた方のみ回答

問24-1（就学前調査） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（単数回答）

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、〈就学前調査・母親〉では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が69.2%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が24.4%となっています。

〈就学前調査・父親〉では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が93.8%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が6.3%となっています。

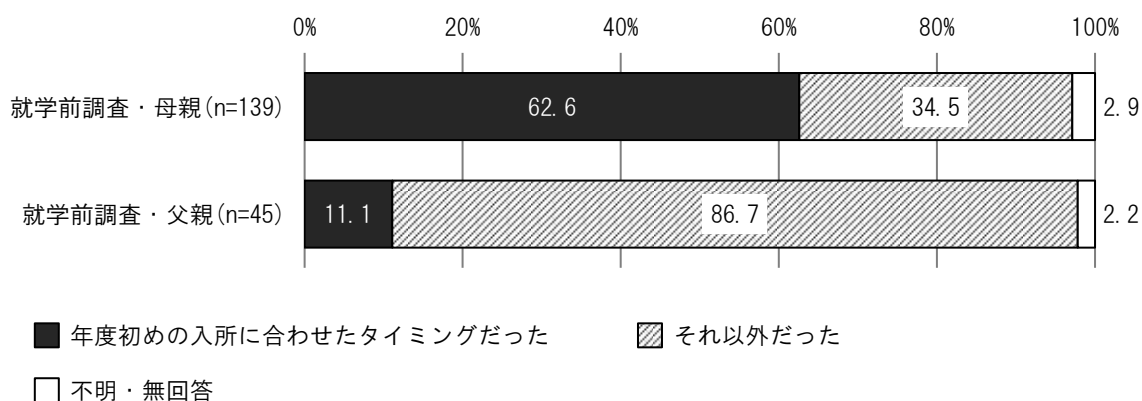


問 24-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方のみ回答

問 24-2（就学前調査） 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。（単数回答）

職場への復帰のタイミングについてみると、〈就学前調査・母親〉では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 62.6%と最も多く、次いで「それ以外だった」が 34.5%となっています。

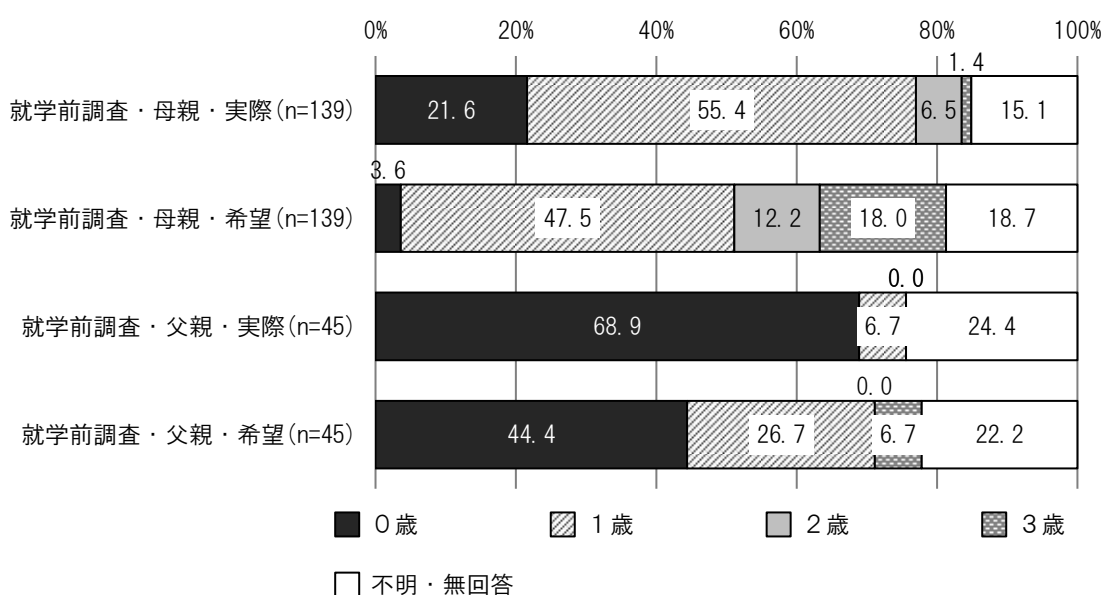
〈就学前調査・父親〉では、「それ以外だった」が 86.7%と最も多く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 11.1%となっています。



問 24-3（就学前調査） 育児休業からは、「実際に」就学前のお子さまが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、何歳何ヶ月の時まで取りたかったですか。（単数回答）

育児休業の取得期間について、母親においては、〈実際〉では、「1歳」が 55.4%と最も多く、次いで「0歳」が 21.6%となっています。〈希望〉では、〈実際〉より「0歳」「1歳」が少なく、「2歳」「3歳」が多くなっています。

父親においては、〈実際〉では、「0歳」が 68.9%と最も多く、次いで「1歳」が 6.7%となっています。〈希望〉では、〈実際〉より「0歳」が少なく、「1歳」「3歳」が多くなっています。

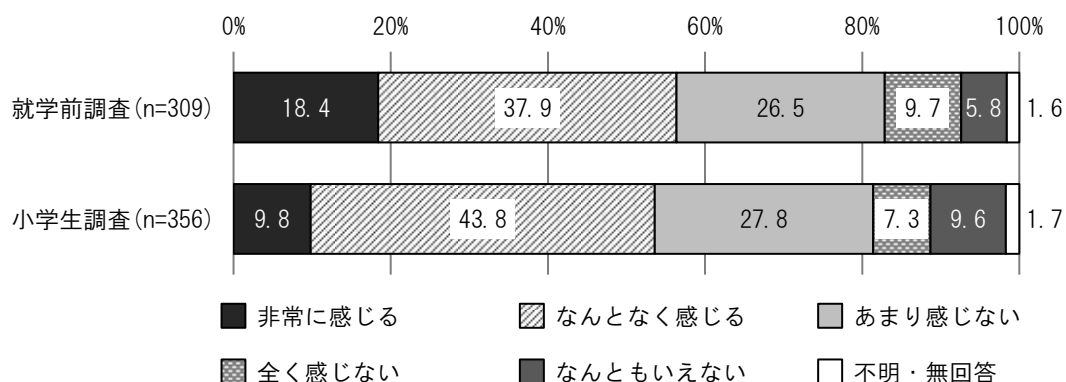


8 子育て環境について

問 25（就学前調査）問 21（小学生調査） あなたは子育てに関して不安感や負担等を感じますか。（単数回答）

子育てに関して不安感や負担等を感じるかについてみると、＜就学前調査＞では、「なんとなく感じる」が37.9%と最も多く、次いで「あまり感じない」が26.5%となっています。

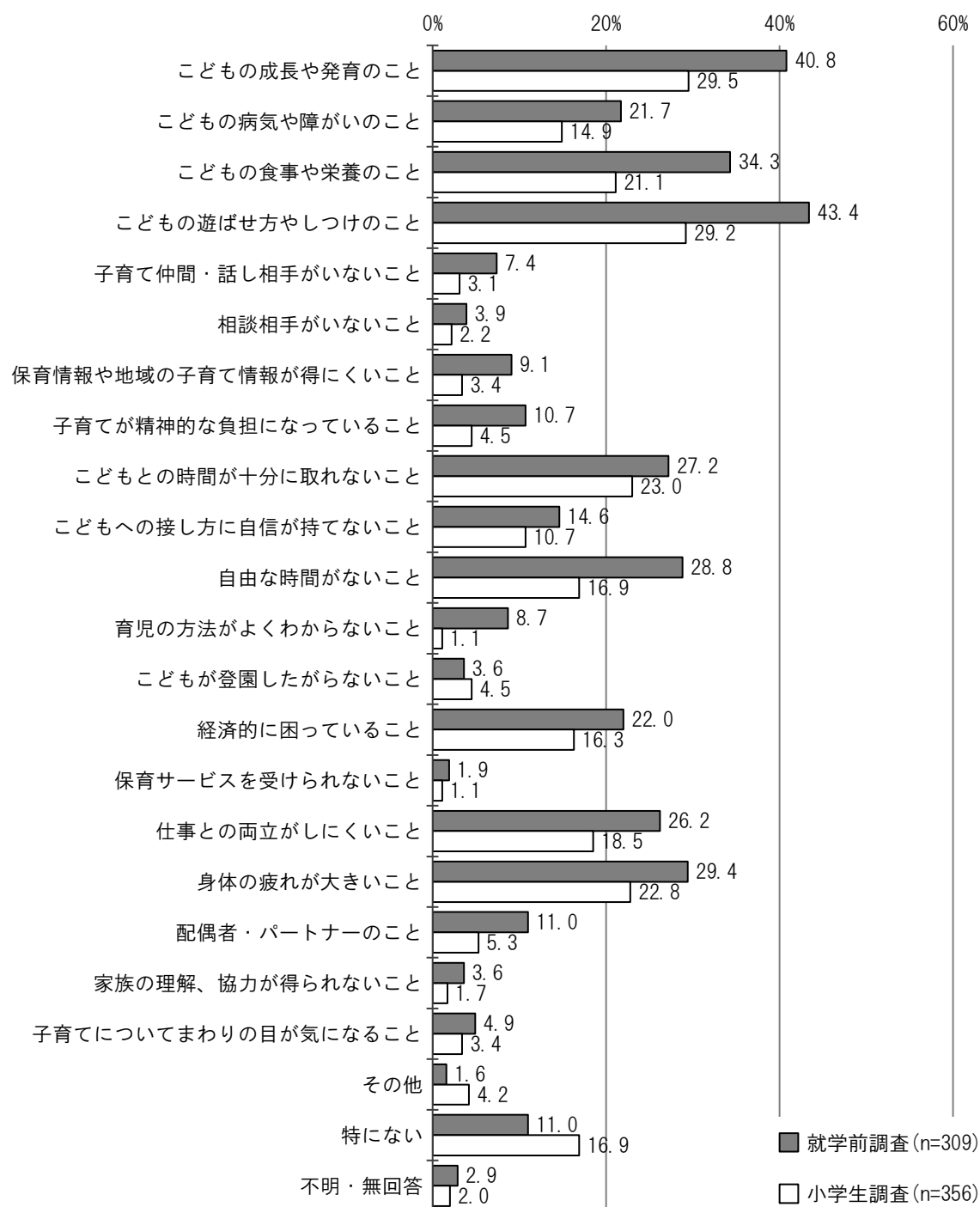
＜小学生調査＞では、「なんとなく感じる」が43.8%と最も多く、次いで「あまり感じない」が27.8%となっています。



問 26（就学前調査）問 22（小学生調査） あなたは子育てに関して困ったこと、悩んでいることがありますか。（複数回答）

子育てに関して困ったこと、悩んでいることについてみると、〈就学前調査〉では、「こどもの遊ばせ方やしつけのこと」が43.4%と最も多く、次いで「こどもの成長や発育のこと」が40.8%となっています。

〈小学生調査〉では、「こどもの成長や発育のこと」が29.5%と最も多く、次いで「こどもの遊ばせ方やしつけのこと」が29.2%となっています。



（次の見開きに、学年齢別・子育ての負担度合い別の結果を掲載しています）

問 26（就学前調査）問 22（小学生調査） あなたは子育てに関して困ったこと、悩んでいることがありますか。 × 学年齢別 （複数回答）

子育てに関して困ったことや悩んでいることについて学年齢別にみると、多くの項目で＜0～2歳＞において他の年代と比較して多い傾向がみられ、「こどもの成長や発育のこと」が 48.2%、「こどもの食事や栄養のこと」が 39.4%、「自由な時間が無いこと」が 32.1%となっています。

一方で、「こどもとの時間が十分とれないこと」は＜3～5歳＞において他の年代と比較して多く、34.2%となっています。

また、「こどもの遊ばせ方やしつけのこと」は、＜0～2歳＞＜3～5歳＞いずれも4割台となっています。

%	こどもの成長や発育のこと	こどもの病気や障がいのこと	こどもの食事や栄養のこと	こどもの遊ばせ方やしつけのこと	子育て仲間・話し相手がいらないこと	相談相手がいらないこと	保育情報や地域の子育て情報が得にくいこと
0～2歳(n=137)	48.2	22.6	39.4	43.8	10.2	3.6	13.1
3～5歳(n=161)	34.8	22.4	29.8	43.5	5.0	3.1	6.2
1～3年生（低学年）(n=191)	30.9	17.3	23.0	30.4	3.1	3.7	3.7
4～6年生（高学年）(n=161)	26.7	12.4	17.4	28.0	3.1	0.6	3.1
%	子育てが精神的な負担になっていること	こどもとの時間が十分に取れないこと	こどもへの接し方に自信が持てないこと	自由な時間がないこと	育児の方法がよくわからないこと	こどもが登園したがること	経済的に困っていること
0～2歳(n=137)	13.1	19.0	20.4	32.1	13.1	1.5	20.4
3～5歳(n=161)	9.3	34.2	10.6	26.1	5.6	5.6	21.7
1～3年生（低学年）(n=191)	5.8	23.0	11.5	18.3	1.0	4.7	14.1
4～6年生（高学年）(n=161)	3.1	23.6	9.9	14.9	1.2	4.3	18.6
%	保育サービスを受けられないこと	仕事との両立がしにくいこと	身体の疲れが大きいこと	配偶者・パートナーのこと	家族の理解、協力が得られないこと	子育てについてまわりの目が気になること	その他
0～2歳(n=137)	2.9	27.7	28.5	10.9	2.2	3.6	0.7
3～5歳(n=161)	1.2	24.2	30.4	10.6	4.3	6.2	1.9
1～3年生（低学年）(n=191)	1.6	20.9	23.0	5.2	1.6	4.2	4.7
4～6年生（高学年）(n=161)	0.6	14.9	22.4	5.6	1.9	2.5	3.7
%	特になし	不明・無回答					
0～2歳(n=137)	9.5	2.2					
3～5歳(n=161)	12.4	3.7					
1～3年生（低学年）(n=191)	19.9	2.1					
4～6年生（高学年）(n=161)	13.7	1.9					

問 26 (就学前調査) 問 22 (小学生調査) あなたは子育てに関して困ったこと、悩んでいることがありますか。 × 子育ての負担度合い別 (複数回答)

子育てに関して困ったことや悩んでいることについて、不安や負担をどの程度感じるか(問 25)別にみると、全体として不安や負担を感じる方において悩んでいる割合が高い項目が多くなっています。

就学前調査においては、「こどもの成長や発育のこと」「子育てが精神的な負担になっていること」「自由な時間がないこと」「経済的に困っていること」「仕事との両立がしにくいこと」「身体の疲れが大きいこと」で、特に「不安や負担を非常に感じる」での割合が高くなっています。

また、小学生調査においては、「こどもの病気や障がいのこと」「こどもの遊ばせ方やしつけのこと」「子育てが精神的な負担になっていること」「こどもへの接し方に自信が持てないこと」「自由な時間がないこと」「経済的に困っていること」「仕事との両立がしにくいこと」「身体の疲れが大きいこと」で、特に「不安や負担を非常に感じる」での割合が高くなっています。

%	こどもの成長や発育のこと	こどもの病気や障がいのこと	こどもの食事や栄養のこと	こどもの遊ばせ方やしつけのこと	子育て仲間・話し相手がないこと	相談相手がないこと
就学前調査(n=309)	40.8	21.7	34.3	43.4	7.4	3.9
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=57)	57.9	31.6	36.8	54.4	8.8	8.8
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=117)	51.3	28.2	44.4	59.0	10.3	4.3
小学生調査(n=356)	29.5	14.9	21.1	29.2	3.1	2.2
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=35)	42.9	31.4	14.3	45.7	5.7	2.9
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=156)	41.0	17.9	26.3	37.8	4.5	3.2
%	保育情報や地域の子育て情報が得にくいこと	子育てが精神的な負担になっていること	こどもとの時間が十分に取れないこと	こどもへの接し方に自信が持てないこと	自由な時間がないこと	育児の方法がよくわからないこと
就学前調査(n=309)	9.1	10.7	27.2	14.6	28.8	8.7
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=57)	15.8	26.3	38.6	24.6	43.9	15.8
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=117)	6.8	13.7	32.5	20.5	35.9	13.7
小学生調査(n=356)	3.4	4.5	23.0	10.7	16.9	1.1
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=35)	8.6	25.7	37.1	31.4	45.7	2.9
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=156)	4.5	3.2	26.9	14.1	19.2	1.3
%	こどもが登園したがないこと	経済的に困っていること	保育サービスを受けられないこと	仕事との両立がしにくいこと	身体の疲れが大きいこと	配偶者・パートナーのこと
就学前調査(n=309)	3.6	22.0	1.9	26.2	29.4	11.0
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=57)	3.5	40.4	3.5	47.4	49.1	14.0
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=117)	6.0	22.2	2.6	31.6	36.8	14.5
小学生調査(n=356)	4.5	16.3	1.1	18.5	22.8	5.3
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=35)	11.4	37.1	2.9	40.0	54.3	11.4
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=156)	4.5	16.7	1.3	20.5	25.0	5.8
%	家族の理解、協力が得られないこと	子育てについてまわりの目が気になること	その他	特にない	不明・無回答	
就学前調査(n=309)	3.6	4.9	1.6	11.0	2.9	
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=57)	3.5	7.0	1.8	1.8	1.8	
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=117)	6.0	6.0	2.6	0.9	-	
小学生調査(n=356)	1.7	3.4	4.2	16.9	2.0	
(うち、不安や負担を非常に感じる)(n=35)	5.7	8.6	5.7	-	-	
(うち、不安や負担をなんとなく感じる)(n=156)	1.9	5.1	4.5	5.1	-	

問 23（小学生調査） 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。
（複数回答）

子育てに関して、地域の人にどのようなことを望むかについてみると、＜1～3年生（低学年）＞では、「こどもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい」が 56.0%と最も多く、次いで「こどもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけてほしい」が 39.3%となっています。

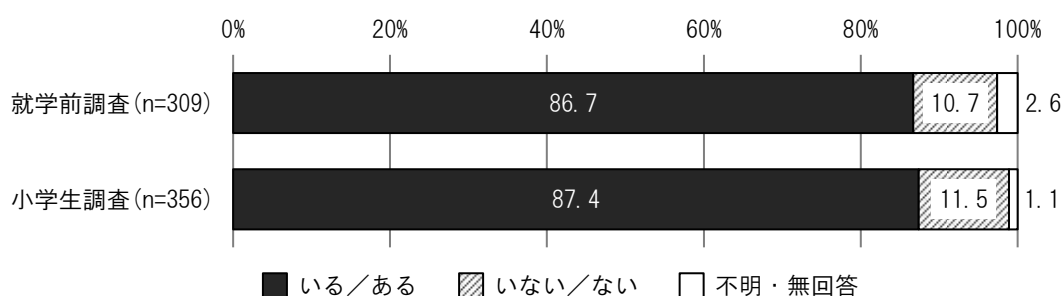
＜4～6年生（高学年）＞では、「こどもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけてほしい」が 38.5%と最も多く、次いで「こどもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい」が 37.9%となっています。

%	こどもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけてほしい	親子が参加するイベント等、多世代の交流に参加してほしい	話し相手や相談相手になってほしい	こどもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をしてほしい	用事があるとき等に、こどもを預かってほしい	子育てに関してあまり干渉しないでほしい	その他
小学生調査(n=356)	39.0	16.9	4.2	48.0	6.5	11.5	3.9
1～3年生（低学年）(n=191)	39.3	15.7	6.8	56.0	8.9	10.5	3.1
4～6年生（高学年）(n=161)	38.5	18.0	1.2	37.9	3.7	12.4	5.0
%	特になし	不明・無回答					
小学生調査(n=356)	18.0	3.9					
1～3年生（低学年）(n=191)	17.8	3.7					
4～6年生（高学年）(n=161)	18.0	4.3					

問 27（就学前調査）問 24（小学生調査） 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（単数回答）

気軽に相談できる人や場所についてみると、＜就学前調査＞では、「いる／ある」が 86.7%、「いない／ない」が 10.7%となっています。

＜小学生調査＞では、「いる／ある」が 87.4%、「いない／ない」が 11.5%となっています。

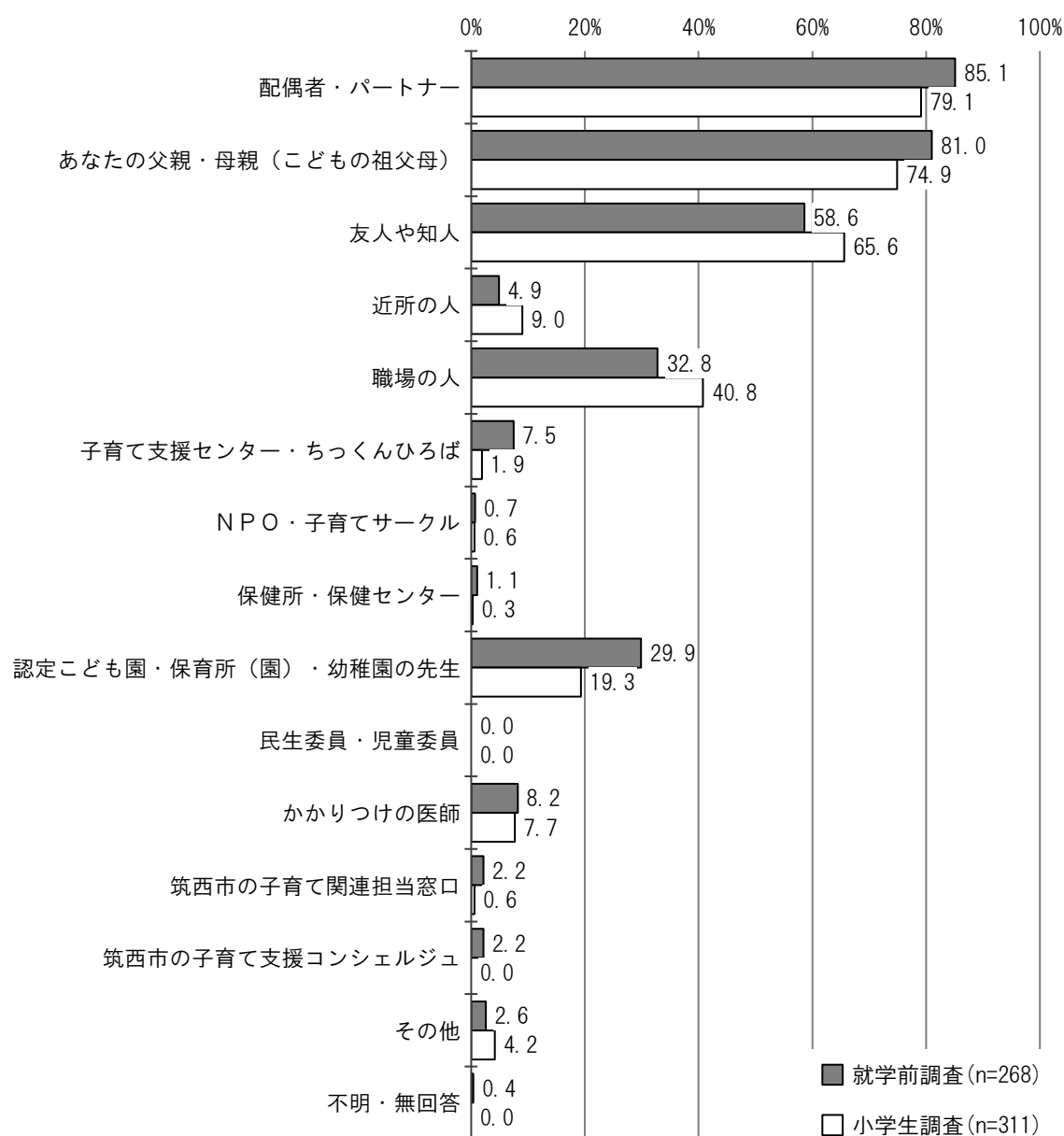


問27(24)で「いる／ある」と答えた方のみ回答

問27-1(就学前調査) 問24-1(小学生調査) 子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

子育てに関して気軽に相談できる先についてみると、<就学前調査>では、「配偶者・パートナー」が85.1%と最も多く、次いで「あなたの父親・母親(こどもの祖父母)」が81.0%となっています。

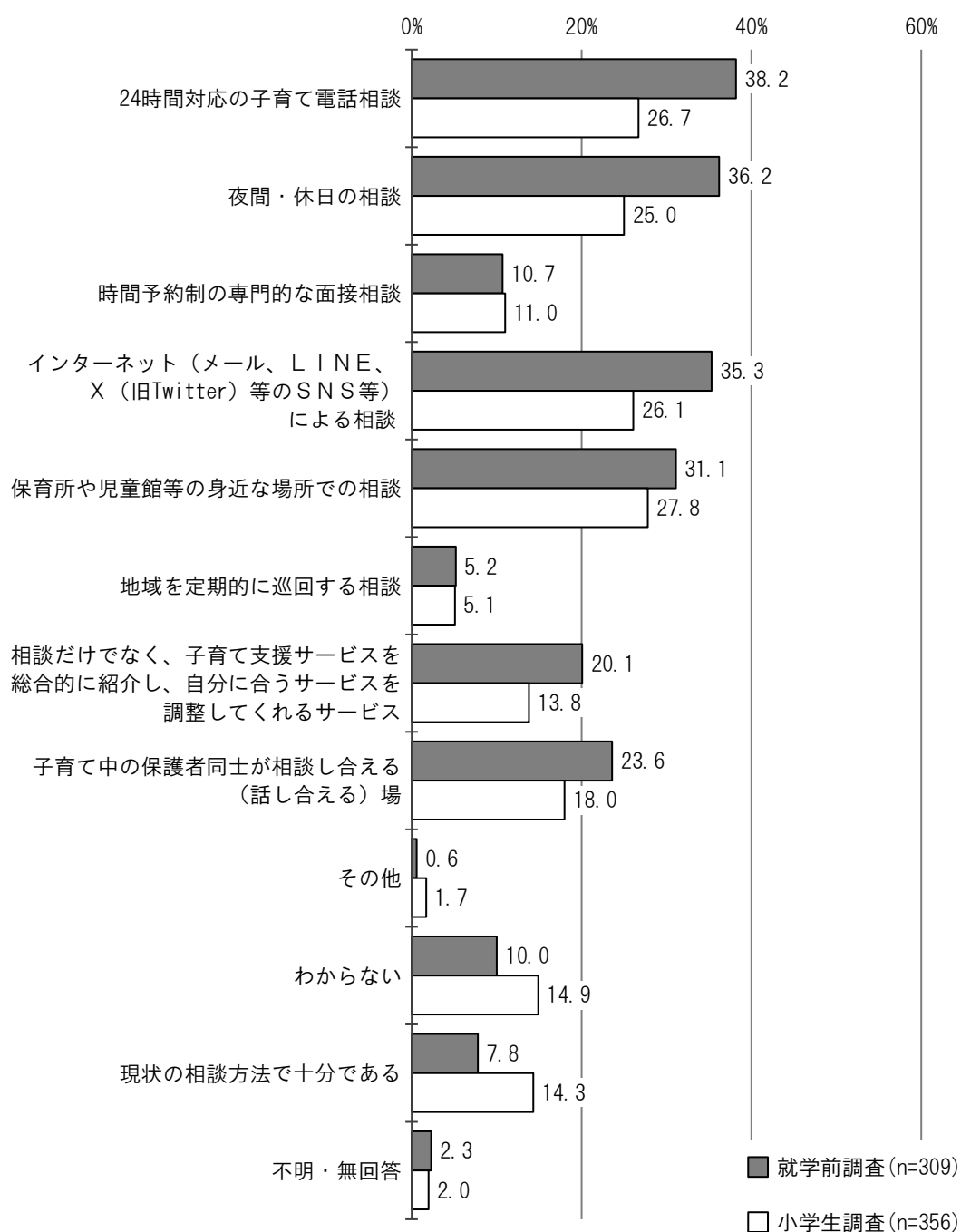
<小学生調査>では、「配偶者・パートナー」が79.1%と最も多く、次いで「あなたの父親・母親(こどもの祖父母)」が74.9%となっています。



問 28（就学前調査）問 25（小学生調査） 子育てに関する相談について、どのような相談方法が必要だと思いますか。（複数回答）

必要だと思う相談方法についてみると、＜就学前調査＞では、「24 時間対応の子育て電話相談」が 38.2%と最も多く、次いで「夜間・休日の相談」が 36.2%となっています。

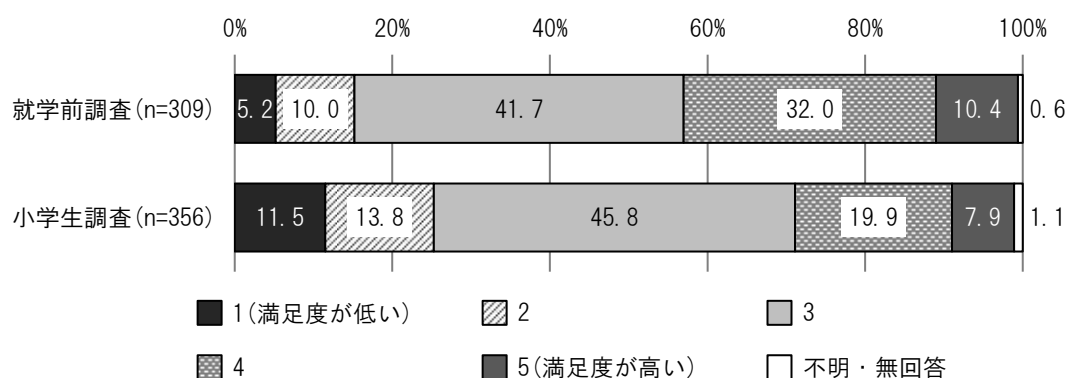
＜小学生調査＞では、「保育所や児童館等の身近な場所での相談」が 27.8%と最も多く、次いで「24 時間対応の子育て電話相談」が 26.7%となっています。



問 29（就学前調査）問 26（小学生調査） 筑西市における子育ての環境や支援への満足度
についてお答えください。（単数回答）

子育ての環境や支援への満足度についてみると、＜就学前調査＞では、「3」が 41.7%と最も多く、次いで「4」が 32.0%となっています。

＜小学生調査＞では、「3」が 45.8%と最も多く、次いで「4」が 19.9%となっています。



（満足度の点数を答えた理由について、次の見開きに取りまとめています）

問 29-1（就学前調査）問 26-1（小学生調査） 問 29（問 26）の満足度を選んだ理由がありましたら、ご自由にお書きください。

（就学前調査）

分類	件数	主なご意見（□内は問 29 の点数）
教育・保育事業について	4	3点 保育所にすぐに入園させることができた。 4点 放課後児童クラブや保育所の希望が通りづらい。
こどもが病気のときの対応について	8	3点 夜間や休日の医療体制がよくないと感じる。 3点 病児保育が利用できないことが多く、定員数を増やしてほしい。
その他の地域子ども・子育て支援事業や、相談支援について	40	1点 発達や子育ての悩みについて、気軽に相談しづらい。 2点 仕事をしていると、子育てに関する相談をしたくても、する時間が取れずにそのままにしてしまう。相談できる時間や場所を広げ、平日は働いているという人でも相談しやすいようにしてほしい。 2点 支援や補助金があることはありがたいが、どのような支援があるかあまり把握できていないように思う。 3点 市役所の中で、ワンストップで相談できる窓口があればよい。 3点 子育て支援が多様化する中で、保護者にとってのサービスの視点よりも、子ども本人にとってのサービスという視点で、子どもにとってより有意義なサービスを提供してほしい。 3点 こどもが小学校に進学するタイミングで、職場で時短勤務ができなくなるため、この先の仕事と子育ての両立に不安を感じている。いわゆる小1の壁の対策に取り組んでほしい。 5点 子育て支援センターや育児相談、図書館の育児コンシェルジュなどは通いやすく、職員や子育て仲間に相談ができるので、困ったときに解決につながりやすい。
経済的支援や手当の支給等について	60	1点 幼稚園の食費負担が大きい。 4点 医療費の負担がもう少し少なくなれば良い。 4点 出産祝金や子育て支援金などの金銭的な助成はありがたい。
こどもの遊び場・居場所について	31	1点 こども同士、親子同士で交流できるイベントがあれば良い。 3点 ちっくん広場のような室内で遊べる場所を増やしてほしい。 3点 小さなこどもが遊べる公園が少ない。 4点 子育てコンシェルジュや図書館を利用しやすく、読み聞かせなどのイベントも多いので、お出かけの予定を考えやすい。 4点 ちっくん広場は他市町からも訪れる人がいるなど評判が良い。
その他	5	2点 職場での残業が多く、家庭との両立に苦労している。 3点 発達障がいの子どものための施設の空きがほとんどなく、困った。

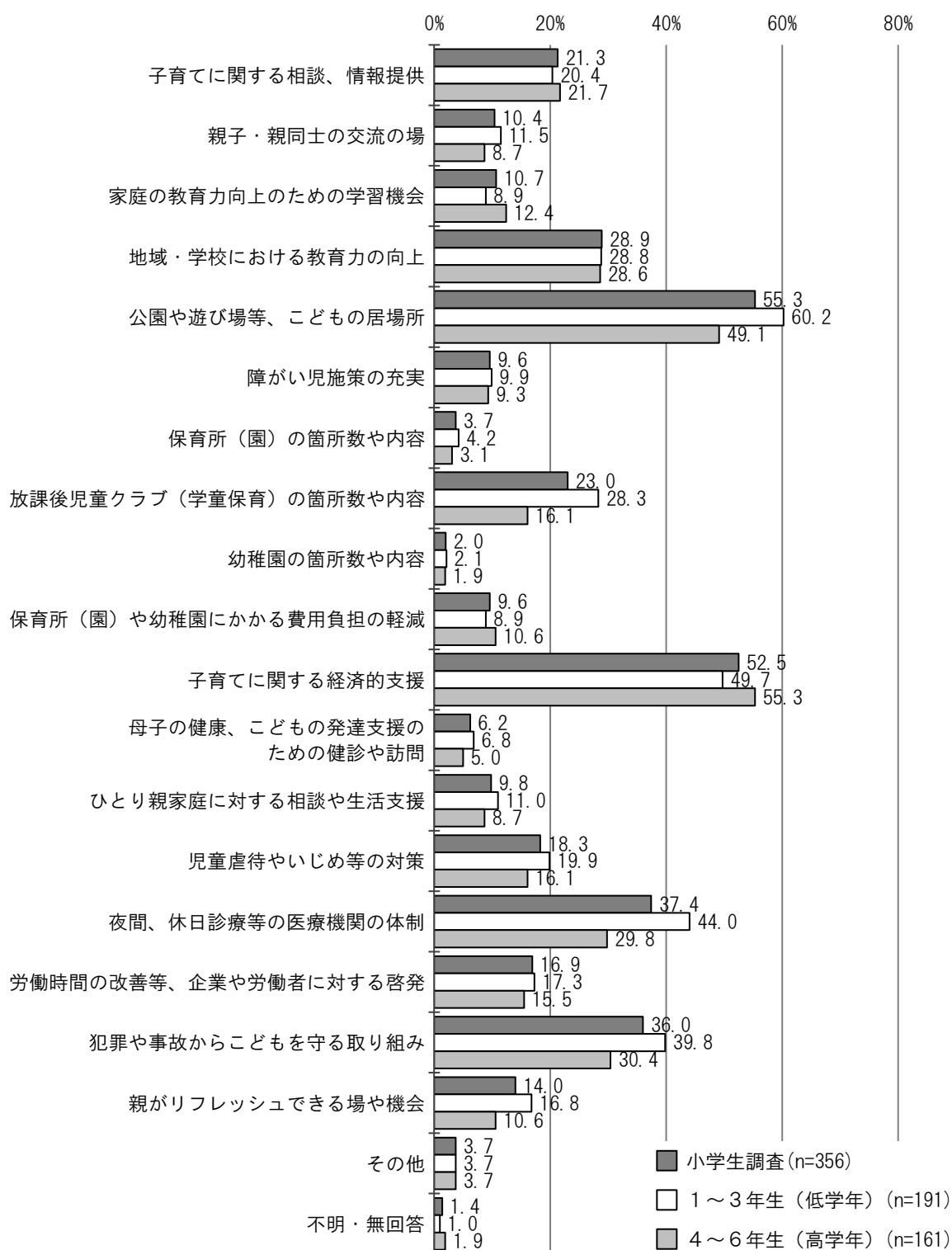
(小学生調査)

分類	件数	主なご意見（□内は問26の点数）
放課後児童クラブについて	14	1点 放課後児童クラブの保育環境、指導員の指導が不満で、通うのをやめた。 1点 放課後児童クラブを利用できず、子どもが1人で留守番する状況になっており、選考に納得がいかない。 2点 放課後児童クラブについて、毎日ではなく、週に1回など急な用事の時に使えれば良い。
こどもが病気のと きの対応について	4	2点 夜間・休日にみてもらえる病院が少ないため、遠方の病院まで行くことになる。
その他の子育て支 援、相談支援につ いて	22	1点 支援の内容などについて、窓口で聞かないと分からないことが多い。 2点 保育所に通っていたときに、仕事の時間を細かく聞かれたうえで希望した通りに利用できず、時間に余裕を持つことができなかった。預けやすい雰囲気があれば良い。 4点 子育て支援センターで、悩みや不安を相談できて助かった。 4点 情報発信がよくできていると思う。
経済的支援や手当 の支給等について	49	1点 給食費や医療費の負担減に取り組んでほしい。 1点 収入が上がったことにより、ひとり親家庭への支援を利用できなくなった。 5点 学用品の無償提供が充実している。
こどもの遊び場・ 居場所について	16	3点 こどもが気軽に行ける安全な居場所がなく、家にこもりがちで運動不足になっている。 3点 近くに公民館や図書館等の公共施設のスペースがないので、放課後や休みの日に1人で利用できない。勉強ができるような居場所が、送迎が不要な距離にあればよい。 4点 市のイベントや、市の情報提供から得た英語教室などに通えて満足している。 4点 公園、ちっくん広場、図書館などこどもが無料で遊べる場所が近くにたくさんある。
その他	21	3点 市民の声をもっと聴いて反映して欲しい。 4点 市役所の出張所でこども関連の手続きをできるようにしてほしい。

問 27（小学生調査） 今後、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。
（複数回答）

充実を図ってほしい子育て支援についてみると、＜1～3年生（低学年）＞では、「公園や遊び場等、こどもの居場所」が 60.2%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援」が 49.7%となっています。

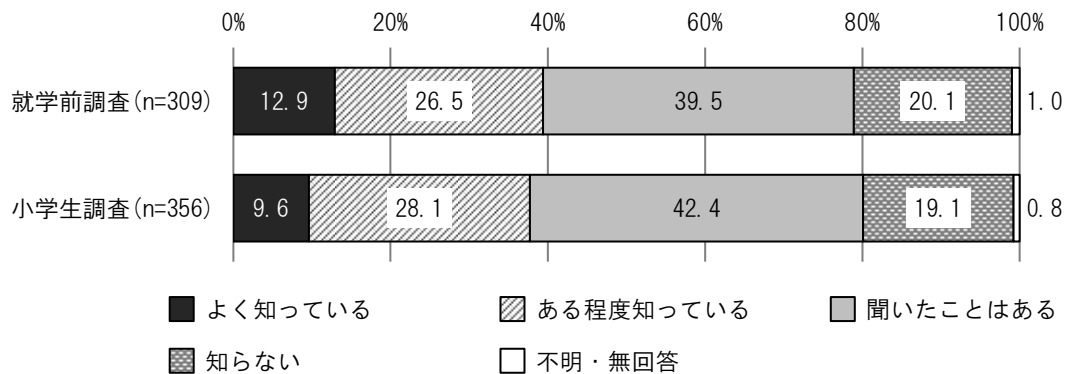
＜4～6年生（高学年）＞では、「子育てに関する経済的支援」が 55.3%と最も多く、次いで「公園や遊び場等、こどもの居場所」が 49.1%となっています。



9 こどもの権利について

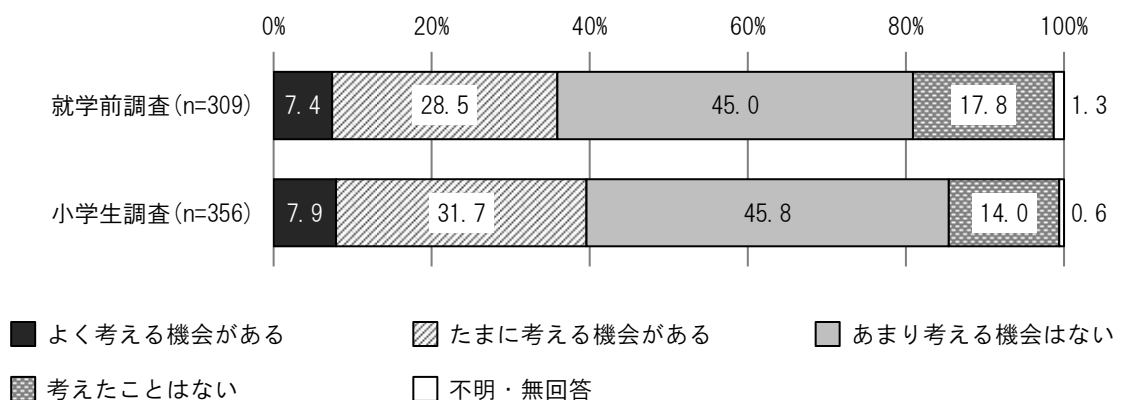
問 30（就学前調査）問 28（小学生調査） あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。（単数回答）

「こどもの権利」を知っているかについてみると、＜就学前調査＞＜小学生調査＞いずれも、「聞いたことはある」が4割前後と最も多く、次いで「ある程度知っている」が2割台後半となっています。



問 31（就学前調査）問 29（小学生調査） あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。（単数回答）

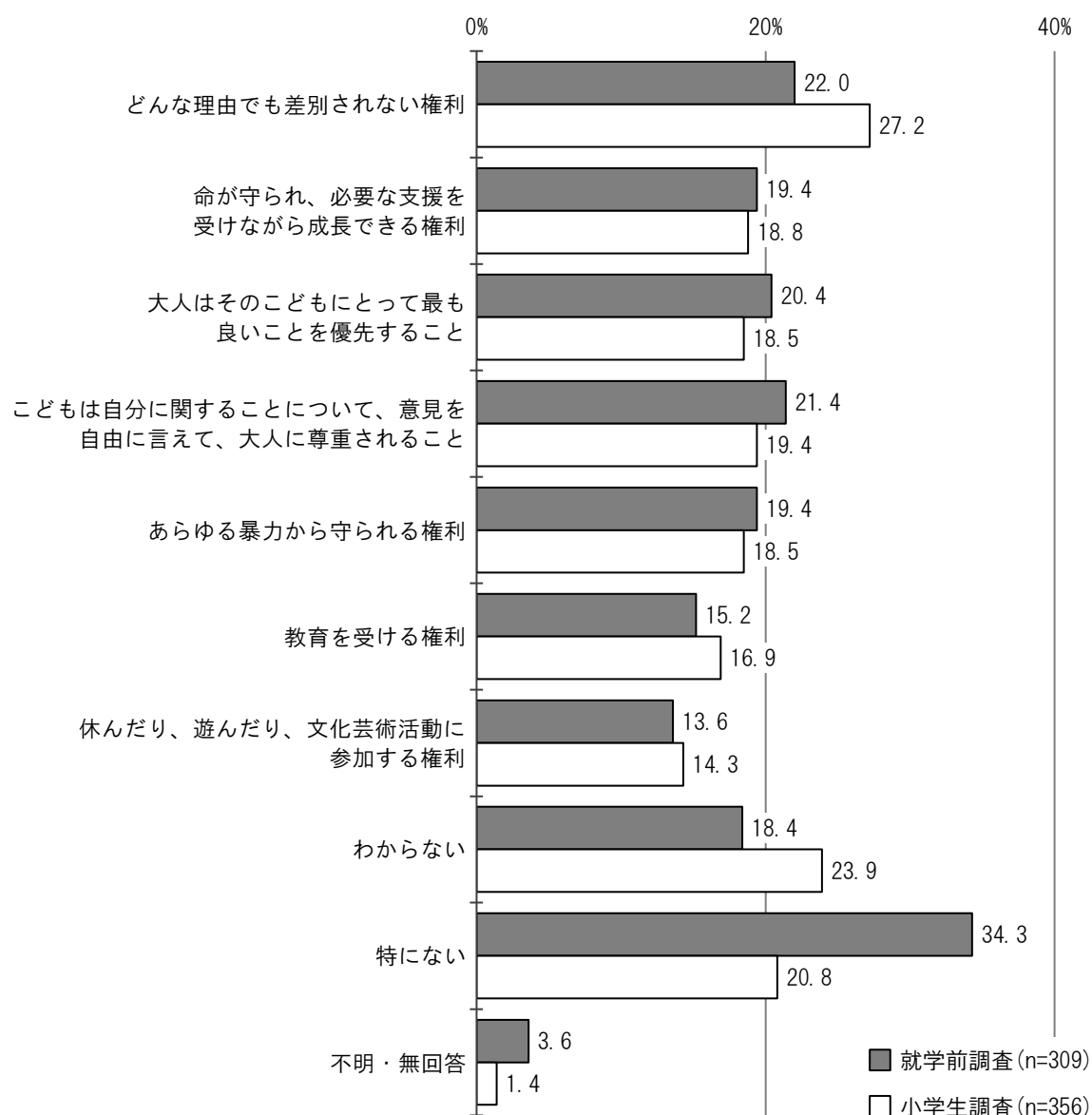
「こどもの権利」について考えることがあるかについてみると、＜就学前調査＞＜小学生調査＞いずれも、「あまり考える機会はない」が4割台半ばと最も多く、次いで「たまに考える機会がある」が3割前後となっています。



問 32（就学前調査）問 30（小学生調査） あなたのまわりのこどもについて、次にあげる「こどもの権利」が守られていないと感じるものがありますか。（複数回答）

守られていないと感じる権利についてみると、＜就学前調査＞では、「特にない」が 34.3%と最も多く、次いで「どんな理由でも差別されない権利」が 22.0%となっています。

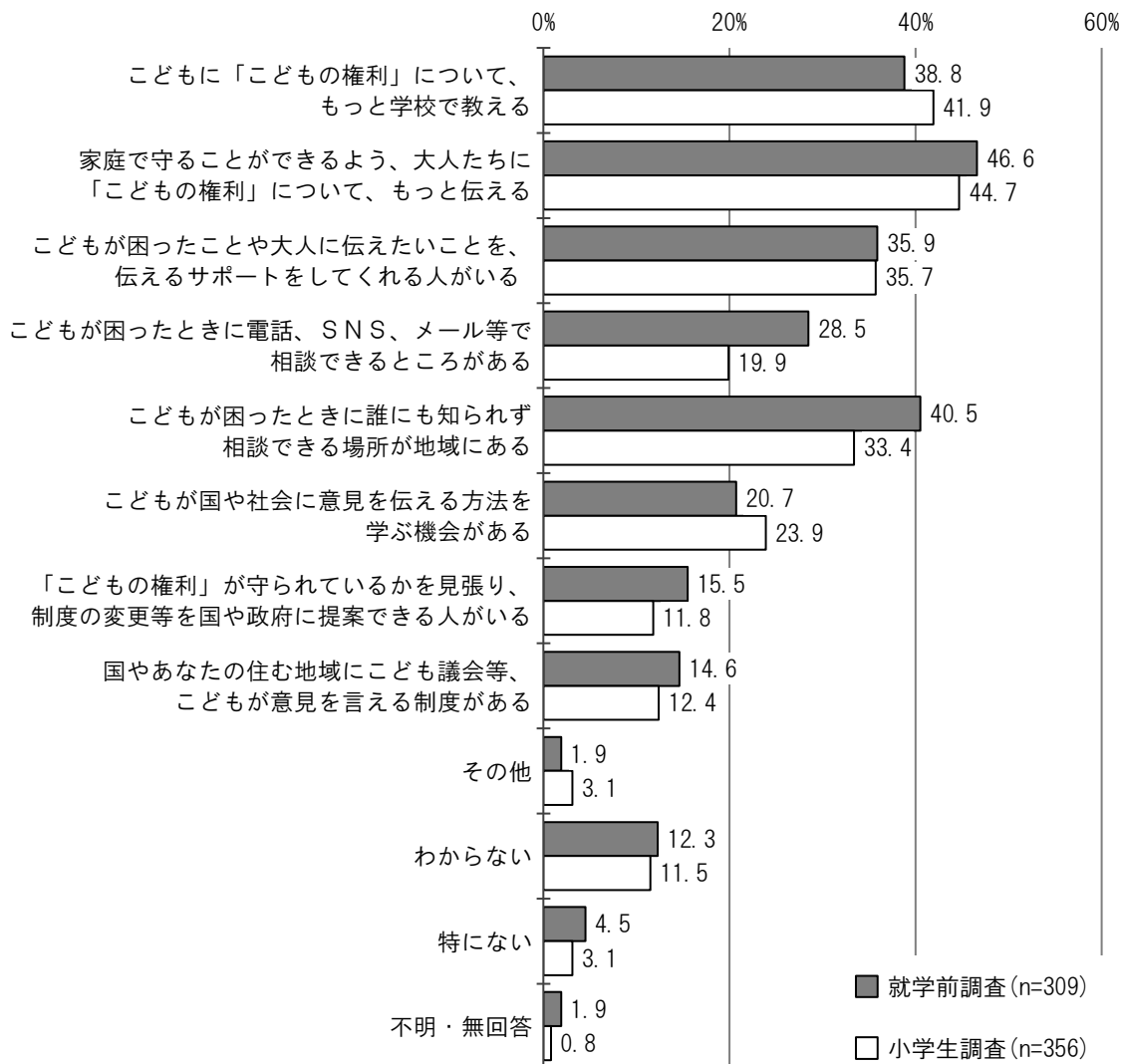
＜小学生調査＞では、「どんな理由でも差別されない権利」が 27.2%と最も多く、次いで「わからない」が 23.9%となっています。



問33（就学前調査）問31（小学生調査） あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思いますか。（複数回答）

「こどもの権利」を守るための仕組みについてみると、〈就学前調査〉では、「家庭で守ることができるよう、大人たちに「こどもの権利」について、もっと伝える」が46.6%と最も多く、次いで「こどもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所が地域にある」が40.5%となっています。

〈小学生調査〉では、「家庭で守ることができるよう、大人たちに「こどもの権利」について、もっと伝える」が44.7%と最も多く、次いで「こどもに「こどもの権利」について、もっと学校で教える」が41.9%となっています。



- 最後に、保育環境の充実等、子育ての環境や支援に関するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

子育ての環境や支援に関するご意見についての回答件数及び、主なご意見については次のとおりです。

(就学前調査)

分類	件数	主なご意見
教育・保育事業について	19	○シフト制等で就労する母親が増える中、土曜日・日曜日に子どもを預けやすい環境を整えてほしい。現状の土曜保育は、気軽に利用できない。 ○仕事がフルリモートであることを理由に、認定こども園の利用を断られた。時代に応じて利用を認めてほしい。 ○保育認定において通勤時間が含まれないため、保育短時間で事業を利用しているが、遠方まで通勤しているため、送り迎えの負担や調整が大変。近隣市では、1時間まで通勤時間を加算できるような制度もあるそうなので、検討して欲しい。 ○近隣市では、認定こども園において、外国語やスポーツをカリキュラムに取り入れているところがある。共働きで習い事の送迎が難しい中、そのような機会を確保頂けると良い。 ○認定こども園の先生の退職が多いように感じる。担い手の確保や、園の運営体制の支援など、市役所でも対応を検討して欲しい。
こどもが病気のときの対応について	12	○病児保育の定員が少なく、インフルエンザの流行時等は満員で利用できないことがあったため、定員を増やしてほしい。 ○実家が遠く頼ることが難しいため、特にこどもが病気の際の対応を充実していただけるとありがたい。 ○夜間や休日に対応していただける病院があれば良い。
その他の地域子ども・子育て支援事業や、相談支援について	28	○保育所の一時預かりを利用しているが、人手不足のため利用できる回数が制限されている。 ○一時預かりの申請は事前に申し込みが必要であるため、保護者が急病の際などの利用が難しい。別の事業として、緊急時に利用できるものがあれば良い。 ○リフレッシュ目的で一時預かりを使えるようにしてほしい。 ○地域の人をお願いしたい子育て支援として、直接こどもをみてもらうというよりは、保護者が病気の際の買い物の代行などのほうがお願いをしやすいと思う。 ○小1の壁について、理解を深めていただき、仕事と子育てを両立できるような制度を充実させてほしい。

分類	件数	主なご意見
経済的支援や手当の支給等について	29	○ひとり親世帯の手当について、収入が基準を上回ったことで受け取れなかった。収入があっても、子どもと関わる時間が少なくなっているような現状は有るので、受け取れるようにしてほしい。 ○物価が上がっている中、給料が変わらず、生活が苦しくなってきた。支援金が増えてほしい。 ○幼稚園の食費を無償化してほしい。 ○助成金や祝金をいただける制度に感謝している。
こどもの遊び場・居場所について	30	○ちつくん広場は外で遊べない雨の日には重宝しているが、遊ぶものが少なく飽きてしまう。他にもこういった施設があれば良い。 ○設備が整った遊具がある公園を増やしてほしい。 ○こどもが楽しめる体験、お祭りやイベントなどを行って欲しい。 ○地区によって、公園や遊び場が少ない。近くに屋外で遊べる場所を増やしてほしい。
その他	24	○通学路における舗装やガードレール等の整備状況に不安を感じる箇所がある。 ○療育に関する支援を受けるために遠方に行くことの負担が大きく、結局支援を受けずに自分で何とかしようと思ってしまう。 ○子ども会について、こどもの人数が減るとともに脱退する人が多く、残された人数で活動することの負担が大きくなっている。

(小学生調査)

分類	件数	主なご意見
放課後児童クラブについて	9	○希望する人が全員放課後児童クラブに入れるようにしてほしい。また、8時出社のため、利用開始時間が8時では間に合わない。 ○不定期の就労で預けられる場所がないため、放課後児童クラブで不定期に預けられる制度があれば良い。
その他の子育て支援、相談支援について	14	○放課後子ども教室が開催されたら、参加したい。 ○パート勤務をしており、放課後は勤務が終わっているため放課後児童クラブは利用していないが、長期休暇はベビーシッターを利用している。長期休暇に子どもを預かってくれるサービスがあれば良い。 ○こどもが小さいころ、一時預かりが定員などを理由に利用できなかった。母親の不定期の就労や、用事のために一時預かりを使えるようにしてほしい。

分類	件数	主なご意見
経済的支援や手当の支給等について	32	○物価の高騰で家計が大変。もっと経済的な支援があれば子どもがほしいと思う。 ○When you give financial support, please don't limit to low income. (訳: 経済的支援について、低所得者に限定せずに支援して欲しい。) ○給食の無償化に取り組んでほしい。 ○経済的な理由に関係なく子どもの希望に沿って進学させたいので、高校・大学への進学の支援を充実させてほしい。 ○ひとり親世帯ではないが、母親または父親が病気で働けない世帯についても、支援を行って欲しい。
こどもの遊び場・居場所について	14	○外で遊ぶのが危険なため、家の中でゲームなどをして遊んでいることが多く、他人との関わりについて学ぶ機会が少なくなっている。 ○屋内で遊ぶことができる場所を増やしてほしい。ちつくん広場やグランテラスは年齢層が幅広く、小学生と赤ちゃんと一緒に遊ぶ環境が怖いので、年齢ごとにスペースが分かれていれば良いと思う。
その他	37	○障がい児や、不登校の子どもへの支援を充実させてほしい。 ○自治会などのコミュニティの結束力を高め、子どもにとって安全で安心な環境をつくってほしい。 ○発達に心配がある子どもが共に学んでいくのも大切だが、専門的な対応を適切なタイミングで行えるよう、保護者、専門医、市と教育機関との連携を取れるようにしてほしい。 ○保護者やこどもの声が届きやすい市であってほしい。

第3章 生活実態調査(小学5年生・中学2年生)

1 分析の考え方

●●● 生活困難層に関する分析の考え方 ●●●

本調査については、生活困難の状況に関する設問について、「平成 30 年度茨城県子どもの生活実態調査」及び、「平成 29 年東京都子供の生活実態調査」を参考に設計しています。

「平成 29 年東京都子供の生活実態調査」においては、生活困難層の分析にあたって「低所得・家計のひっ迫・子供の体験や所有物の欠如」の 3 つの視点から分析を行っています。

本調査の分析にあたっては、東京都の分析を参考に、以下の要素 A～C の 3 要素から総合的にみて生活が困窮していると考えられる回答者を抽出し、生活や課題の状況を分析します。

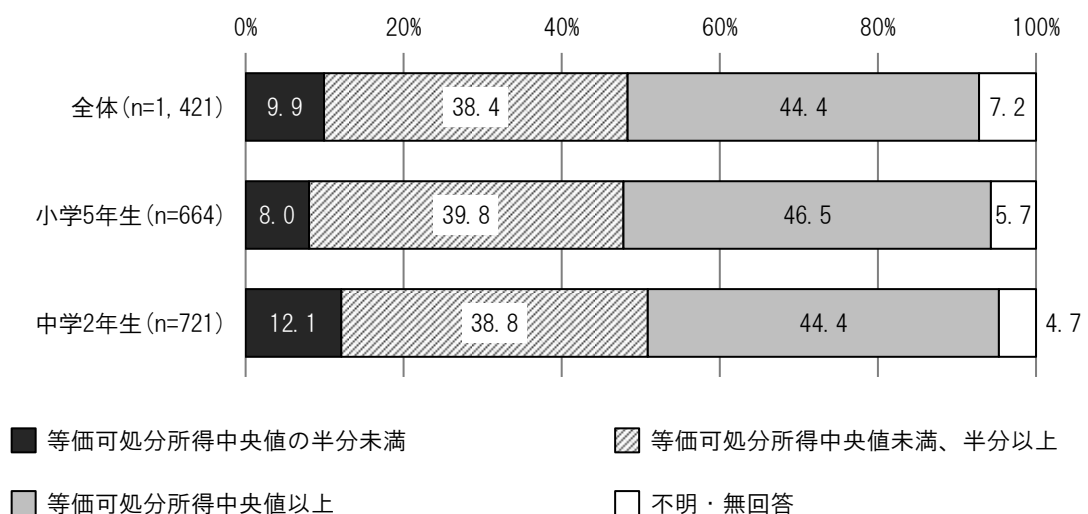
要素 A ・ 低所得への該当について

●●● 要素 A ・ 低所得への該当についての考え方 ●●●

世帯所得を、世帯人数の平方根で割った値（＝等価世帯所得）について、その中央値の半分以下の世帯について、要素 A ・ 低所得に「該当する」回答とします。

なお、世帯所得については、保護者調査問 20 において「100 万円未満」「100～200 万円未満」といった選択肢形式で調査を行っているため、それぞれの選択肢の中央値をもとに算出しており、最も大きい区分である「1,000 万円以上」については 1,050 万円として扱っています。

所得の状況についてみると、「等価可処分所得中央値の半分未満」は＜小学 5 年生＞で 8.0%、＜中学 2 年生＞で 12.1%となっています。

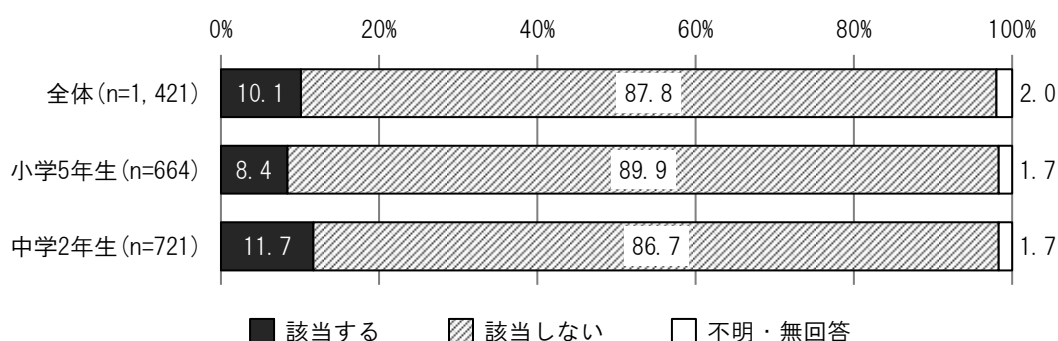


要素B・家計のひっ迫への該当について

●●● 要素B・家計のひっ迫への該当についての考え方 ●●●

保護者調査問 23 における過去 1 年間の間での経験について、「1 （経済的な理由で）食料が買えなかった」「2 （経済的な理由で）衣料・生活用品が買えなかった」「3 電気・ガス・水道料金の未払い」「5 家賃やローンの滞納」のいずれか 1 つ以上に○がつけられているものを、要素B・家計のひっ迫に「該当する」回答とします。

家計のひっ迫についてみると、「該当する」は<小学5年生>で8.4%、<中学2年生>で11.7%となっています。

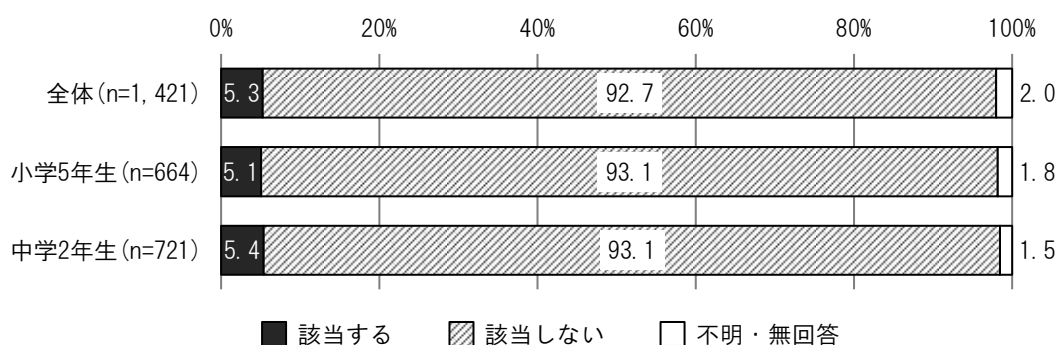


要素C・体験や所有物の欠如への該当について

●●● 要素C・体験や所有物の欠如への該当についての考え方 ●●●

保護者調査問 33 における所有物のうち、「ア こどもの本」「エ スポーツ用品」「オ こども専用の勉強机」について「なし（経済的に難しい）」と答えた個数と、問 34 におけるお子さまのためにしていることのうち「ウ お誕生日のお祝いをする」「エ 家族旅行に行く」「オ 毎月おこづかいを渡す」「カ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」「ケ 学習塾・通信教育・家庭教師に通わせる」「コ 勉強以外の習い事に通わせる」について「しなかった（経済的に難しい）」と答えた個数の合計について、3以上となったものを、要素C・体験や所有物の欠如に「該当する」回答とします。

所得の状況についてみると、「該当する」は<小学5年生>で5.1%、<中学2年生>で5.4%となっています。



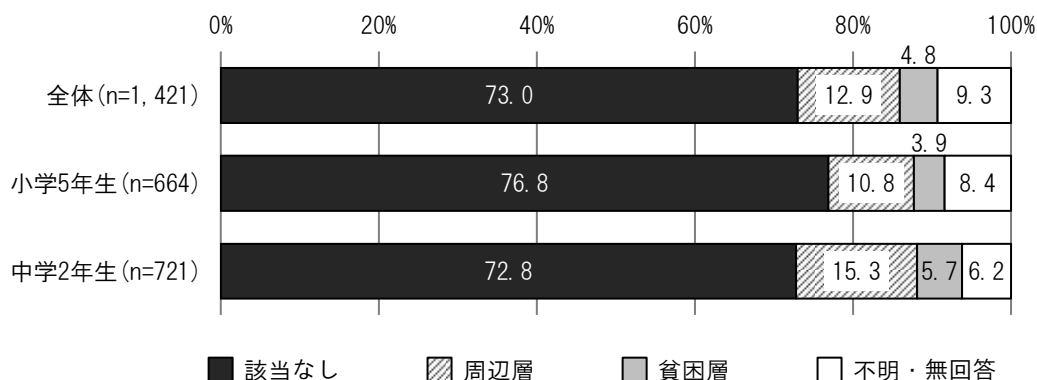
貧困層・周辺層への該当について

●●● 貧困層・周辺層への該当についての考え方 ●●●

要素A・B・Cの3項目のうち、2項目以上に該当する回答を「貧困層」、1項目に該当する回答を「周辺層」とします。

＜小学5年生＞では、「周辺層」が10.8%、「貧困層」が3.9%となっています。

＜中学2年生＞では、「周辺層」が15.3%、「貧困層」が5.7%となっています。

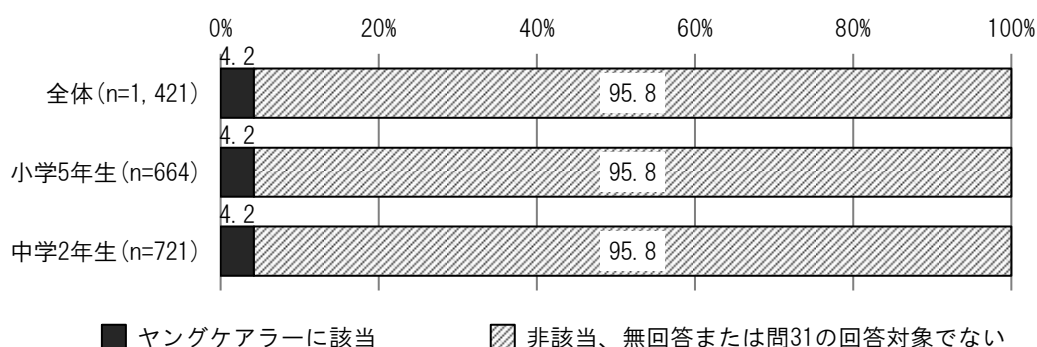


ヤングケアラーへの該当について

●●● ヤングケアラーへの該当についての考え方 ●●●

本調査における分析では、生活困難とは別に、ヤングケアラーについても該当する層を抽出し、生活課題等の分析を行っています。本人調査問31（家族の世話をしていることで、あなたがやりたいけれど、できていないこと）について、ある（1～9のいずれか1つ以上）に○がつけられているものを、ヤングケアラーに該当する回答とします。

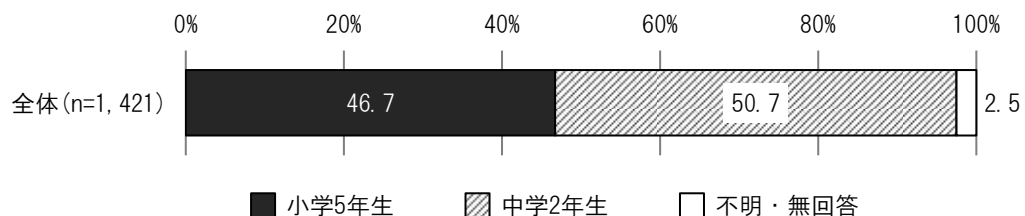
＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「ヤングケアラーに該当」は4.2%となっています。



2 あなたと世帯のことについて [保護者調査]

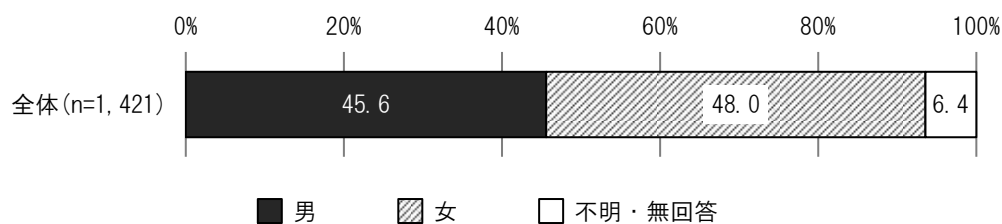
問1【ア 学年】調査対象のお子さまについて教えてください。（単数回答）

学年についてみると、「小学5年生」が46.7%、「中学2年生」が50.7%となっています。



問1【イ 性別】調査対象のお子さまについて教えてください。（単数回答）

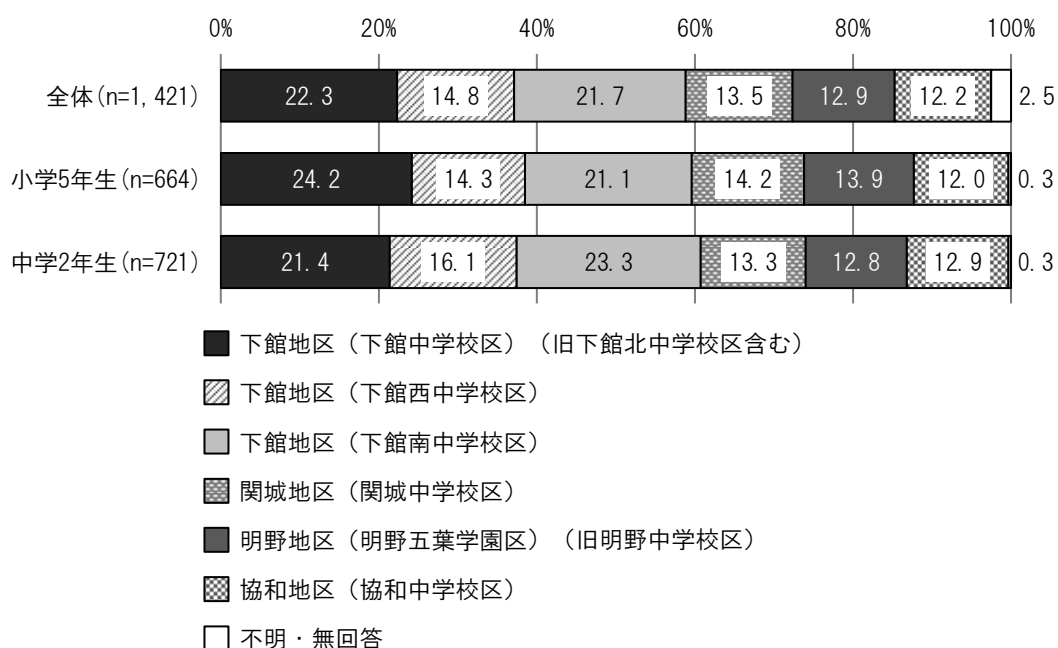
性別についてみると、「男」が45.6%、「女」が48.0%となっています。



問2 お住まいの地区を教えてください。

(単数回答)

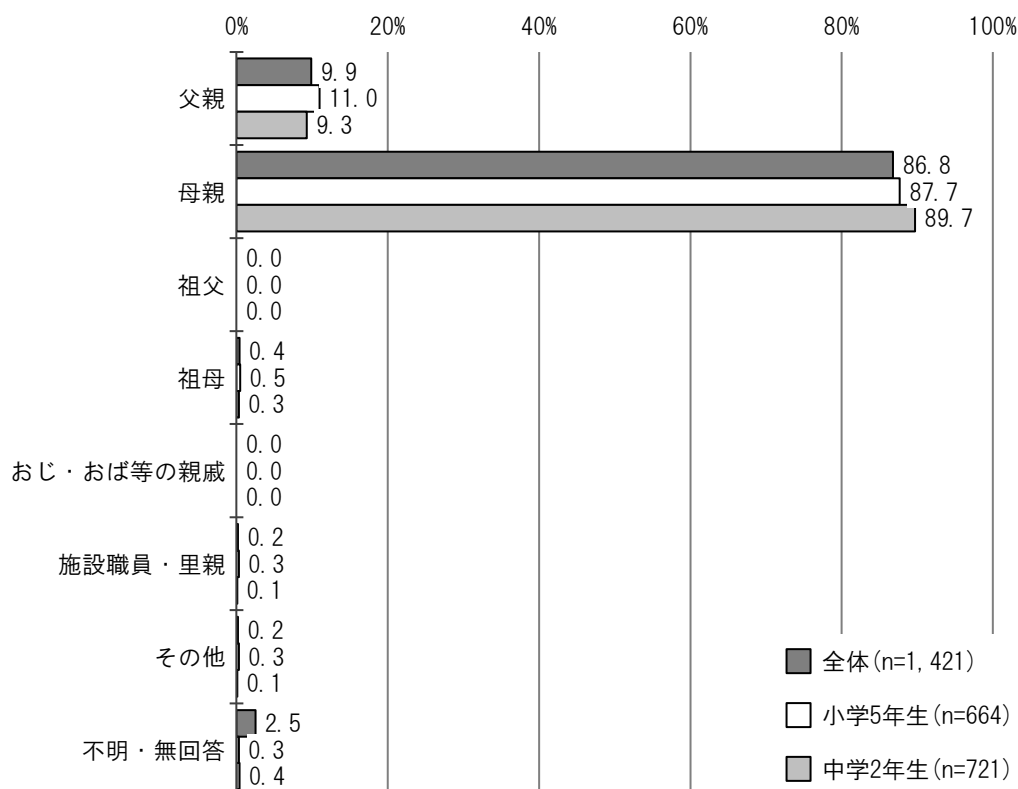
お住まいの地区についてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「下館地区(下館中学校区)(旧下館北中学校区含む)」「下館地区(下館南中学校区)」が2割台、その他の4地区が1割台となっています。



問3 調査対象のお子さまとあなたの続柄を教えてください。

(単数回答)

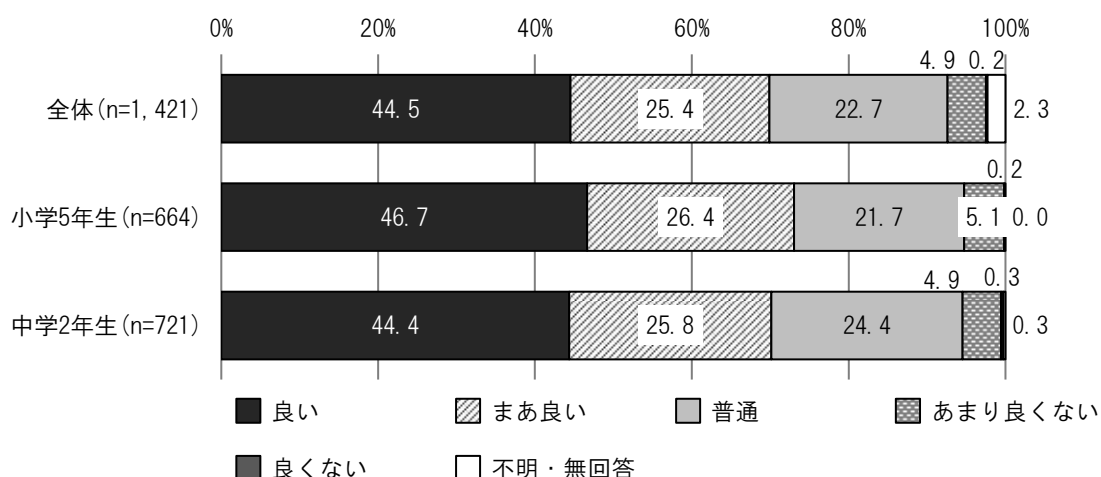
回答者についてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「母親」が最も多くなっています。



問4 あなたの健康状態として、最も近いものに○をつけてください。（単数回答）

保護者の健康状態についてみると、〈小学5年生〉では、「良い」が46.7%と最も多く、次いで「まあ良い」が26.4%となっています。

〈中学2年生〉では、「良い」が44.4%と最も多く、次いで「まあ良い」が25.8%となっています。

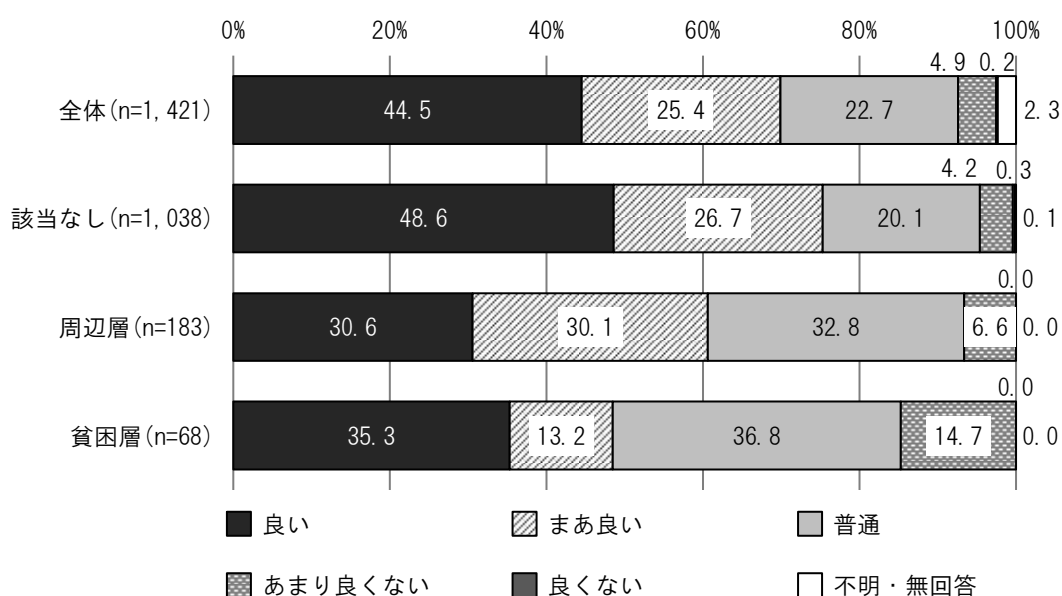


問4 あなたの健康状態として、最も近いものに○をつけてください。

× 貧困層・周辺層への該当

（単数回答）

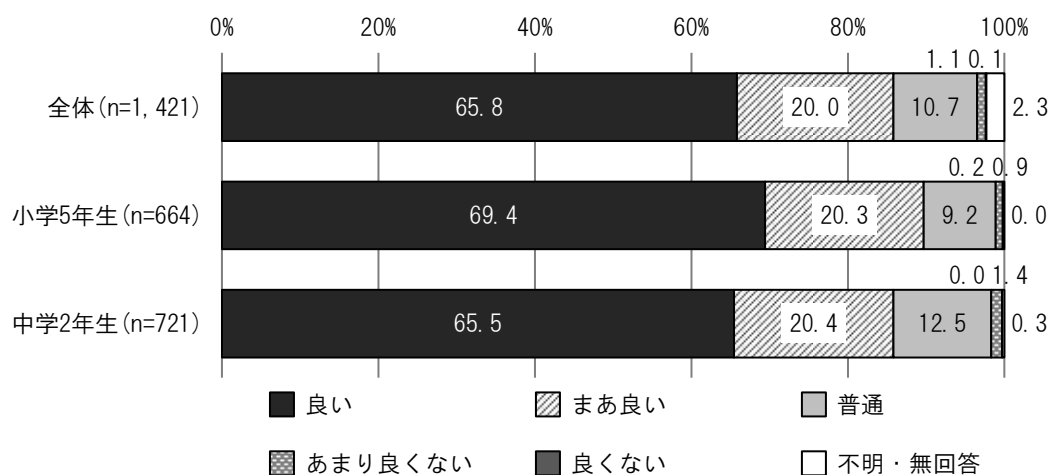
保護者の健康状態について、生活困窮別にみると、〈貧困層〉では、全体と比べて、「良い」「まあ良い」が少なく、「普通」「あまり良くない」が多くなっています。



問5 調査対象のお子さまの健康状態として、最も近いものに○をつけてください。
(単数回答)

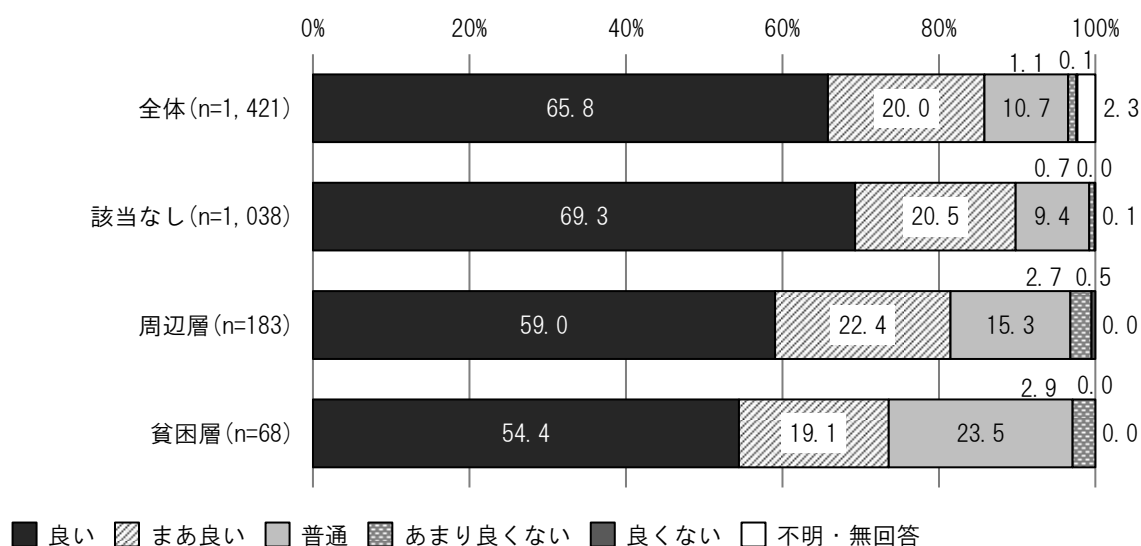
お子さまの健康状態についてみると、〈小学5年生〉では、「良い」が69.4%と最も多く、次いで「まあ良い」が20.3%となっています。

〈中学2年生〉では、「良い」が65.5%と最も多く、次いで「まあ良い」が20.4%となっています。



問5 調査対象のお子さまの健康状態として、最も近いものに○をつけてください。× 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

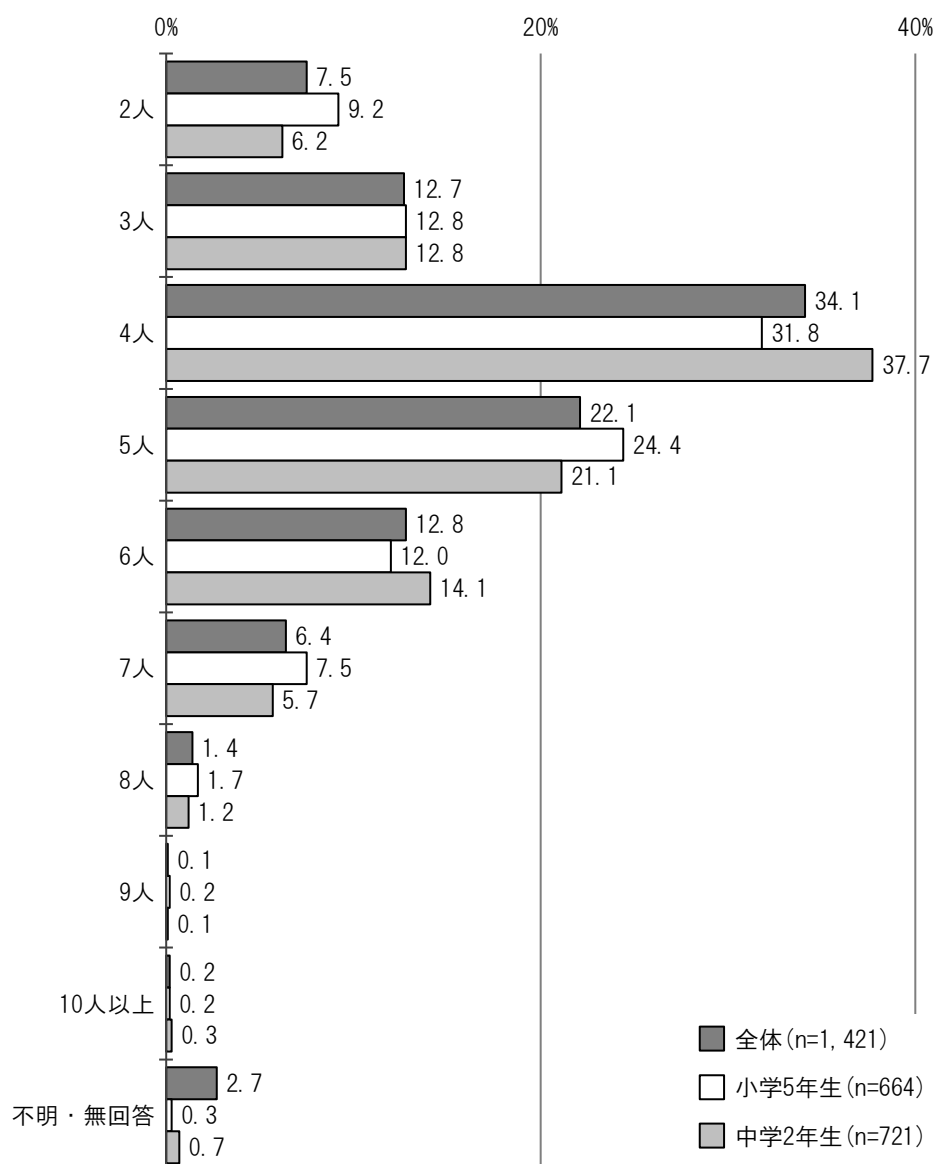
お子さまの健康状態について、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「良い」が少なくなっています。



問6 お住まいで生計をともにしている方（世帯員）はあなたを含めて何人ですか。
（単数回答）

世帯員の人数についてみると、＜小学5年生＞では、「4人」が31.8%と最も多く、次いで「5人」が24.4%となっています。

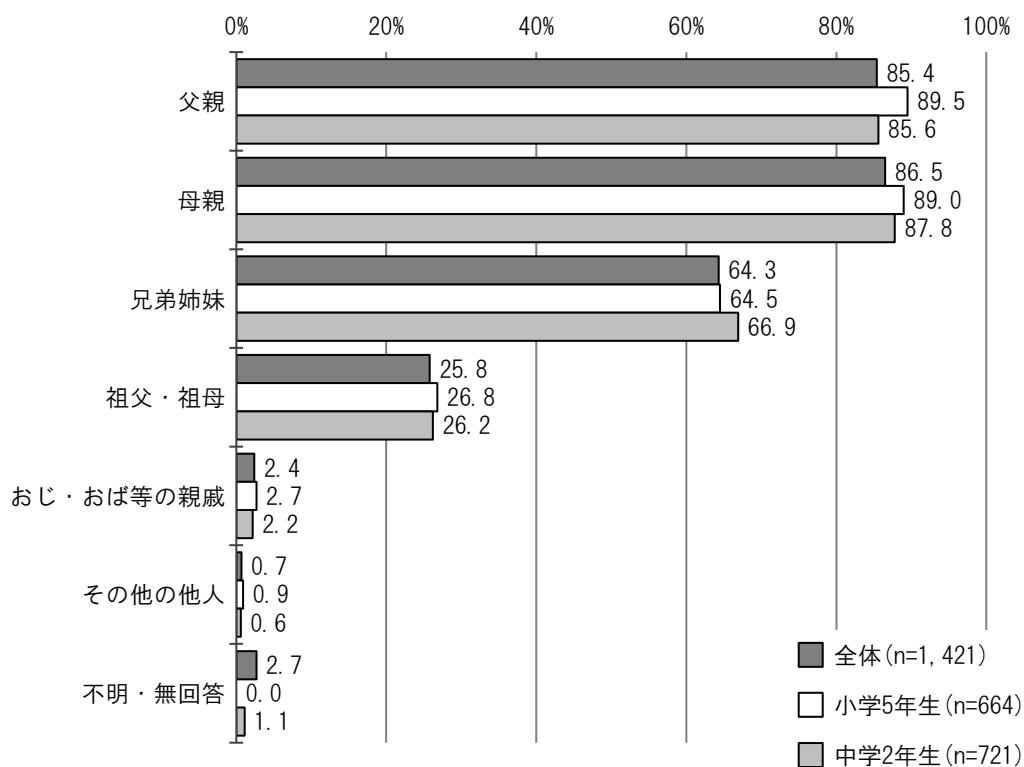
＜中学2年生＞では、「4人」が37.7%と最も多く、次いで「5人」が21.1%となっています。



問7 調査対象のお子さまから見て、生計をともにしている方を教えてください。
(複数回答)

生計をともにしている方についてみると、〈小学 5 年生〉では、「父親」「母親」がいずれも約9割となっています。

〈中学 2 年生〉では、「母親」が 87.8%、「父親」が 85.6%となっています。



問7 調査対象のお子さまから見て、生計をともにしている方を教えてください。

× 貧困層・周辺層への該当

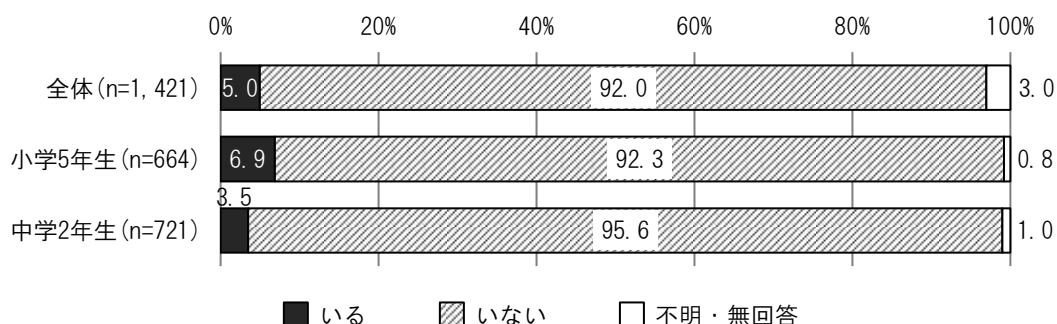
(複数回答)

生計をともにしている方について、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「父親」が少なくなっています。また、〈貧困層〉では、「父親」が 60.3%と特に少なくなっているほか、「母親」「兄弟姉妹」も少なくなっています。

%	父親	母親	兄弟姉妹	祖父・祖母	おじ・おば等の親戚	その他の他人	不明・無回答
全体(n=1,421)	85.4	86.5	64.3	25.8	2.4	0.7	2.7
該当なし(n=1,038)	93.0	89.3	68.1	26.5	2.0	0.5	0.1
周辺層(n=183)	73.2	90.2	62.3	28.4	4.4	1.6	0.5
貧困層(n=68)	60.3	77.9	58.8	23.5	4.4	-	-

問8 世帯員に介護または介助の必要な方がいますか。（単数回答）

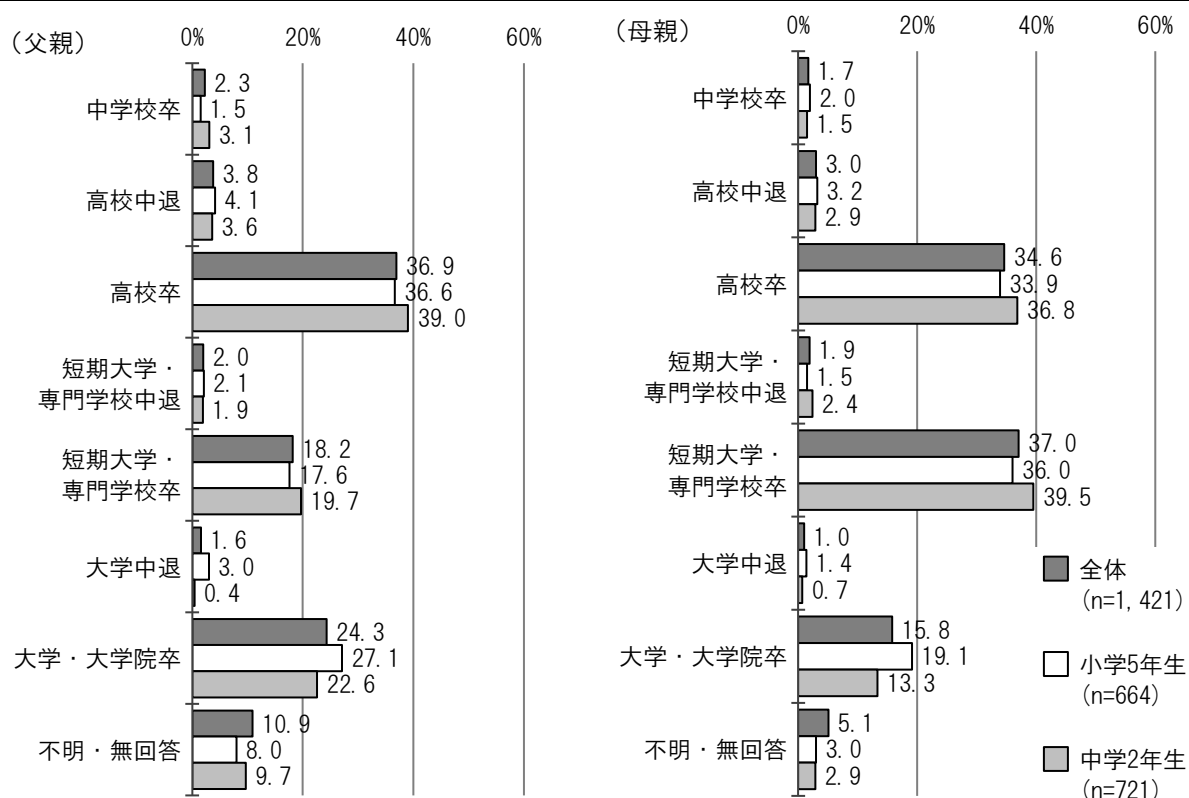
世帯員に介護または介助が必要な方がいるかについてみると、＜小学5年生＞では、「いる」が6.9%、＜中学2年生＞では、「いる」が3.5%となっています。



問9 調査対象のお子さまの保護者の最終学歴についておたずねします。（単数回答）

保護者の最終学歴についてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、父親では「高校卒」が4割弱、「大学・大学院卒」が2割台、「短期大学・専門学校卒」が2割弱となっています。

母親では、「短期大学・専門学校卒」「高校卒」がいずれも4割弱となっています。



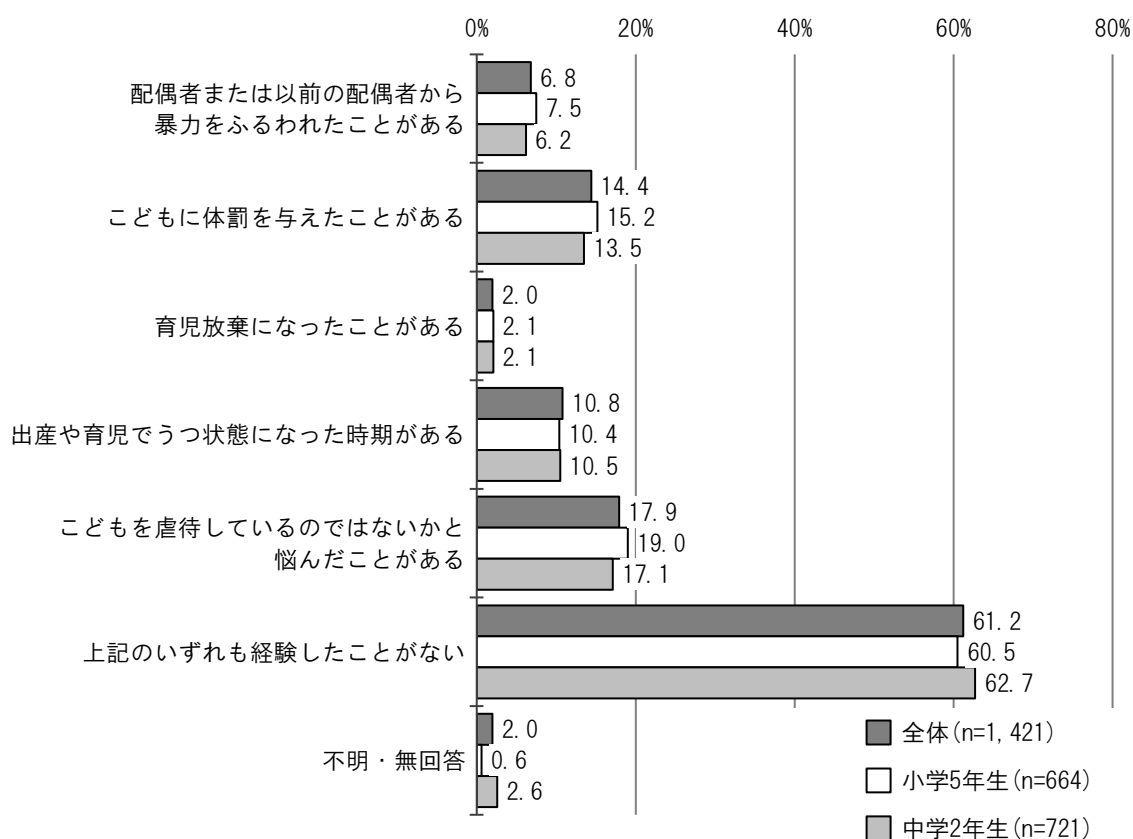
●●● 親の最終学歴と生活困窮の関連 ●●●

親の最終学歴について、父親・母親いずれかが「中学校卒」「高校中退」である回答者（n=117）について、「貧困層」への該当率は13.7%（全体比+8.9ポイント）、「周辺層」への該当率は20.5%（全体比+7.6ポイント）といずれも高くなっています。

3 子育てについて[保護者調査]

問 10 あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。
(複数回答)

子育てにおける経験について、〈小学 5 年生〉〈中学 2 年生〉いずれも、「こどもを虐待しているのではないかと悩んだことがある」が2割弱、「こどもに体罰を与えたことがある」「出産や育児でうつ状態になった時期がある」が1割台となっています。また、「上記のいずれも経験したことがない」は6割程度となっています。



問 10 あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。

× 貧困層・周辺層への該当

(複数回答)

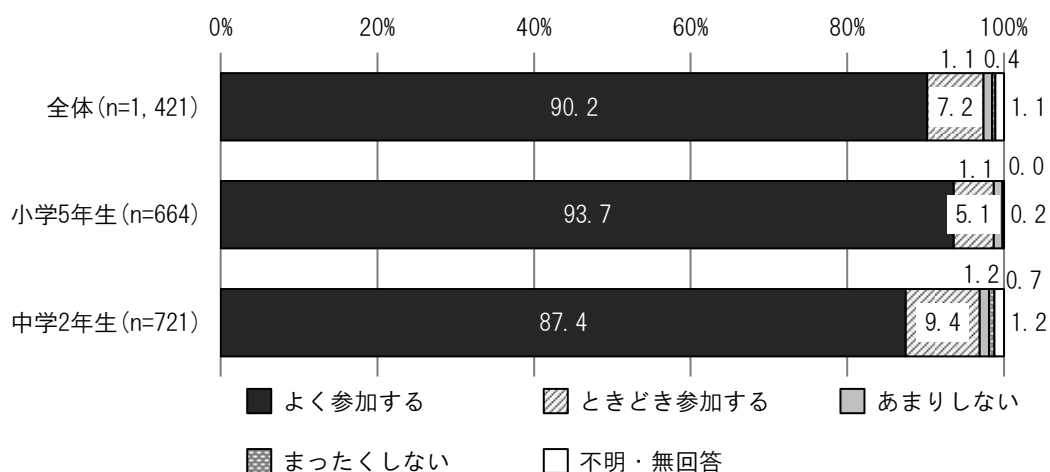
子育てにおける経験について、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「配偶者または以前の配偶者から暴力をふるわれたことがある」「こどもを虐待しているのではないかと悩んだことがある」が多く、「上記のいずれも経験したことがない」が少なくなっています。

%	配偶者または以前の配偶者から暴力をふるわれたことがある	こどもに体罰を与えたことがある	育児放棄になったことがある	出産や育児でうつ状態になった時期がある	こどもを虐待しているのではないかと悩んだことがある	上記のいずれも経験したことがない	不明・無回答
全体(n=1,421)	6.8	14.4	2.0	10.8	17.9	61.2	2.0
該当なし(n=1,038)	5.0	14.0	1.5	10.5	15.8	64.2	1.5
周辺層(n=183)	9.8	19.7	4.4	13.1	26.8	55.2	1.1
貧困層(n=68)	17.6	11.8	4.4	5.9	26.5	47.1	1.5

問 11 調査対象のお子さまが通学する学校の授業参観や運動会等の行事に、どれくらい参加していますか。
（単数回答）

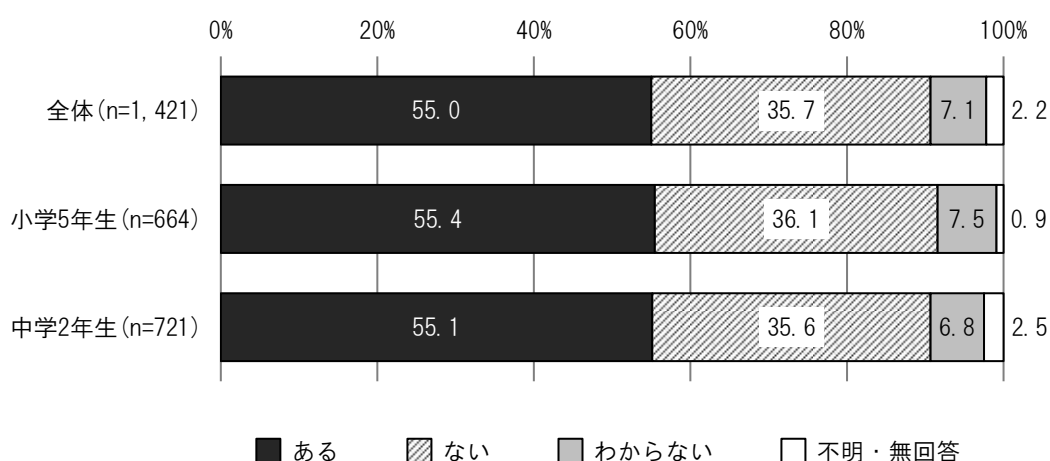
学校行事への保護者の参加状況についてみると、＜小学5年生＞では、「よく参加する」が93.7%と最も多く、次いで「ときどき参加する」が5.1%となっています。

＜中学2年生＞では、「よく参加する」が87.4%と最も多く、次いで「ときどき参加する」が9.4%となっています。



問 12 調査対象のお子さまを育てる中で、不安に感じていることや悩みがありますか。
（単数回答）

不安や悩みがあるかについてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「ある」が5割台半ば、次いで「ない」が3割台半ばとなっています。



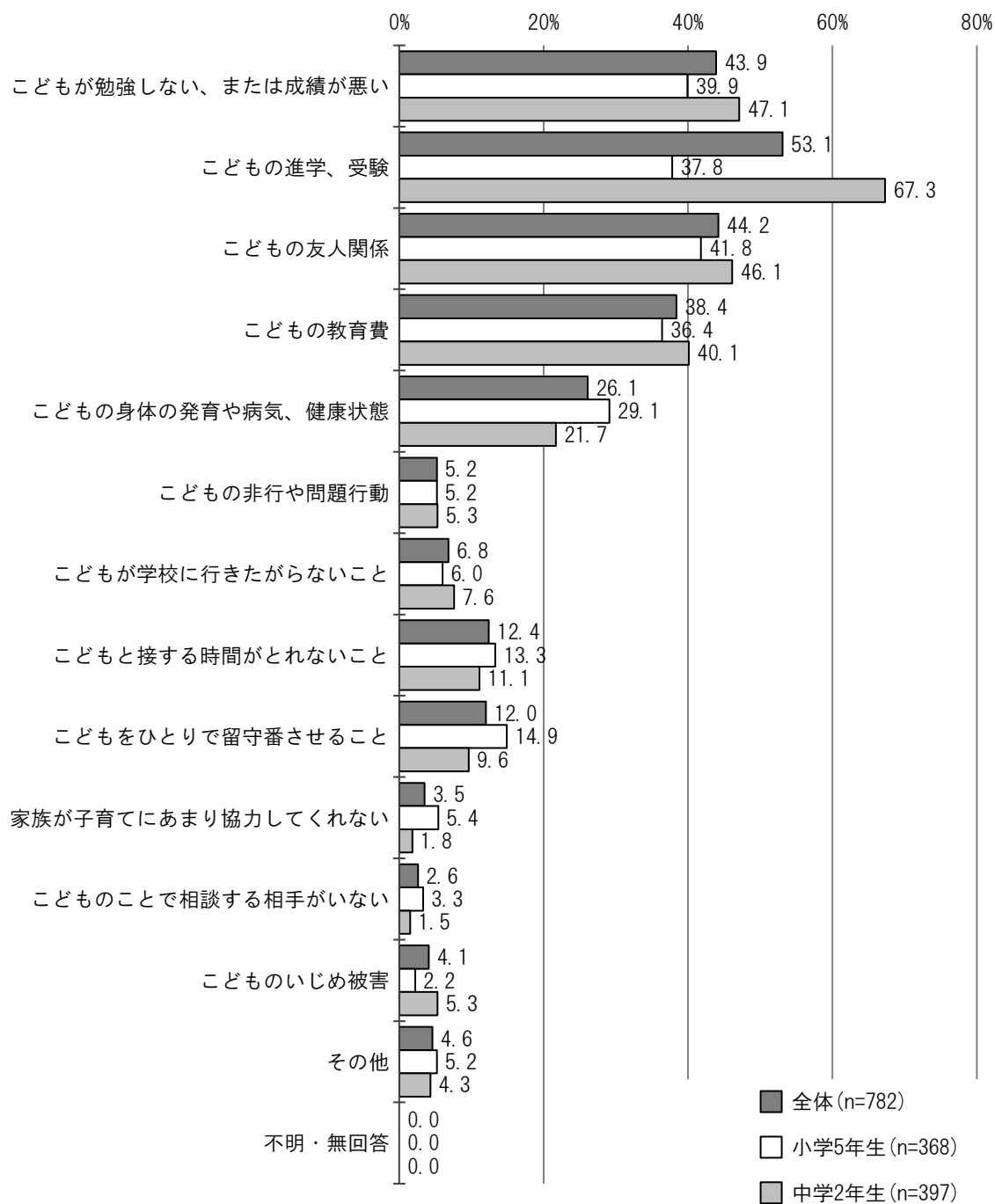
問12で「1 ある」と答えた方のみ回答

問13 どのようなことで悩んでいますか。

(複数回答)

どのようなことで悩んでいるかについてみると、〈小学5年生〉では、「こどもの友人関係」が41.8%と最も多く、次いで「こどもが勉強しない、または成績が悪い」が39.9%となっています。

〈中学2年生〉では、「こどもの進学、受験」が67.3%と最も多く、次いで「こどもが勉強しない、または成績が悪い」が47.1%となっています。



問13 どのようなことで悩んでいますか。 × 貧困層・周辺層への該当 （複数回答）

どのようなことで悩んでいるかについて、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では「こどもの教育費」「こどもと接する時間がとれないこと」が多くなっています。

また、「こどもが勉強しない、または成績が悪い」「こどもが学校に行きたがらないこと」「こどもをひとりで留守番させること」についてもやや多くなっています。

%	こどもが勉強しない、または成績が悪い	こどもの進学、受験	こどもの友人関係	こどもの教育費	こどもの身体の発育や病気、健康状態	こどもの非行や問題行動	こどもが学校に行きたがらないこと
全体(n=782)	43.9	53.1	44.2	38.4	26.1	5.2	6.8
該当なし(n=551)	41.0	51.4	44.6	31.4	24.7	4.9	5.4
周辺層(n=129)	55.0	61.2	47.3	52.7	30.2	7.0	9.3
貧困層(n=42)	52.4	54.8	31.0	76.2	23.8	7.1	14.3
%	こどもと接する時間がとれないこと	こどもをひとりで留守番させること	家族が子育てにあまり協力してくれない	こどものことで相談する相手がいない	こどものいじめ被害	その他	不明・無回答
全体(n=782)	12.4	12.0	3.5	2.6	4.1	4.6	-
該当なし(n=551)	8.9	10.3	3.1	1.8	3.1	5.6	-
周辺層(n=129)	20.2	13.2	3.1	3.9	7.0	1.6	-
貧困層(n=42)	26.2	21.4	9.5	2.4	7.1	2.4	-

問13 どのようなことで悩んでいますか。 × ヤングケアラーに該当 （複数回答）

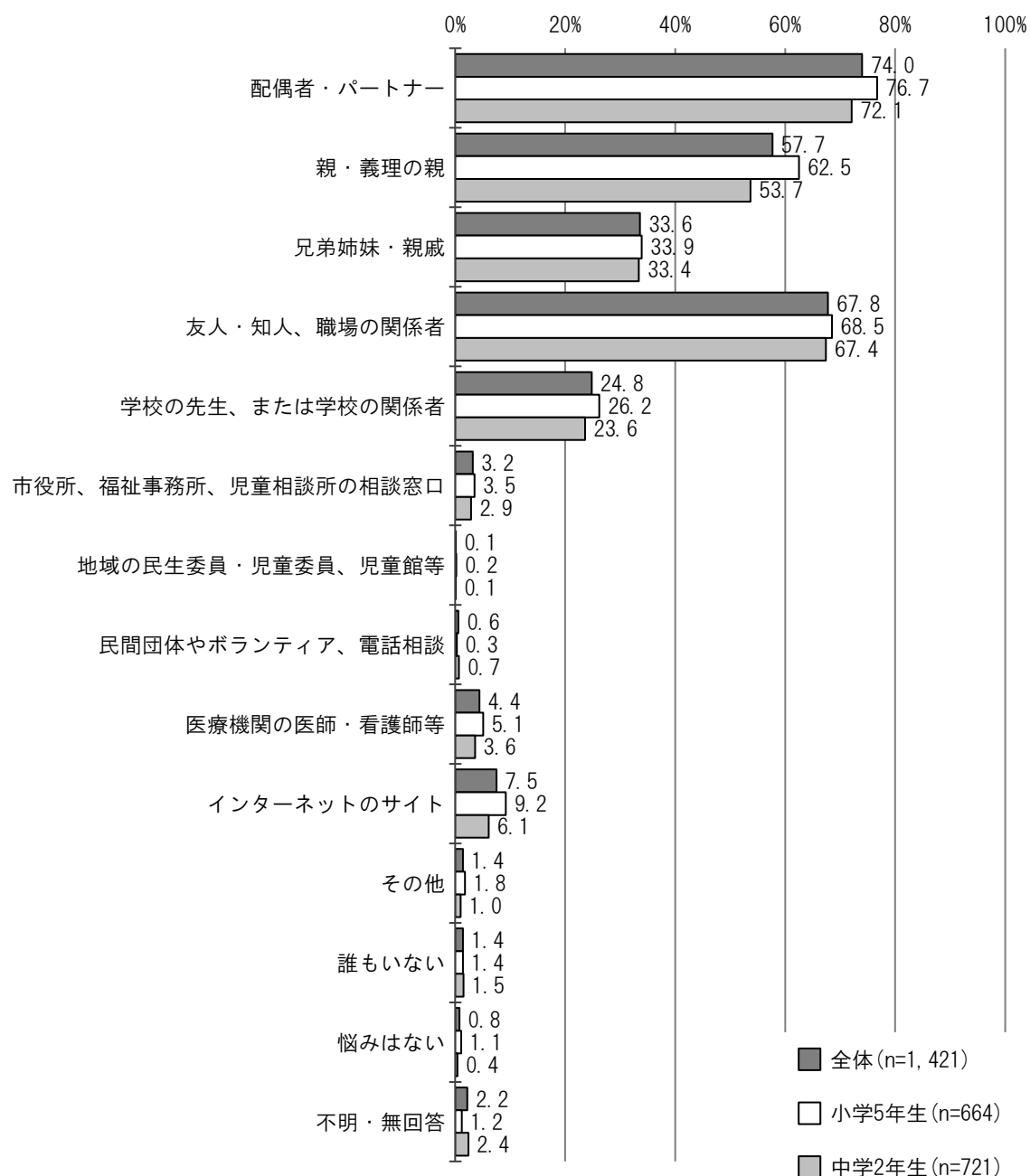
どのようなことで悩んでいるかについて、ヤングケアラーの保護者における状況を見ると、全体と比べて「こどもの身体の発育や病気、健康状態」「こどもと接する時間がとれないこと」が多くなっています。

%	こどもが勉強しない、または成績が悪い	こどもの進学、受験	こどもの友人関係	こどもの教育費	こどもの身体の発育や病気、健康状態	こどもの非行や問題行動	こどもが学校に行きたがらないこと
全体(n=782)	43.9	53.1	44.2	38.4	26.1	5.2	6.8
ヤングケアラーに該当(n=37)	43.2	54.1	45.9	29.7	37.8	8.1	2.7
%	こどもと接する時間がとれないこと	こどもをひとりで留守番させること	家族が子育てにあまり協力してくれない	こどものことで相談する相手がいない	こどものいじめ被害	その他	不明・無回答
全体(n=782)	12.4	12.0	3.5	2.6	4.1	4.6	-
ヤングケアラーに該当(n=37)	24.3	10.8	-	2.7	10.8	5.4	-

問 14 あなたが子育てについての悩みを相談するとしたら、その相手・相談先はどこですか。
(複数回答)

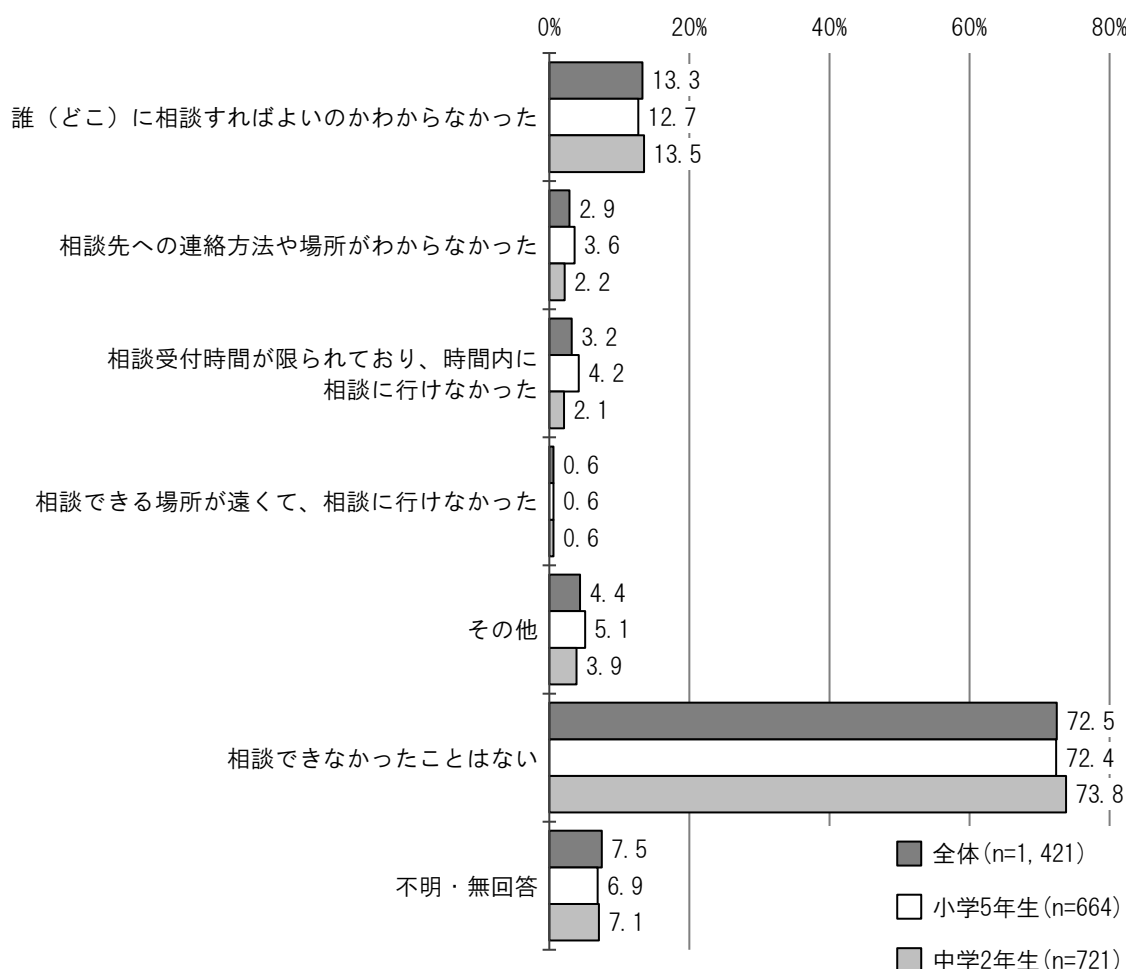
悩みの相談先についてみると、〈小学 5 年生〉では、「配偶者・パートナー」が 76.7%と最も多く、次いで「友人・知人、職場の関係者」が 68.5%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「配偶者・パートナー」が 72.1%と最も多く、次いで「友人・知人、職場の関係者」が 67.4%となっています。



問 15 あなたが子育てのことで相談しようと思ったが、相談できなかったことはありますか。
ある場合、相談できなかった理由は何ですか。（複数回答）

相談できなかった経験についてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「相談できなかったことはない」が7割台、「誰（どこ）に相談すればよいのかわからなかった」が1割台となっています。



問 15 あなたが子育てのことで相談しようと思ったが、相談できなかったことはありますか。
ある場合、相談できなかった理由は何ですか。 × 貧困層・周辺層への該当
（複数回答）

相談できなかった経験について、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、「誰（どこ）に相談すればよいのかわからなかった」が2割台と、全体と比べて多くなっています。

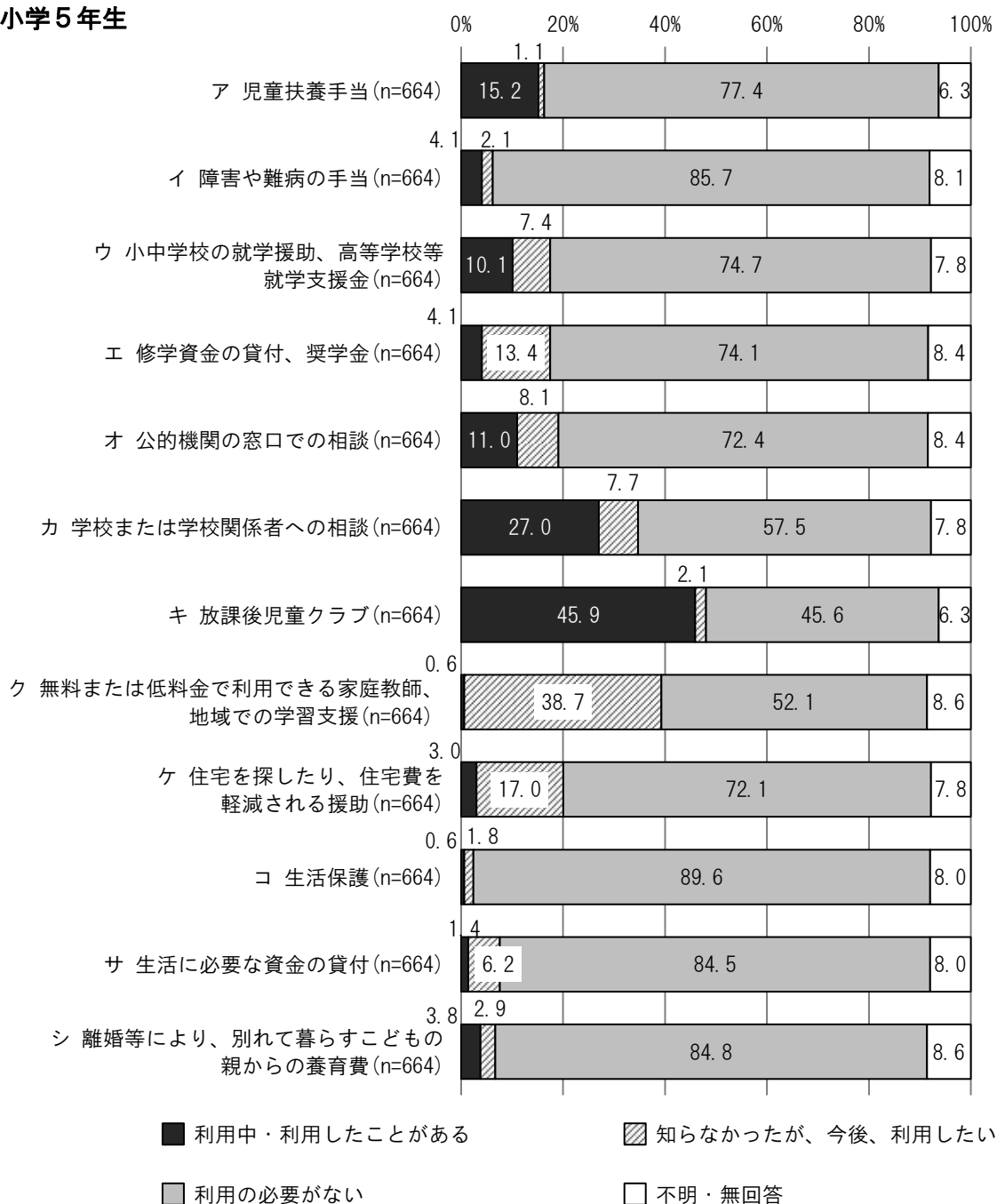
%	誰（どこ）に相談 すればよいのかわ からなかった	相談先への連絡方 法や場所がわから なかった	相談受付時間が限 られており、時間 内に相談に行けな かった	相談できる場所が 遠くて、相談に行 けなかった	その他	相談できなかった ことはない	不明・無回答
全体(n=1,421)	13.3	2.9	3.2	0.6	4.4	72.5	7.5
該当なし(n=1,038)	10.6	2.3	2.6	0.6	3.9	76.7	6.4
周辺層(n=183)	21.3	4.9	7.7	0.5	4.9	63.4	6.0
貧困層(n=68)	27.9	4.4	2.9	1.5	4.4	67.6	2.9

問 16 あなたは、次の手当や支援等を実際に利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
 〈小学 5 年生〉（単数回答）

手当や支援を実際に利用したことがあるかについてみると、〈小学 5 年生〉では、〈キ 放課後児童クラブ〉で「利用中・利用したことがある」が 45.9%、〈カ 学校または学校関係者への相談〉で「利用中・利用したことがある」が 27.0%となっています。

また、〈ク 無料または低料金で利用できる家庭教師、地域での学習支援〉で「知らなかったが、今後、利用したい」が 38.7%、〈ケ 住宅を探したり、住宅費を軽減される援助〉で「知らなかったが、今後、利用したい」が 17.0%となっています。

小学 5 年生

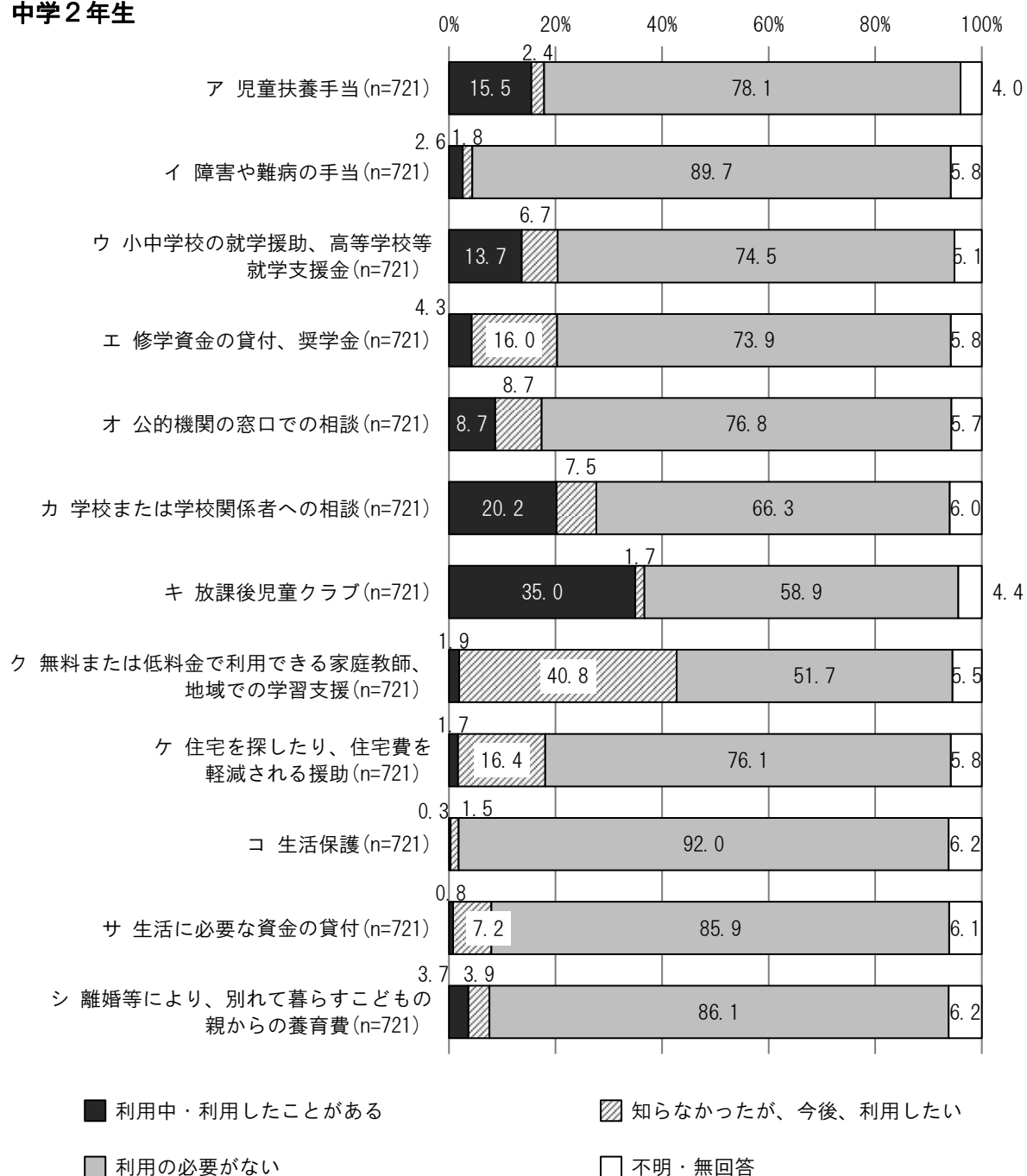


問 16 あなたは、次の手当や支援等を実際に利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
 〈中学2年生〉（単数回答）

手当や支援を実際に利用したことがあるかについてみると、〈中学2年生〉では、〈キ 放課後児童クラブ〉で「利用中・利用したことがある」が35.0%、〈カ 学校または学校関係者への相談〉で「利用中・利用したことがある」が20.2%となっています。

また、〈ク 無料または低料金で利用できる家庭教師、地域での学習支援〉で「知らなかったが、今後、利用したい」が40.8%、〈エ 修学資金の貸付、奨学金〉〈ケ 住宅を探したり、住宅費を軽減される援助〉で「知らなかったが、今後、利用したい」が1割台半ばとなっています。

中学2年生

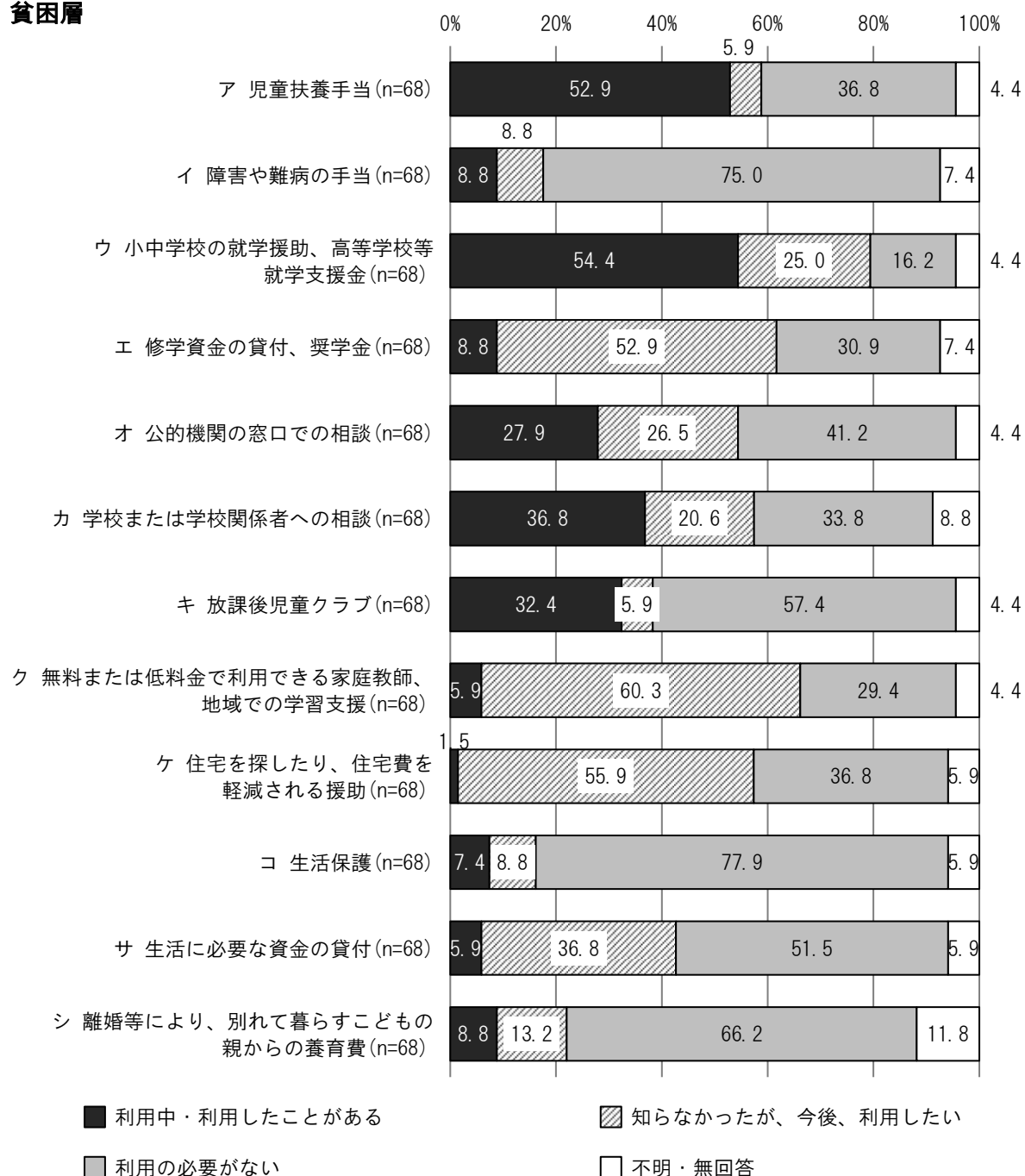


問 16 あなたは、次の手当や支援等を実際に利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
 〈貧困層〉（単数回答）

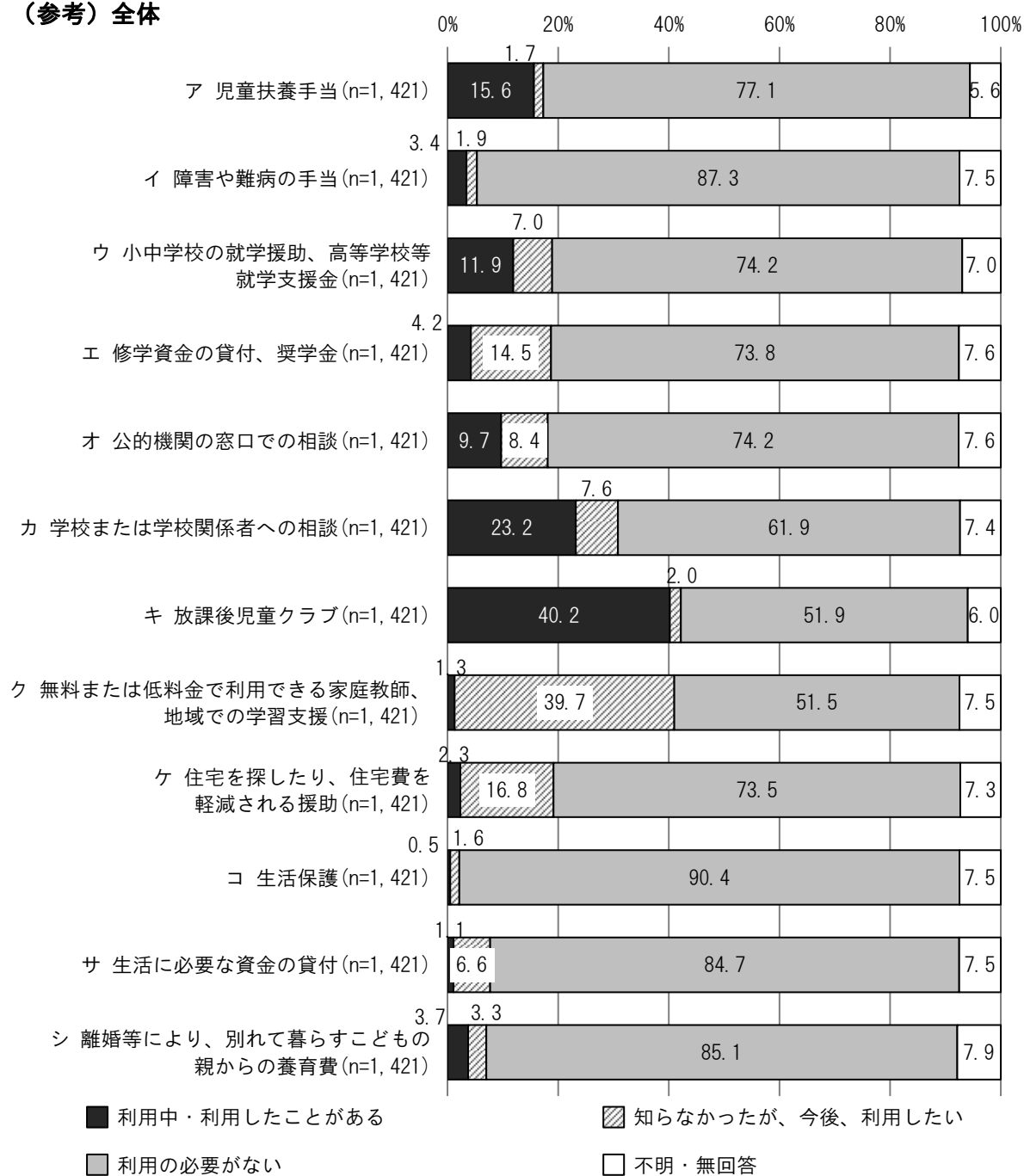
手当や支援を実際に利用したことがあるかについてみると、〈貧困層〉では、全体と比べて〈ア 児童扶養手当〉〈ウ 小中学校の就学援助、高等学校等就学支援金〉〈オ 公的機関の窓口での相談〉〈カ 学校または学校関係者への相談〉で「利用中・利用したことがある」が多くなっています。

また、〈エ 修学資金の貸付、奨学金〉〈ク 無料または低料金で利用できる家庭教師、地域での学習支援〉〈ケ 住宅を探したり、住宅費を軽減される援助〉で「知らなかったが、今後、利用したい」が5割以上と多く、全体と比較しても多くなっています。

貧困層



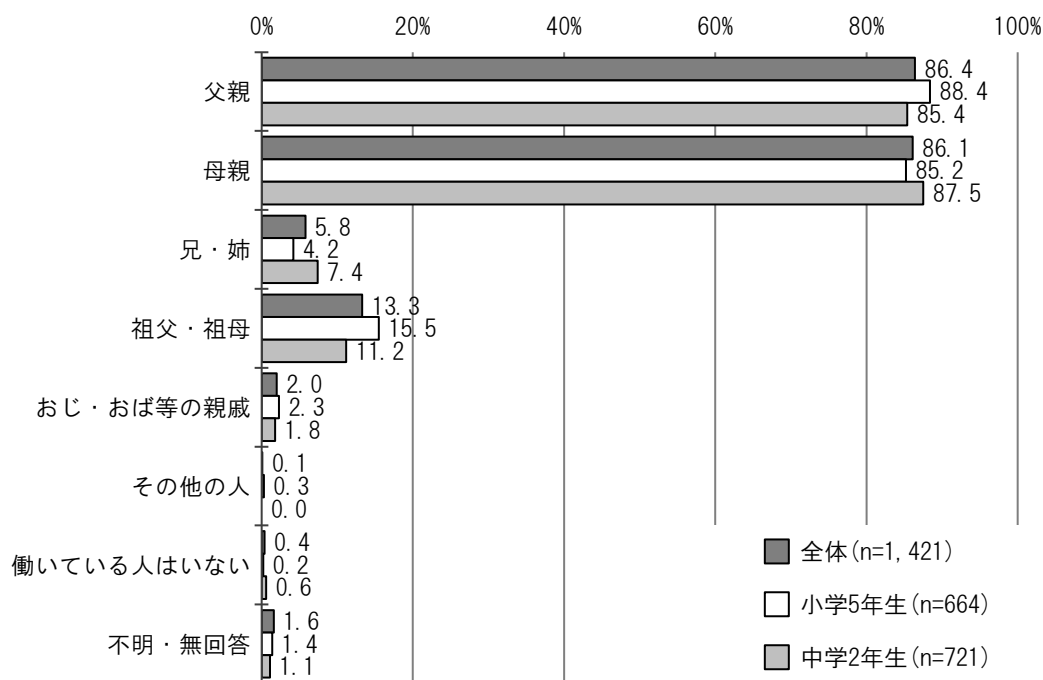
（参考）全体



4 仕事や家計について[保護者調査]

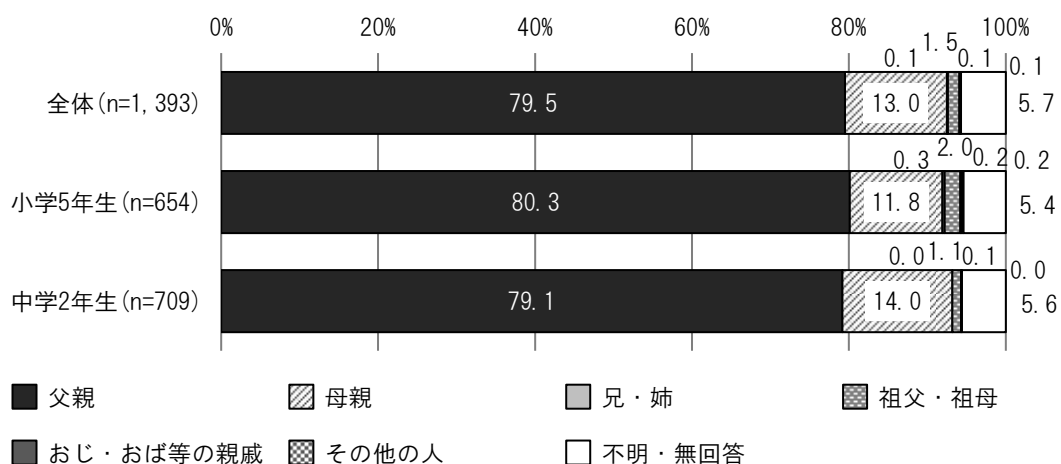
問 17 あなたの世帯で働いている方はどなたですか。(調査対象のお子さまからみた続柄でお答えください。)
(複数回答)

働いている方についてみると、＜小学 5 年生＞では、「父親」が 88.4%、で「母親」が 85.2%となっています。
＜中学 2 年生＞では、「母親」が 87.5%、「父親」が 85.4%となっています。



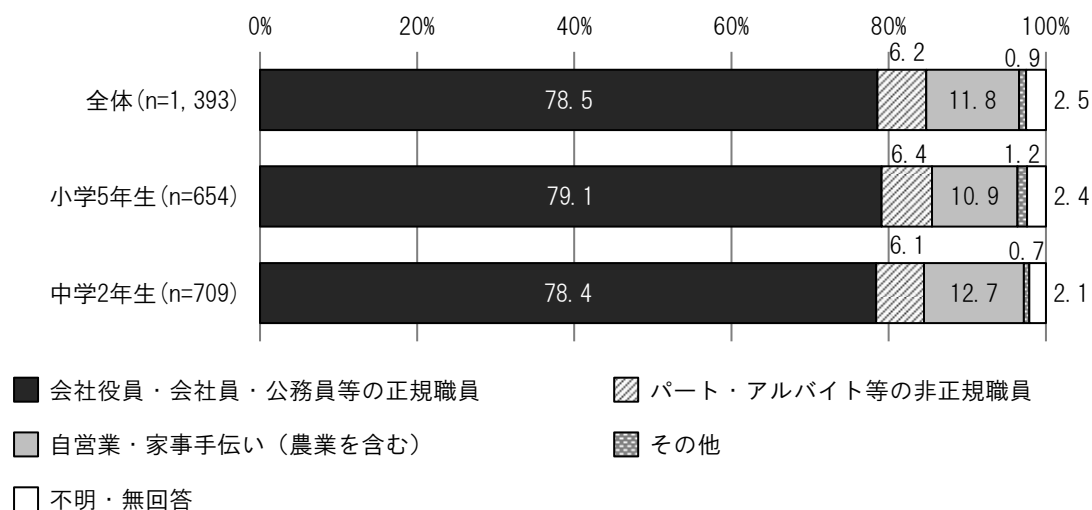
問 18 働いている方のうち、主に家計を支えているのはどなたですか。(調査対象のお子さまからみた続柄でお答えください。)
(単数回答)

主に家計を支えている方についてみると、＜小学 5 年生＞＜中学 2 年生＞いずれも、「父親」が約8割、「母親」が1割台となっています。



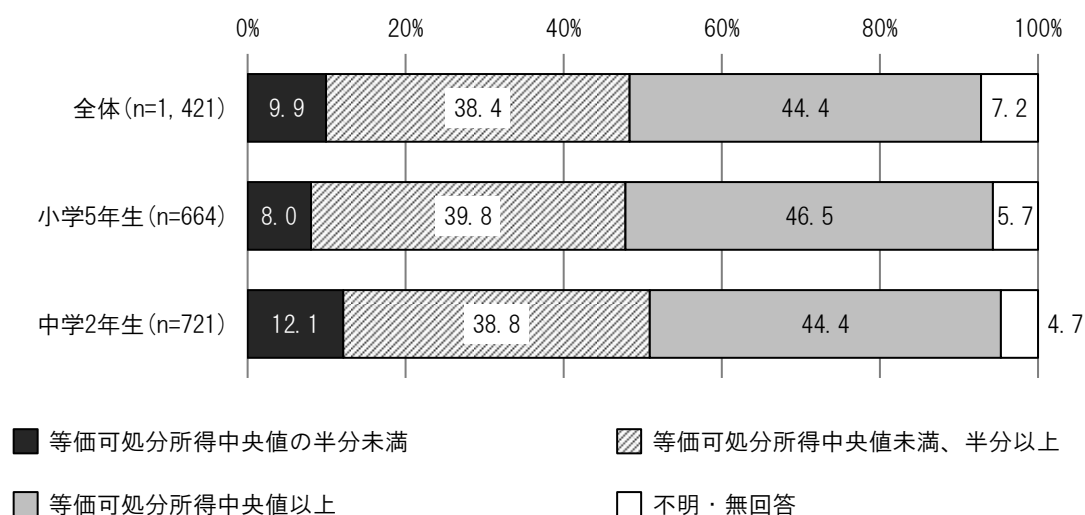
問19 主に家計を支えている方の現在のご職業（働き方）は次のどれですか。（単数回答）

家計を支えている方の働き方についてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「会社役員・会社員・公務員等の正規職員」が8割弱、「自営業・家事手伝い（農業を含む）」が1割台、「パート・アルバイト等の非正規職員」が6％程度となっています。



問20 ご家族全員の収入（ボーナス等を含む）を併せたおおよその世帯年収を年間の手取り額で教えてください。（結果は第3章－1「分析の考え方」より再掲）（単数回答）

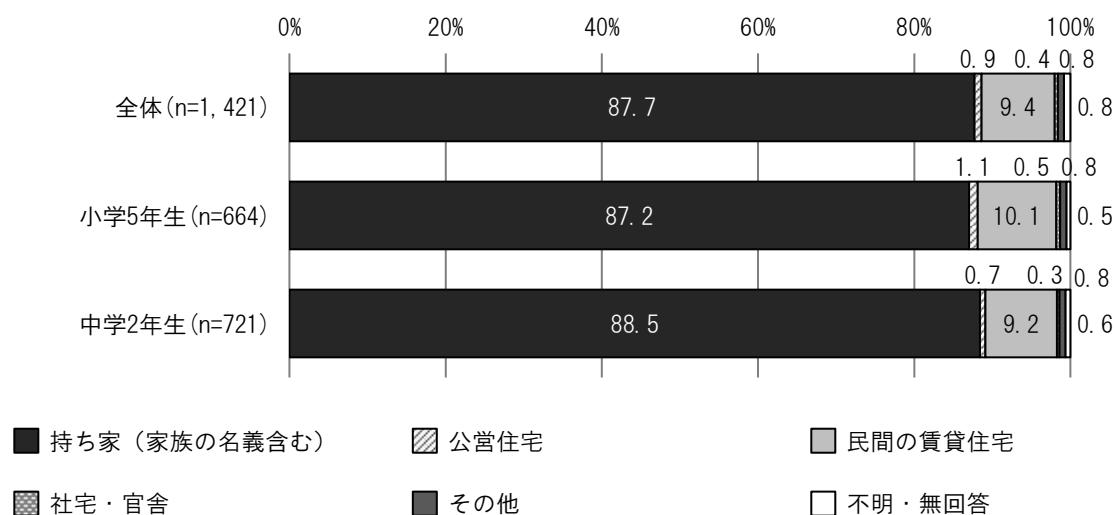
所得の状況についてみると、「等価可処分所得中央値の半分未満」は＜小学5年生＞で8.0%、＜中学2年生＞で12.1%となっています。



問 21 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。

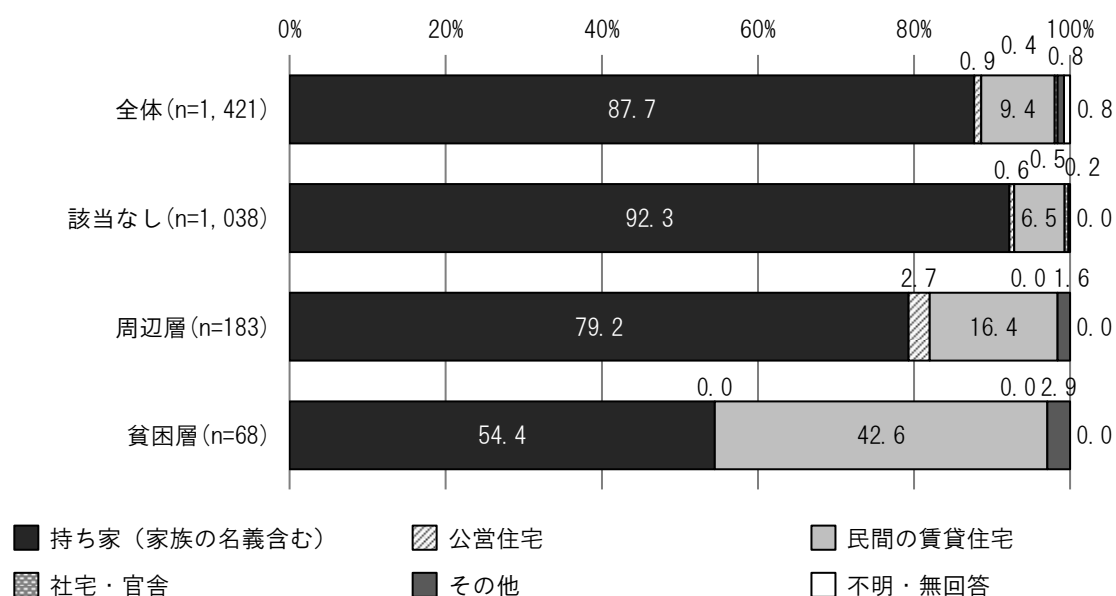
(単数回答)

住居についてみると、〈小学 5 年生〉〈中学 2 年生〉いずれも、「持ち家(家族の名義含む)」が9割弱、「民間の賃貸住宅」が約1割となっています。



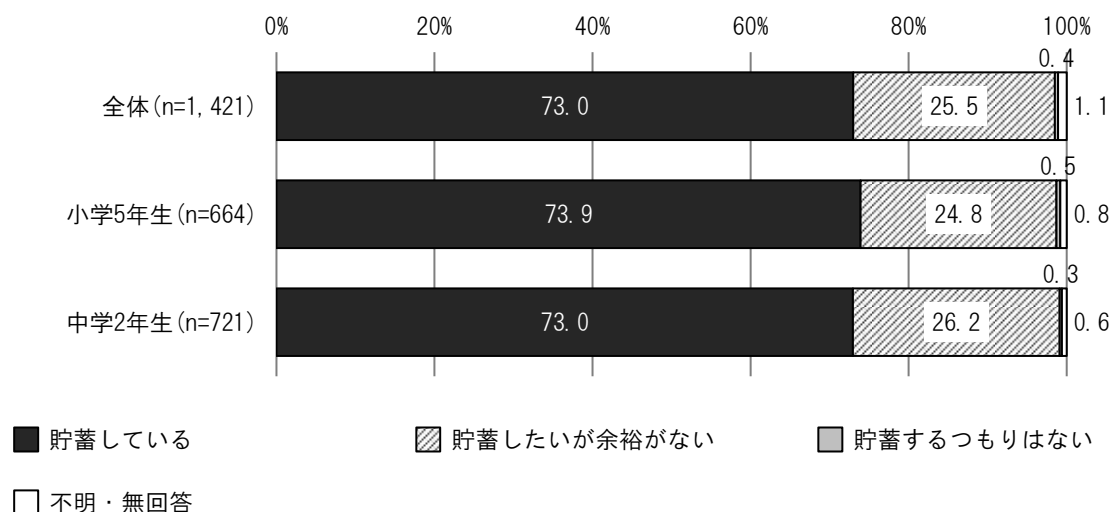
問 21 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。 × 貧困層・周辺層への該当
(単数回答)

住居について生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「民間の賃貸住宅」が多く、特に〈貧困層〉では 42.6%となっています。



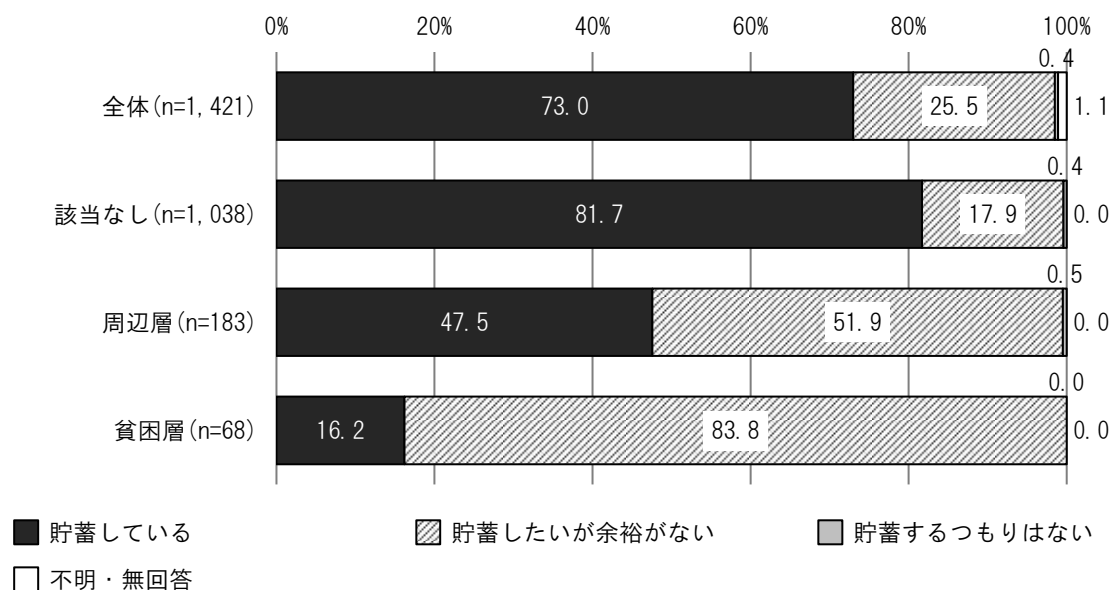
問 22 調査対象のお子さまの将来のために、貯蓄や学資保険の加入等をしていますか。
（単数回答）

貯蓄等をしているかについてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「貯蓄している」が7割台、次いで「貯蓄したいが余裕がない」が2割台半ばとなっています。



問 22 調査対象のお子さまの将来のために、貯蓄や学資保険の加入等をしていますか。 ×
 貧困層・周辺層への該当 （単数回答）

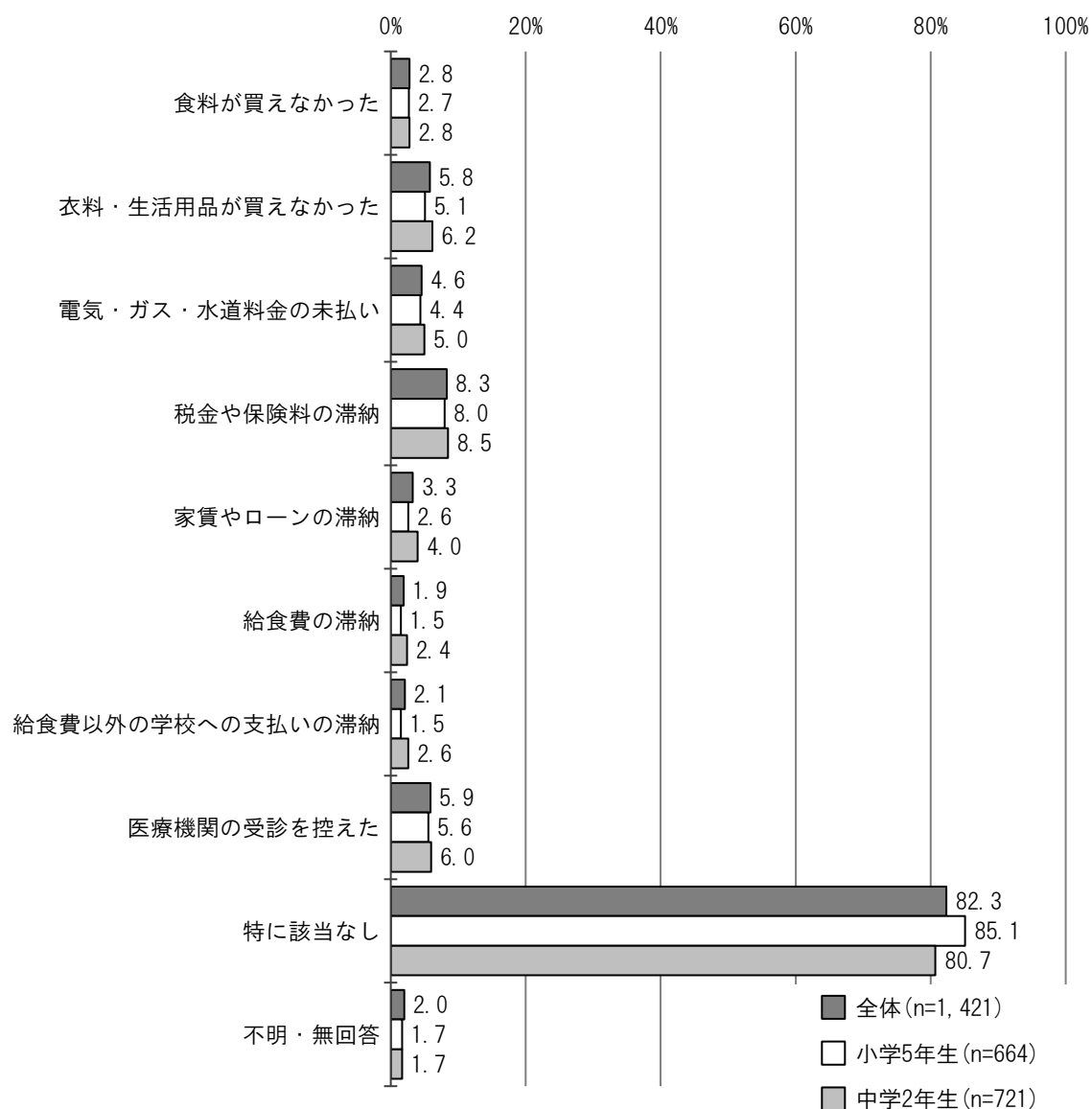
貯蓄等をしているかについて生活困窮別にみると、＜周辺層＞では、「貯蓄している」「貯蓄したいが余裕がない」がいずれも5割程度、＜貧困層＞では、「貯蓄したいが余裕がない」が83.8%と多くなっています。



問 23 ご家庭では、過去 1 年間の間に経済的な理由で必要とする食料（嗜好品は含まず）や衣料品が買えなかったり、月々の料金の支払いが出来なかったこと等がありましたか。（複数回答）

経済的困窮の経験についてみると、〈小学 5 年生〉では、「特に該当なし」が 85.1%と最も多く、次いで「税金や保険料の滞納」が 8.0%となっています。

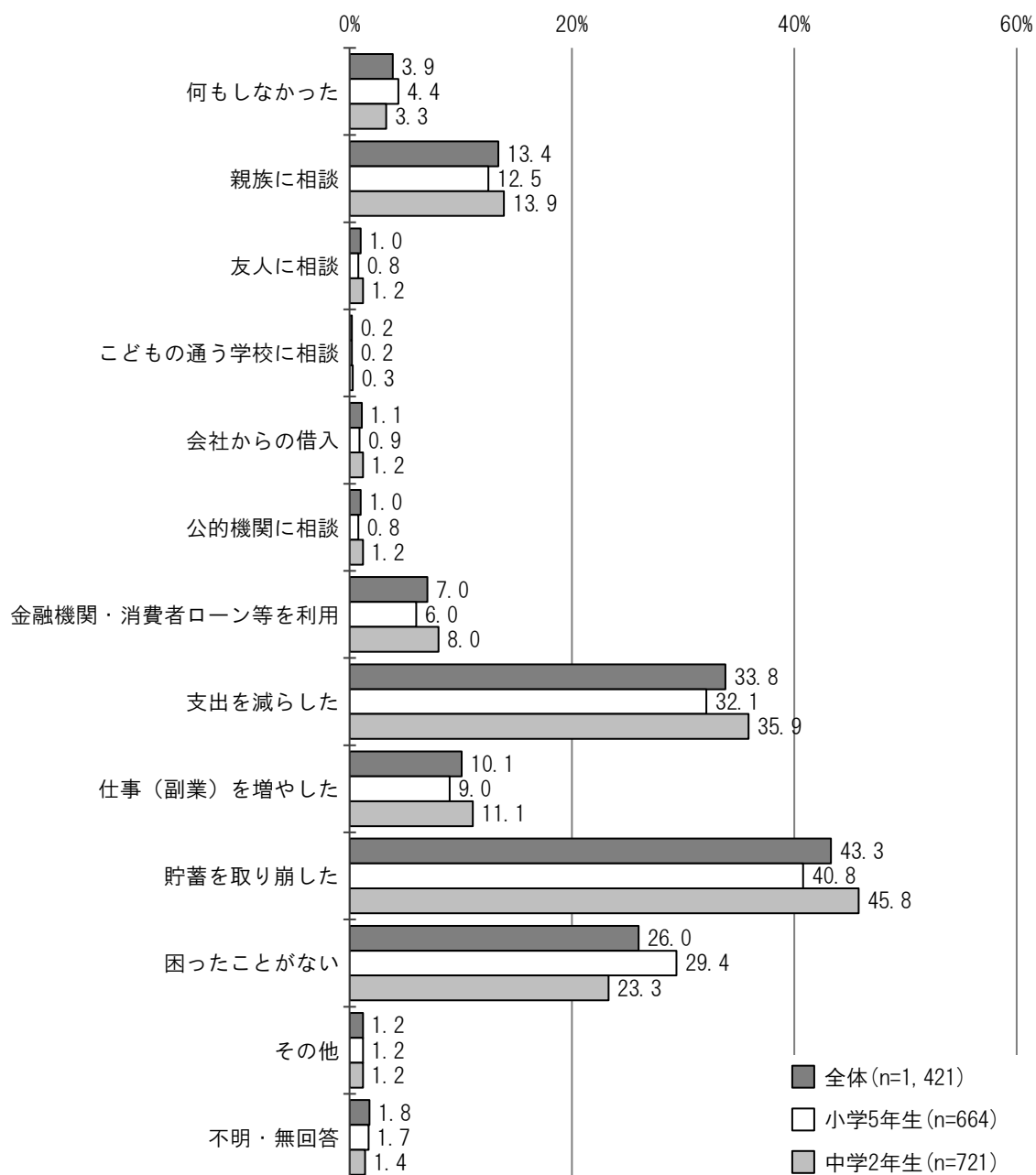
〈中学 2 年生〉では、「特に該当なし」が 80.7%と最も多く、次いで「税金や保険料の滞納」が 8.5%となっています。



問24 ご家庭では、経済的に苦しい状況であったときに、どのように対応をしてきましたか。
（複数回答）

経済的に苦しい状況であったときの対応についてみると、＜小学5年生＞では、「貯蓄を取り崩した」が40.8%と最も多く、次いで「支出を減らした」が32.1%となっています。

＜中学2年生＞では、「貯蓄を取り崩した」が45.8%と最も多く、次いで「支出を減らした」が35.9%となっています。

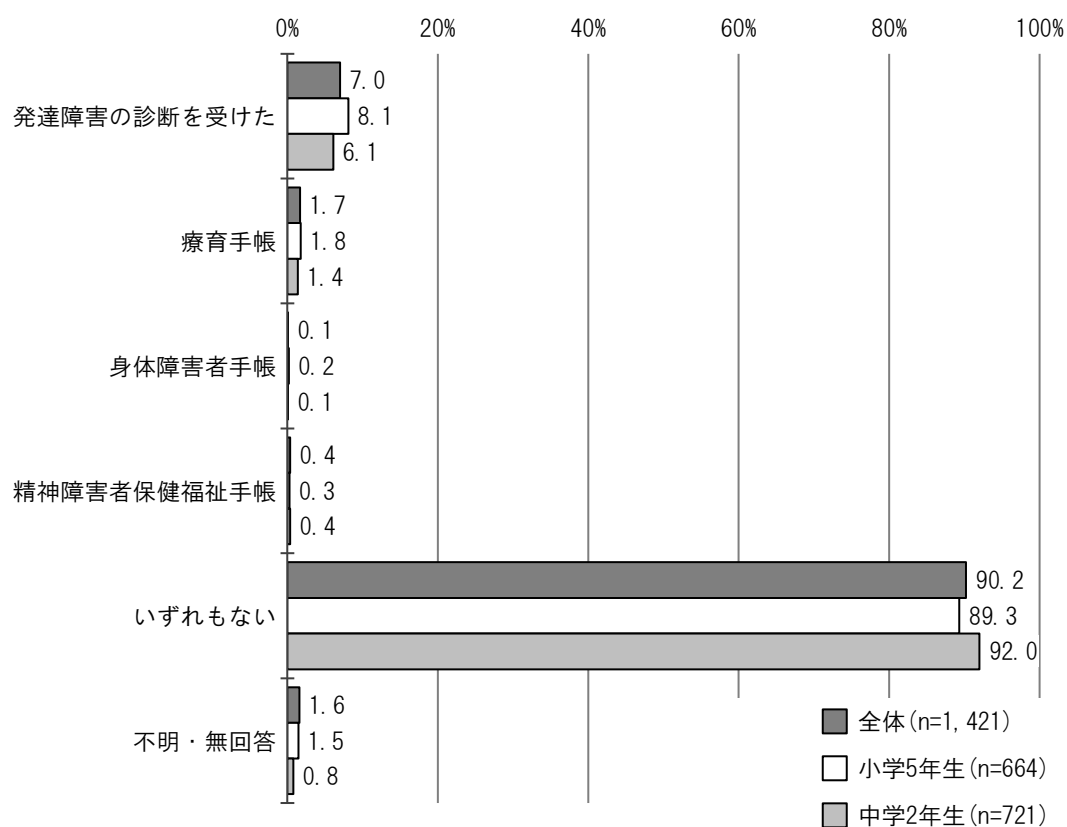


5 お子さまの生活や教育について [保護者調査]

問 25 調査対象のお子さまは、次の診断を受けたり、いずれかの手帳を持っていますか。
(複数回答)

お子さまの障がいや発達についてみると、〈小学 5 年生〉では、「発達障害の診断を受けた」が 8.1%、「療育手帳」が 1.8%となっています。

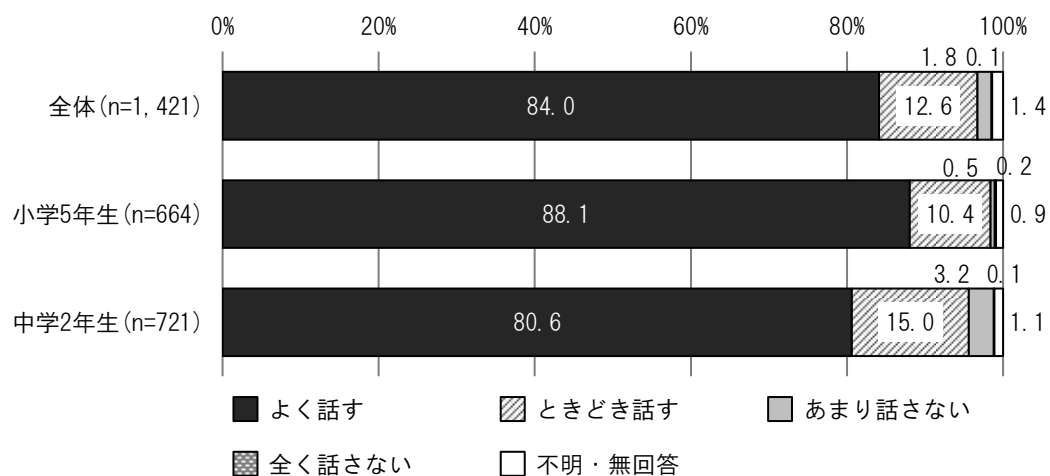
〈中学 2 年生〉では、「発達障害の診断を受けた」が 6.1%、「療育手帳」が 1.4%となっています。



問 26 あなたは、調査対象のお子さまとどれくらい話をしますか。（単数回答）

お子さまとどれくらい話をするかについてみると、〈小学5年生〉では、「よく話す」が88.1%と最も多く、次いで「ときどき話す」が10.4%となっています。

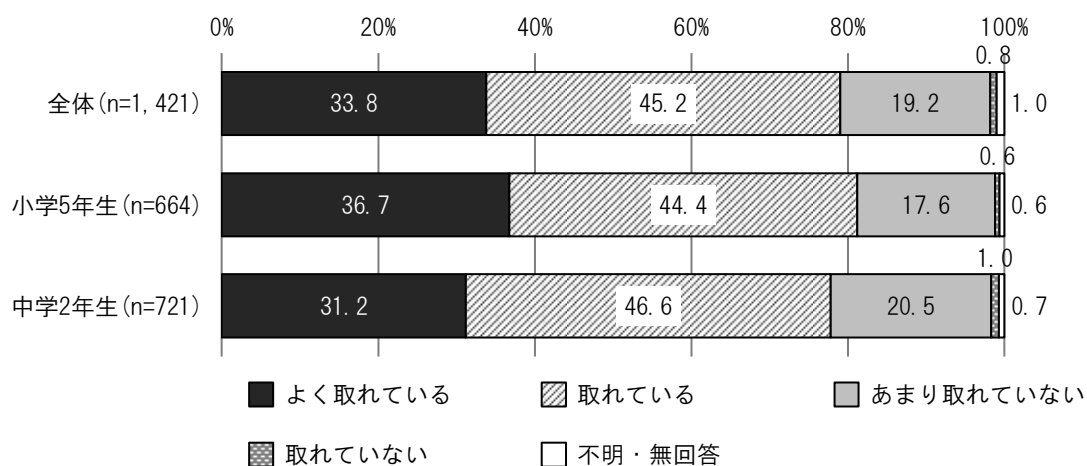
〈中学2年生〉では、「よく話す」が80.6%と最も多く、次いで「ときどき話す」が15.0%となっています。



問 27 あなたは、調査対象のお子さまと一緒に過ごす時間を十分にとれていると思いますか。
(単数回答)

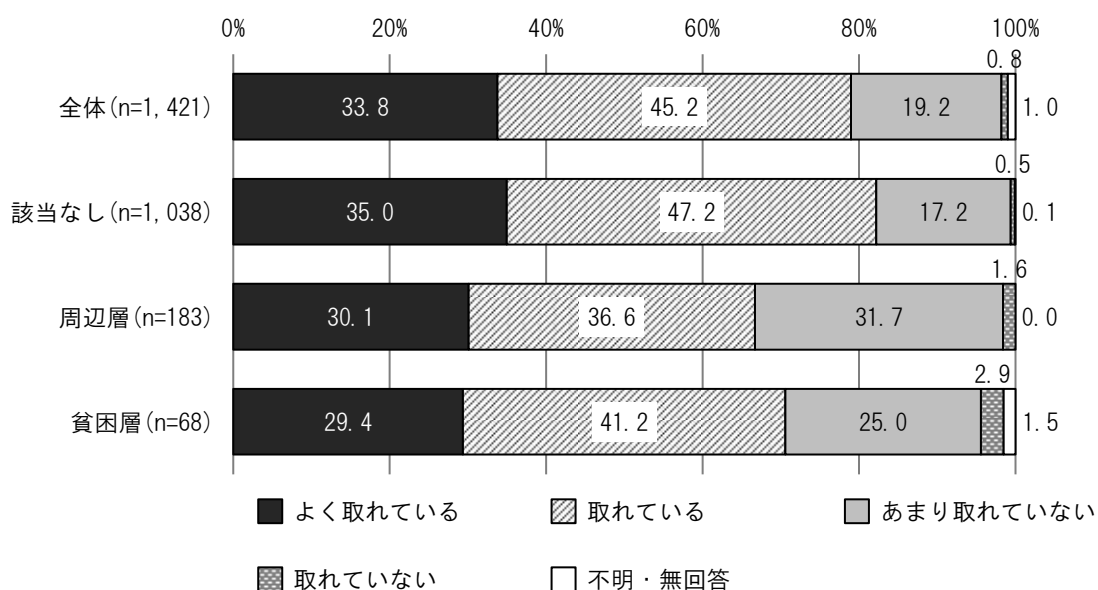
お子さまと一緒に過ごす時間を十分とれていると思うかについてみると、〈小学 5 年生〉では、「取れている」が 44.4%と最も多く、次いで「よく取れている」が 36.7%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「取れている」が 46.6%と最も多く、次いで「よく取れている」が 31.2%となっています。



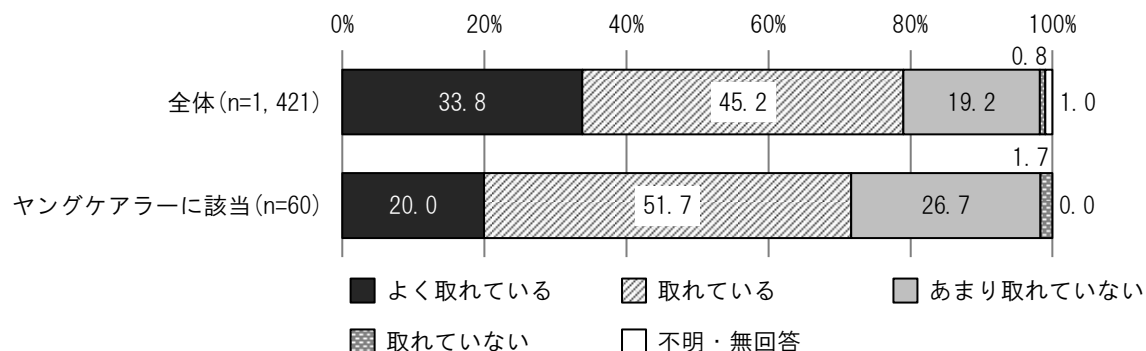
問 27 あなたは、調査対象のお子さまと一緒に過ごす時間を十分にとれていると思いますか。
× 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

お子さまと一緒に過ごす時間を十分とれていると思うかについて、生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「あまり取れていない」がやや多くなっています。



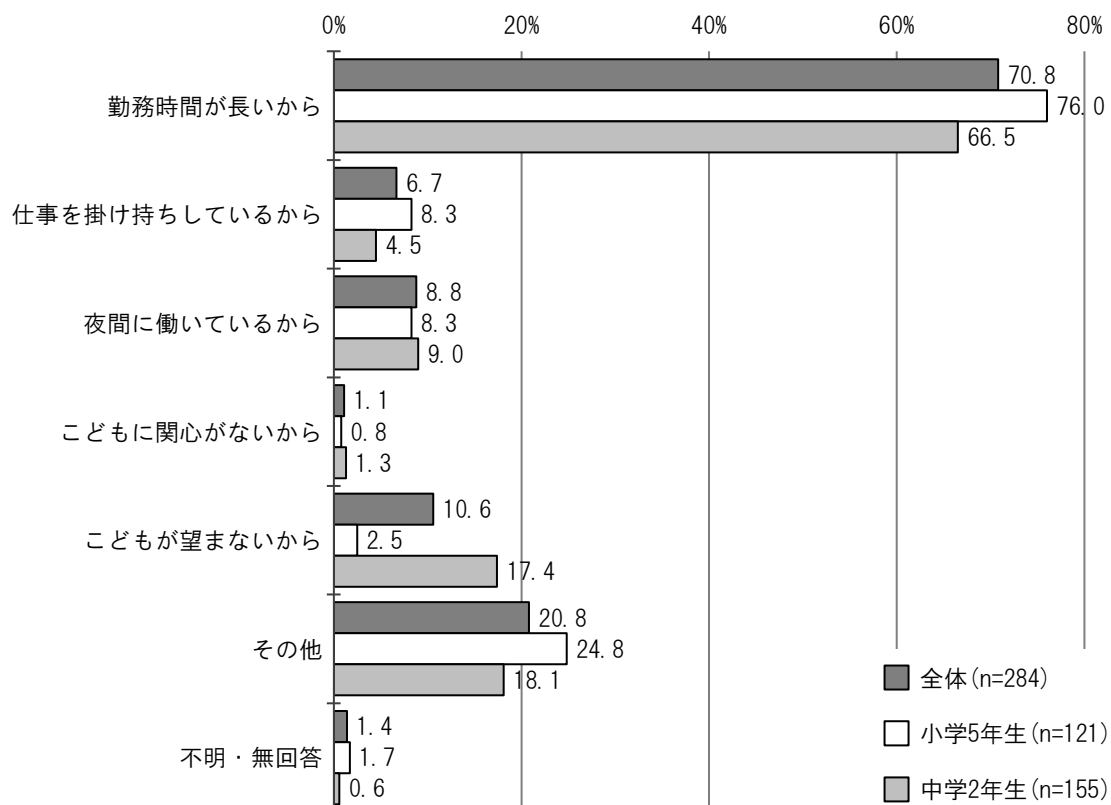
問27 あなたは、調査対象のお子さまと一緒に過ごす時間を十分に取れていると思いますか。
× ヤングケアラーに該当（単数回答）

お子さまと一緒に過ごす時間を十分に取れていると思うかについて、ヤングケアラーの保護者における状況をみると、全体と比べて「よく取れている」が少なく、「あまり取れていない」がやや多くなっています。



問27で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と答えた方のみ回答
問28 その理由は何ですか（複数回答）

一緒に過ごす時間を十分に取れていない理由について、〈小学5年生〉〈中学2年生〉では、「勤務時間が長いから」が6～7割台と最も多く、次いで「その他」となっており、「その他」の内容としては「習い事」「家事」「親の介護」等が多くなっています。



問 27 で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と答えた方のみ回答

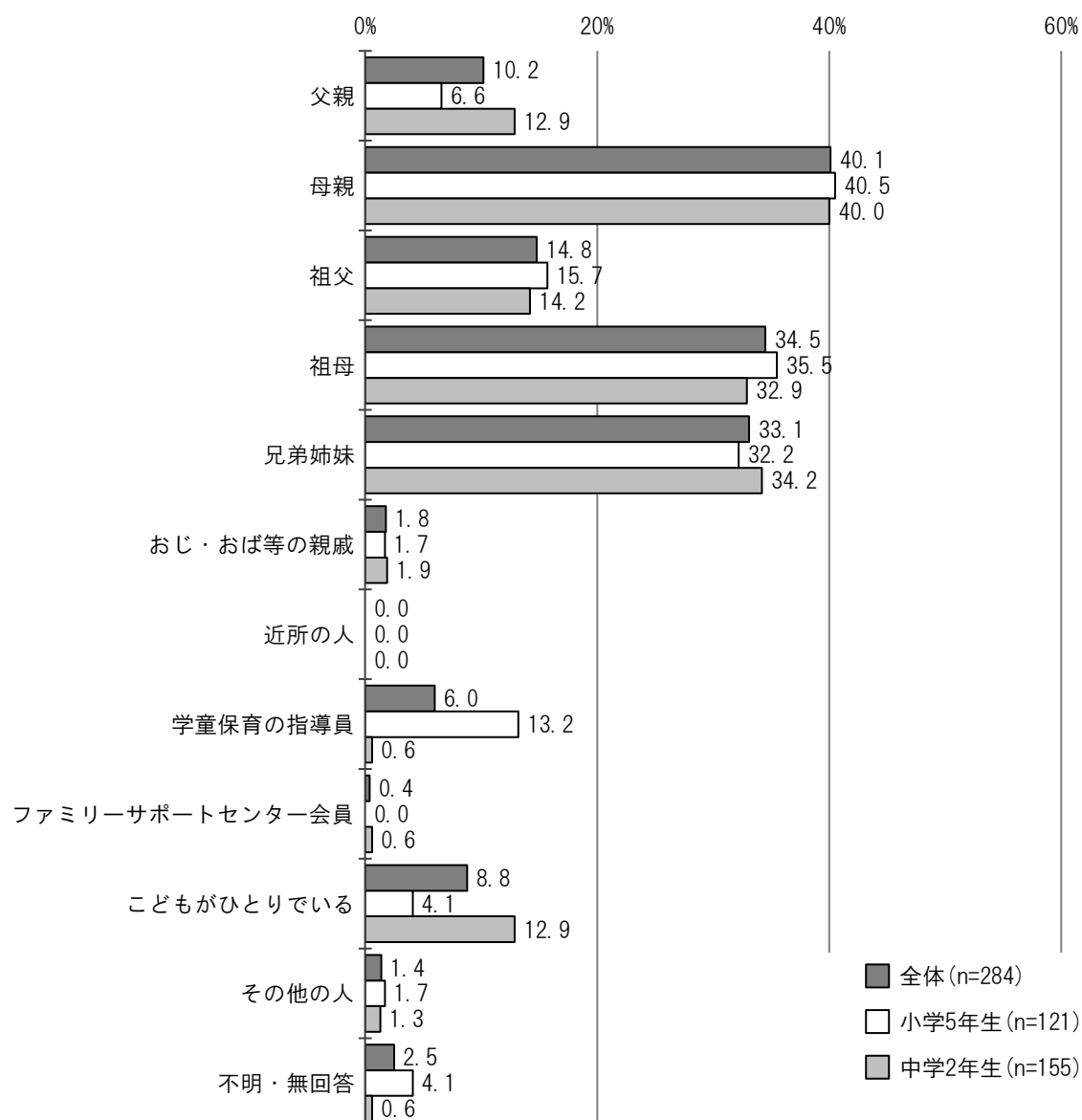
問 29 学校が終わってから、主に調査対象のお子さまと過ごす時間が長いのはどなたですか。

(調査対象のお子さまからみた続柄でお答えください。)

(複数回答)

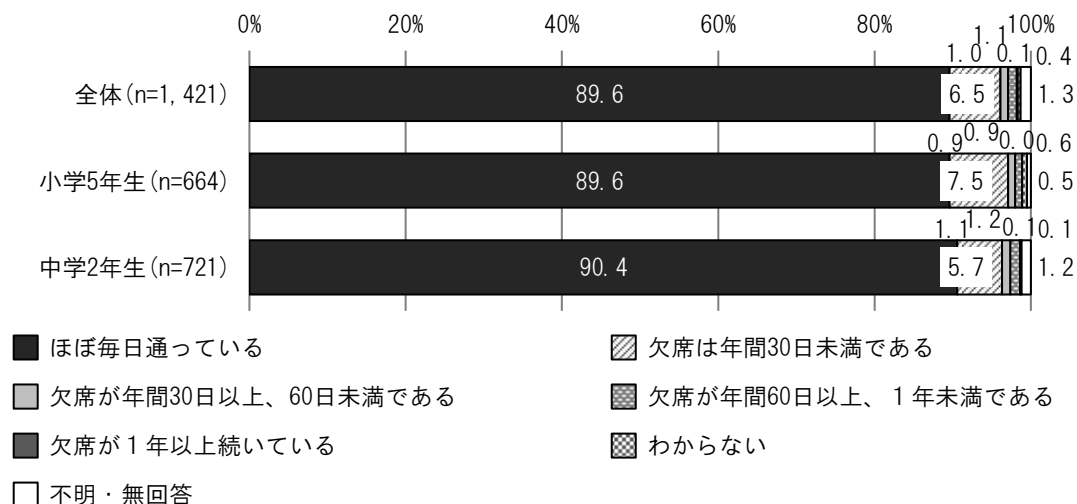
過ごす時間が長い方についてみると、＜小学 5 年生＞＜中学 2 年生＞いずれも「母親」が約4割、「祖母」「兄弟姉妹」が3割台となっています。

＜小学 5 年生＞では「学童保育の指導員」が 13.2%、＜中学 2 年生＞では「こどもがひとりでいる」が 12.9%となっています。



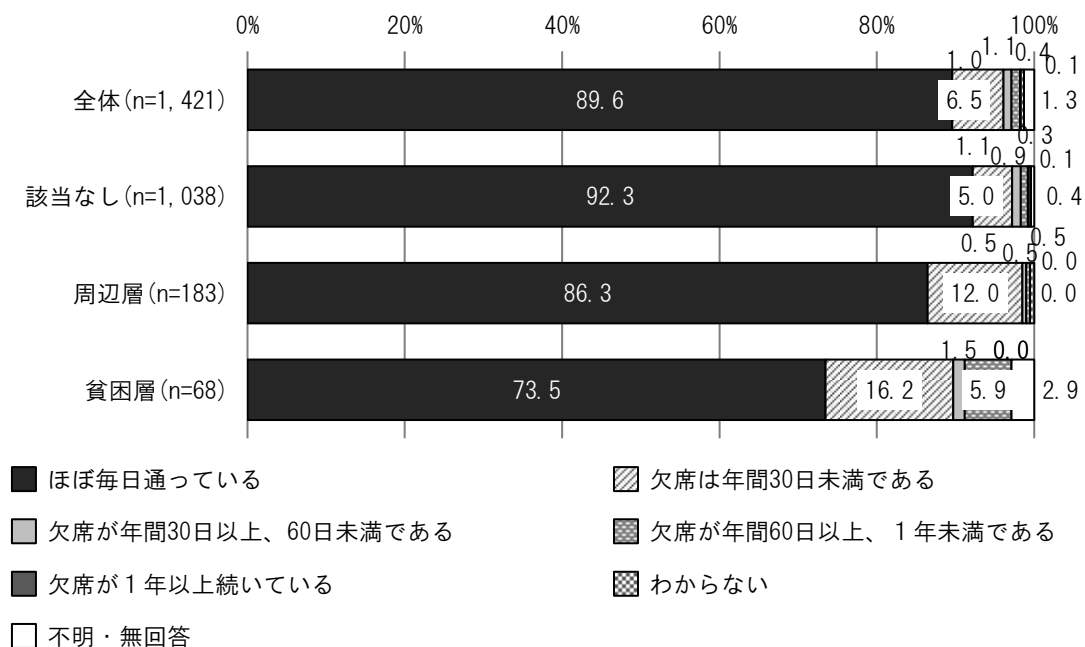
問 30 調査対象のお子さまの通学状況について、最も近いものに○をつけてください。
（単数回答）

通学状況についてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「ほぼ毎日通っている」が約9割となっています。



問 30 調査対象のお子さまの通学状況について、最も近いものに○をつけてください。 ×
 貧困層・周辺層への該当 （単数回答）

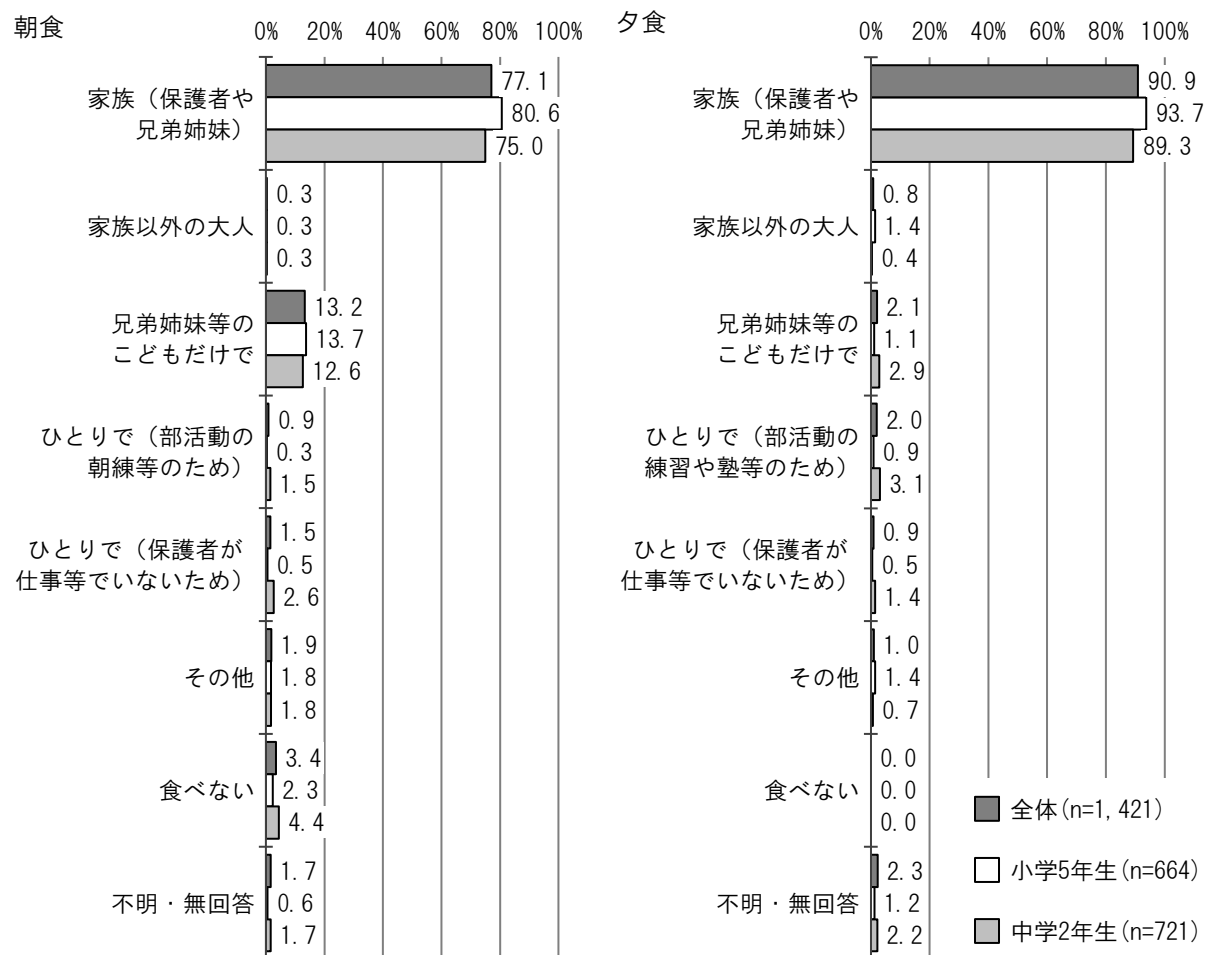
通学状況について生活困窮別にみると、＜周辺層＞＜貧困層＞では全体と比べて「ほぼ毎日通っている」が少なく、「欠席は年間30日未満である」が多くなっています。



問 31 普段、調査対象のお子さまは誰と一緒に食事をとっていますか。 (単数回答)

誰と食事をとっているかについてみると、朝食については<小学 5 年生><中学 2 年生>いずれも、「家族(保護者や兄弟姉妹)」が7～8割台、「兄弟姉妹等のこどもだけで」が1割台となっています。

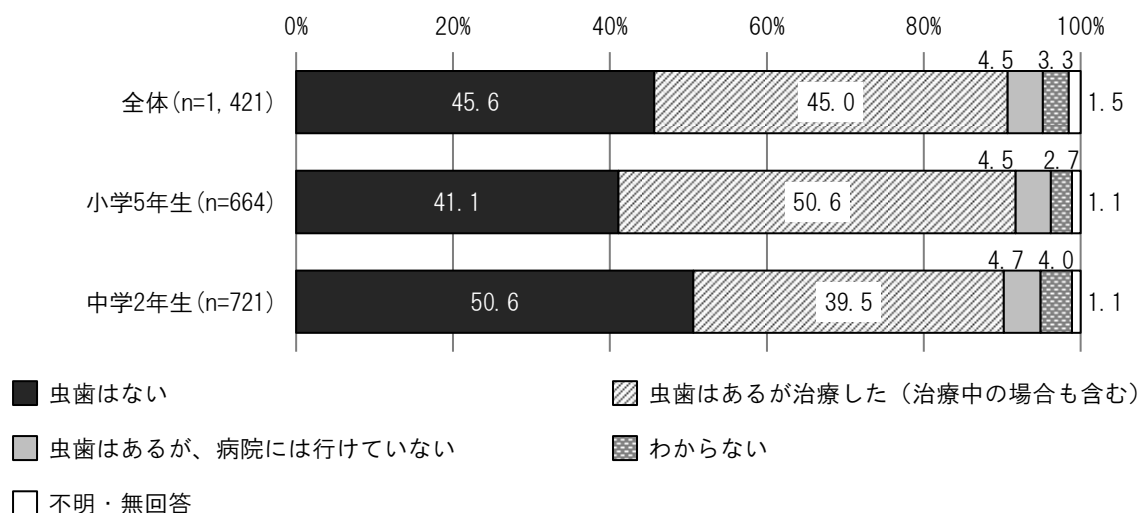
夕食については<小学 5 年生><中学 2 年生>いずれも、「家族(保護者や兄弟姉妹)」が約9割となっています。



問 32 調査対象のお子さまには虫歯がありますか。（単数回答）

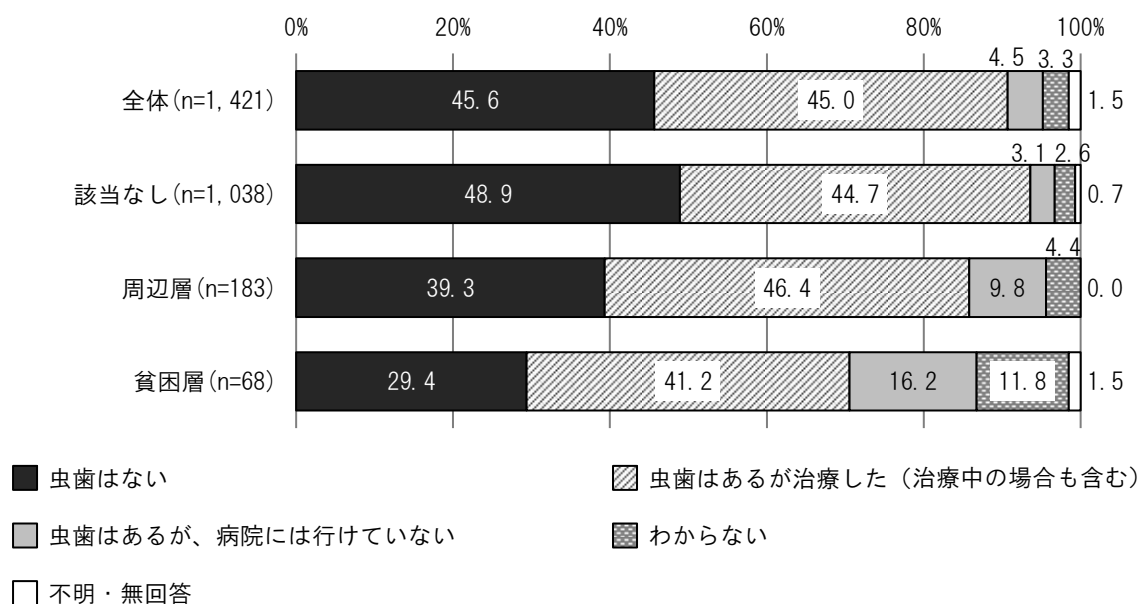
虫歯があるかについてみると、〈小学 5 年生〉では、「虫歯はあるが治療した（治療中の場合も含む）」が 50.6%と最も多く、次いで「虫歯はない」が 41.1%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「虫歯はない」が 50.6%と最も多く、次いで「虫歯はあるが治療した（治療中の場合も含む）」が 39.5%となっています。



問 32 調査対象のお子さまには虫歯がありますか。 × 貧困層・周辺層への該当（単数回答）

虫歯があるかについて生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では、全体と比べて「虫歯はない」が少なく、「虫歯はあるが病院には行けていない」が多くなっています。



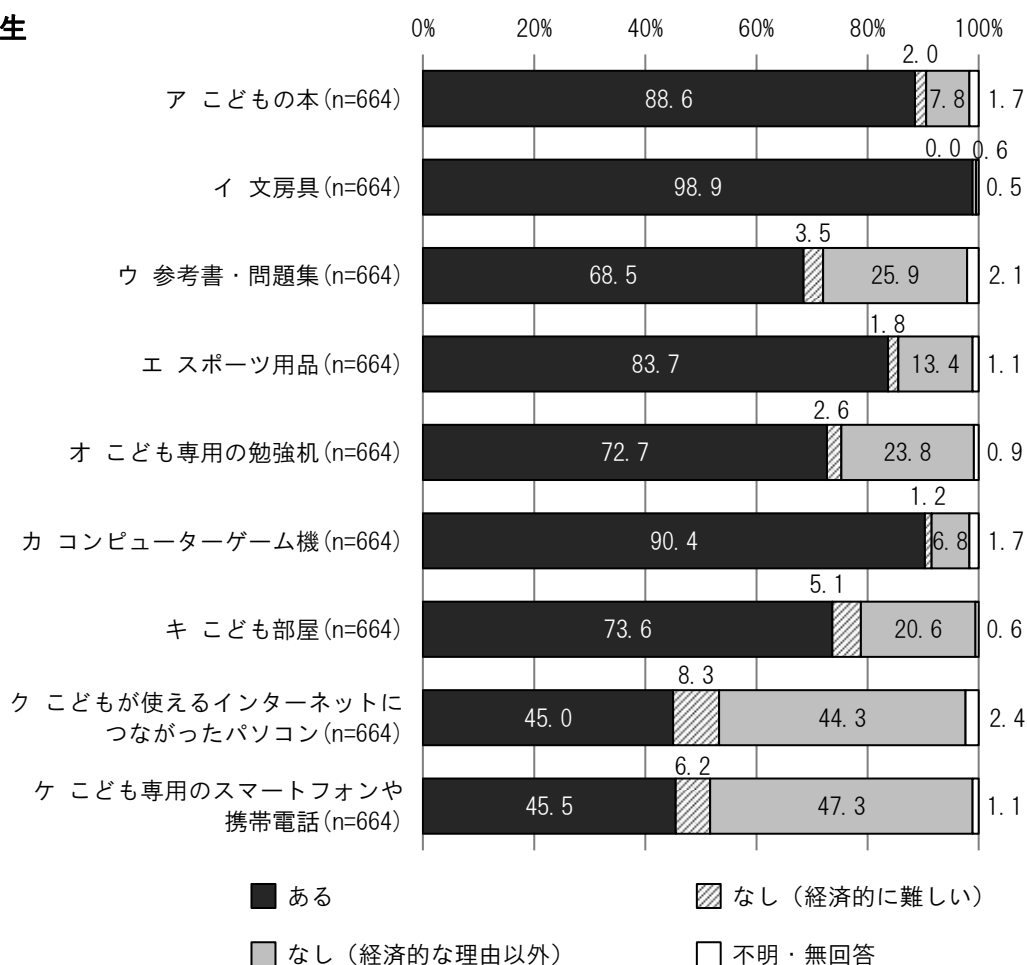
問 33 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のものをお持ちですか。

〈小学 5 年生〉（単数回答）

ご家庭でお持ちのものについてみると、小学 5 年生では〈ア こどもの本〉〈イ 文房具〉〈カ コンピューターゲーム機〉で「ある」が9割台と多く、〈ク こどもが使えるインターネットにつながったパソコン〉〈ケ こども専用のスマートフォンや携帯電話〉で「ある」が5割を下回っています。

「なし（経済的に難しい）」については〈ク こどもが使えるインターネットにつながったパソコン〉で 8.3%、〈ケ こども専用のスマートフォンや携帯電話〉で 6.2%となっています。

小学 5 年生



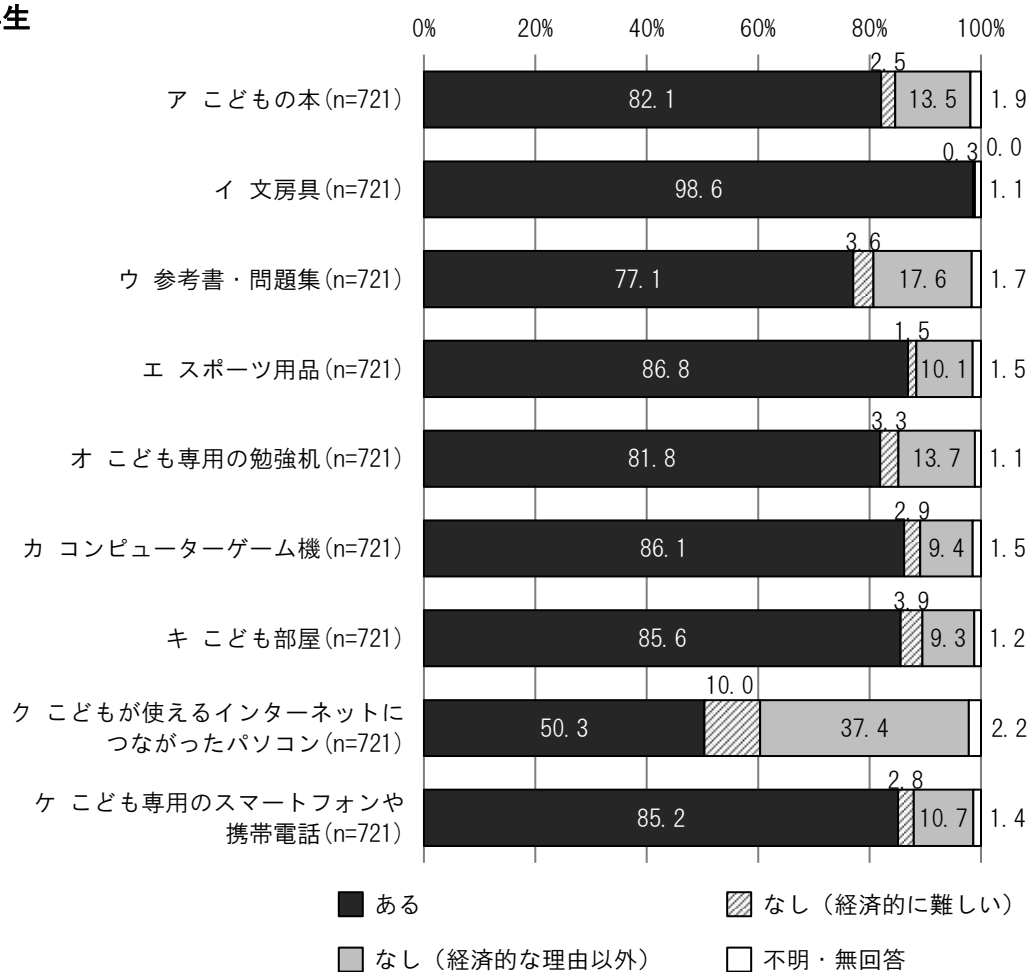
問 33 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のものをお持ちですか。

〈中学2年生〉（単数回答）

ご家庭でお持ちのものについてみると、中学2年生では〈イ 文房具〉〈エ スポーツ用品〉〈カ コンピューターゲーム機〉〈キ こども部屋〉〈ケ こども専用のスマートフォンや携帯電話〉で「ある」が8割台半ばからそれ以上と多く、〈ク こどもが使えるインターネットにつながったパソコン〉で「ある」が約5割となっています。

「なし（経済的に難しい）」については〈ク こどもが使えるインターネットにつながったパソコン〉で 10.0%となっています。

中学2年生

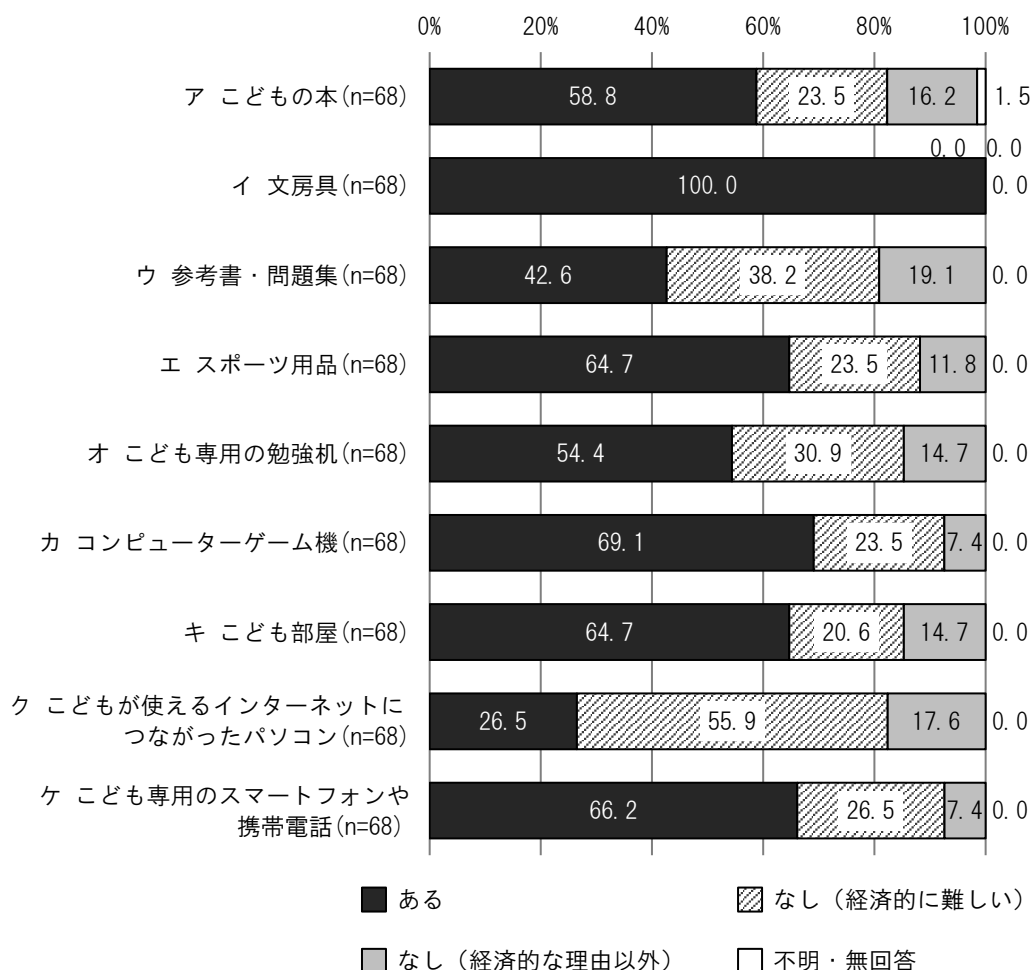


問 33 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のものをお持ちですか。

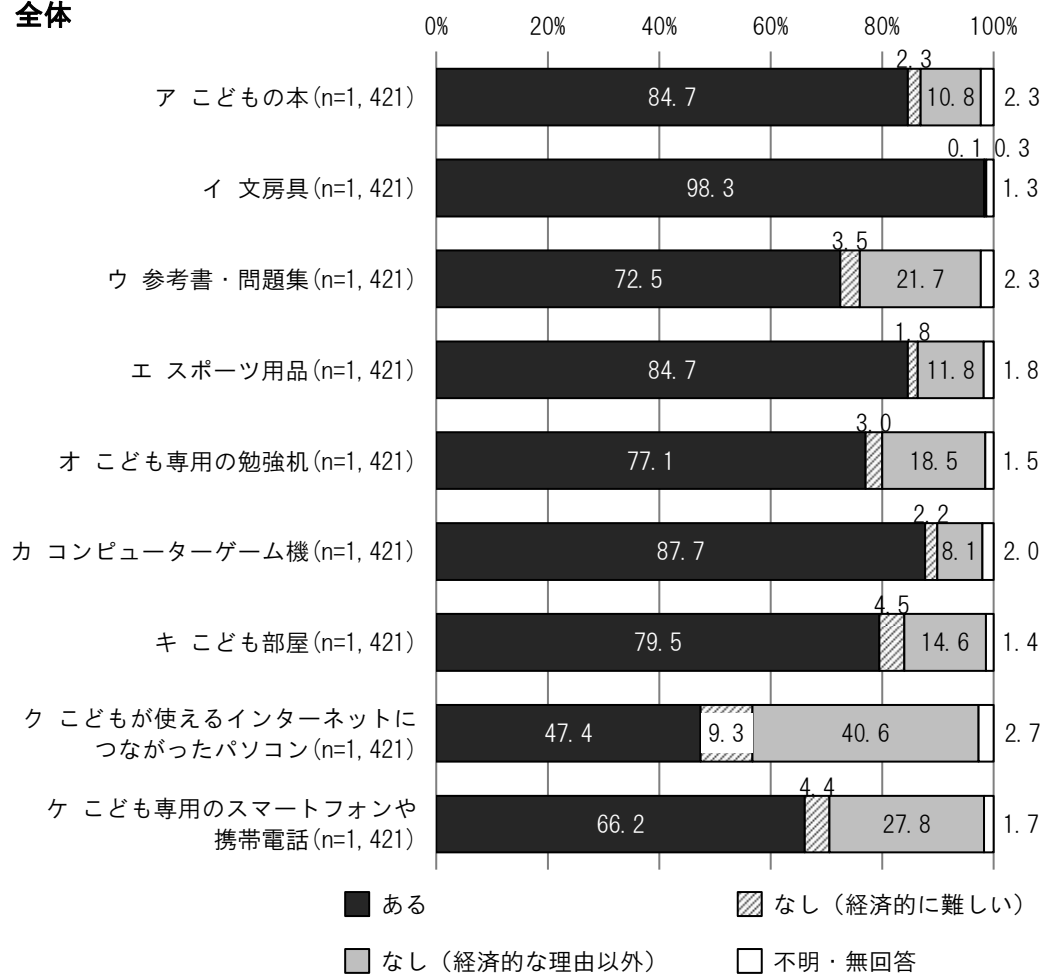
〈貧困層〉（単数回答）

ご家庭のお持ちのものについてみると、貧困層では「なし（経済的に難しい）」が「ク 子どもが使えるインターネットにつながったパソコン」で 55.9%、〈ウ 参考書・問題集〉〈オ 子ども専用の勉強机〉でそれぞれ3割台と、全体と比べて多くなっています。

貧困層



（参考）全体

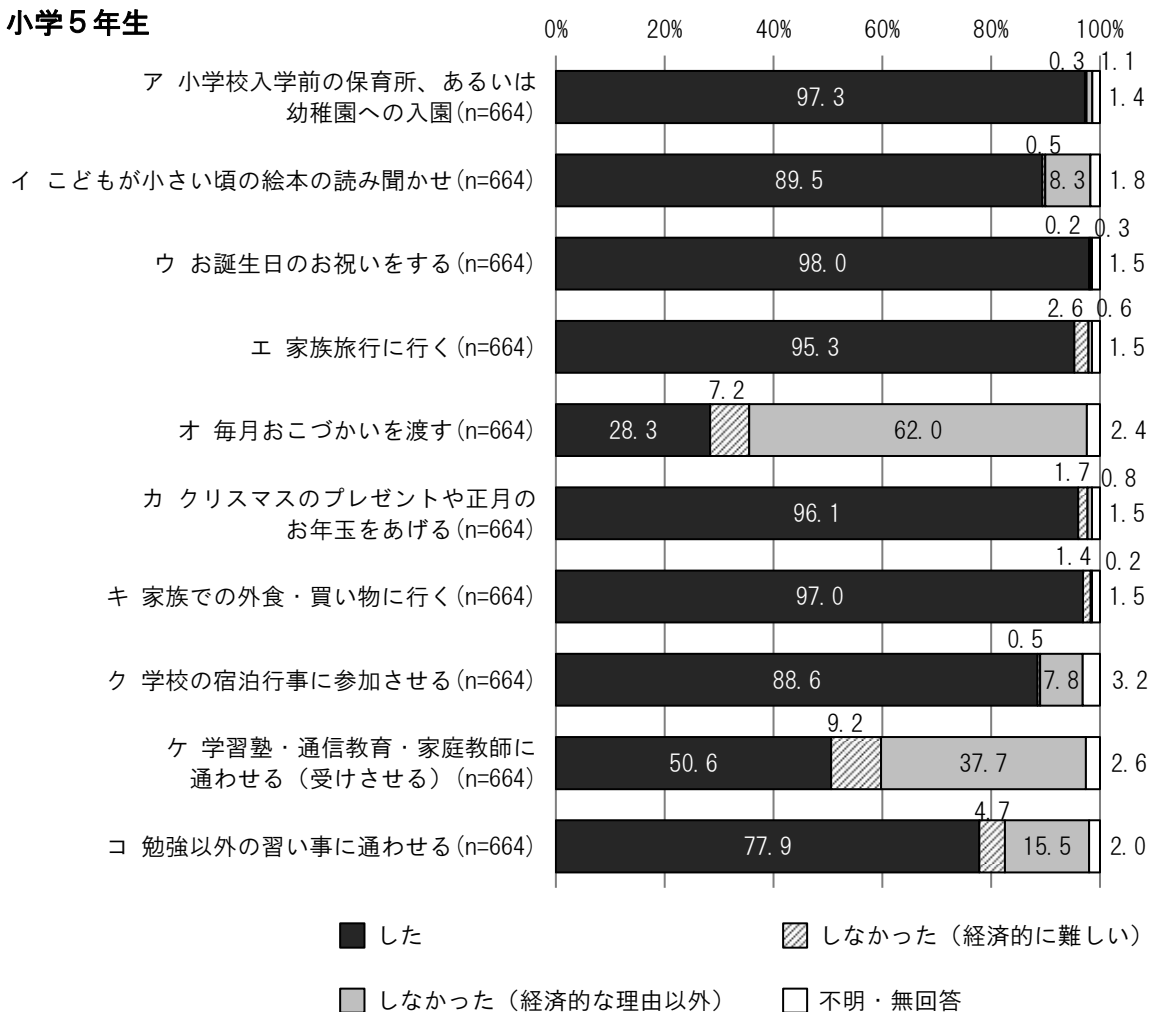


問 34 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のことをしています（していました）か。
 〈小学5年生〉（単数回答）

ご家庭でしていることについてみると、小学5年生では〈ア 小学校入学前の保育所、あるいは幼稚園への入園〉〈ウ お誕生日のお祝いをする〉〈エ 家族旅行に行く〉〈カ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〉〈キ 家族での外食・買い物に行く〉で「した」が9割台と多く、〈オ 毎月おこづかいを渡す〉で「した」が3割を下回っています。

「しなかった（経済的に難しい）」については〈ケ 学習塾・通信教育・家庭教師に通わせる（受けさせる）〉で9.2%、〈オ 毎月おこづかいを渡す〉で7.2%となっています。

小学5年生

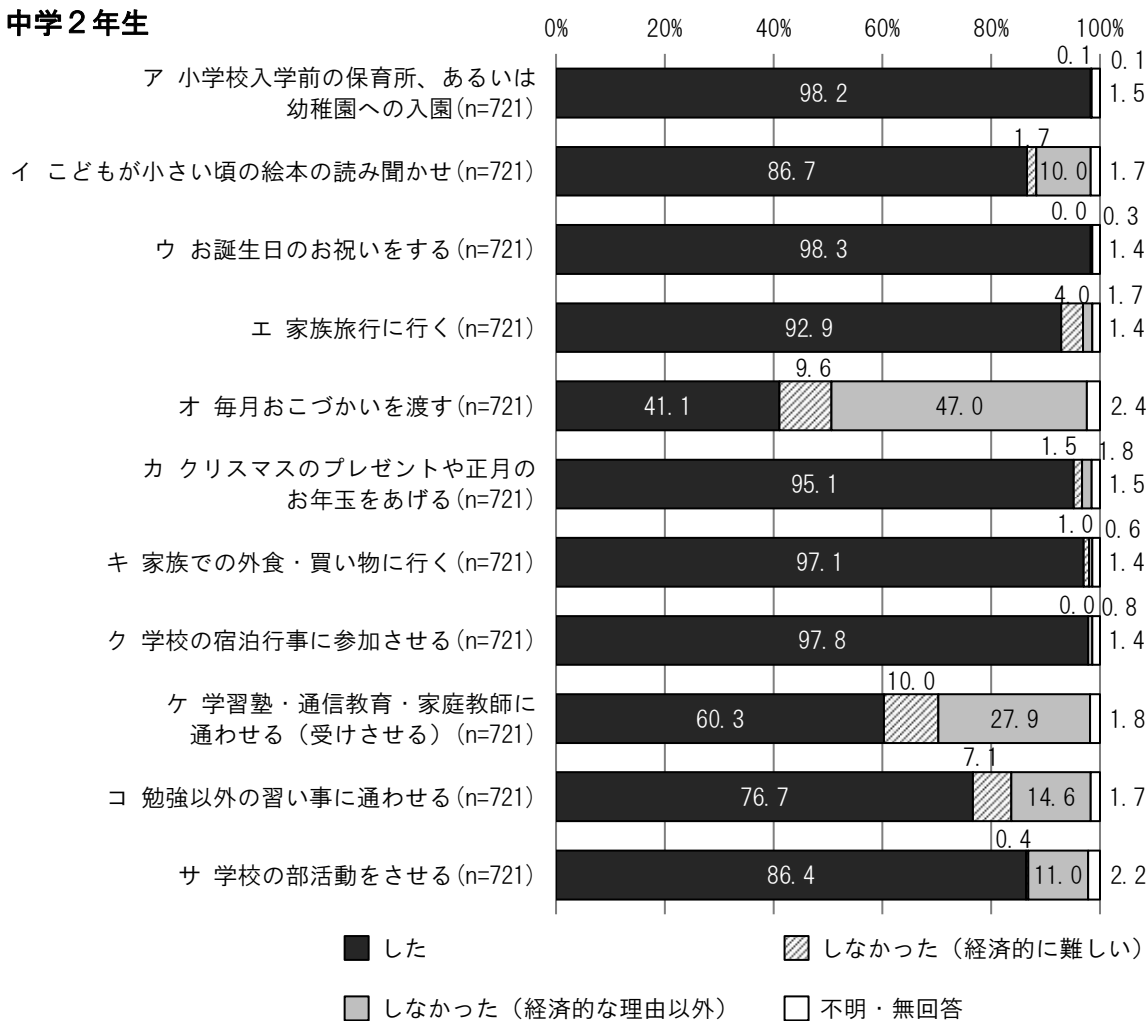


問34 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のことをしています（していました）か。
 〈中学2年生〉（単数回答）

ご家庭でしていることについてみると、中学2年生では〈ア 小学校入学前の保育所、あるいは幼稚園への入園〉〈ウ お誕生日のお祝いをする〉〈エ 家族旅行に行く〉〈カ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〉〈キ 家族での外食・買い物に行く〉〈ク 学校の宿泊行事に参加させる〉で「した」が9割台と多く、〈オ 毎月おこづかいを渡す〉で「した」が約4割となっています。

「しなかった（経済的に難しい）」については〈ケ 学習塾・通信教育・家庭教師に通わせる（受けさせる）〉で10.0%、〈オ 毎月おこづかいを渡す〉で9.6%、〈コ 勉強以外の習い事に通わせる〉で7.1%となっています。

中学2年生



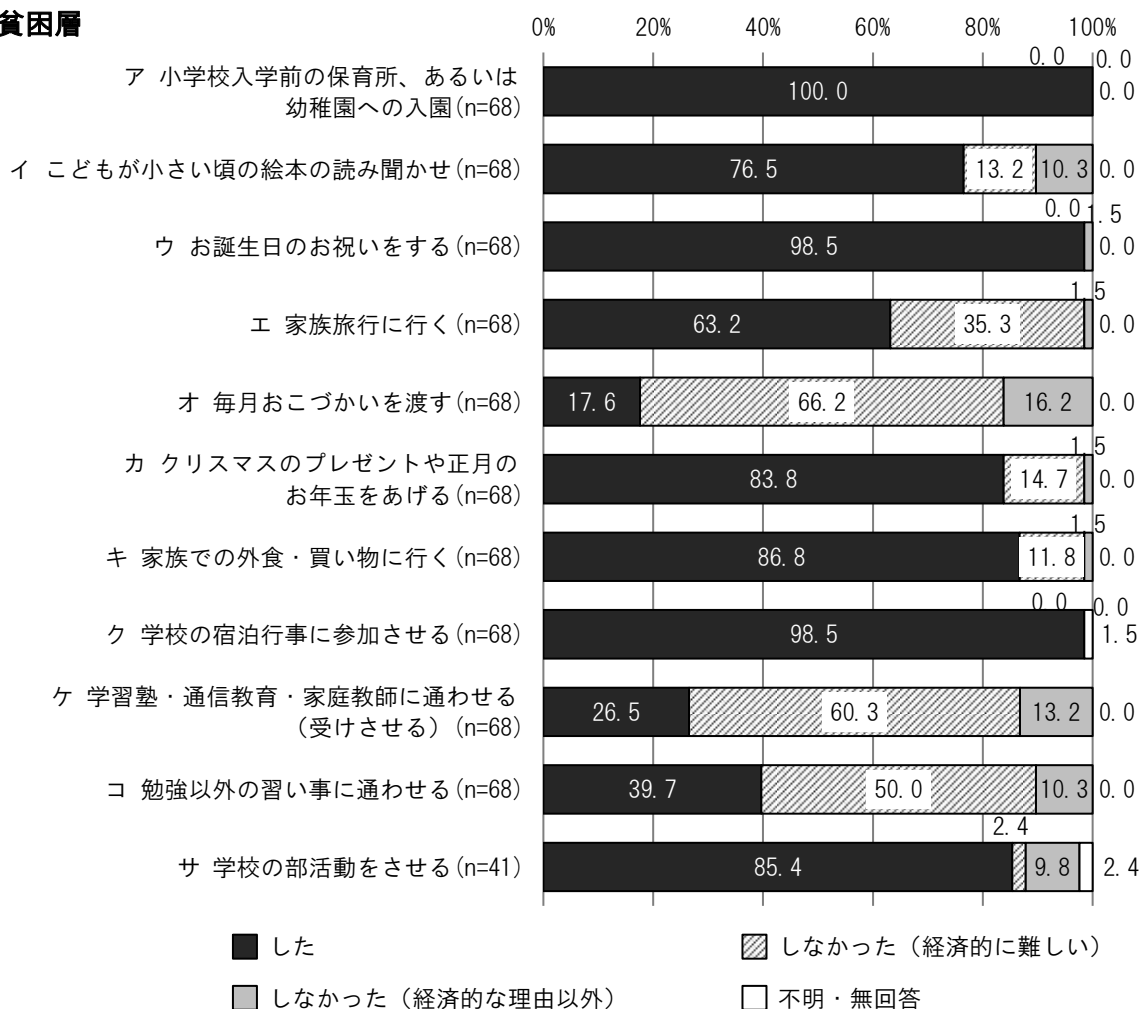
「サ 学校の部活動をさせる」については中学2年生の保護者のみ回答

問 34 ご家庭では、調査対象のお子さまのために次のことをしています（していました）か。

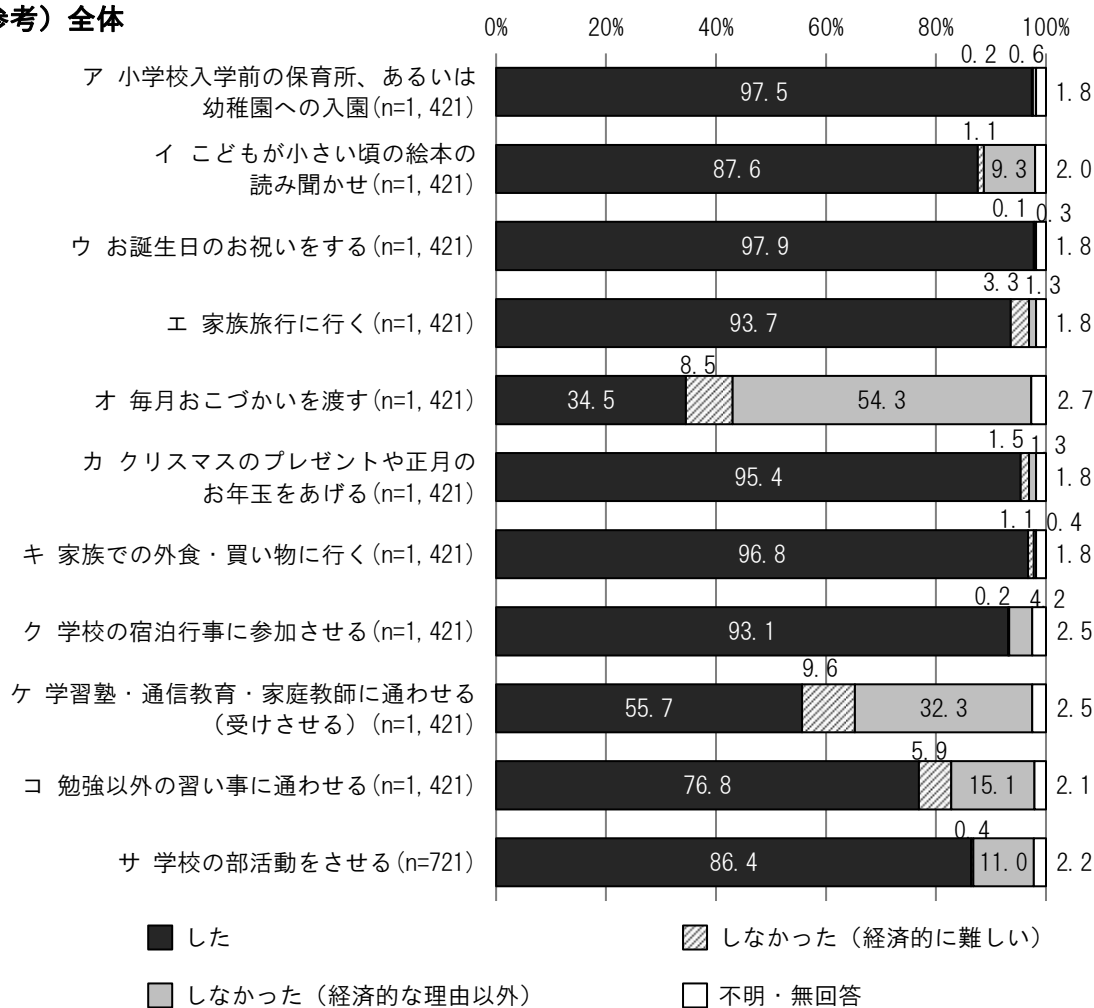
〈貧困層〉（単数回答）

ご家庭でしていることについてみると、貧困層では「しなかった（経済的に難しい）」が「オ 毎月おこづかいを渡す」<「ケ 学習塾・通信教育・家庭教師に通わせる（受けさせる）」<「コ 勉強以外の習い事に通わせる」で5割以上となっています。

貧困層

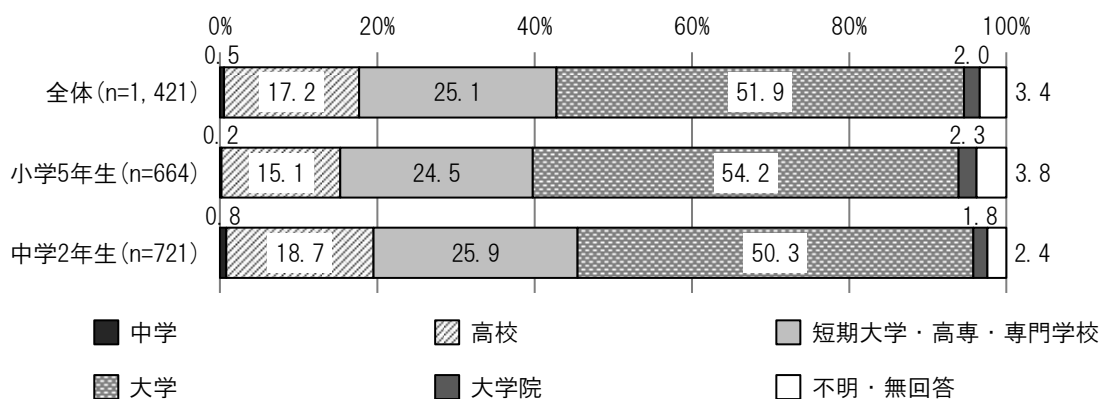


（参考）全体



問 35 あなたは、調査対象のお子さまの将来の進学・進路として、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(単数回答)

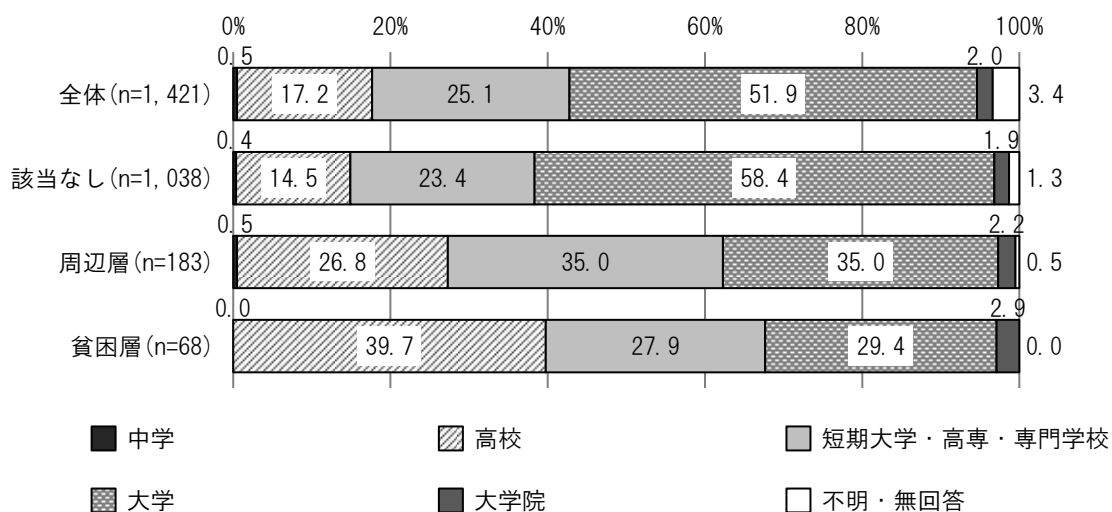
どの段階まで教育を受けさせたいかについてみると、<小学 5 年生><中学 2 年生>いずれも、「大学」が5割台、次いで「短期大学・高専・専門学校」が2割台となっています。



問 35 あなたは、調査対象のお子さまの将来の進学・進路として、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。 × 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

どの段階まで教育を受けさせたいかについて生活困窮別にみると、<周辺層>では全体と比べて「短期大学・高専・専門学校」「高校」がやや多くなっています。

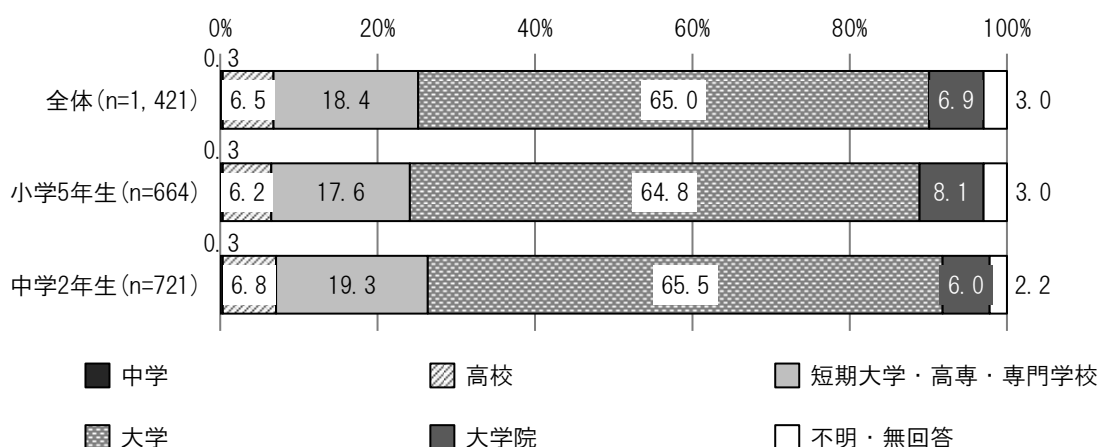
<貧困層>では全体と比べて「高校」が多く、39.7%となっています。



問35の結果と問37の結果を見比べて確認できるよう、設問の掲載順を入れ替えています。

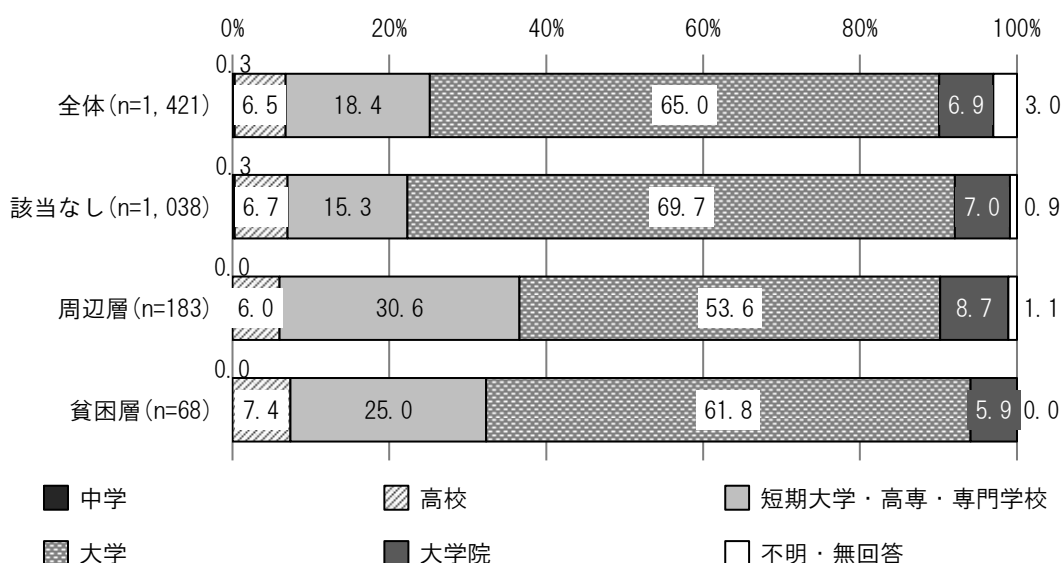
問37 あなたは経済的に費用を心配しなくていい場合には、調査対象のお子さまにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。（単数回答）

経済的に心配がない場合どの段階まで教育を受けさせたいかについてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「大学」が6割台、次いで「短期大学・高専・専門学校」が2割弱となっています。



問37 あなたは経済的に費用を心配しなくていい場合には、調査対象のお子さまにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。 × 貧困層・周辺層への該当（単数回答）

経済的に心配がない場合どの段階まで教育を受けさせたいかについて、生活困窮別にみると、〈周辺層〉で「大学」が53.6%、〈貧困層〉で「大学」が61.8%と、いずれも問35(左ページ)における「大学」の割合を上回っています。

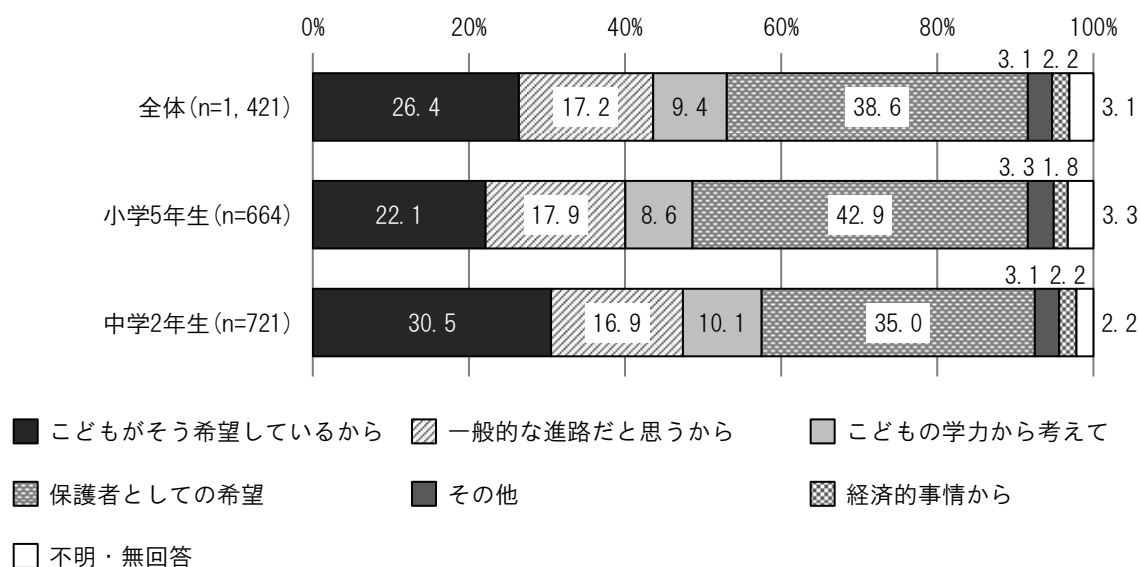


問 36 問 35 のように答えた理由は何ですか。

(単数回答)

どの段階まで教育を受けさせたいかを答えた理由についてみると、〈小学 5 年生〉では、「保護者としての希望」が 42.9%と最も多く、次いで「こどもがそう希望しているから」が 22.1%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「保護者としての希望」が 35.0%と最も多く、次いで「こどもがそう希望しているから」が 30.5%となっています。



問 35 の答えごとにみた問 36 の回答

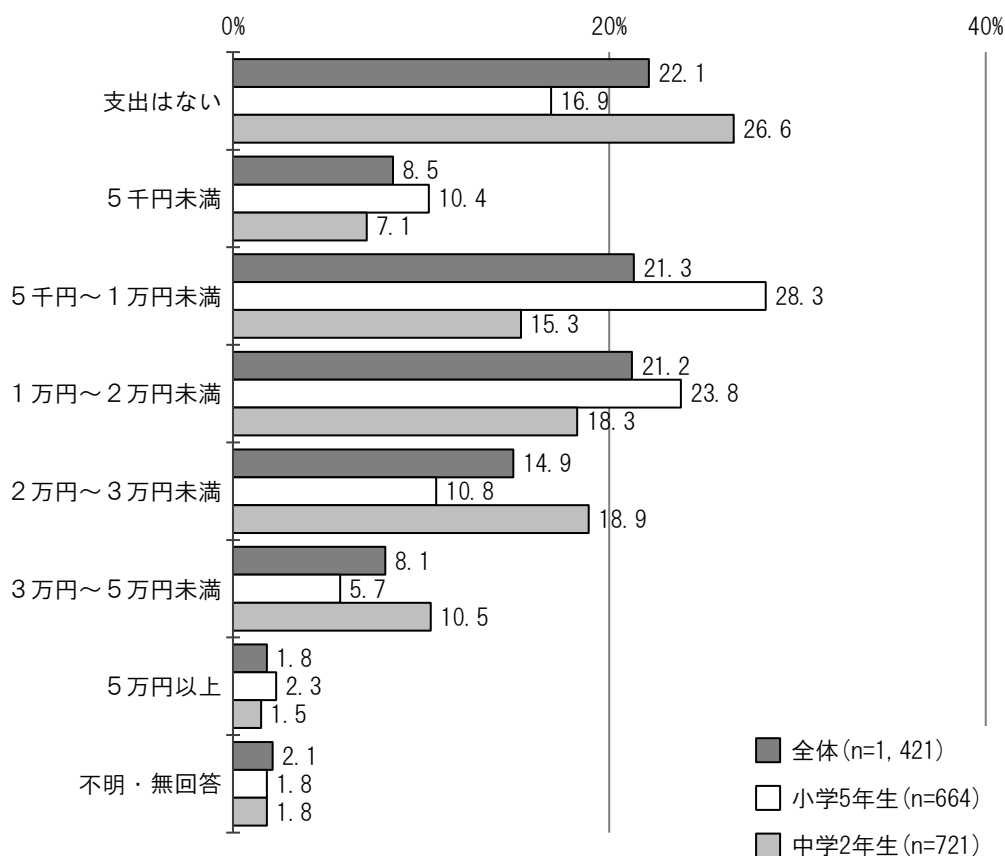
問 35 (どの段階まで教育を受けさせたいか) について、「高校」と答えた方においては、問 36 について「一般的な進路だと思うから (26.2%)」「こどもの学力から考えて (17.6%)」が全体と比べて多く、「保護者としての希望 (17.2%)」が全体と比べて少なくなっています。

また、問 35 について「短期大学・高専・専門学校」「大学」と答えた方については、問 36 の結果について全体と比べて大きな差はみられません。

問 38 調査対象のお子さまに、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1ヶ月当たりの平均の支出はどれくらいですか。（単数回答）

教育にかかる支出についてみると、〈小学5年生〉では、「5千円～1万円未満」が28.3%と最も多く、次いで「1万円～2万円未満」が23.8%となっています。

〈中学2年生〉では、「支出はない」が26.6%と最も多く、次いで「2万円～3万円未満」が18.9%となっています。



問 38 調査対象のお子さまに、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかかる1ヶ月当たりの平均の支出はどれくらいですか。 × 貧困層・周辺層への該当（単数回答）

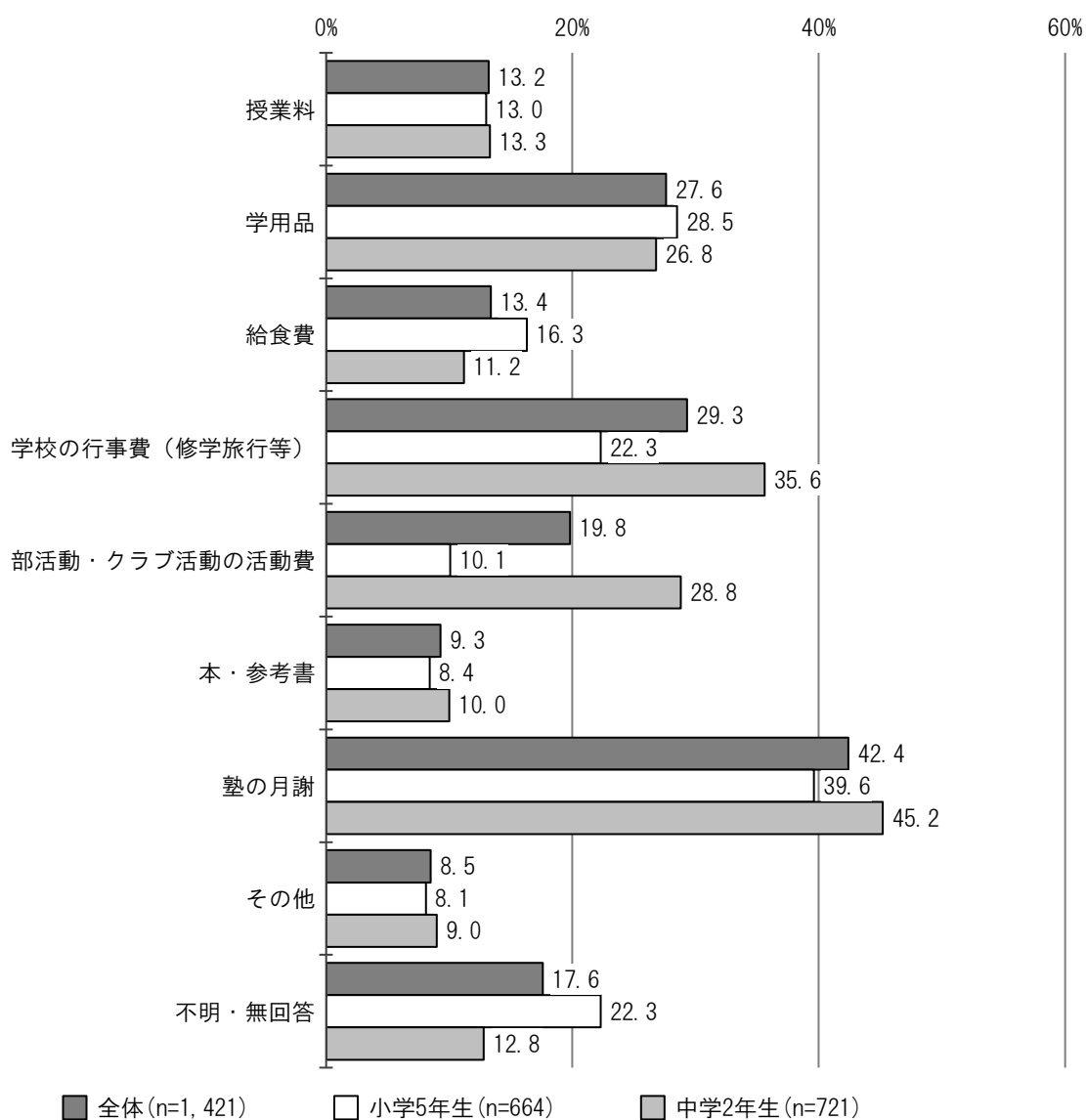
教育にかかる支出について生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉では全体と比べて「支出はない」が多く、特に〈貧困層〉では55.9%となっています。

%	支出はない	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円以上
全体(n=1,421)	22.1	8.5	21.3	21.2	14.9	8.1	1.8
該当なし(n=1,038)	17.9	8.5	22.7	21.8	16.8	9.8	2.3
周辺層(n=183)	33.9	7.7	20.8	19.7	13.1	4.4	0.5
貧困層(n=68)	55.9	11.8	11.8	11.8	4.4	2.9	-
%	不明・無回答						
全体(n=1,421)	2.1						
該当なし(n=1,038)	0.2						
周辺層(n=183)	-						
貧困層(n=68)	1.5						

問 39 調査対象のお子さまに、教育に係る費用で負担とを感じるものはありますか。
(複数回答)

教育費で負担とを感じるものについてみると、〈小学5年生〉では、「塾の月謝」が39.6%と最も多く、次いで「学用品」が28.5%となっています。

〈中学2年生〉では、「塾の月謝」が45.2%と最も多く、次いで「学校の行事費(修学旅行等)」が35.6%となっています。



問 39 調査対象のお子さまに、教育に係る費用で負担とを感じるものはありますか。

× 貧困層・周辺層への該当

（複数回答）

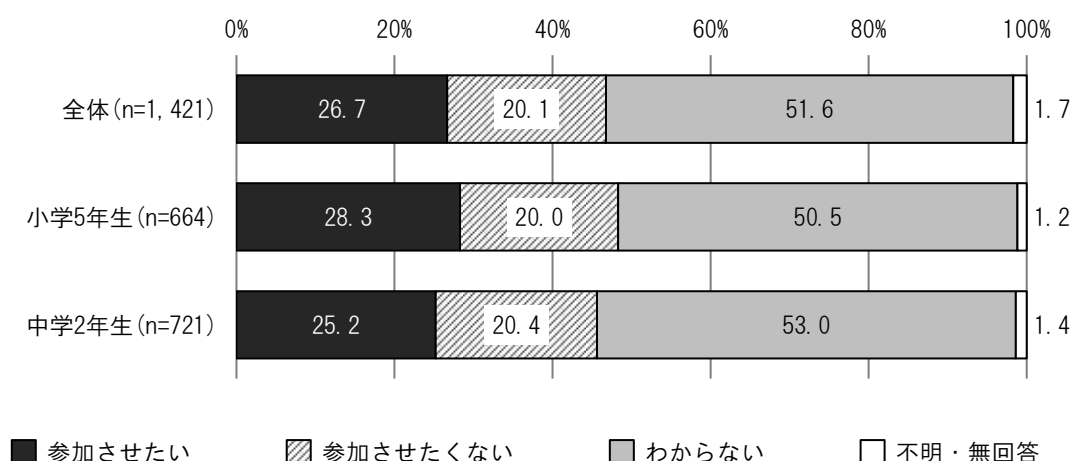
教育費で負担に感じるものについて生活困窮別にみると、＜周辺層＞＜貧困層＞では全体と比べて、「授業料」「学用品」「給食費」「学校の行事費（修学旅行等）」「部活動・クラブ活動の活動費」「本・参考書」で多くなっています。

特に、＜貧困層＞における「学校の行事費（修学旅行等）」で72.1%と多くなっています。

%	授業料	学用品	給食費	学校の行事費（修学旅行等）	部活動・クラブ活動の活動費	本・参考書	塾の月謝
全体(n=1,421)	13.2	27.6	13.4	29.3	19.8	9.3	42.4
該当なし(n=1,038)	9.1	23.0	10.9	24.1	16.6	7.1	44.3
周辺層(n=183)	25.7	41.5	21.9	46.4	30.6	14.2	44.8
貧困層(n=68)	44.1	63.2	39.7	72.1	47.1	27.9	32.4
%	その他	不明・無回答					
全体(n=1,421)	8.5	17.6					
該当なし(n=1,038)	9.5	18.0					
周辺層(n=183)	4.4	7.1					
貧困層(n=68)	7.4	1.5					

問 40 地域に無料または安価でこどもに食事の提供を行う「こども食堂」があったら、調査対象のお子さまを参加させたいと思いますか。（単数回答）

「こども食堂」に参加させたいかについてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「わからない」が5割台、「参加させたい」「参加させたくない」がそれぞれ2割台となっています。

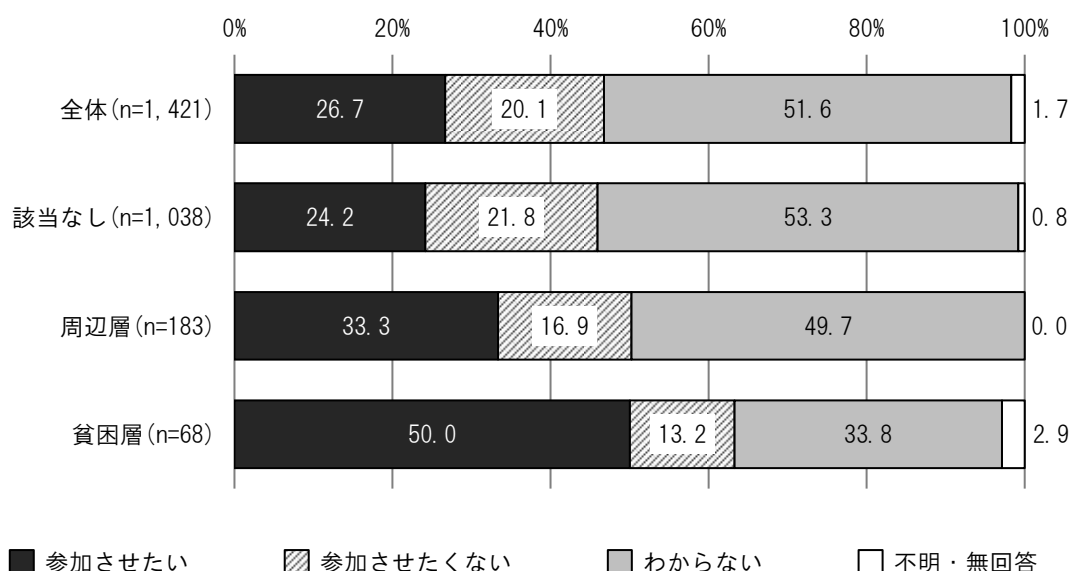


問 40 地域に無料または安価でこどもに食事の提供を行う「こども食堂」があったら、調査対象のお子さまを参加させたいと思いますか。

× 貧困層・周辺層への該当

(単数回答)

「こども食堂」に参加させたいかについて生活困窮別にみると〈貧困層〉では、全体と比べて「参加させたい」が多く、50.0%となっています。

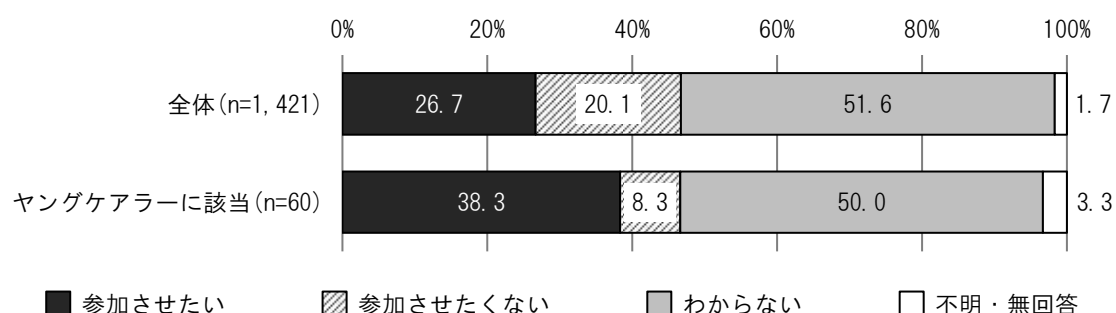


問 40 地域に無料または安価でこどもに食事の提供を行う「こども食堂」があったら、調査対象のお子さまを参加させたいと思いますか。

× ヤングケアラーに該当

(単数回答)

「こども食堂」に参加させたいかについてヤングケアラーの保護者における状況をみると、全体と比べて「参加させたい」が多く、38.3%となっています。



問40で「1 参加させたい」と答えた方のみ回答

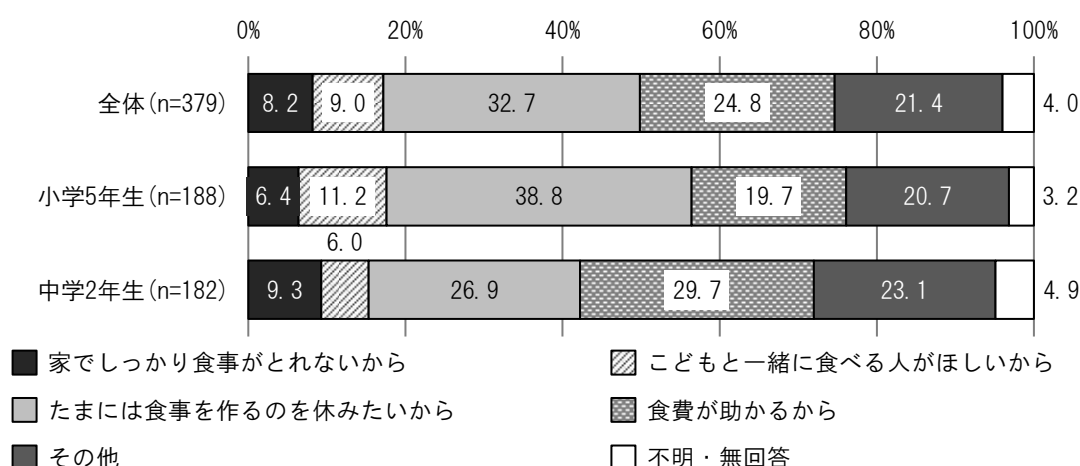
問41 その一番の理由はなんですか。次のうち、最も近いものをお答えください。

（単数回答）

「こども食堂」に参加させたい理由についてみると、〈小学5年生〉では、「たまには食事を作るのを休みたいから」が38.8%と最も多く、次いで「その他」が20.7%となっています。

〈中学2年生〉では、「食費が助かるから」が29.7%と最も多く、次いで「たまには食事を作るのを休みたいから」が26.9%となっています。

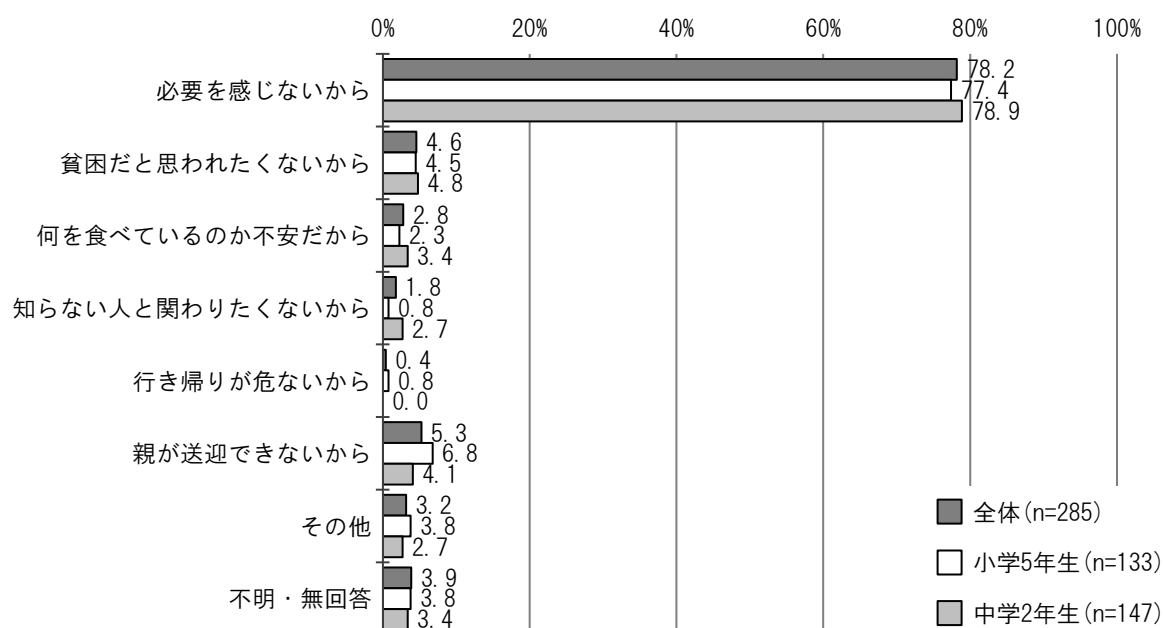
「その他」の内容としては、「友達と食事をとれるから」「地域の方や色々な人と交流する経験ができると思うから」「栄養バランスが良いから」が多く挙げられています。



問40で「2 参加させたくない」と答えた方のみ回答

問42 その理由はなんですか。次のうち、最も近いものをお答えください。（単数回答）

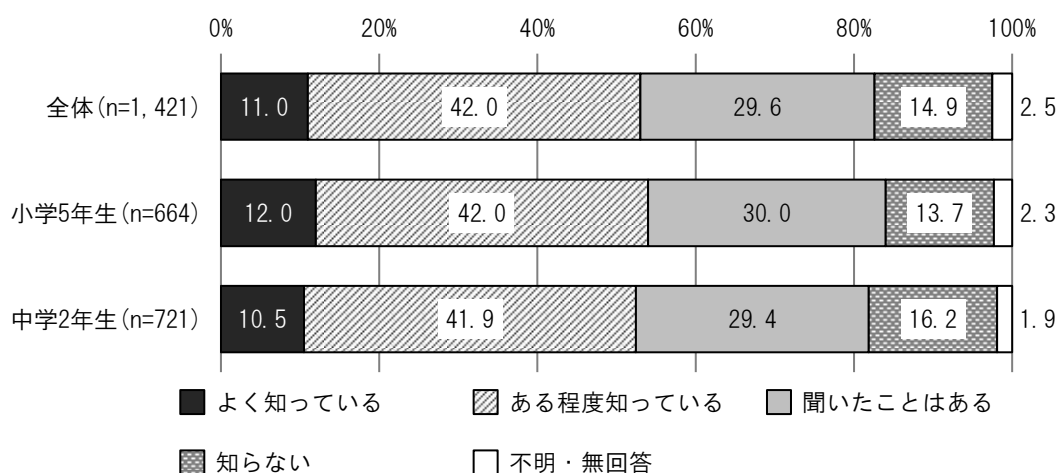
「こども食堂」に参加させたくない理由についてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「必要を感じないから」が7割台となっています。



問 43 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。

(単数回答)

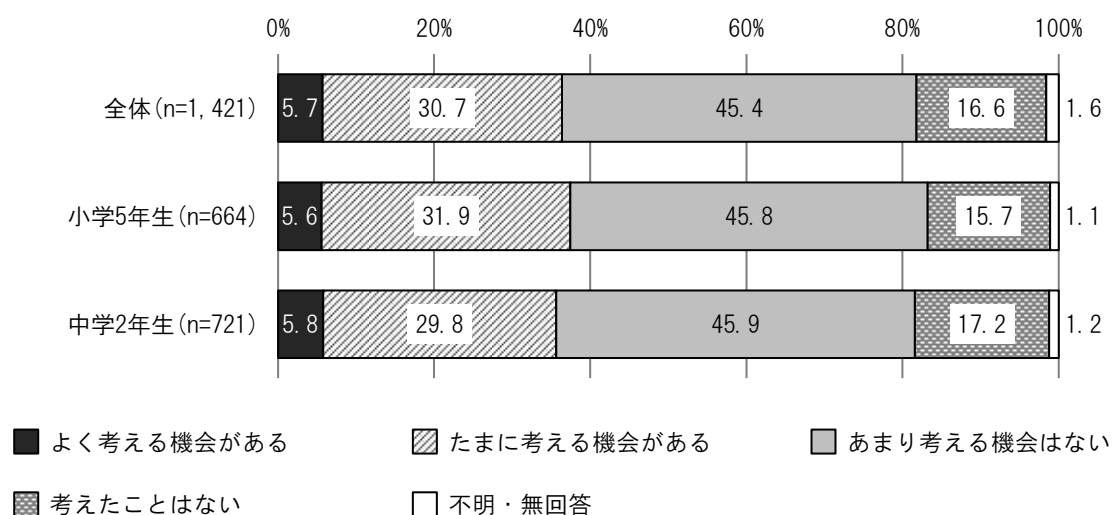
「こどもの権利」について知っているかについてみると、〈小学 5 年生〉〈中学 2 年生〉いずれも、「ある程度知っている」が4割台、次いで「聞いたことはある」が約3割となっています。



問 44 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。

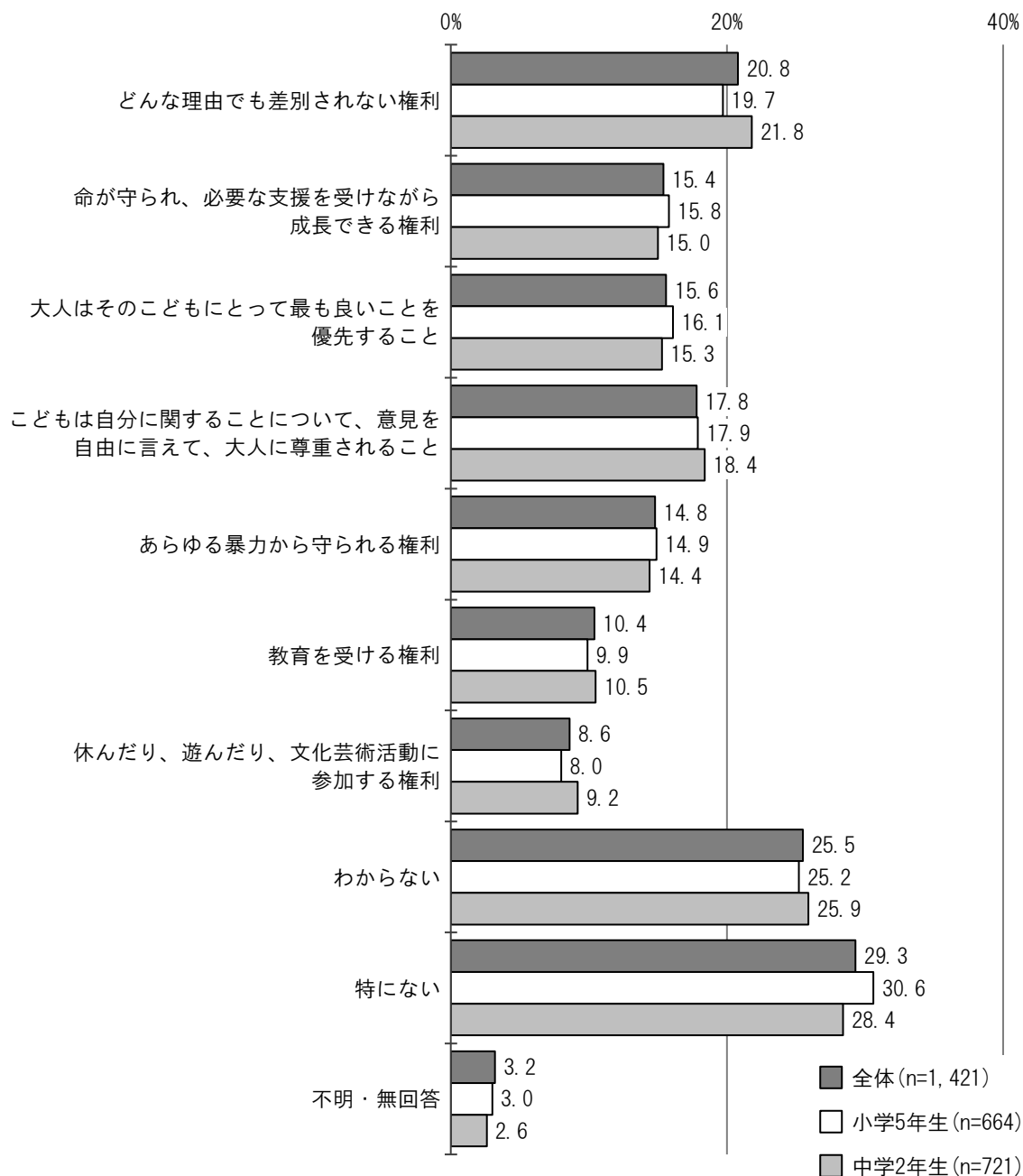
(単数回答)

「こどもの権利」について考えることがあるかについてみると、〈小学 5 年生〉〈中学 2 年生〉いずれも、「あまり考える機会はない」が4割台半ば、次いで「たまに考える機会がある」が約3割となっています。



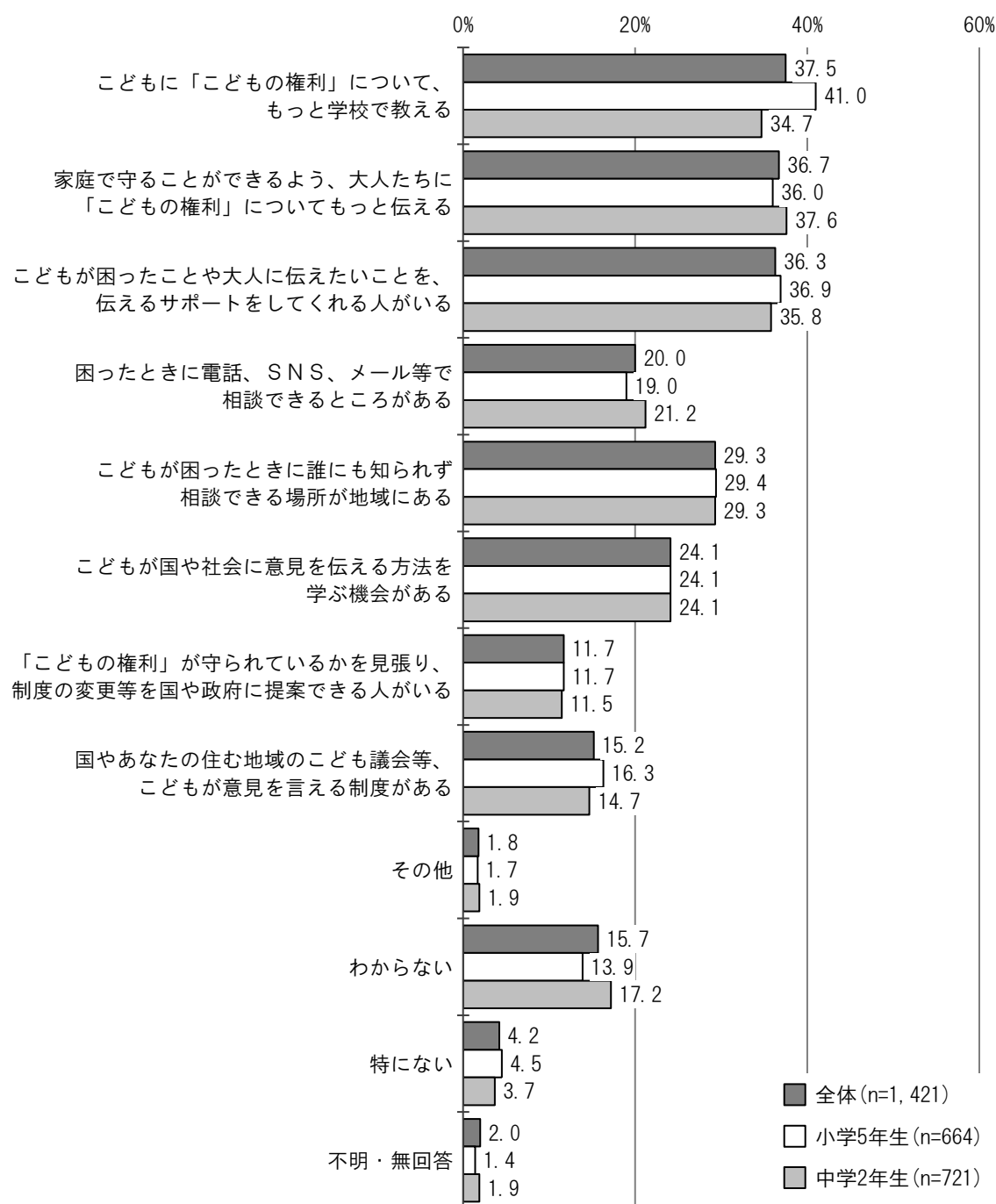
問 45 あなたのまわりの子どもについて、次にあげる「子どもの権利」が守られていないと感じるものがありますか。（複数回答）

守られていないと感じる権利についてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「特にない」が約3割、「わからない」が2割台半ば、「どんな理由でも差別されない権利」が約2割となっています。



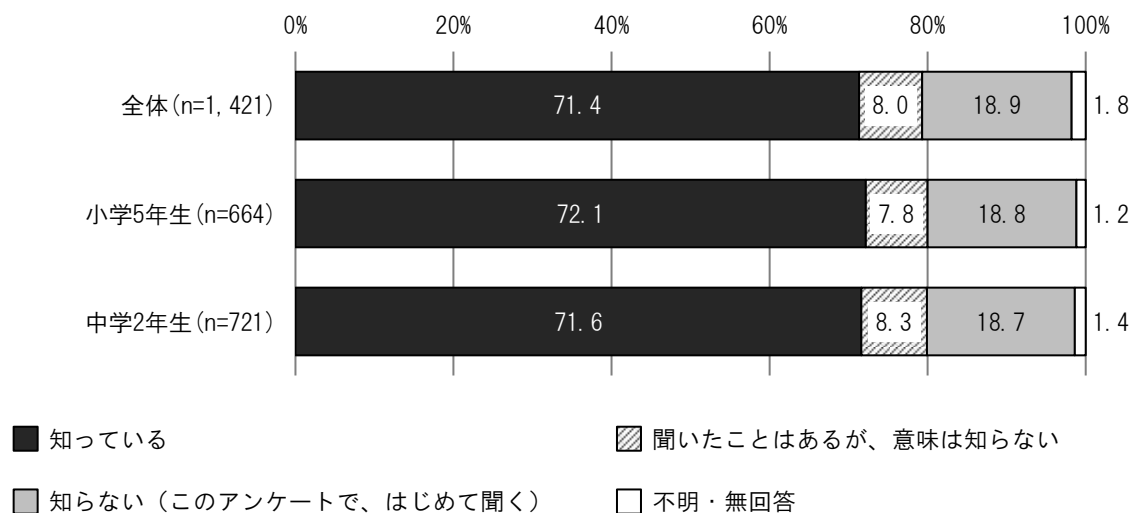
問 46 あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思いますか。（複数回答）

「こどもの権利」を守るためにどのような仕組みがあると良いと思うかについてみると、＜小学 5 年生＞＜中学 2 年生＞いずれも、「こどもに「こどもの権利」について、もっと学校で教える」「家庭で守ることができるよう、大人たちに「こどもの権利」についてもっと伝える」「こどもが困ったことや大人に伝えたいことを、伝えるサポートをしてくれる人がある」の3項目について、それぞれ3割台半ばからそれ以上となっています。



問 47 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。（単数回答）

「ヤングケアラー」という言葉を知っているかについてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「知っている」が約7割となっています。

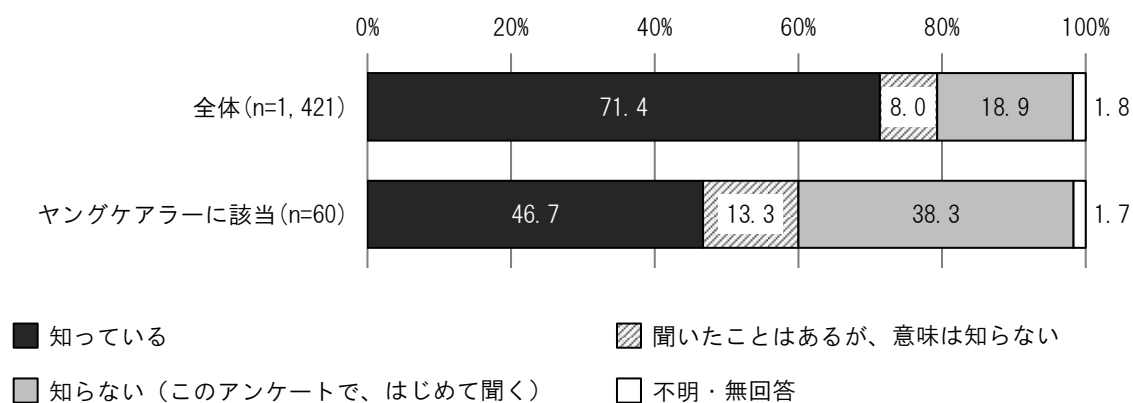


問 47 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

× ヤングケアラーに該当

（単数回答）

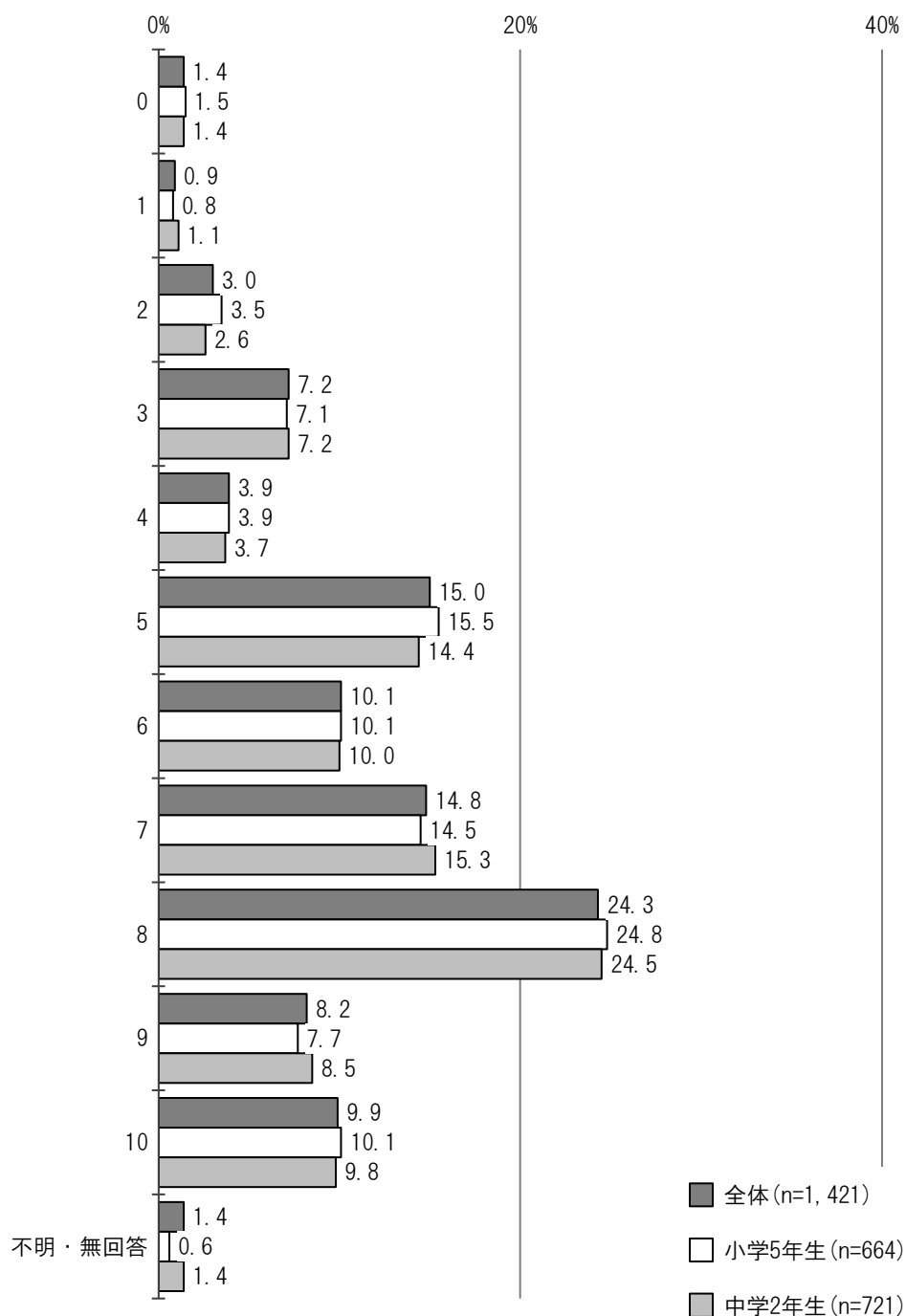
「ヤングケアラー」という言葉を知っているかについて、ヤングケアラーの保護者における状況を見ると、全体と比べて「知っている」が少なく、46.7%となっています。



問 48 あなたは、最近の生活に、全体としてどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。
（単数回答）

生活への満足度についてみると、＜小学 5 年生＞＜中学 2 年生＞いずれも、「8」が2割台半ば、次いで「5」「7」がそれぞれ1割台半ばとなっています。

各属性における平均点（不明・無回答を除いて算出）については、＜全体＞＜小学 5 年生＞＜中学 2 年生＞いずれも 6.6 点となっています。



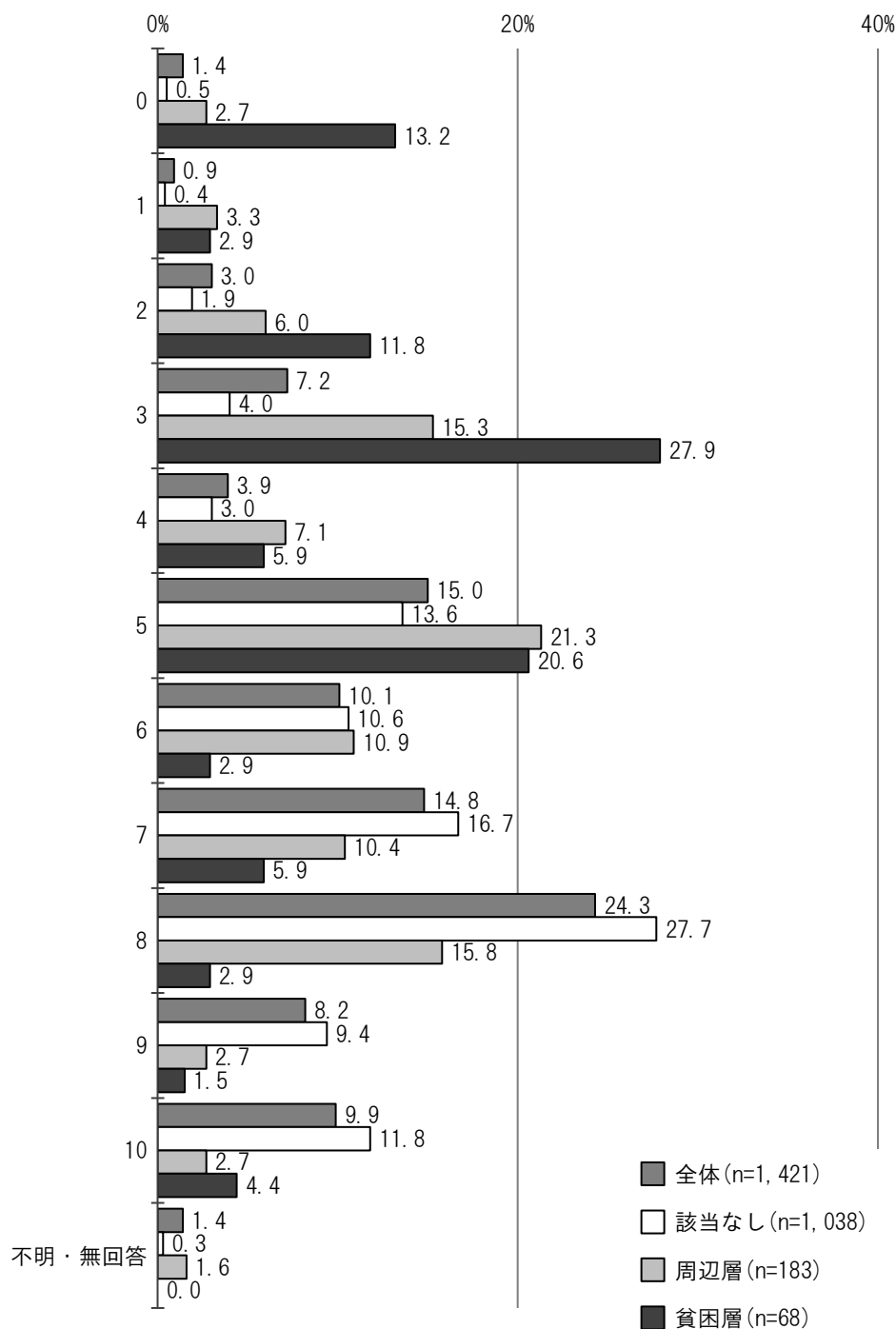
問 48 あなたは、最近の生活に、全体としてどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

× 貧困層・周辺層への該当

（単数回答）

生活への満足度について生活困窮別にみると、〈貧困層〉では、「0」「2」「3」「5」が全体と比べて多くなっています。

各属性における平均点（不明・無回答を除いて算出）については、〈全体〉で 6.6 点、〈該当なし〉で 7.0 点、〈周辺層〉で 5.2 点、〈貧困層〉で 3.8 点となっています。



問 49 子育て、仕事、生活で悩んでいること等を自由にお書きください。

子育て、仕事、生活で悩んでいること等に関するご意見についての回答件数及び、主なご意見については次のとおりです。

分類	件数	主なご意見
子育て支援の制度について	40	○子育ても少し落ち着いてきましたが、日々の家事に追われ、自分の仕事について勉強したいことがあっても、疲れて難しいです。学童や放課後等デイサービスなど利用させて頂き、とても助かっていますが、それぞれ予定を立てるのも大変です。 ○子育ての過程において、支援が必要な時もあれば、誰かの力になりたい、なれるかもしれない、と思える時もあります。子育て家庭は、支援されるばかりではなく、支援する力を持っていることにも目を向けて、支えあう仕組みをつくってほしいと思います。 ○子ども食堂が近くにあり、参加させてもよいのなら、休日出勤で子どものご飯の支度が出来ない時に参加させたいです。仕事中の、ちゃんと食べたかなというような心配事が減ると思います。 ○下校後の預け先が無い事や習い事の送迎の都合で思うように仕事が出来ず、家庭と仕事のバランスで悩んでいます。 ○放課後児童クラブが満員で利用できない。ファミリー・サポート・センターは費用面から利用が難しく、助成などがあれば良い。 ○気軽に相談できる方がいない。親としてどう子供と接していいかわからない時がある。こどもの将来の夢がみつかっていないことや、いじめに合わないか不安になる。 ○近所付き合いが少なくなっているなか、孤独な子どもや子育て家庭が増えている。ヤングケアラー、体罰、虐待だといった社会課題がみられるなかで、市民への情報提供が少ないと思います。今回初めて聞いた支援も沢山あり、市でもっともっとアピールする必要があるのではないかと思います。
経済的支援の充実について	135	○金銭面で仕事を掛け持ちしなくてはならないため、こどもとの時間がなく、話も出来ない。 ○給食費がようやく無料になりましたが、もっと子育てに関して経済的に安心できる生活がしたい。子供に対する手当などの支援金を増やしてほしい。 ○借金の返済があるため、世帯収入があっても生活が苦しい。 ○月々の学習塾とクラブ活動の必要の負担が大きい。 ○物価が高騰する中、給与が上がらないため生活が苦しく、こどものやりたいことはできるだけさせたいが、それも難しい。収入の為に仕事をすれば子供と関わる時間はなくなり、税金等の支払いも増える。

分類	件数	主なご意見
ワークライフバランスについて	47	○会社の働き方改革が進んでおらず、子育てに集中したいができない。有休も好きに使えず「ラーケーション」を利用したいができない状況である。もっと社会を良くしてほしい。 ○通学に子どもの足で歩いてどの小学校にも40分ほどかかる。そのため、仕事を探すにも朝の出発時間がネックになります。通学バスがあれば、働き易さにも繋がるのではと思います。 ○仕事が忙しく、子どもの話を聞いたり宿題を見てあげたり、寄り添う時間がとれず、睡眠時間を削っています。
学校教育や勉強について	52	○母親が外国人のため、子どもが学校の勉強についていけないが、教えられない。 ○こどもが提出物や宿題をどうすれば取り組むのか分からない。 ○学校で、こどもが先生など大人の顔をうかがって行動している様子を耳にする。ある程度は仕方ない部分もあるが、理不尽な思いをしすぎる事が無いように、理解して欲しい。 ○学校内のライングループで、金銭を友達同士で要求するなどの問題が起こっている。家庭では使い方を教えているが、学校でも教えて欲しい。
習い事や部活動について	18	○学校の部活からクラブ活動への移行を進めているが、月謝、活動費、用具費、遠征費、設備や環境をもっと充実させ、補助金があるととても助かります。スポーツをできる場所を増やしてほしい。また、地域クラブの指導者から暴言がみられるため、指導や教育をした方が良くと思う。 ○学習塾に平日は通わせており、本当は色々な習い事をさせたいが、送迎や時間のことを考えるとできない。 ○例えばサッカーやスイミング等、習い事をさせたくても高齢で介護が必要な親が居る為、時間的に難しく我慢させてしまう。介護が必要になったために、今まで出来ていたことが出来なくなった事が多々あり、私も子どももストレスを日々ため込んでいる。
発達の不安や障がいについて	12	○音にすごく敏感で、学校にいるのがストレスなためこどもが登校したがらないが、どのような言葉を掛けるべきなのか分からなくなってきた。 ○地域の人や学校の先生で、知的障害者を差別するようなことを話す人がいて悲しい。 ○自閉症や発達障がい等のこどもの学習支援、塾、家庭教師等がないので、作ってほしい。

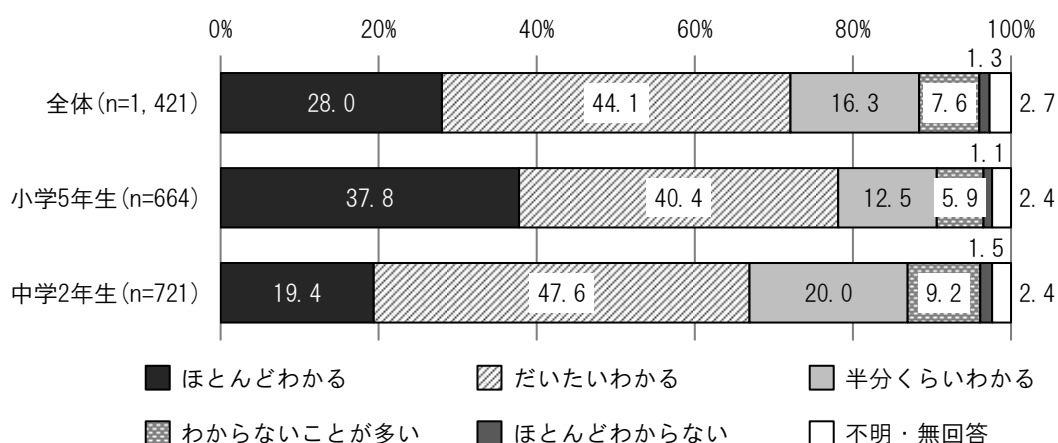
6 学校や将来について[本人調査]

問4 あなたは、学校の授業がわかりますか。

(単数回答)

学校の授業がわかるかについてみると、〈小学5年生〉では、「だいたいわかる」が40.4%と最も多く、次いで「ほとんどわかる」が37.8%となっています。

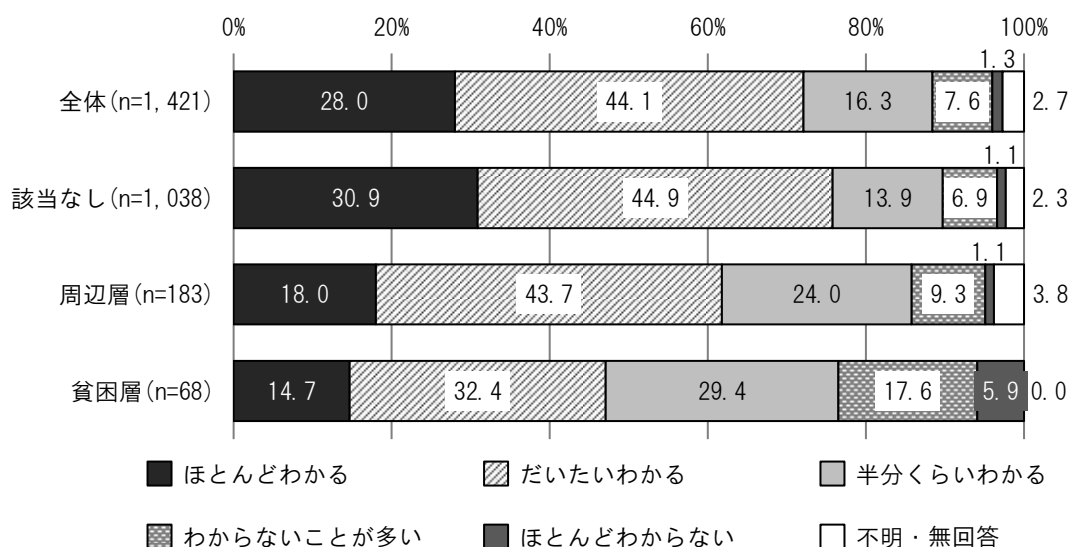
〈中学2年生〉では、「だいたいわかる」が47.6%と最も多く、次いで「半分くらいわかる」が20.0%となっています。



問4 あなたは、学校の授業がわかりますか。 × 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

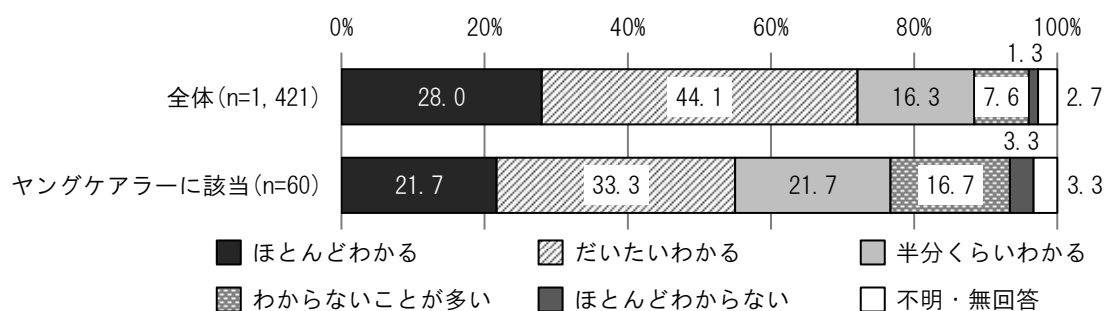
学校の授業がわかるかについて生活困窮別にみると、〈周辺層〉では全体と比べて「ほとんどわかる」が少なく、「半分くらいわかる」が多くなっています。

〈貧困層〉では全体と比べて「ほとんどわかる」「だいたいわかる」が少なく、「わからないことが多い」が17.6%と多くなっています。



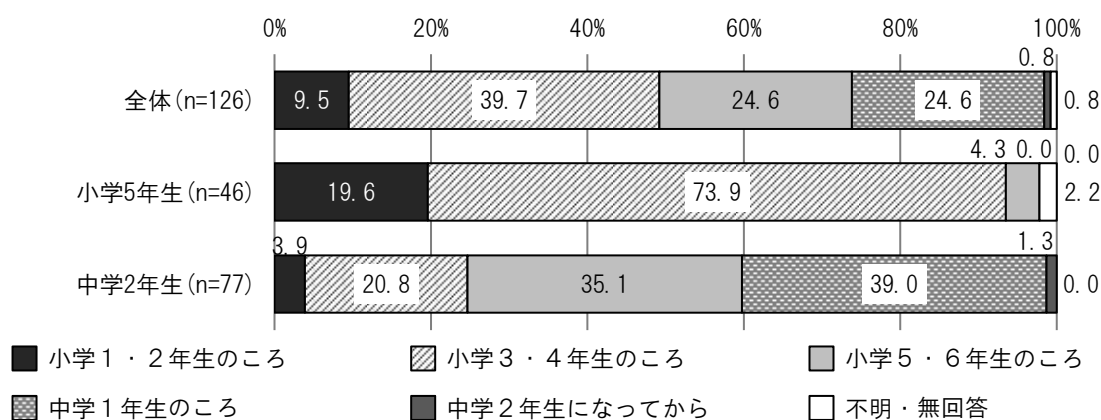
問4 あなたは、学校の授業がわかりますか。 × ヤングケアラーに該当 （単数回答）

学校の授業がわかるかについてヤングケアラーにおける状況をみると、全体と比べて「ほとんどわかる」「だいたいわかる」がやや少なく、「半分くらいわかる」「わからないことが多い」がやや多くなっています。


 問4で「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた方のみ回答
 問5 いまごろから、授業がわからなくなりましたか。 （単数回答）

いまごろから授業がわからなくなったかについてみると、〈小学5年生〉では、「小学3・4年生のころ」が73.9%と最も多く、次いで「小学1・2年生のころ」が19.6%となっています。

〈中学2年生〉では、「中学1年生のころ」が39.0%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」が35.1%となっています。



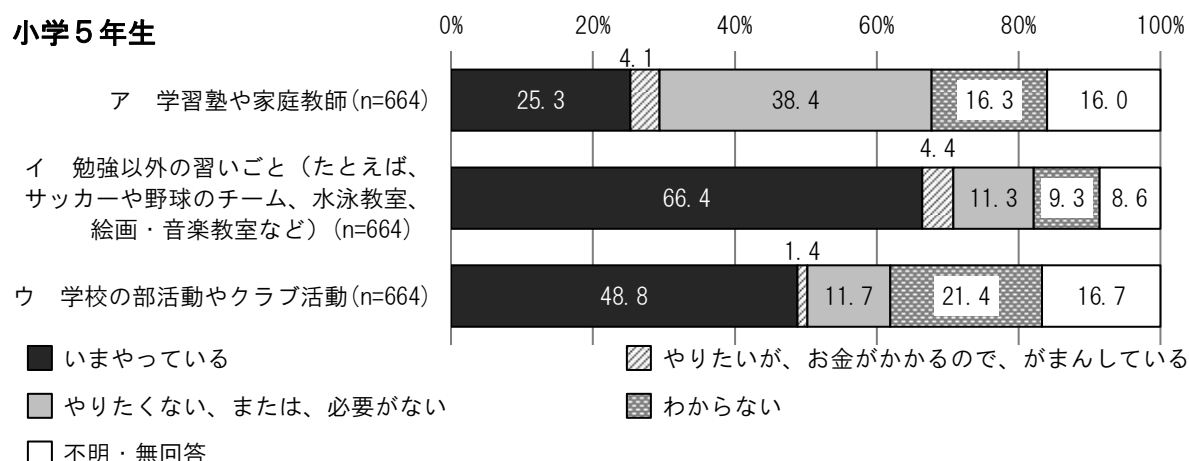
問7の結果を見開きで確認できるよう、設問の掲載順を入れ替えています。

問7 あなたは、学習塾に行ったり、家庭教師に来てもらったり、習いごとをしたり、学校の部活動やクラブ活動に参加していますか。〈小学5年生〉（単数回答）

塾や習いごと等の状況についてみると、小学5年生では〈ア 学習塾や家庭教師〉について、「やりたくない、または、必要がない」が38.4%と最も多く、次いで「いまやっている」が25.3%となっています。

〈イ 勉強以外の習いごと（たとえば、サッカーや野球のチーム、水泳教室、絵画・音楽教室など）〉では、「いまやっている」が66.4%と最も多く、次いで「やりたくない、または、必要がない」が11.3%となっています。

〈ウ 学校の部活動やクラブ活動〉では、「いまやっている」が48.8%と最も多くなっています。

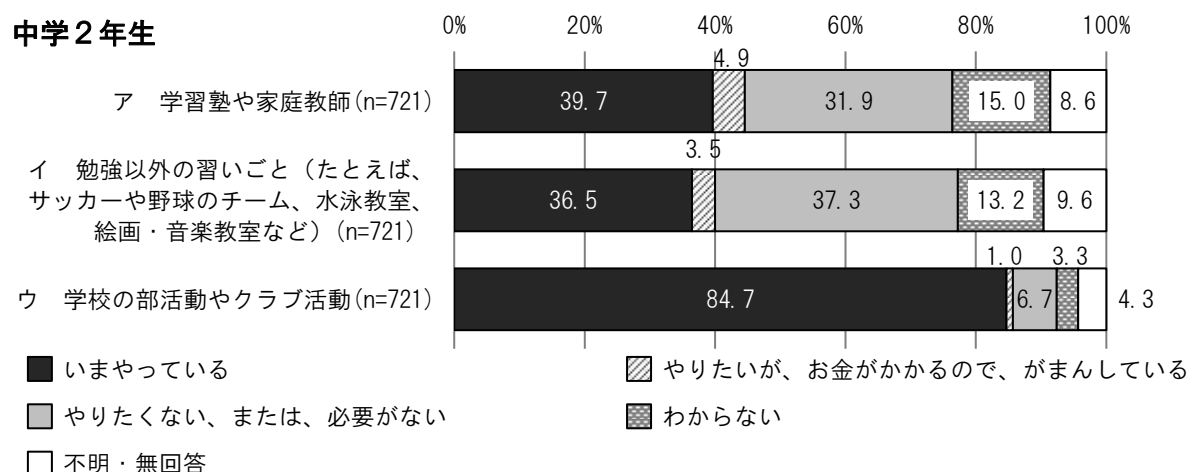


問7 あなたは、学習塾に行ったり、家庭教師に来てもらったり、習いごとをしたり、学校の部活動やクラブ活動に参加していますか。〈中学2年生〉（単数回答）

塾や習いごと等の状況についてみると、中学2年生では〈ア 学習塾や家庭教師〉について、「いまやっている」が39.7%と最も多く、次いで「やりたくない、または、必要がない」が31.9%となっています。

〈イ 勉強以外の習いごと（たとえば、サッカーや野球のチーム、水泳教室、絵画・音楽教室など）〉では、「やりたくない、または、必要がない」が37.3%と最も多く、次いで「いまやっている」が36.5%となっています。

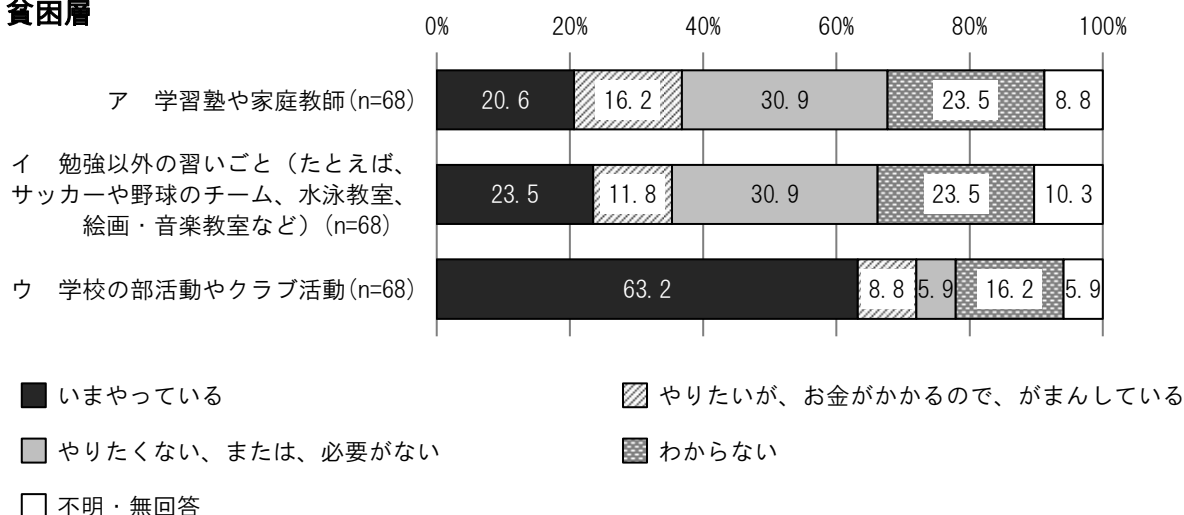
〈ウ 学校の部活動やクラブ活動〉では、「いまやっている」が84.7%と最も多くなっています。



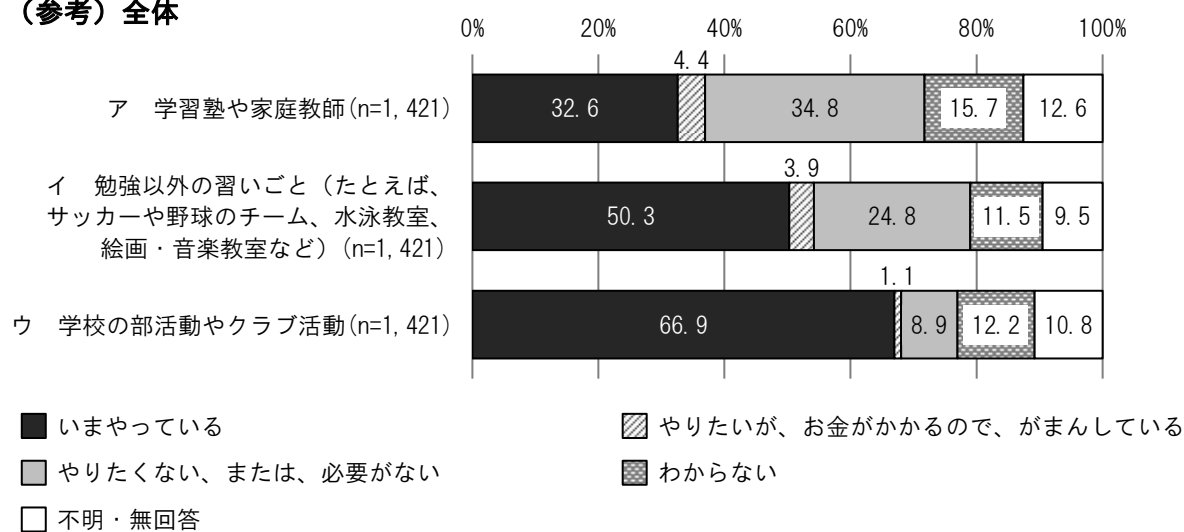
問7 あなたは、学習塾に行ったり、家庭教師に来てもらったり、習いごとをしたり、学校の部活動やクラブ活動に参加していますか。 × 貧困層・周辺層への該当（単数回答）

塾や習いごと等の状況についてみると、貧困層では「やりたいが、お金がかかるので、がまんしている」について、＜ア 学習塾や家庭教師＞で16.2%、＜イ 勉強以外の習いごと（たとえば、サッカーや野球のチーム、水泳教室、絵画・音楽教室など）＞で11.8%と、全体と比べて多くなっています。

貧困層



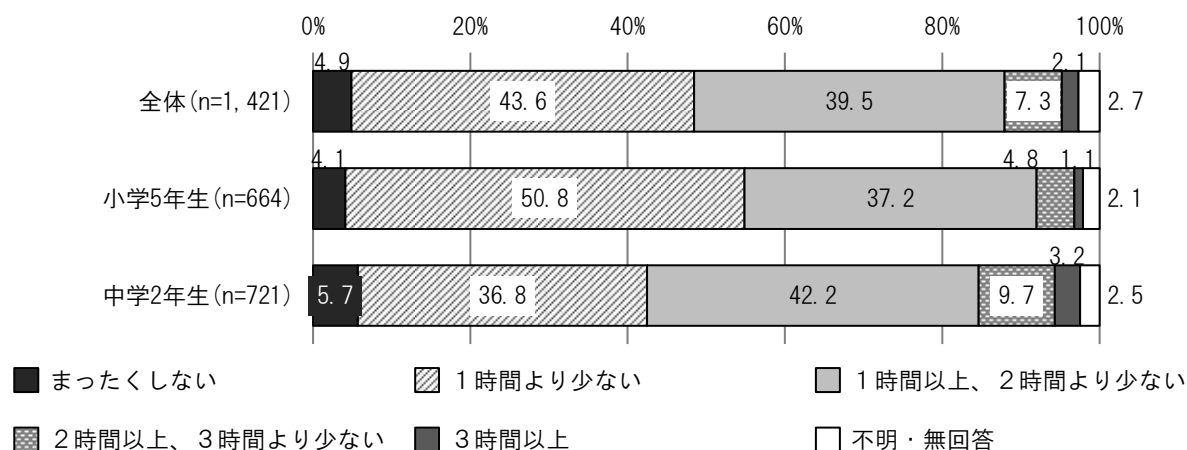
（参考）全体



問6 あなたは、ふだん（月～金曜日）の学校の授業以外に、どれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。（単数回答）

ふだんの勉強時間についてみると、〈小学5年生〉では、「1時間より少ない」が50.8%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が37.2%となっています。

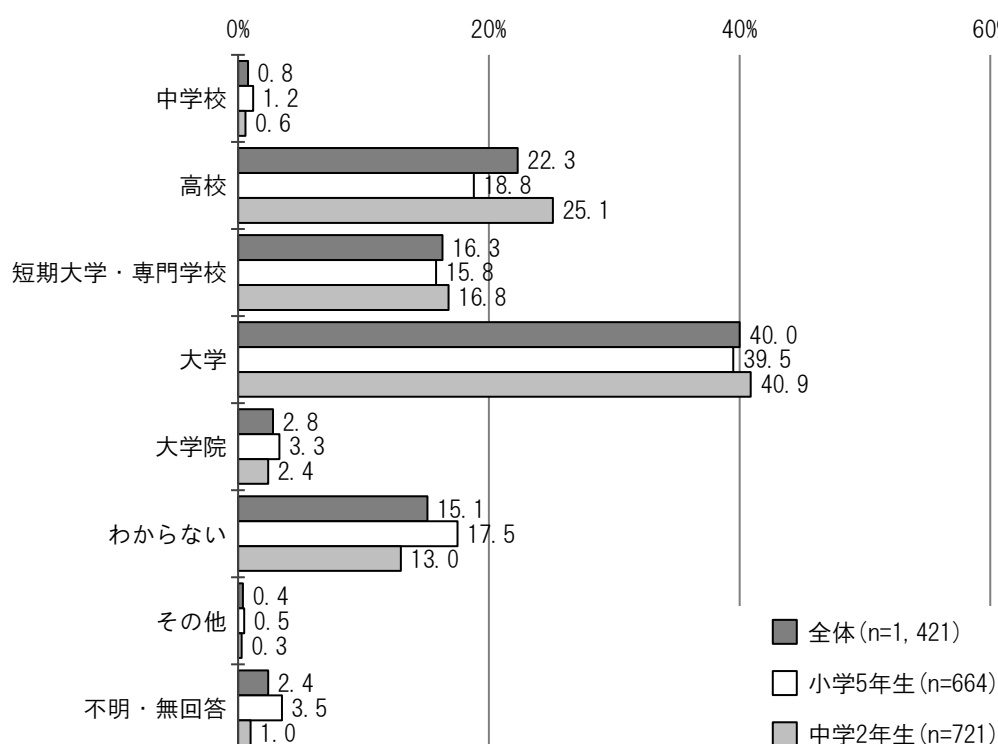
〈中学2年生〉では、「1時間以上、2時間より少ない」が42.2%と最も多く、次いで「1時間より少ない」が36.8%となっています。



問8 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。（単数回答）

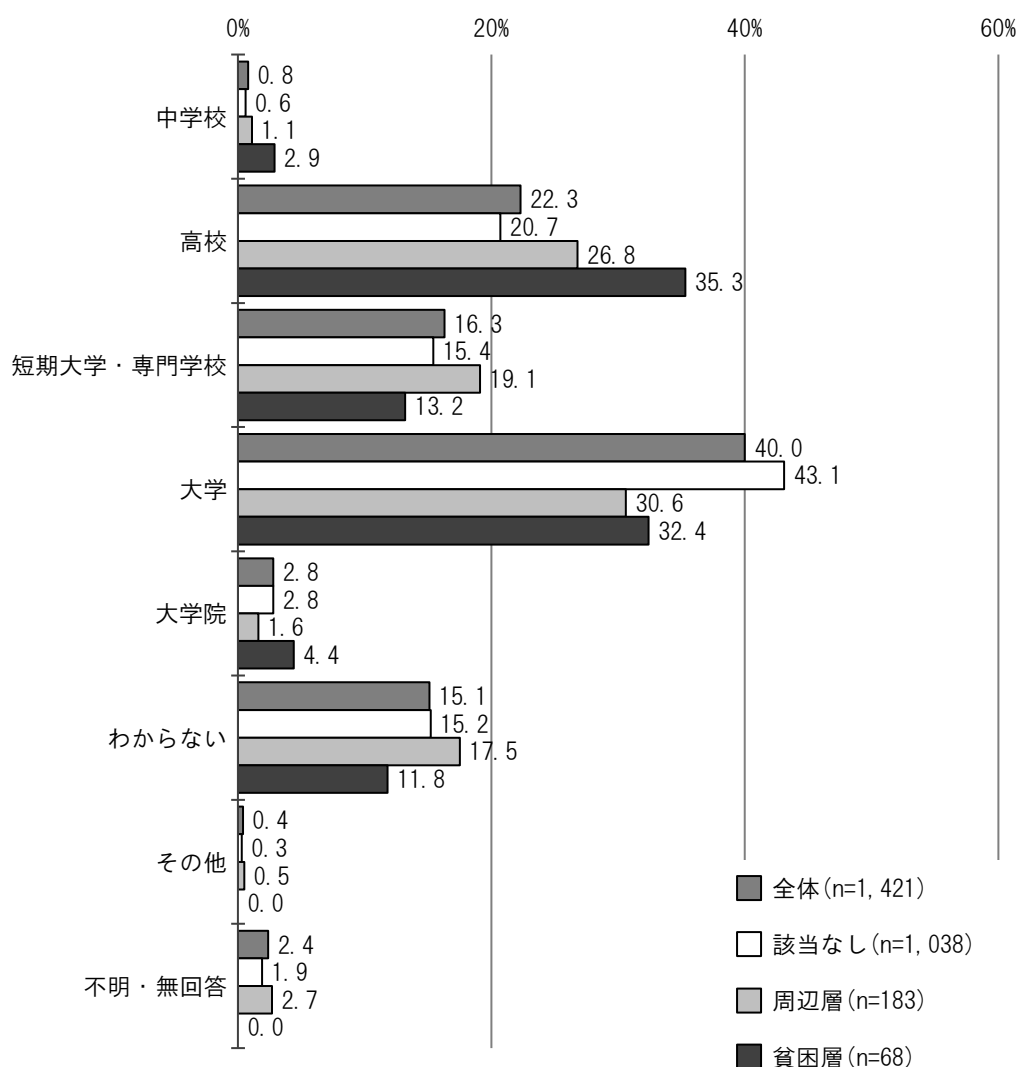
どの学校まで行きたいと思うかについてみると、〈小学5年生〉では、「大学」が39.5%と最も多く、次いで「高校」が18.8%となっています。

〈中学2年生〉では、「大学」が40.9%と最も多く、次いで「高校」が25.1%となっています。



問8 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。 × 貧困層・周辺層への該当
（単数回答）

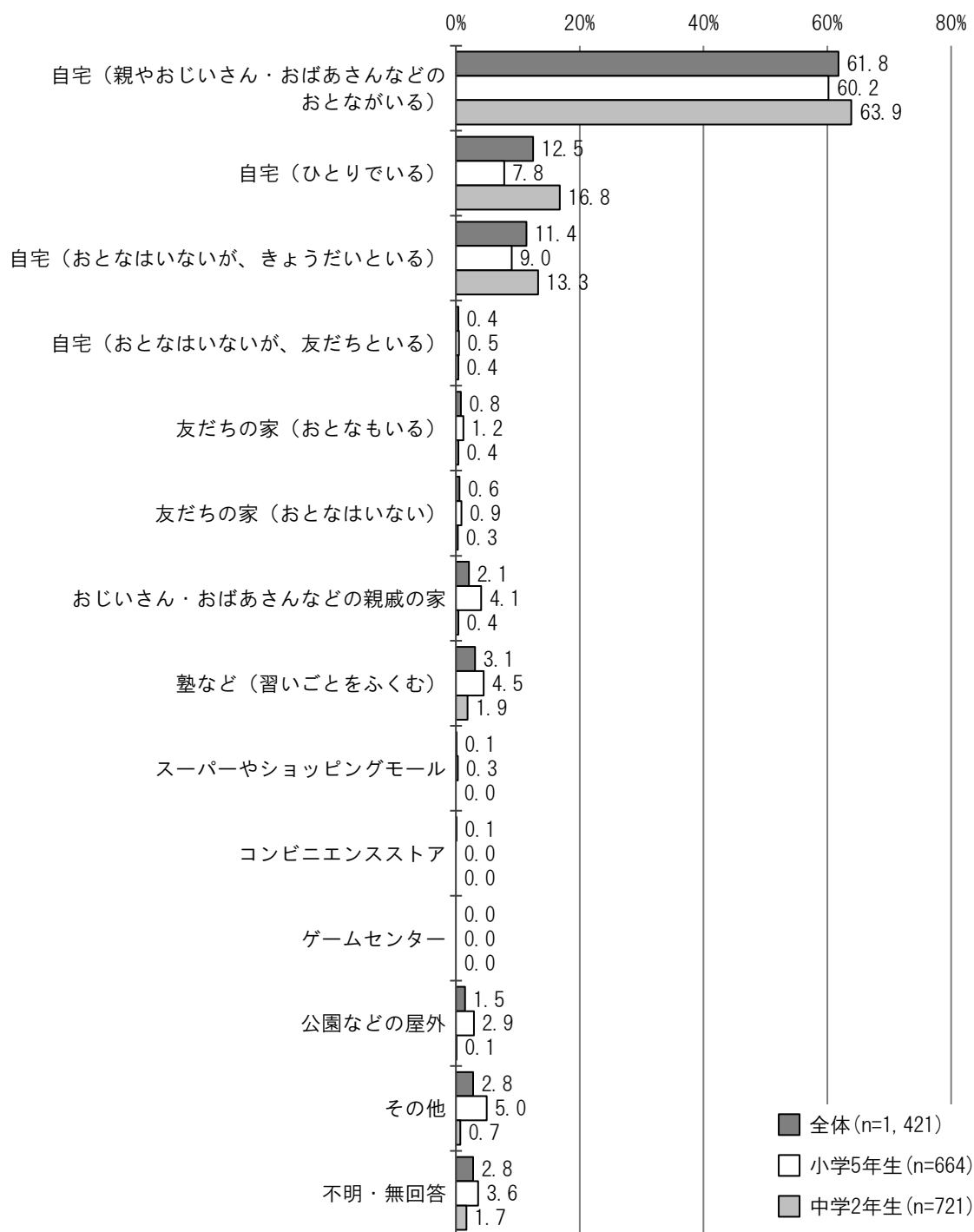
どの学校まで行きたいと思うかについて生活困窮別にみると、〈貧困層〉では、「高校」が 35.3%と、全体と比べて多くなっています。



7 毎日のことについて[本人調査]

問9 あなたは、放課後（部活動や放課後児童クラブが終わった後）、どこにいる（過ごす）ことが多いですか。（単数回答）

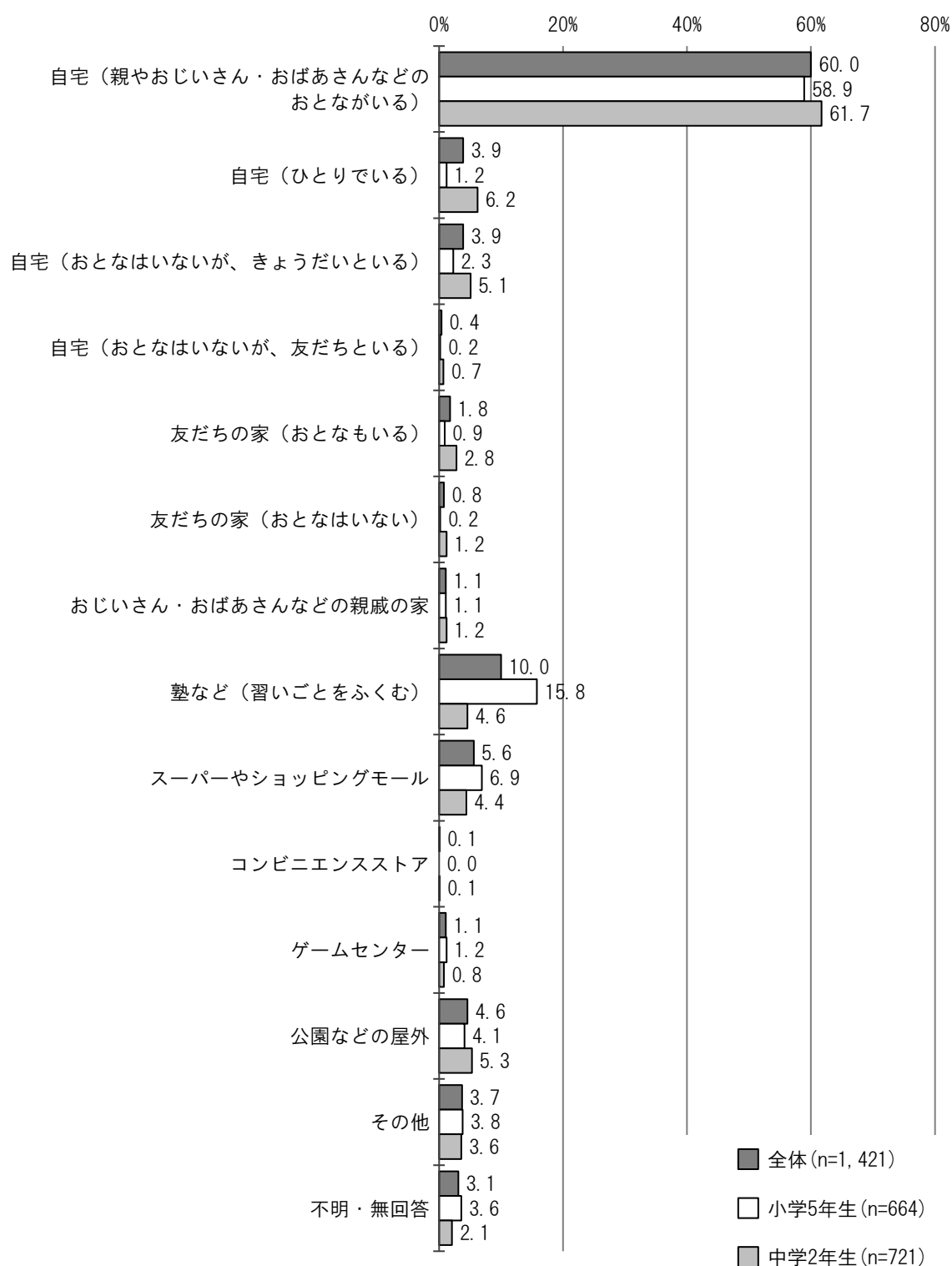
放課後を過ごすことが多い場所についてみると、＜小学5年生＞＜中学2年生＞いずれも、「自宅（親やおじいさん・おばあさんなどのおとながいる）」が6割台、次いで「自宅（おとなはいないが、きょうだいという）」「自宅（ひとりでいる）」が＜小学5年生＞でそれぞれ1割弱、＜中学2年生＞でそれぞれ1割台となっています。



問10 あなたは、休日（学校がお休みの日）はどこにいる（過ごす）ことが多いですか。
（単数回答）

休日を過ごすことが多い場所についてみると、＜小学5年生＞では、「自宅（親やおじいさん・おばあさんなどのおとながいる）」が58.9%と最も多く、次いで「塾など（習いごとをふくむ）」が15.8%となっています。

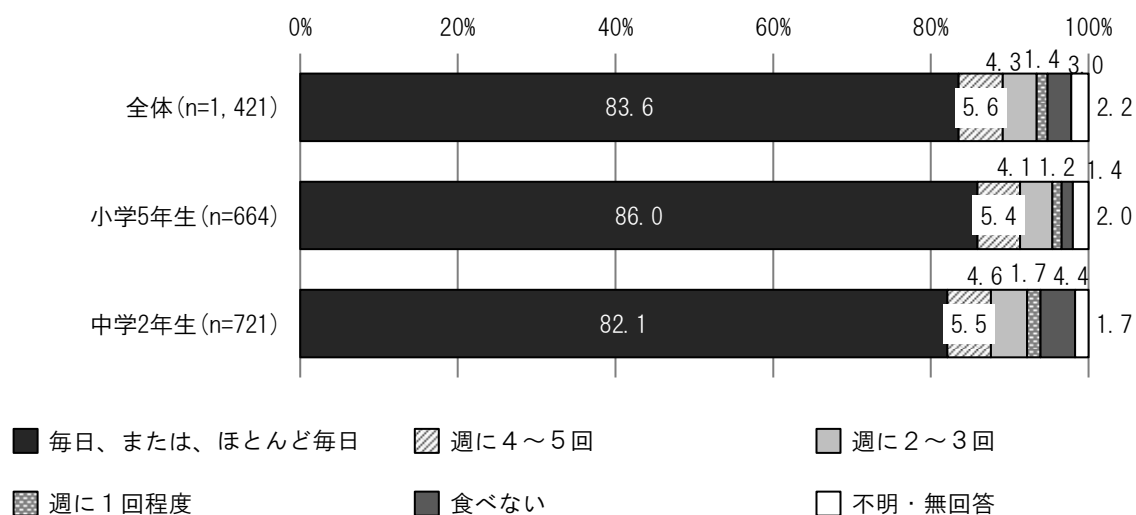
＜中学2年生＞では、「自宅（親やおじいさん・おばあさんなどのおとながいる）」が61.7%と最も多く、次いで「自宅（ひとりでのいる）」が6.2%となっています。



問 11 あなたは、週にどのくらい朝食を食べていますか。

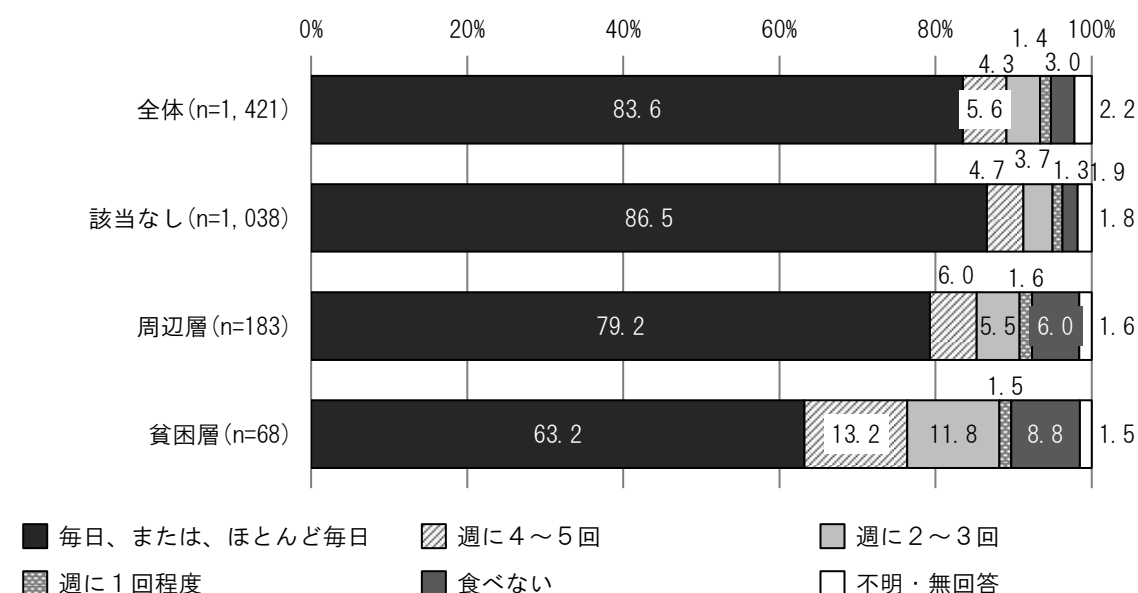
(単数回答)

朝食を食べているかについてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「毎日、または、ほとんど毎日」が8割台となっています。



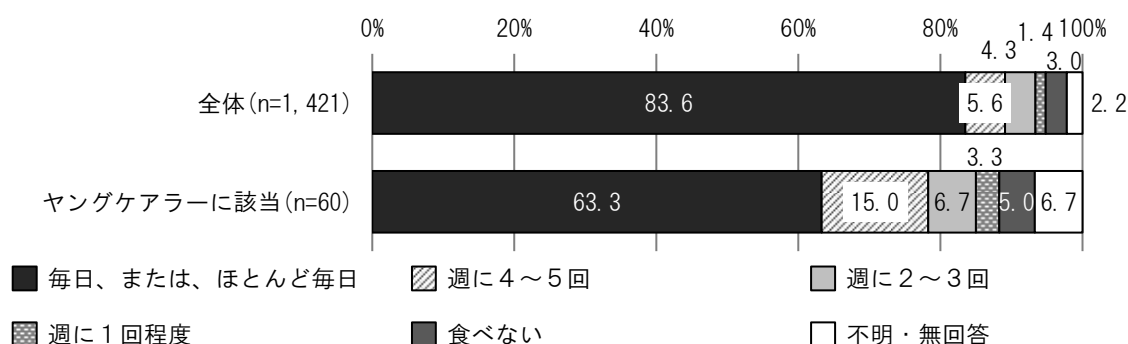
問 11 あなたは、週にどのくらい朝食を食べていますか。 × 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

朝食を食べているかについて、〈周辺層〉〈貧困層〉では、「毎日、または、ほとんど毎日」が全体と比べて少なく、「週に4～5回」「週に2～3回」「食べない」が全体と比べて多くなっています。



問11 あなたは、週にどのくらい朝食を食べていますか。 × ヤングケアラーに該当
（単数回答）

朝食を食べているかについてヤングケアラーにおける状況を見ると、「毎日、または、ほとんど毎日」が全体と比べて少なく、「週に4～5回」が全体と比べて多くなっています。

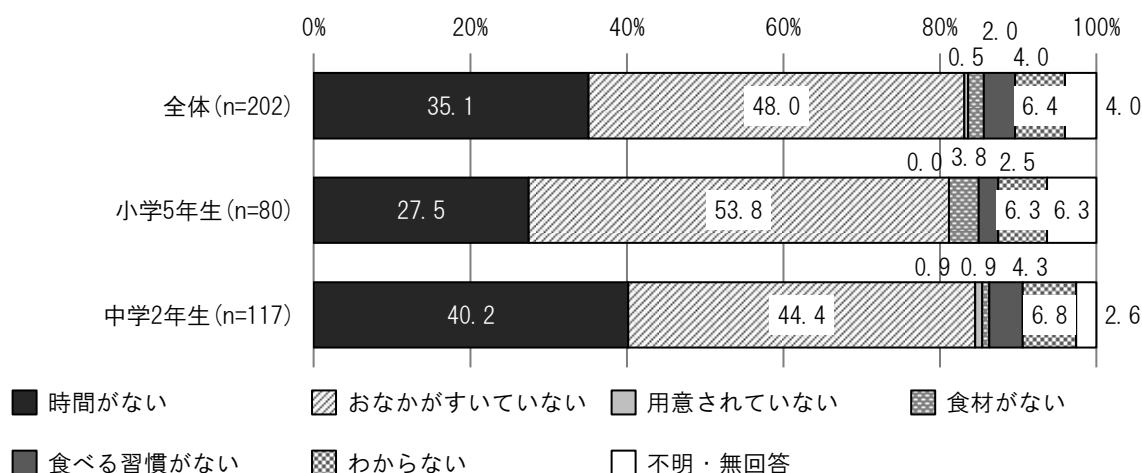


問11で「2 週に4～5回」～「5 食べない」と答えた方のみ回答

問12 あなたが朝食を食べない理由はなんですか。 （単数回答）

朝食を食べない理由についてみると、＜小学5年生＞では、「おなかがすいていない」が53.8%と最も多く、次いで「時間がない」が27.5%となっています。

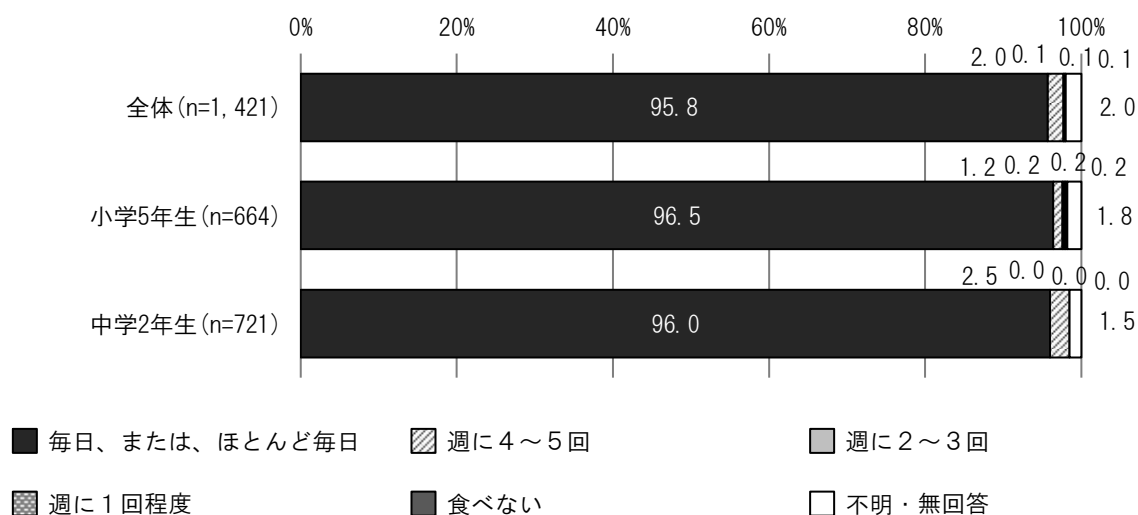
＜中学2年生＞では、「おなかがすいていない」が44.4%と最も多く、次いで「時間がない」が40.2%となっています。



問 13 あなたは、週にどのくらい夕食を食べていますか。

(単数回答)

夕食を食べているかについてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも、「毎日、または、ほとんど毎日」が9割台半ばとなっています。

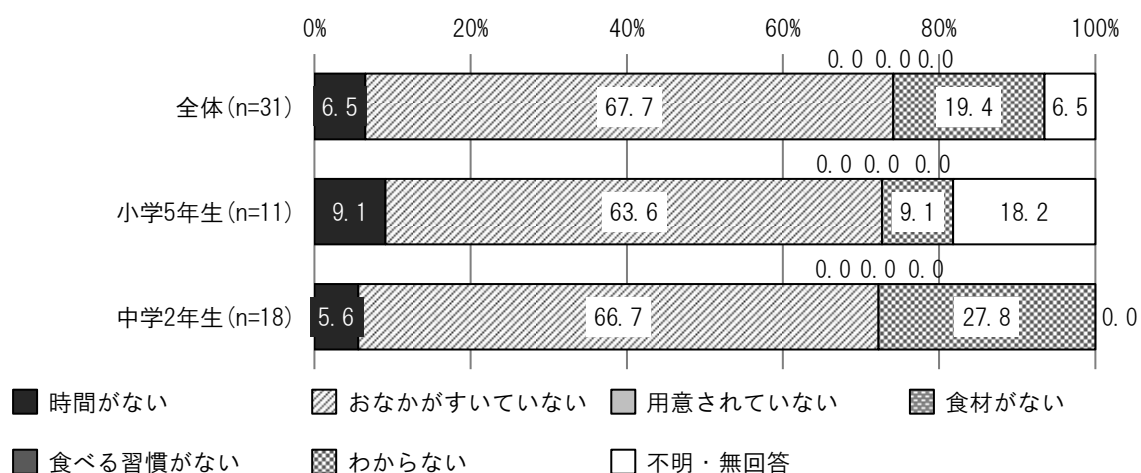


問 13 で「2 週に4～5回」～「5 食べない」と答えた方のみ回答

問 14 あなたが夕食を食べない理由はなんですか。

(単数回答)

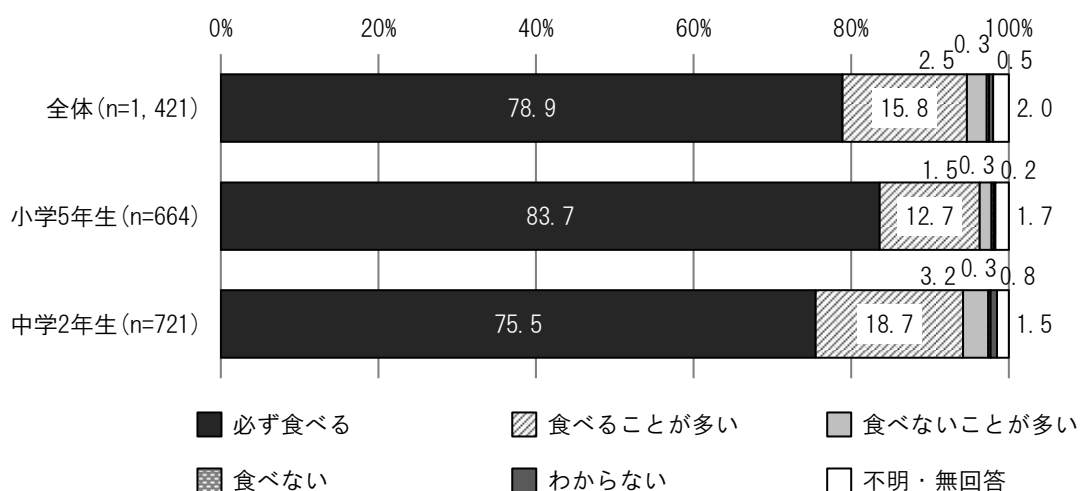
夕食を食べない理由についてみると、〈小学5年生〉〈中学2年生〉いずれも「おなかがすいていない」が6割台となっています。



問 15 あなたは、学校が休みの日に昼食を食べますか。（夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。）
（単数回答）

休みの日に昼食を食べるかについてみると、＜小学5年生＞では、「必ず食べる」が83.7%と最も多く、次いで「食べることが多い」が12.7%となっています。

＜中学2年生＞では、「必ず食べる」が75.5%と最も多く、次いで「食べることが多い」が18.7%となっています。

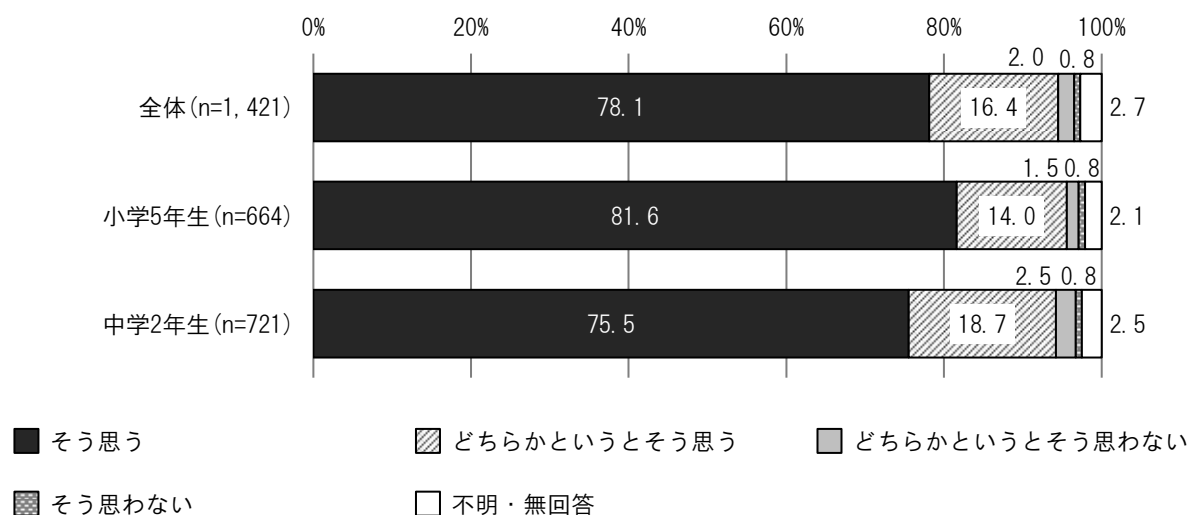


問 16 自分の家は居心地がいいと感じますか。

(単数回答)

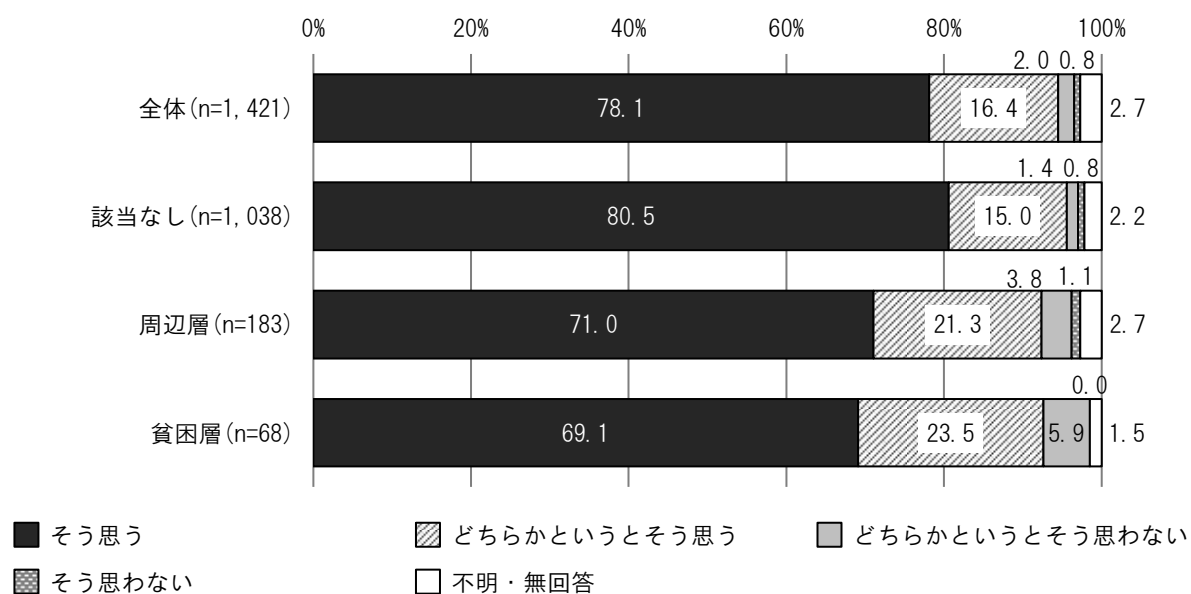
家の居心地がいいと思うかについてみると、<小学 5 年生>では、「そう思う」が 81.6%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が 14.0%となっています。

<中学 2 年生>では、「そう思う」が 75.5%と最も多く、次いで「どちらかというと思う」が 18.7%となっています。



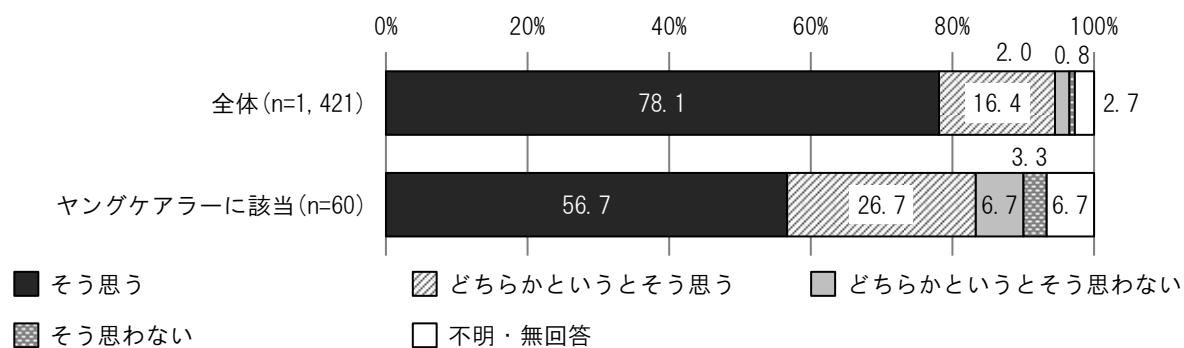
問 16 自分の家は居心地がいいと感じますか。 × 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

家の居心地がいいと思うかについて生活困窮別にみると、<周辺層><貧困層>では、全体と比べて、「そう思う」がやや少なくなっています。



問 16 自分の家は居心地がいいと感じますか。 × ヤングケアラーに該当 （単数回答）

家の居心地がいいと思うかについてヤングケアラーにおける状況をみると、全体と比べて「そう思う」が少なく、56.7%となっています。

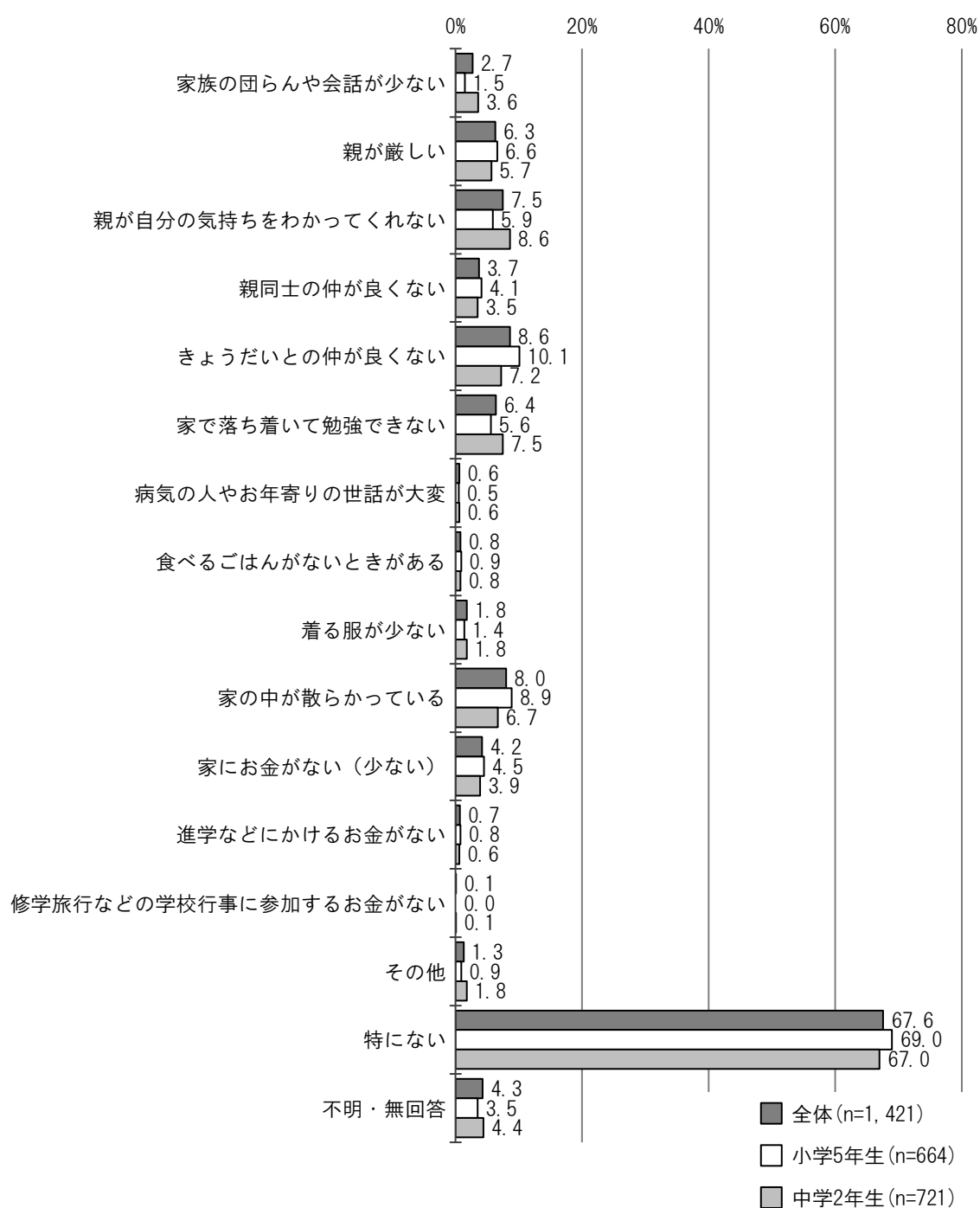


8 生活のことについて[本人調査]

問 17 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや、心配なことはありますか。
(複数回答)

家族のことなどで困っていることや心配なことについてみると、〈小学 5 年生〉では、「特にない」が 69.0%と最も多く、次いで「きょうだいとの仲が良くない」が 10.1%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「特にない」が 67.0%と最も多く、次いで「親が自分の気持ちをわかってくれない」が 8.6%となっています。



問17 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや、心配なことはありますか。
× 貧困層・周辺層への該当 （複数回答）

家族のことなどで困っていることや心配なことについて生活困窮別にみると、〈貧困層〉では「家の中が散らかっている」「家にお金がない(少ない)」が2割前後と、全体と比べて多くなっています。

%	家族の団らんや会話が少ない	親が厳しい	親が自分の気持ちをわかってくれない	親同士の仲が良くない	きょうだいとの仲が良くない	家で落ち着いて勉強できない	病気の人やお年寄りの世話が大変
全体(n=1,421)	2.7	6.3	7.5	3.7	8.6	6.4	0.6
該当なし(n=1,038)	2.1	6.7	6.9	3.8	8.3	6.0	0.3
周辺層(n=183)	2.7	2.7	8.2	2.2	8.7	8.2	1.1
貧困層(n=68)	8.8	5.9	10.3	10.3	11.8	11.8	2.9
%	食べるごはんがないときがある	着る服が少ない	家の中が散らかっている	家にお金がない(少ない)	進学などにかかるお金がない	修学旅行などの学校行事に参加するお金がない	その他
全体(n=1,421)	0.8	1.8	8.0	4.2	0.7	0.1	1.3
該当なし(n=1,038)	0.7	1.2	7.3	1.9	0.4	0.1	1.3
周辺層(n=183)	1.6	3.3	7.7	12.6	0.5	-	1.6
貧困層(n=68)	2.9	5.9	17.6	20.6	4.4	-	-
%	特にない	不明・無回答					
全体(n=1,421)	67.6	4.3					
該当なし(n=1,038)	70.4	4.0					
周辺層(n=183)	60.1	3.8					
貧困層(n=68)	54.4	2.9					

問17 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることや、心配なことはありますか。 ×
ヤングケアラーに該当 （複数回答）

家族のことなどで困っていることや心配なことについて、ヤングケアラーにおける状況を見ると、「親が自分の気持ちをわかってくれない」「きょうだいとの仲が良くない」「家で落ち着いて勉強できない」が2割台と、全体と比べて多くなっています。

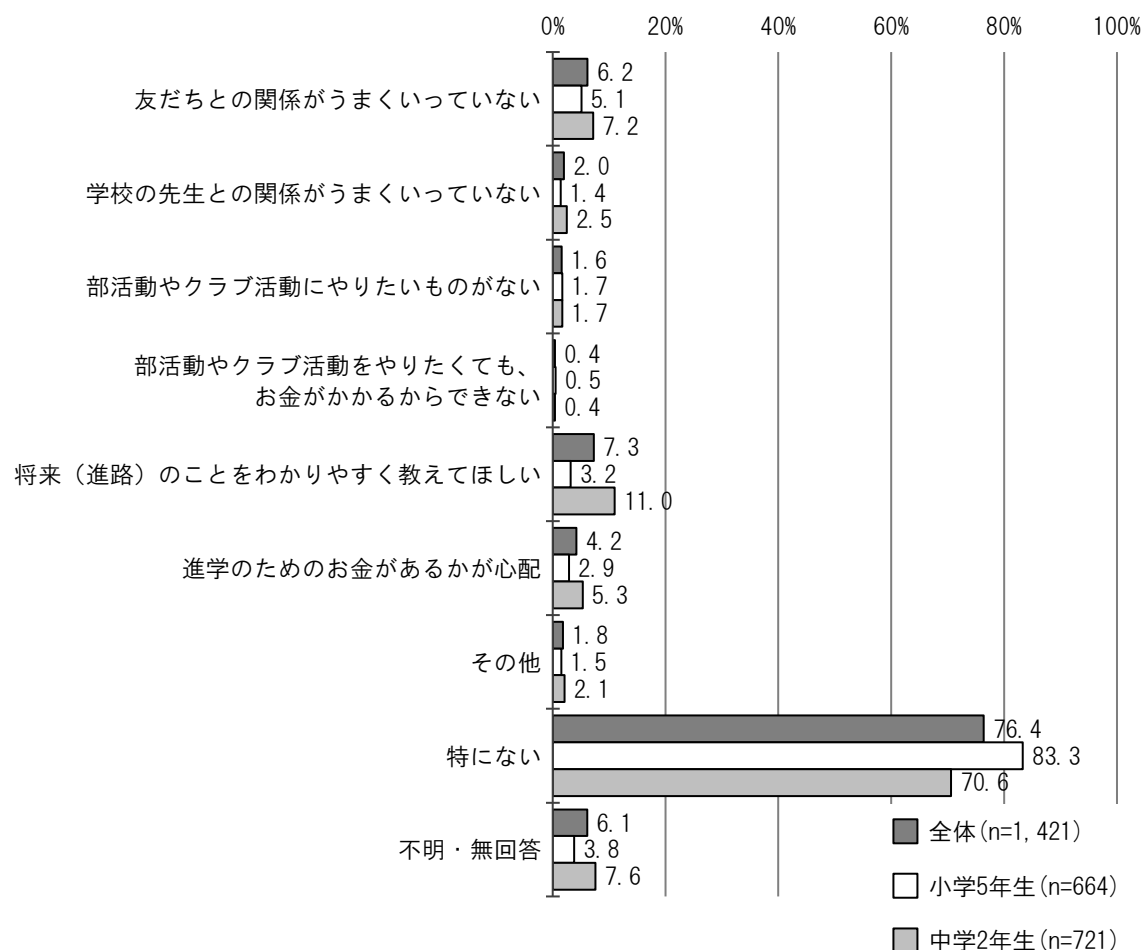
%	家族の団らんや会話が少ない	親が厳しい	親が自分の気持ちをわかってくれない	親同士の仲が良くない	きょうだいとの仲が良くない	家で落ち着いて勉強できない	病気の人やお年寄りの世話が大変
全体(n=1,421)	2.7	6.3	7.5	3.7	8.6	6.4	0.6
ヤングケアラーに該当(n=60)	10.0	16.7	25.0	8.3	23.3	21.7	1.7
%	食べるごはんがないときがある	着る服が少ない	家の中が散らかっている	家にお金がない(少ない)	進学などにかかるお金がない	修学旅行などの学校行事に参加するお金がない	その他
全体(n=1,421)	0.8	1.8	8.0	4.2	0.7	0.1	1.3
ヤングケアラーに該当(n=60)	6.7	8.3	15.0	13.3	6.7	-	1.7
%	特にない	不明・無回答					
全体(n=1,421)	67.6	4.3					
ヤングケアラーに該当(n=60)	38.3	5.0					

問 18 あなたは、学校のことで困っていることはありますか。

(複数回答)

学校のことで困っていることについてみると、〈小学5年生〉では、「特にない」が83.3%と最も多く、次いで「友達との関係がうまくいっていない」が5.1%となっています。

〈中学2年生〉では、「特にない」が70.6%と最も多く、次いで「将来(進路)のことをわかりやすく教えてほしい」が11.0%となっています。



問 18 あなたは、学校のことで困っていることはありますか。 × ヤングケアラーに該当 (複数回答)

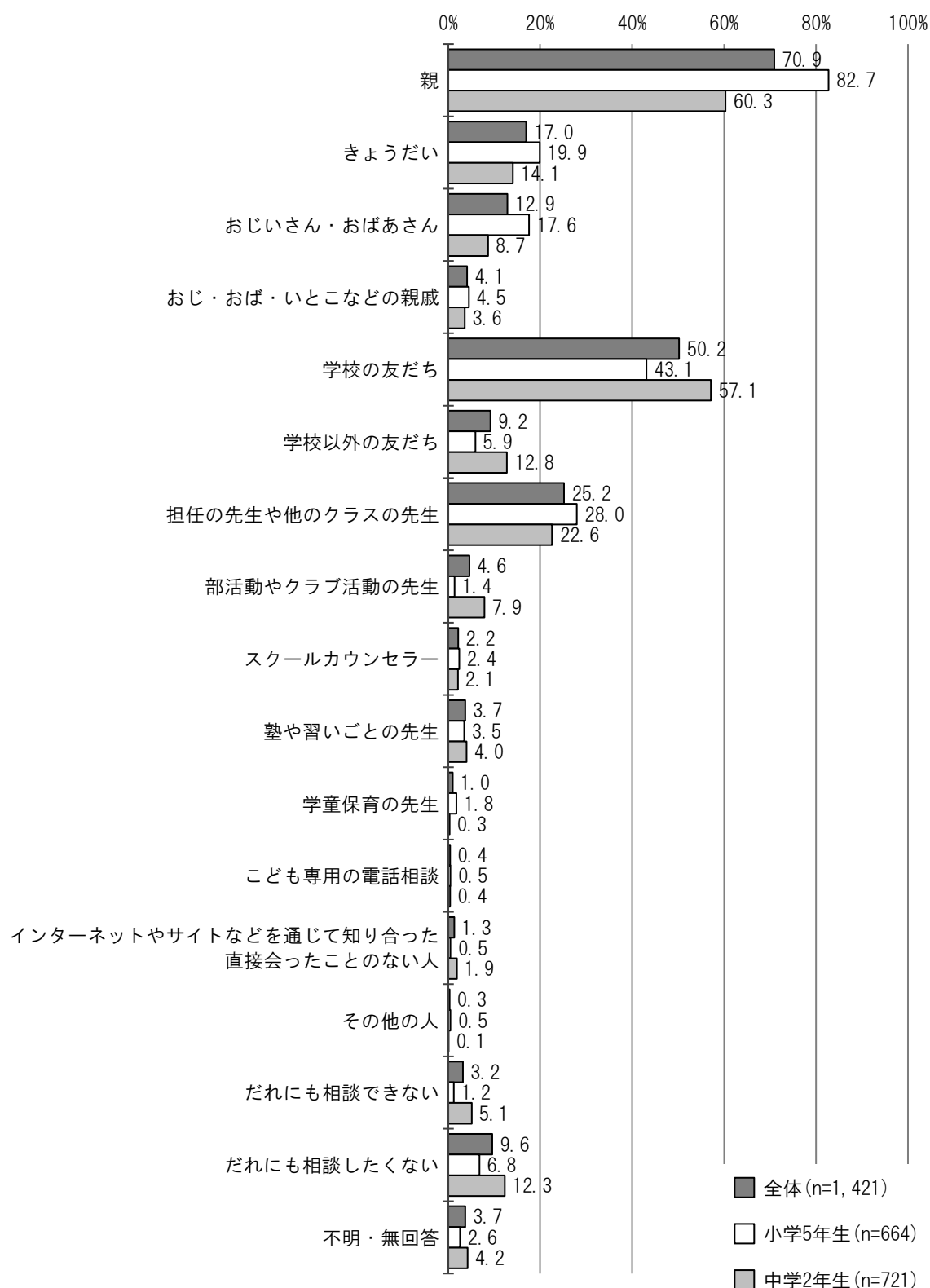
学校のことで困っていることについて、ヤングケアラーにおける状況を見ると、「将来(進路)のことをわかりやすく教えてほしい」が20.0%と、全体と比べて多くなっています。

%	友だちとの関係が うまくいっていない	学校の先生との関 係がうまくいって いない	部活動やクラブ活 動にやりたいもの がない	部活動やクラブ活 動をやりたくて も、お金がかかる からできない	将来(進路)のこ とをわかりやすく 教えてほしい	進学のためのお金 があるかが心配	その他
全体(n=1,421)	6.2	2.0	1.6	0.4	7.3	4.2	1.8
ヤングケアラーに該当(n=60)	10.0	8.3	6.7	-	20.0	11.7	5.0
%	特にない	不明・無回答					
全体(n=1,421)	76.4	6.1					
ヤングケアラーに該当(n=60)	61.7	5.0					

問19 あなたは、いやなことや悩んでいるとき、だれに相談しますか。（複数回答）

だれに相談するかについてみると、〈小学5年生〉では、「親」が82.7%と最も多く、次いで「学校の友だち」が43.1%となっています。

〈中学2年生〉では、「親」が60.3%と最も多く、次いで「学校の友だち」が57.1%となっています。

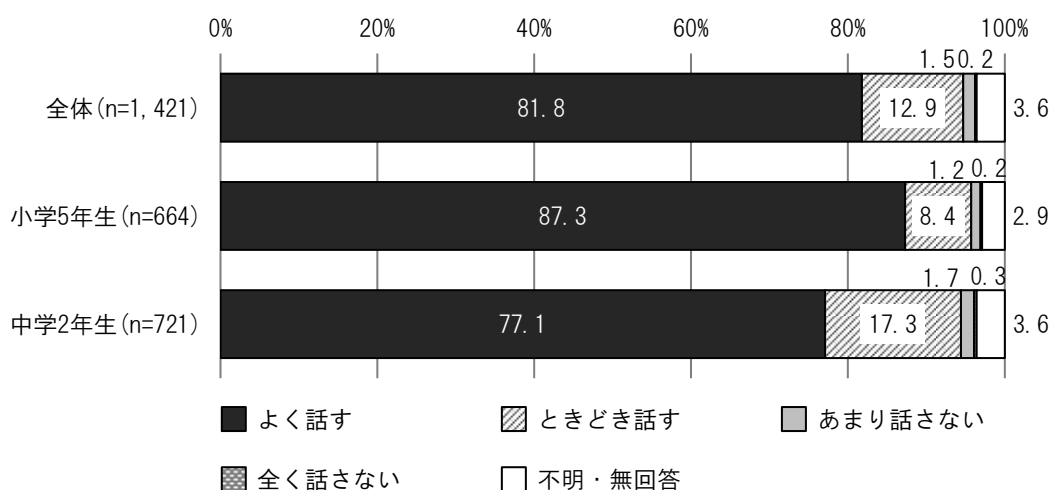


問 20 あなたは、家族とどれくらい話をしますか。

(単数回答)

家族とどれくらい話をするかについてみると、〈小学 5 年生〉では、「よく話す」が 87.3%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 8.4%となっています。

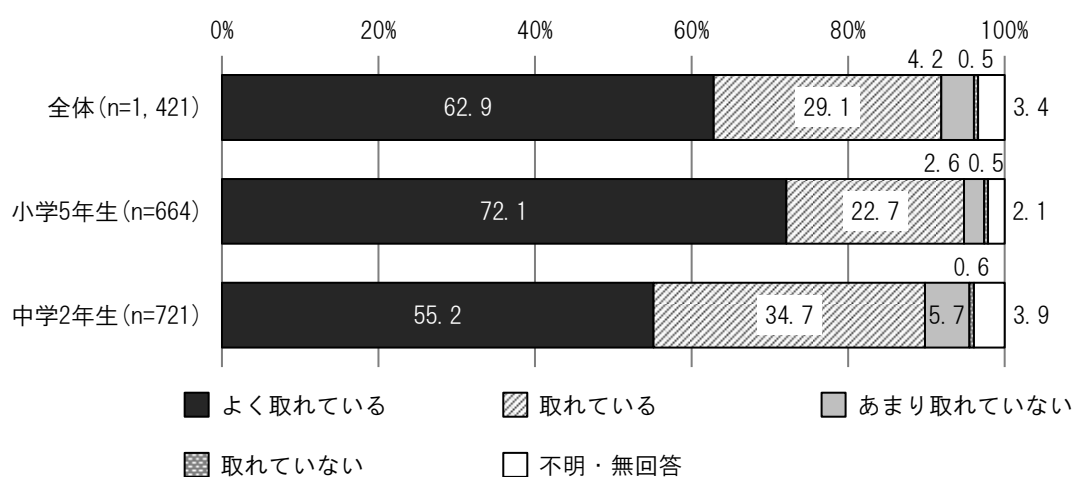
〈中学 2 年生〉では、「よく話す」が 77.1%と最も多く、次いで「ときどき話す」が 17.3%となっています。



問 21 あなたは、家族といっしょにいる（過ごす）時間を十分に取れていると思いますか。
(単数回答)

家族といっしょにいる時間を十分に取れていると思うかについてみると、〈小学 5 年生〉では、「よく取れている」が 72.1%と最も多く、次いで「取れている」が 22.7%となっています。

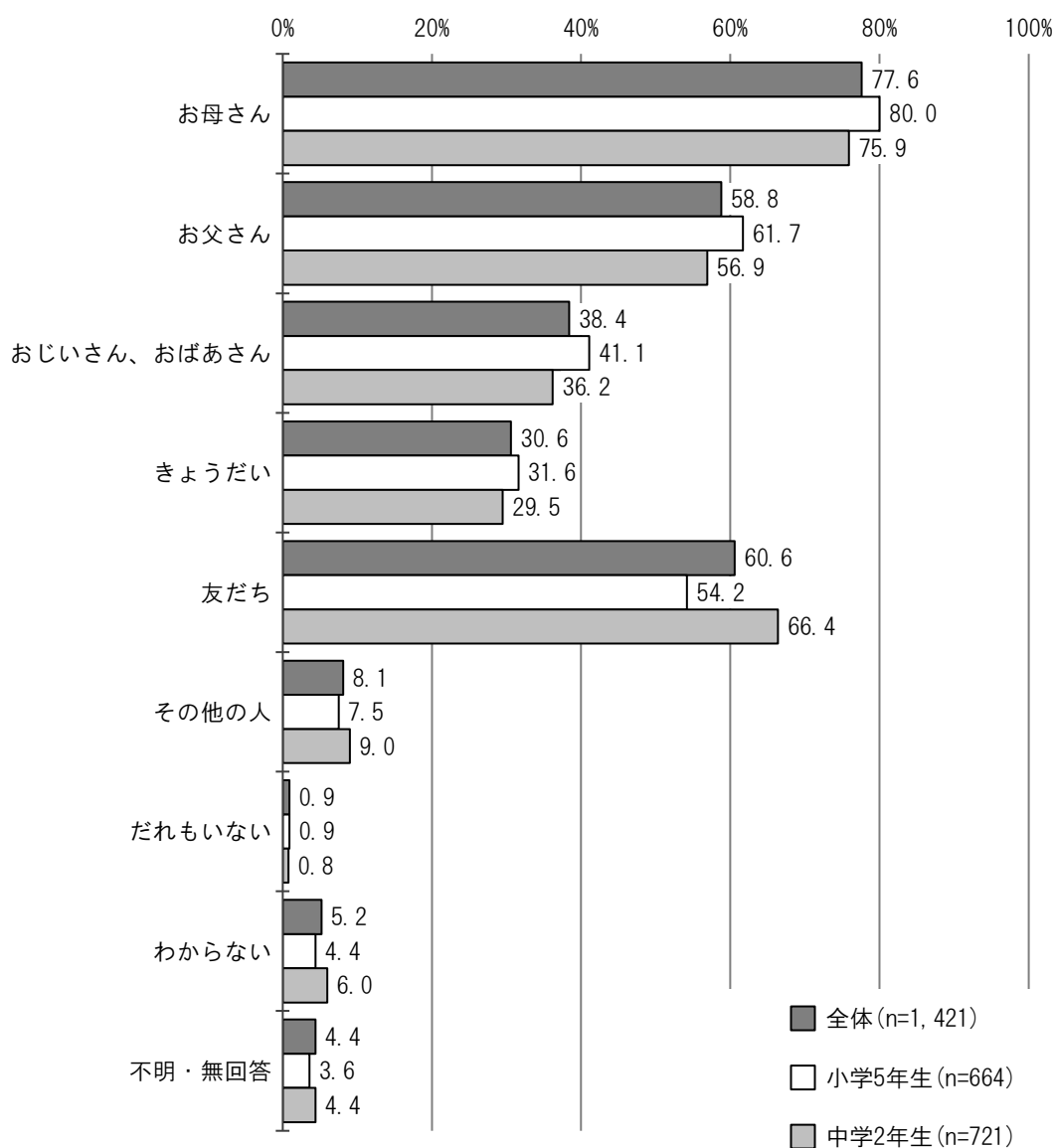
〈中学 2 年生〉では、「よく取れている」が 55.2%と最も多く、次いで「取れている」が 34.7%となっています。



問 22 ア あなたが何かに失敗したときに、助けてくれる人はだれですか。（複数回答）

失敗したときに助けてくれる人についてみると、〈小学5年生〉では、「お母さん」が80.0%と最も多く、次いで「お父さん」が61.7%となっています。

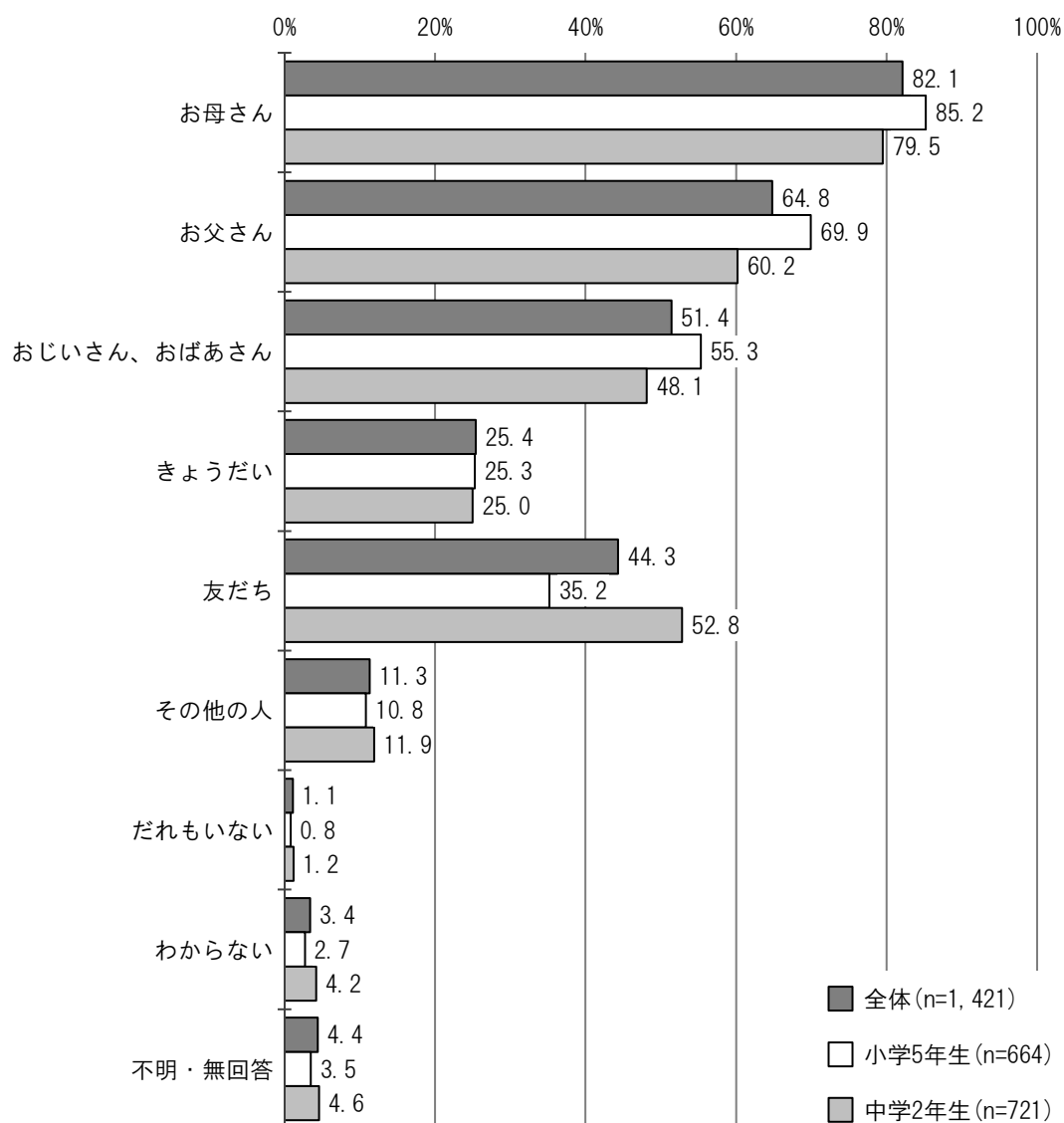
〈中学2年生〉では、「お母さん」が75.9%と最も多く、次いで「友だち」が66.4%となっています。



問 22 イ あなたが勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人はだれですか。
(複数回答)

がんばったときにほめてくれる人についてみると、〈小学 5 年生〉では、「お母さん」が 85.2%と最も多く、次いで「お父さん」が 69.9%となっています。

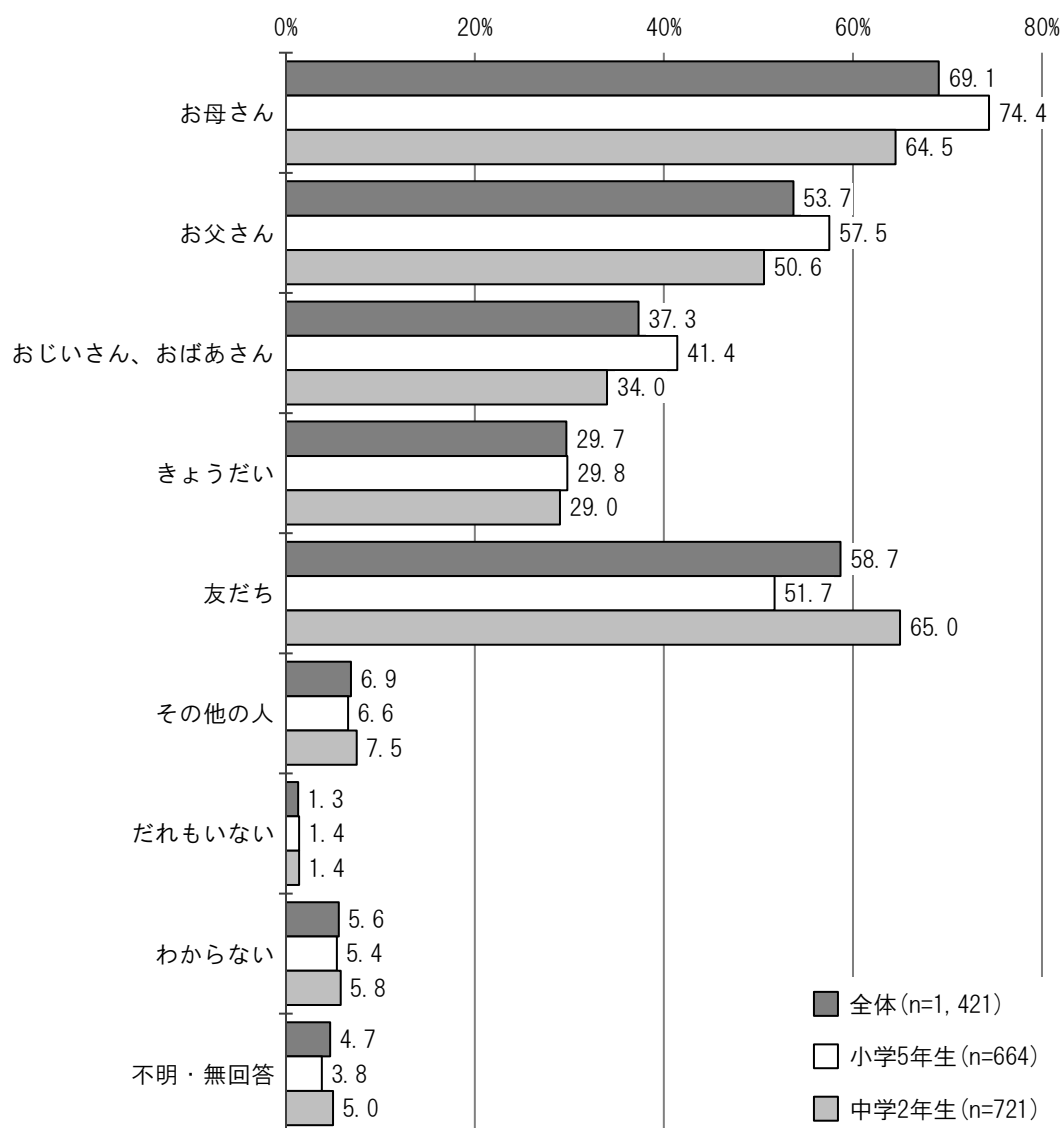
〈中学 2 年生〉では、「お母さん」が 79.5%と最も多く、次いで「お父さん」が 60.2%となっています。



問 22 ウ ひとりではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人はだれですか。（複数回答）

手伝ってくれる人についてみると、＜小学5年生＞では、「お母さん」が74.4%と最も多く、次いで「お父さん」が57.5%となっています。

＜中学2年生＞では、「友だち」が65.0%と最も多く、次いで「お母さん」が64.5%となっています。

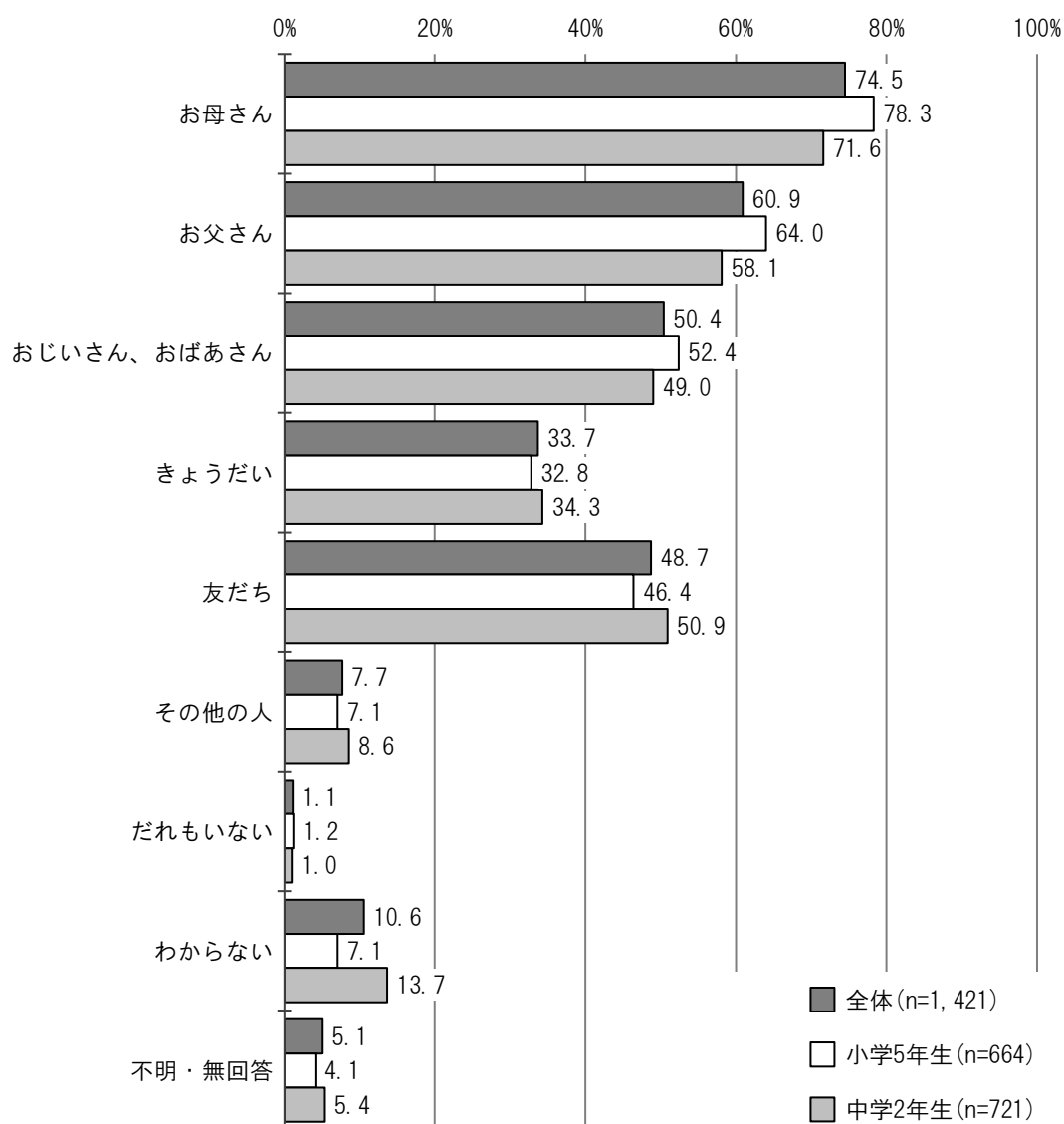


問 22 エ いつでもあなたのことを信じてくれる人はだれですか。

(複数回答)

信じてくれる人についてみると、〈小学 5 年生〉では、「お母さん」が 78.3%と最も多く、次いで「お父さん」が 64.0%となっています。

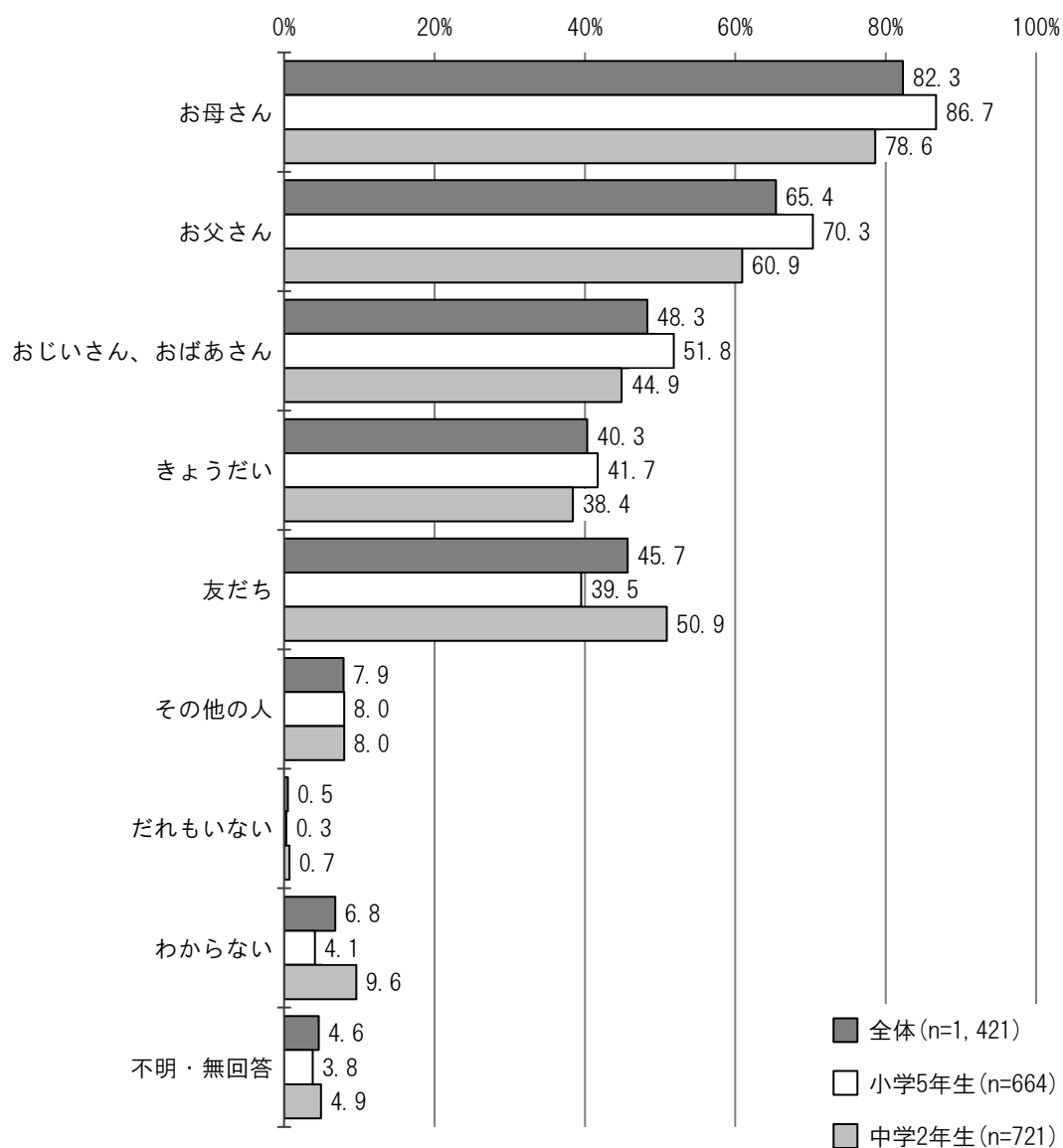
〈中学 2 年生〉では、「お母さん」が 71.6%と最も多く、次いで「お父さん」が 58.1%となっています。



問 22 オ あなたの良いところも、良くないところも、よくわかってくれる人はだれですか。
（複数回答）

良いところも、良くないところも、よくわかってくれる人についてみると、〈小学5年生〉では、「お母さん」が86.7%と最も多く、次いで「お父さん」が70.3%となっています。

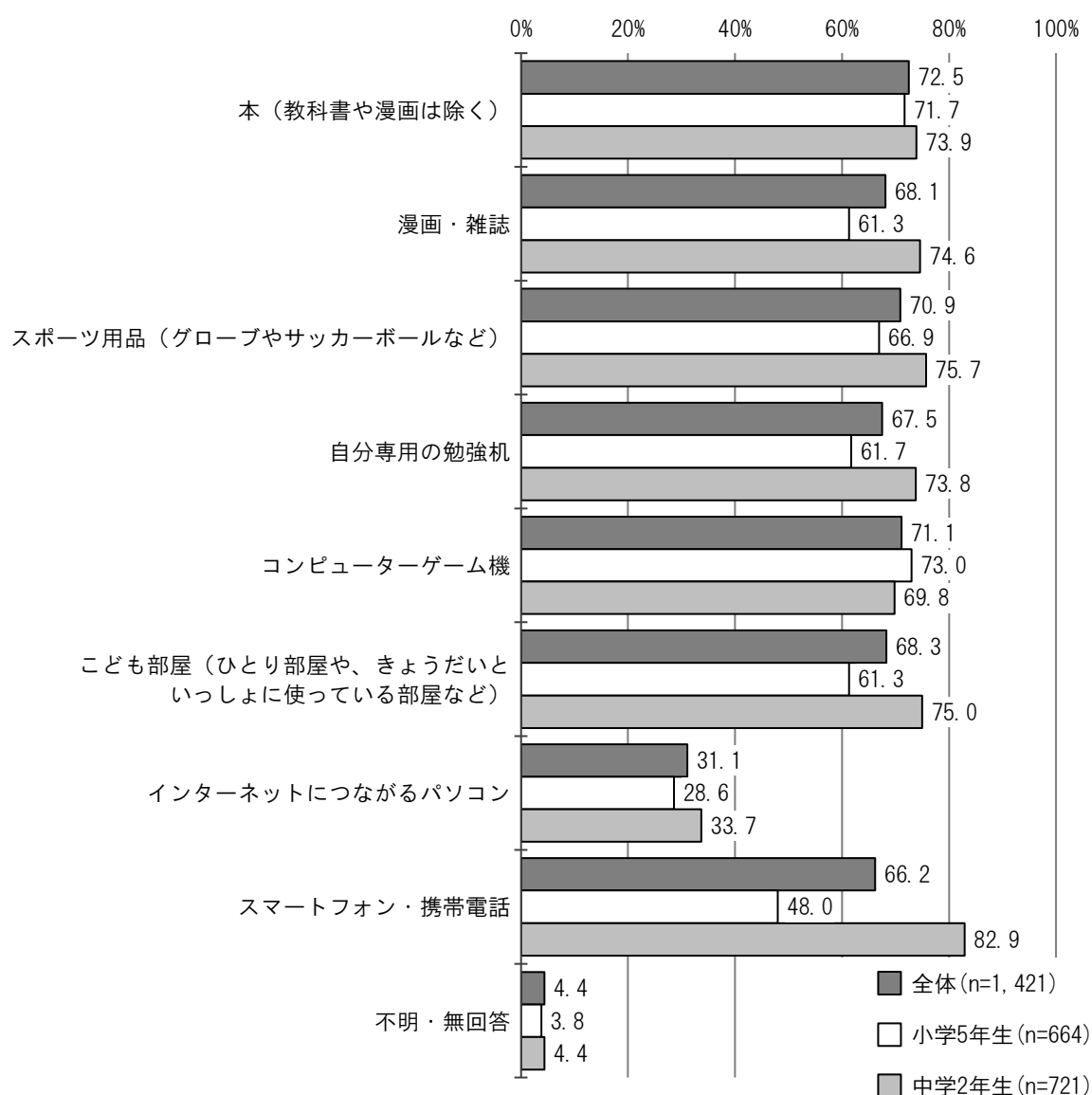
〈中学2年生〉では、「お母さん」が78.6%と最も多く、次いで「お父さん」が60.9%となっています。



問 23 次の中で、あなたが持っているものや、使うことができるものを選んでください。
(複数回答)

持っているものや使うことができるものについてみると、＜小学5年生＞では、「本(教科書や漫画は除く)」「コンピューターゲーム機」が7割台、「漫画・雑誌」「スポーツ用品(グローブやサッカーボールなど)」「自分専用の勉強机」「こども部屋(ひとり部屋や、きょうだいといっしょに使っている部屋など)」が6割台となっています。

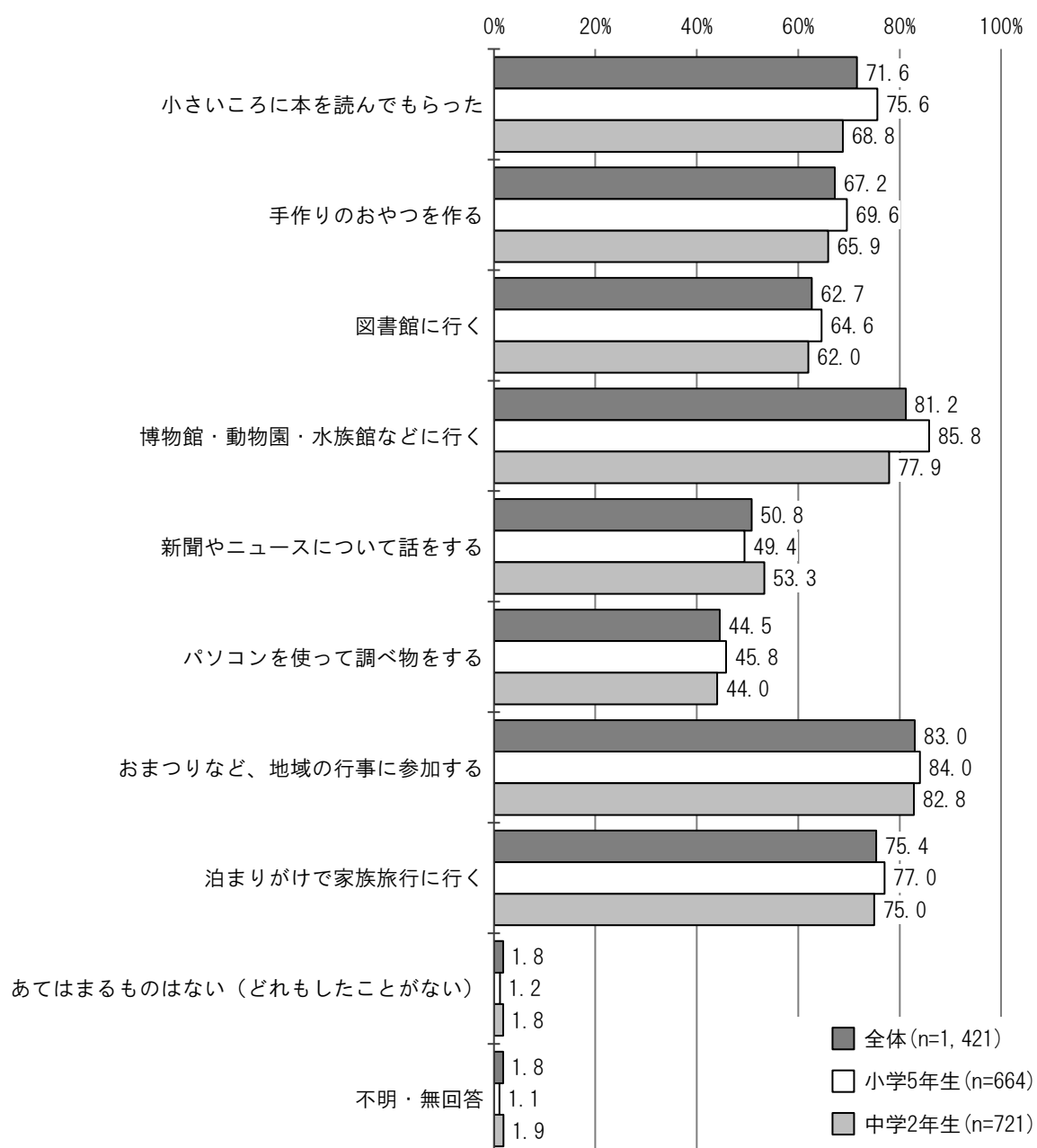
＜中学2年生＞では、「スマートフォン・携帯電話」が82.9%と最も多く、「本(教科書や漫画は除く)」「漫画・雑誌」「スポーツ用品(グローブやサッカーボールなど)」「自分専用の勉強机」「こども部屋(ひとり部屋や、きょうだいといっしょに使っている部屋など)」が7割台となっています。



問 24 あなたの家では、次のようなことをすることがありますか。ふだんすることや、これまでにしたことがあるものを選んでください。（複数回答）

ふだんすることやしたことがあることについてみると、〈小学5年生〉では、「博物館・動物園・水族館などに行く」が85.8%と最も多く、次いで「おまつりなど、地域の行事に参加する」が84.0%となっています。

〈中学2年生〉では、「おまつりなど、地域の行事に参加する」が82.8%と最も多く、次いで「博物館・動物園・水族館などに行く」が77.9%となっています。



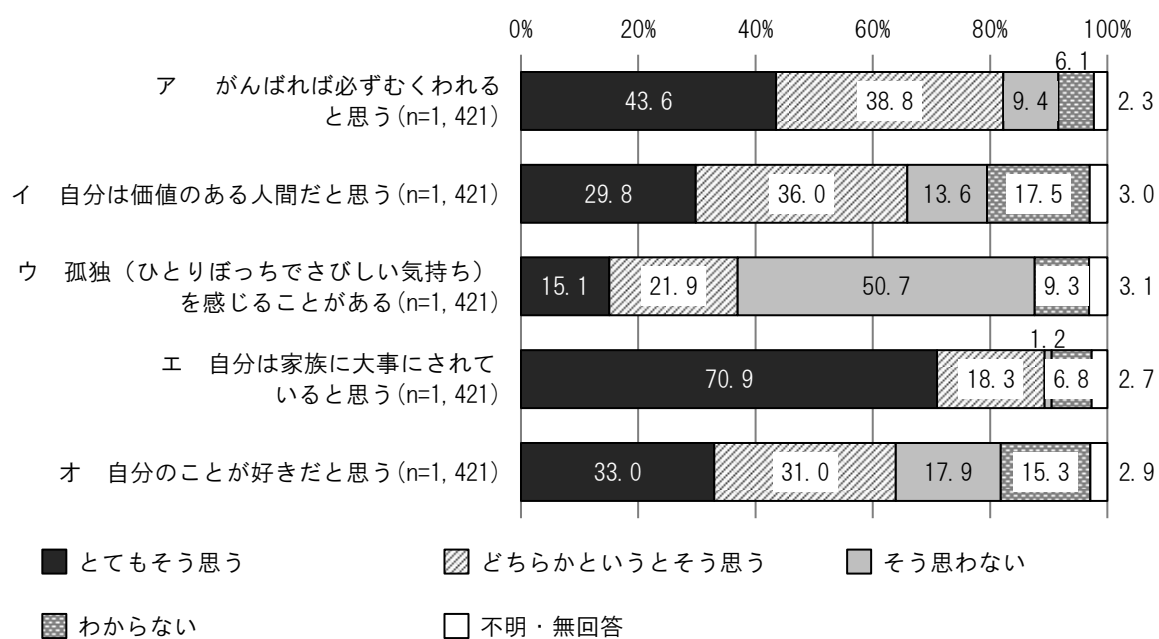
9 あなたの気持ちについて[本人調査]

問 25 あなたは、ア～オのことについてどう思いますか。

(単数回答)

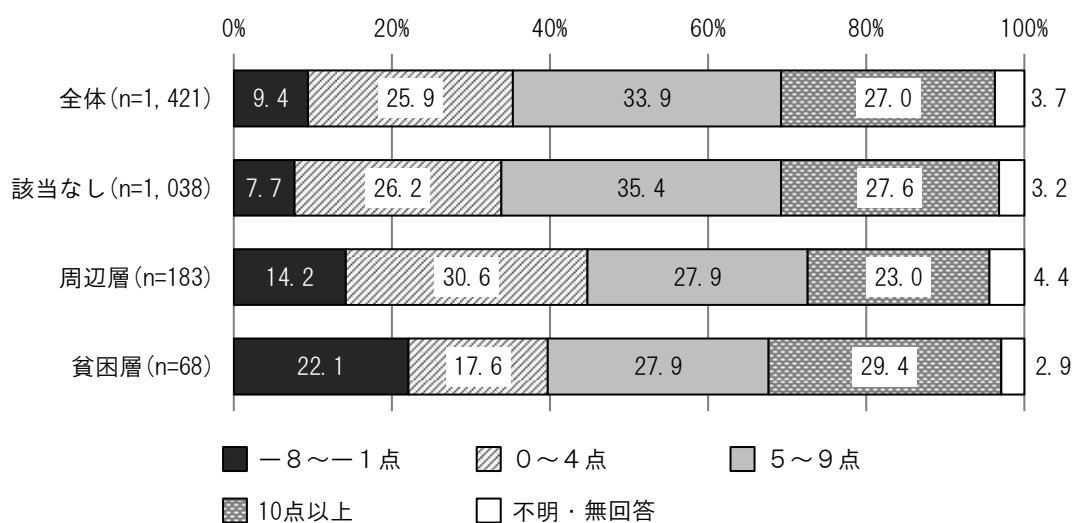
本人の気持ちについてみると、<イ 自分は価値のある人間だと思う><オ 自分のことが好きだと思う>では、「とてもそう思う」が3割前後、「そう思わない」が1割台となっています。

<ウ 孤独(ひとりぼっちでさびしい気持ち)を感じることもある>では、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計が4割弱となっています。



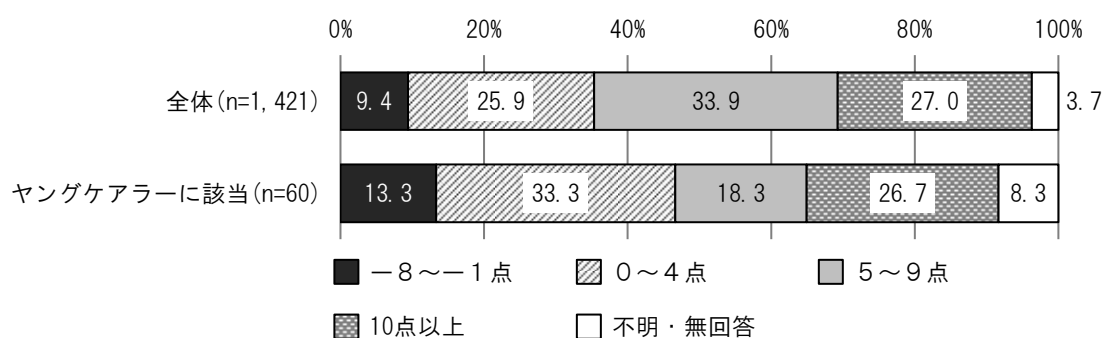
本人の自己肯定感の度合い × 貧困層・周辺層への該当 (単数回答)

自己肯定感の度合いについて生活困窮別にみると、〈周辺層〉〈貧困層〉で「－8～－1点」が全体と比べて多くなっています。



本人の自己肯定感の度合い × ヤングケアラーに該当 (単数回答)

自己肯定感の度合いについてヤングケアラーにおける状況をみると、「－8～－1点」「0～4点」が全体と比べて多くなっています。



●●● 自己肯定感の度合いの算出方法 ●●●

自己肯定感については、問25のア・イ・エ・オの4項目を用いて算出しています。

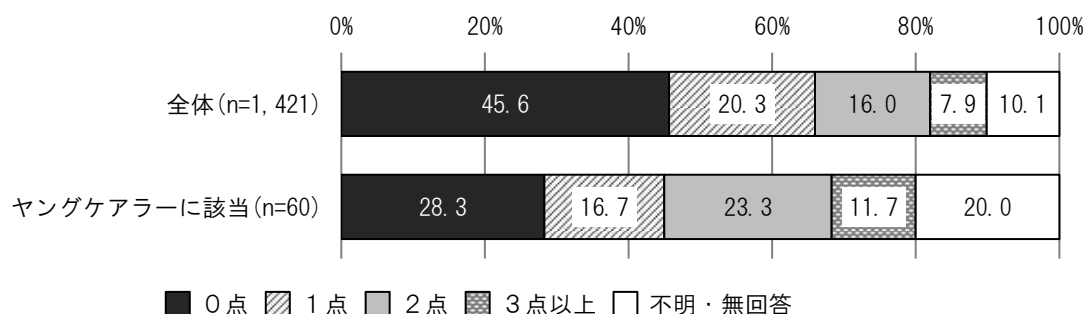
それぞれの回答について、「とてもそう思う」を3点、「どちらかというと思う」を1点、「そう思わない」を－2点、「わからない」を0点として合計点を集計しています。

なお、1つ以上で不明・無回答があった回答については、不明・無回答としています。

本人の孤独・孤立を感じる度合い × ヤングケアラーに該当

(単数回答)

孤独・孤立を感じる度合いについて、ヤングケアラーにおける状況をみると、「0点」「1点」が全体と比べて少なく、「2点」「3点」が全体と比べて多くなっています。



●●● 孤独・孤立を感じる度合いの算出方法 ●●●

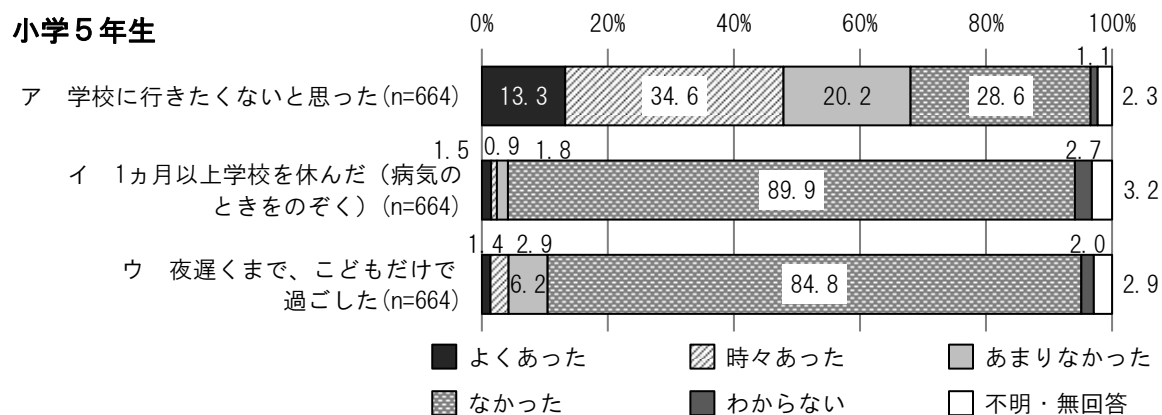
孤独・孤立を感じる度合いについては、問16（家の居心地がいいと感じるか）、問20（家族と話をするか）、問22（助けてくれたり信じてくれたりする人がいるか）、問25ウ（孤独を感じるか）の各項目を用いて、以下のとおり点数付けをしたものの合計として算出しています。

問16(家の居心地がいいと感じるか)	「どちらかというと思わない」：1点 「思わない」：2点
問20(家族と話をするか)	「あまり話さない」：1点 「全く話さない」：2点
問22(助けてくれたり信じてくれたりする人がいるか)	「だれもない」：1点 (ア～オ5項目の合計を算出)
問25ウ(孤独を感じるか)	「どちらかというと思う」：1点 「とても思う」：2点

なお、1つ以上で不明・無回答があった回答については、不明・無回答としています。

問26 あなたは、これまでにア～ウのようなことがありましたか。〈小学5年生〉(単数回答)

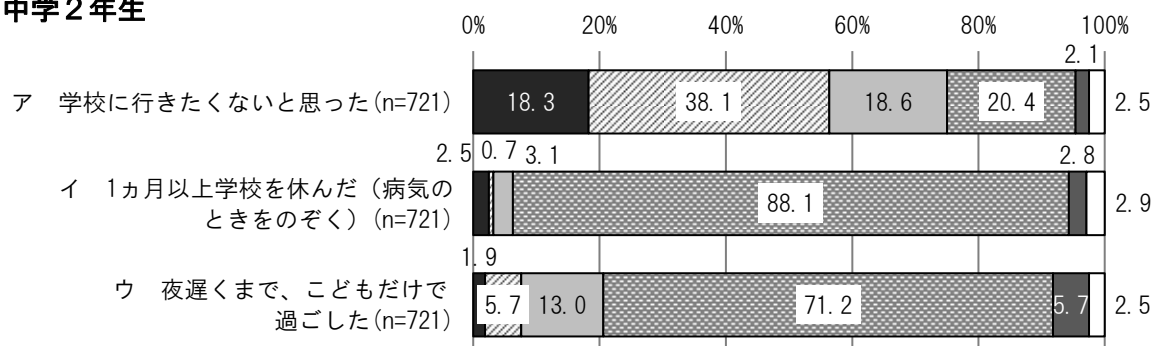
これまでにあったことについてみると、小学5年生では〈ア 学校に行きたくないと思った〉について、「時々あった」が34.6%となっており、「よくあった」「時々あった」の合計が約5割となっています。



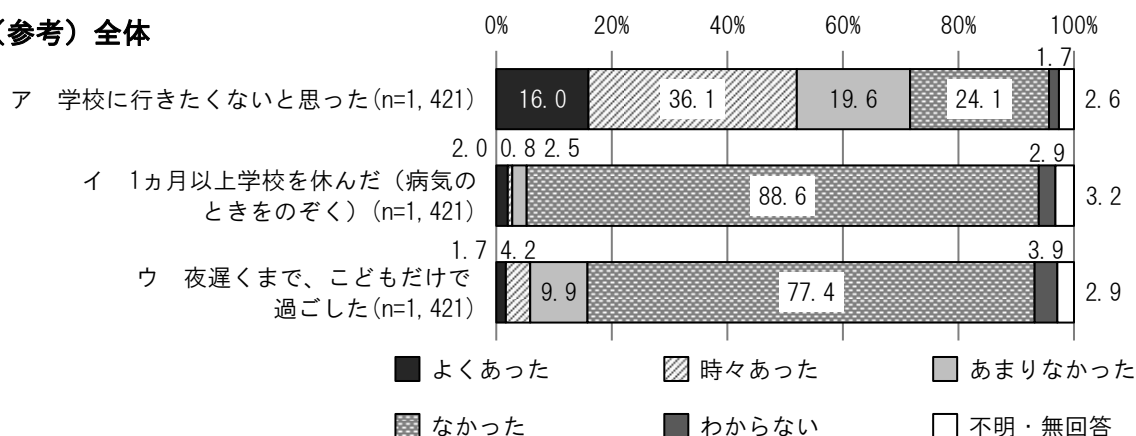
問26 あなたは、これまでにア～ウのようなことがありましたか。〈中学2年生〉（単数回答）

これまでにあったことについてみると、中学2年生では〈ア 学校に行きたくないと思った〉について、「時々あった」が38.1%となっており、「よくあった」「時々あった」の合計が約6割となっています。

中学2年生



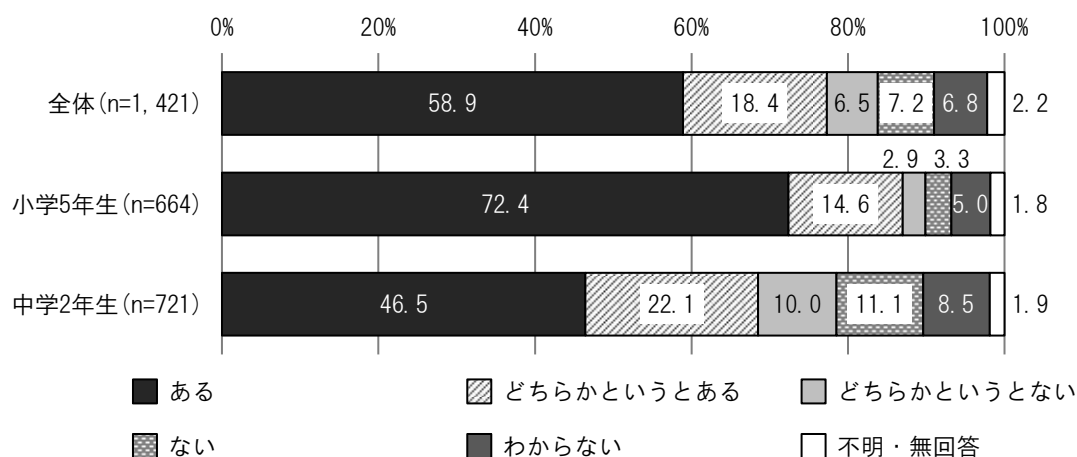
（参考）全体



問27 あなたには、将来の夢や目標がありますか。（単数回答）

将来の夢や目標があるかについてみると、〈小学5年生〉では、「ある」が72.4%と最も多く、次いで「どちらかというところがある」が14.6%となっています。

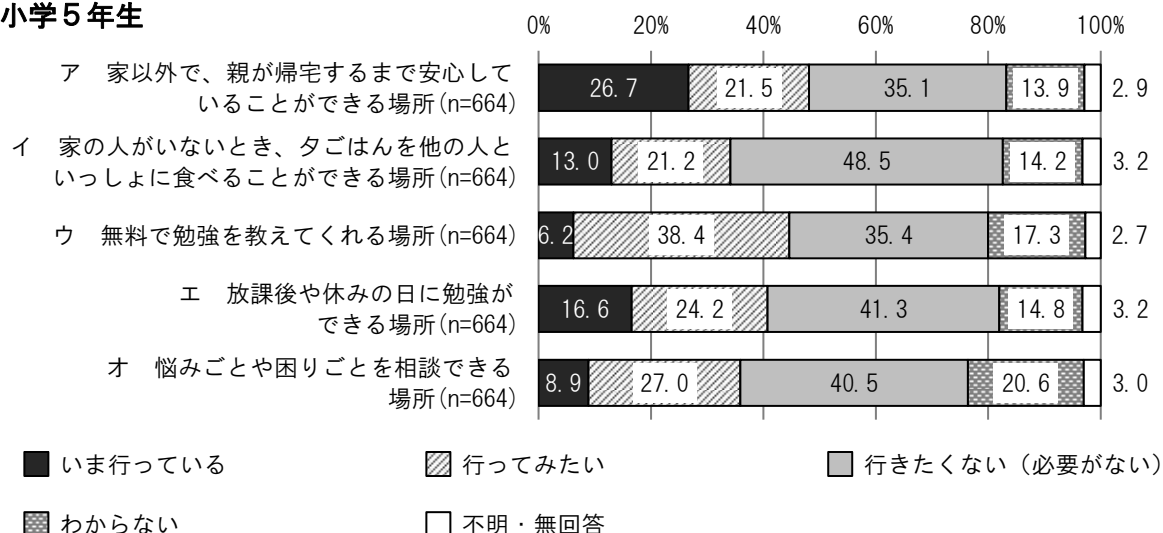
〈中学2年生〉では、「ある」が46.5%と最も多く、次いで「どちらかというところがある」が22.1%となっています。



問 28 あなたは、ア～オのことについて、そのような場所があれば行ってみたい（使ってみたい）と思いますか。
 <小学 5 年生>（単数回答）

行ってみたい場所について、小学 5 年生で<ア 家以外で、親が帰宅するまで安心して
 いることができる場所><ウ 無料で勉強を教えてくれる場所><エ 放課後や休みの日に勉強ができる場所>で「いま行っている」
 「行ってみたい」の合計が4割台となっています。

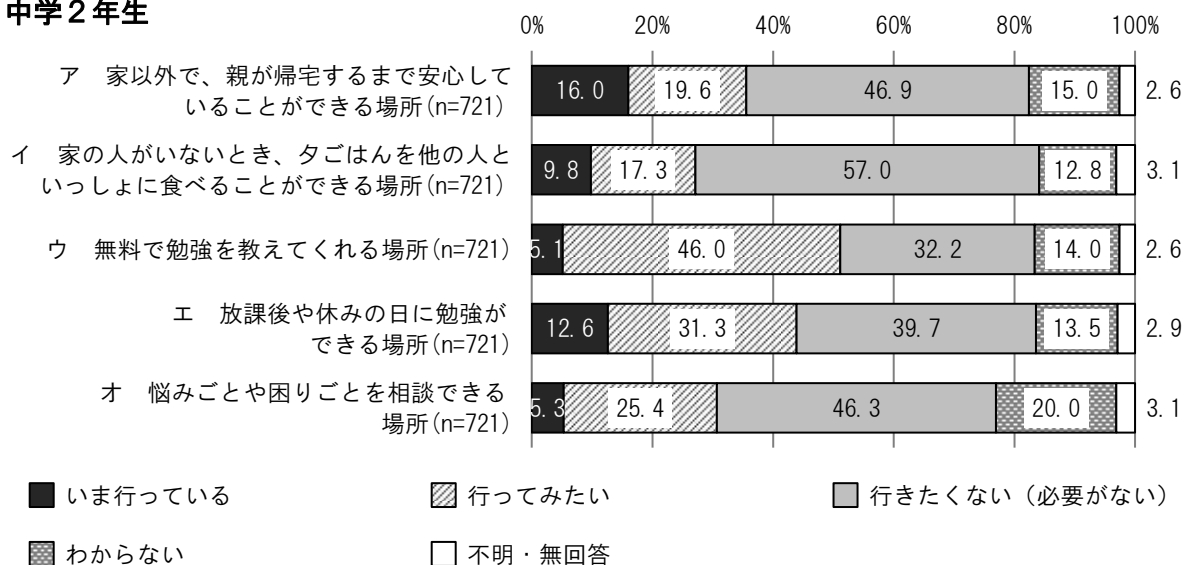
小学 5 年生



問 28 あなたは、ア～オのことについて、そのような場所があれば行ってみたい（使ってみたい）と思いますか。
 <中学 2 年生>（単数回答）

行ってみたい場所について、中学 2 年生で<ウ 無料で勉強を教えてくれる場所><エ 放課後や休みの日に
 勉強ができる場所>で「いま行っている」「行ってみたい」の合計が4～5割台となっています。

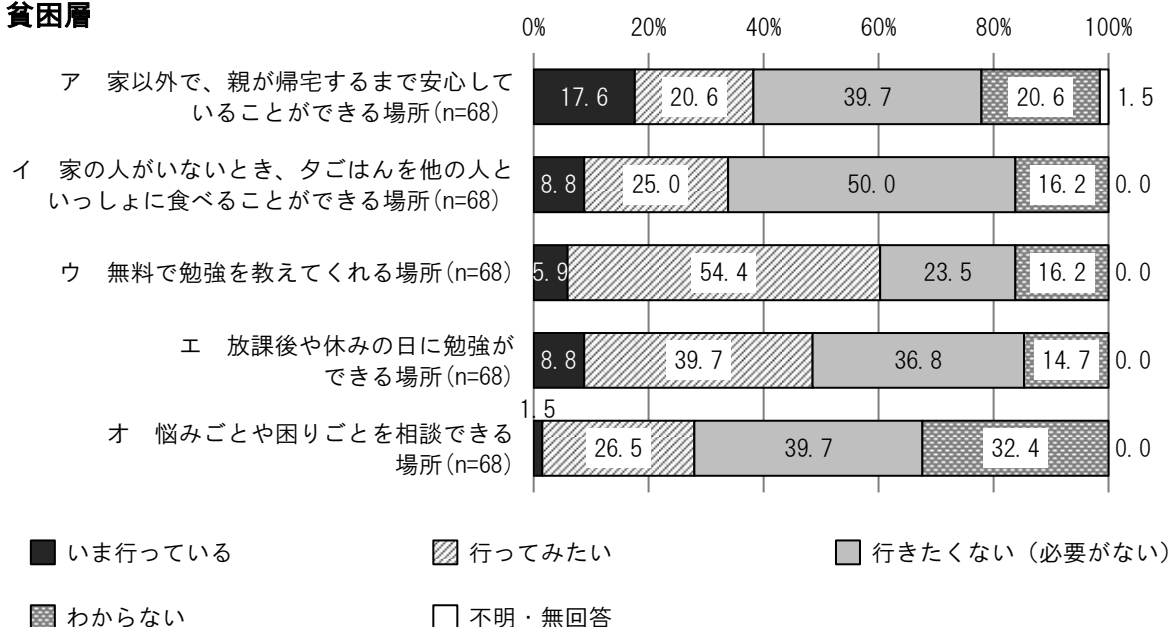
中学 2 年生



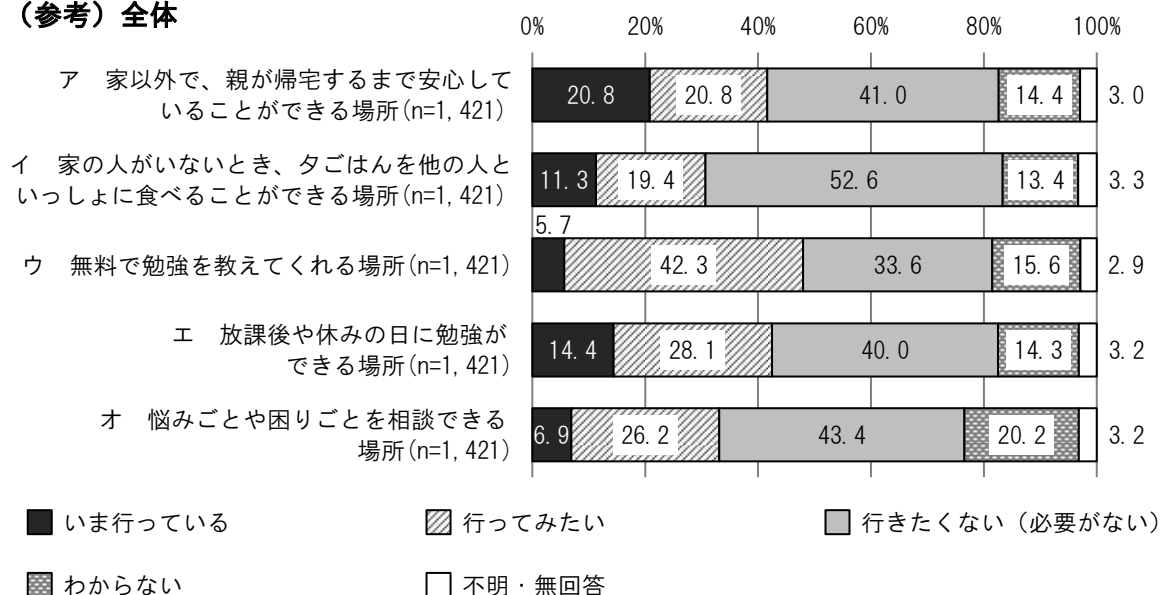
問 28 あなたは、ア～オのことについて、そのような場所があれば行ってみたい（使ってみたい）と思いますか。
 〈貧困層〉（単数回答）

行ってみたい場所について、貧困層における状況を見ると、〈ウ 無料で勉強を教えてくれる場所〉で「行ってみたい」が54.4%と、全体と比べて多くなっています。

貧困層



（参考）全体

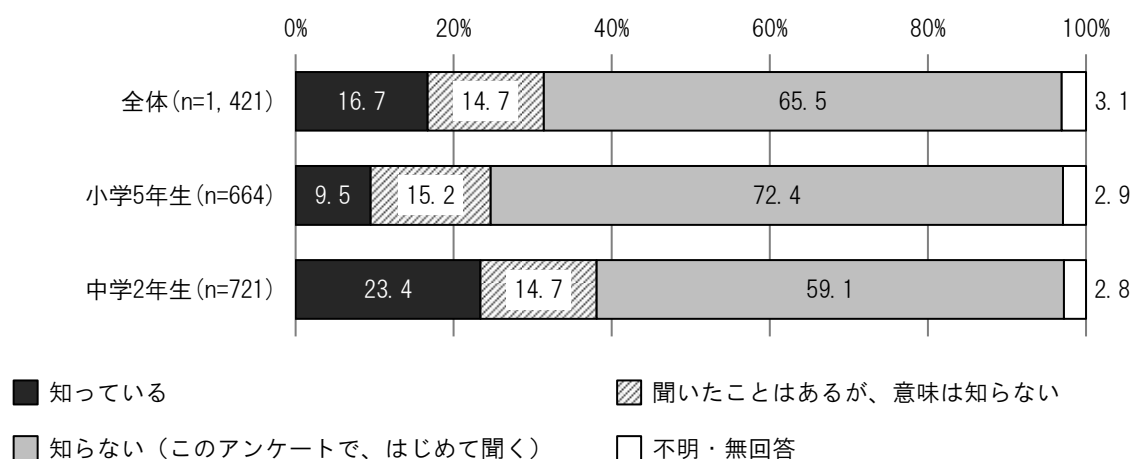


問 29 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか

(単数回答)

ヤングケアラーという言葉を知っているかについてみると、〈小学 5 年生〉では、「知らない(このアンケートで、はじめて聞く)」が 72.4%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らない」が 15.2%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「知らない(このアンケートで、はじめて聞く)」が 59.1%と最も多く、次いで「知っている」が 23.4%となっています。

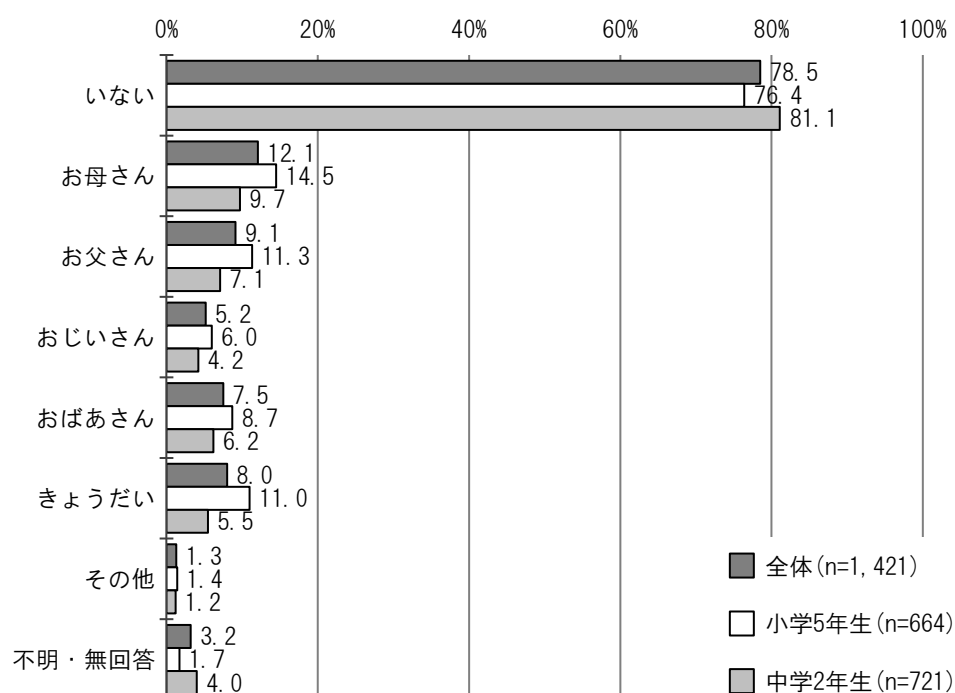


ヤングケアラーにおける状況は、レイアウトの都合により、見開きの右下に掲載しています。

問 30 家族の中に、あなたが世話をしている人はいますか。いる場合は、世話を必要としている人を教えてください。(複数回答)

世話をしている人についてみると、〈小学 5 年生〉では、「いない」が 76.4%と最も多く、次いで「お母さん」が 14.5%となっています。

〈中学 2 年生〉では、「いない」が 81.1%と最も多く、次いで「お母さん」が 9.7%となっています。

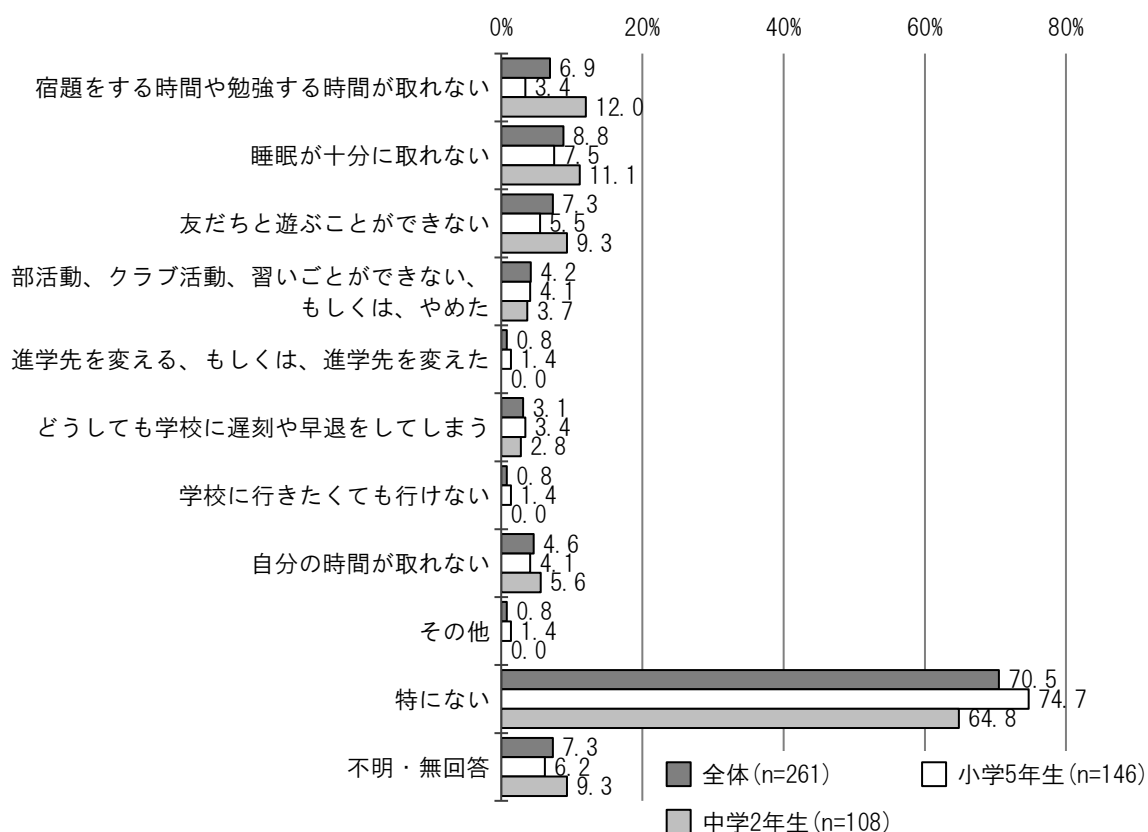


問30で「2 お母さん」～「7 その他」のいずれかと答えた方のみ回答

問31 家族の世話をしていることで、あなたがやりたいけれど、できていないことはありますか。（複数回答）

世話をしていることでできないことについてみると、＜小学5年生＞では、「特にない」が74.7%と最も多く、次いで「睡眠が十分に取れない」が7.5%となっています。

＜中学2年生＞では、「特にない」が64.8%と最も多く、次いで「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」が12.0%となっています。

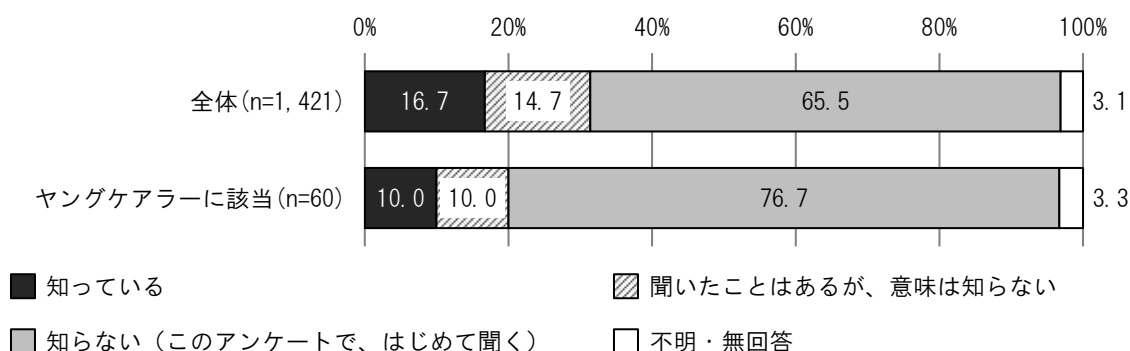


問29 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。

× ヤングケアラーに該当

（単数回答）

ヤングケアラーという言葉を知っているかについて、ヤングケアラーにおける状況をみると、「知っている」が全体と比べて少なく、「知らない（このアンケートで、はじめて聞く）」が76.7%と全体と比べて多くなっています。



問 32 将来に向けて心配なこと、おとなにいいたいことなど、自由に書いてください。

自由意見についての回答件数及び、主なご意見については次のとおりです。

分類	件数	主なご意見
社会人としての生活 (職業) について	101	○将来の夢がない。 ○ちゃんとした仕事に就けるのかがわからない。 ○自立することができるのか心配。 ○将来なりたい職業があるが、(周りの人が) 許してくれるか心配。 ○将来の夢を遠回しに心配してくれているのは分かるが、諦めればどうかというニュアンスで言ってきて、自信がなくなった。
受験・進路について	66	○学校の先生になりたいが、どこの大学に行けばよいのか分からない。 ○将来の夢が無いので、どこの大学に行けばよいのか分からない。 ○将来なりたいものが2つあるが、どちらに向いているのか分からず、受験も近づいてきていて心配。 ○大人になるための学費が心配。 ○勉強に集中出来る環境の高校が近くに無い。
家族について	18	○家族の中で、自分が一番年下であるために理不尽な扱いを受けたり、意見を聞いてくれなかったりする。 ○兄弟の中で、成績だけで優劣をつけないでほしい。
友人等との関係について	21	○いじめられたらどうしようと不安に思う。 ○遊び相手がいないので、いつも1人で遊んでいて、皆と遊びたいと思う。 ○高校に行っても友だちができなかったらと思うと不安。そういった悩みを気軽に相談できる施設があれば良い。
勉強について	58	○不登校で勉強ができない時期があった。無料で勉強を教えてくれる場所があれば良い。 ○将来に向けて、今の学力で良いのか不安。もっと勉強した方が良いのか。 ○なぜ勉強を強制するのかと思ってしまう。
学校について	18	○担任の先生の言葉遣いが悪くて怖い。 ○意味がない校則を見直してほしい。冬場の服装の規定を守ると、自転車を運転しづらい。
社会問題について	28	○働き方改革を進めて、子どもと親が長い時間一緒に居られるようにしてほしい。 ○大人と対応に話し合える環境がほしい。 ○環境問題や高齢化、地震が不安。

分類	件数	主なご意見
不安や悩みについて	13	○大人に相談したり、カウンセラーに相談したりするのはしたくないと思う人もいると思うし、それが良いというのは大人による押しつけだと思う。こどもにはこどもの生き方をさせてほしいし、そのことを大人は理解して欲しい。 ○一般的には軽い悩みでも、自分にとっては重い悩みなので、誰かに相談したときに適当にあしらわれるのではないかと不安になって相談できない。適当にあしらわれないという確証をもって相談したい。 ○親に悩みを相談できず、話せる相手が友達くらいしかいないが、友達に話せないこともあるので、結局1人で抱えてしまうこともある。 ○大人のようにすぐに決断はできないので、悩ませてほしい。

第4章 青少年・若者調査

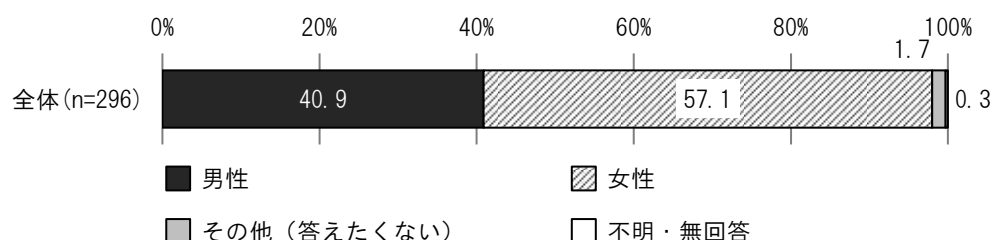
第4章で掲載している分析については、下記の箇所にて説明を行っています。

自己肯定感の度合い	居場所の多さ	ケアラーに該当	引きこもりに該当
174 ページ	176 ページ	181 ページ	183 ページ

1 あなたのことについて

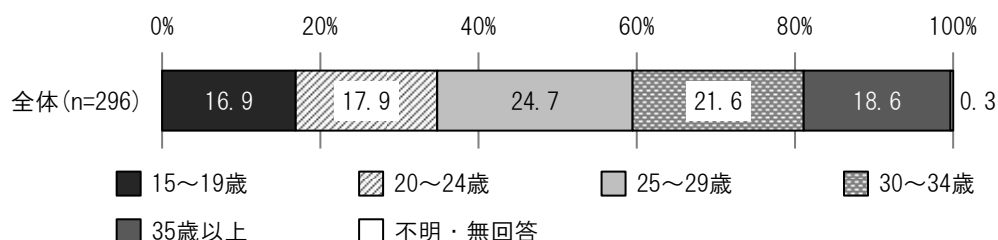
問1 あなたの性別をお答えください。 (単数回答)

性別についてみると、「女性」が 57.1%、「男性」が 40.9%、「その他(答えたくない)」が 1.7%となっています。



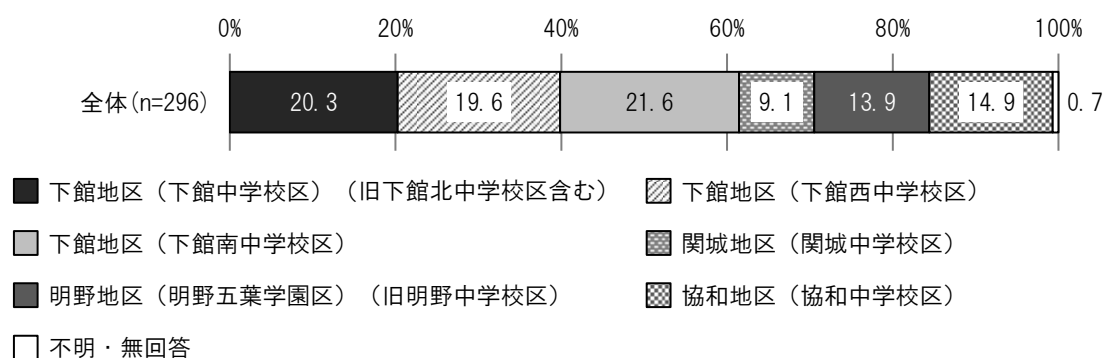
問2 あなたの年齢を教えてください。(令和6年4月1日時点) (単数回答)

年齢についてみると、「25～29 歳」が 24.7%と最も多く、次いで「30～34 歳」が 21.6%、「35 歳以上」が 18.6%となっています。



問3 お住まいの地区を教えてください。 (単数回答)

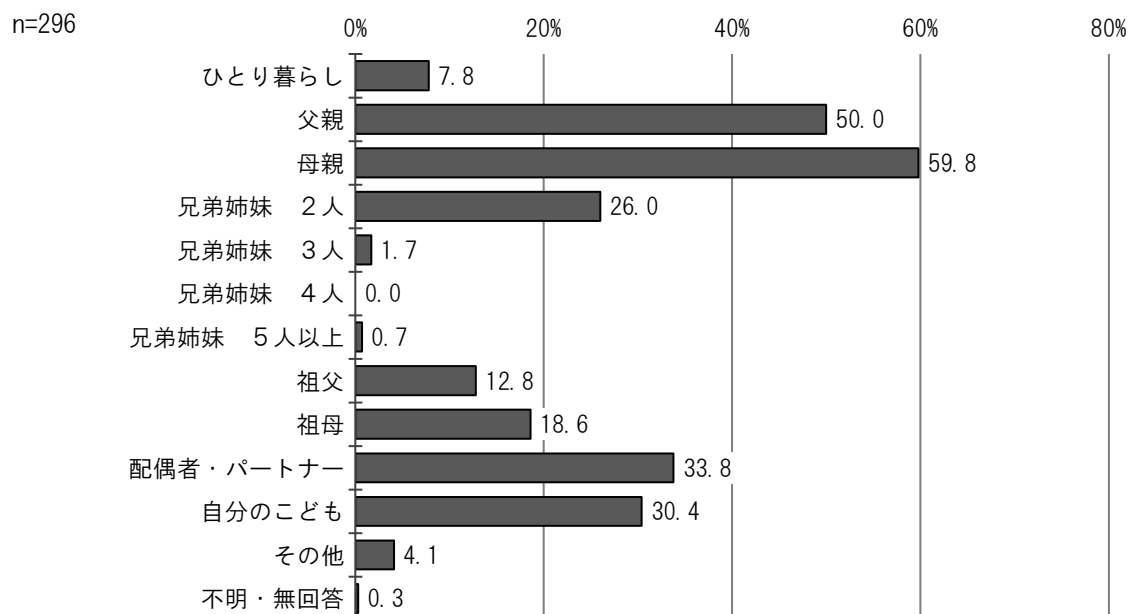
お住まいの地区についてみると、「下館地区(下館南中学校区)」「下館地区(下館中学校区)(旧下館北中学校区含む)」「下館地区(下館西中学校区)」がそれぞれ約2割となっています。



問4 現在、あなたと同居している人をお答えください。

(複数回答)

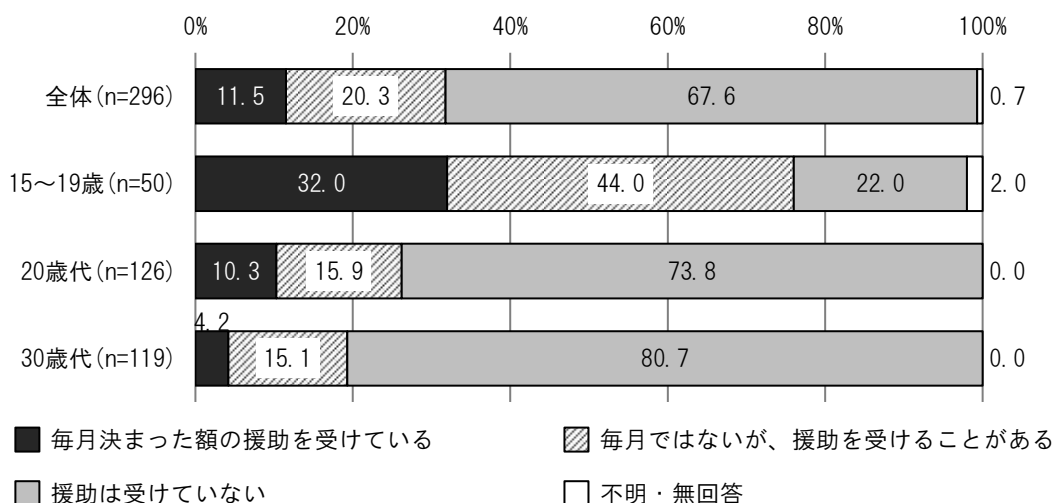
同居している人についてみると、「母親」が59.8%と最も多く、次いで「父親」が50.0%、「配偶者・パートナー」が33.8%となっています。



問5 あなたは、学費以外で、親から日常生活を送るための経済的援助を受けていますか。 × 年代 (単数回答)

経済的援助についてみると、全体では「援助は受けていない」が67.6%と最も多く、次いで「毎月ではないが、援助を受けることがある」が20.3%、「毎月決まった額の援助を受けている」が11.5%となっています。

年代別にみると「毎月決まった額の援助を受けている」「毎月ではないが、援助を受けることがある」の合計について、<15～19歳>では7割台、<20歳代><30歳代>では2割前後となっています。

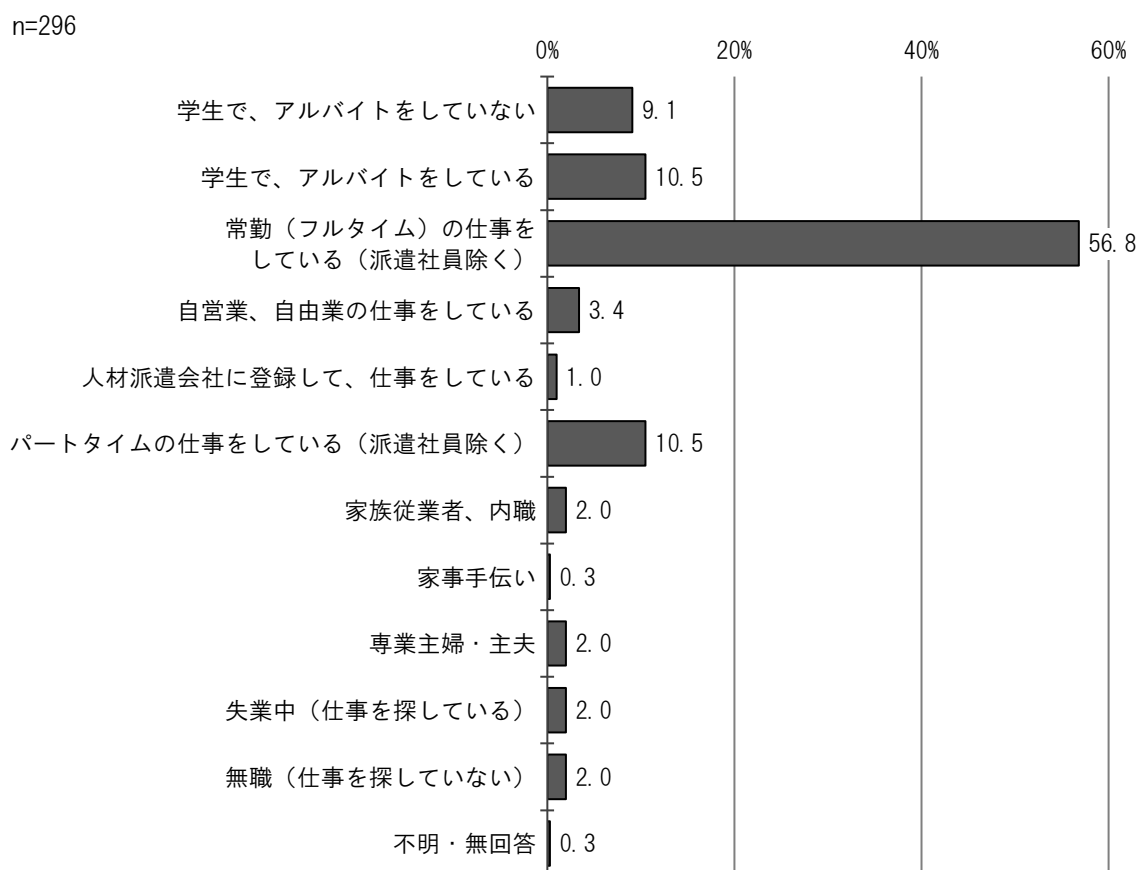


2 仕事について

問6 あなたの現在の職業をお答えください。

(単数回答)

職業についてみると、「常勤(フルタイム)の仕事をしている(派遣社員除く)」が 56.8%と最も多く、次いで「学生で、アルバイトをしている」「パートタイムの仕事をしている(派遣社員除く)」が 10.5%となっています。



問6 あなたの現在の職業をお答えください。 × 年代

(単数回答)

職業について年代別にみると、<15～19 歳>では、「学生で、アルバイトをしていない」が 50.0%と最も多く、次いで「学生で、アルバイトをしている」が 36.0%となっています。

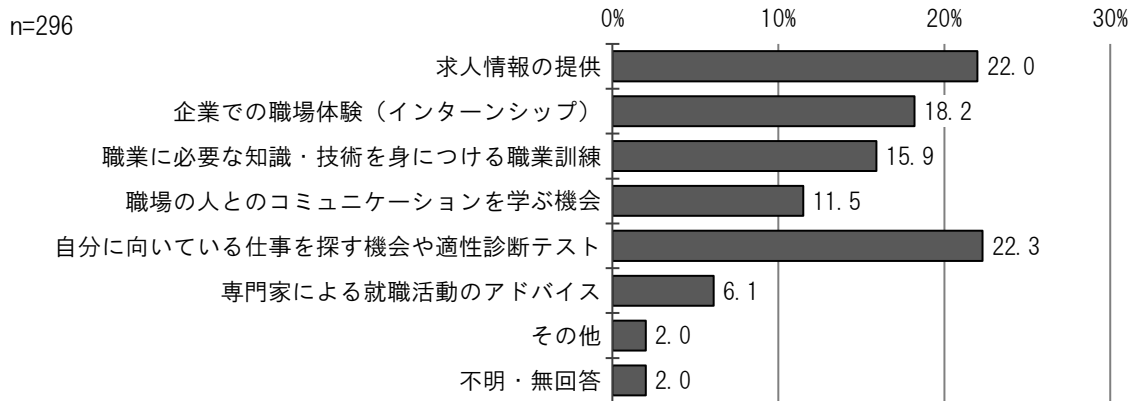
<20 歳代><30 歳代>では、「常勤(フルタイム)の仕事をしている(派遣社員除く)」が6割台と最も多くなっています。

%		学生で、アルバイトをしていない	学生で、アルバイトをしている	常勤(フルタイム)の仕事をしている(派遣社員除く)	自営業、自由業の仕事をしている	パートタイムの仕事をしている(派遣社員除く)	専業主婦・主夫	失業中(仕事を探している)
年代	全体(n=296)	9.1	10.5	56.8	3.4	10.5	2.0	2.0
	15～19歳(n=50)	50.0	36.0	12.0	2.0	-	-	-
	20歳代(n=126)	1.6	10.3	69.8	2.4	7.9	0.8	0.8
	30歳代(n=119)	-	-	62.2	5.0	17.6	4.2	4.2

※回答が少ない選択肢は省略

問7 あなたは、若者の就職支援として何が最も重要だと思いますか。 (単数回答)

就職支援として重要だと思うことについてみると、「自分に向いている仕事を探す機会や適性診断テスト」「求人情報の提供」が2割台、「企業での職場体験(インターンシップ)」が18.2%となっています。



問7 あなたは、若者の就職支援として何が最も重要だと思いますか。

× 年代・自己肯定感・課題等

(単数回答)

就職支援として重要だと思うことについて年代別にみると、〈15～19 歳〉で「求人情報の提供」「企業での職場体験(インターンシップ)」が、〈20 歳代〉〈30 歳代〉で「自分に向いている仕事を探す機会や適性診断テスト」が、他の年代と比べて多くなっています。

自己肯定感別にみると、自己肯定感が低い〈6点以下〉において、「自分に向いている仕事を探す機会や適性診断テスト」が多くなっています。

〈ケアラーに該当〉においては、サンプル数が少ないものの、「職業に必要な知識・技術を身につける職業訓練」が多くなっています。

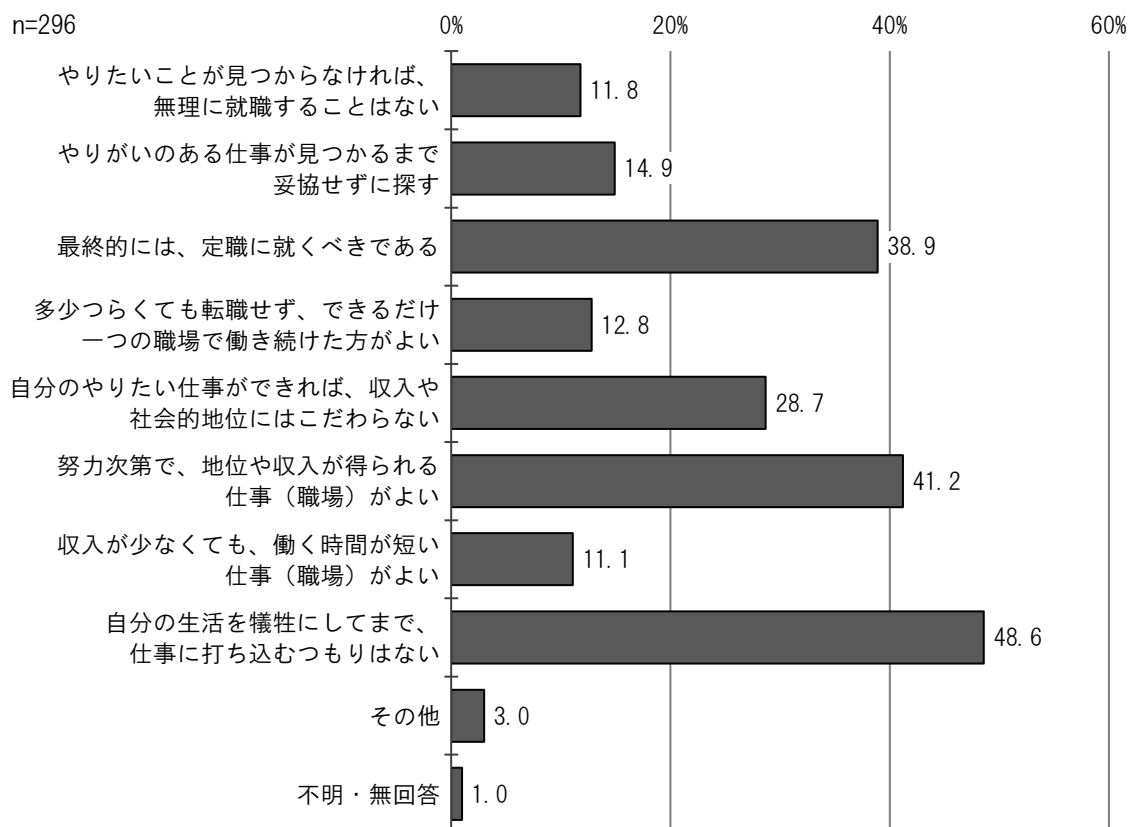
〈引きこもりに該当〉においては、サンプル数が少ないものの、「自分に向いている仕事を探す機会や適性診断テスト」が多くなっています。

%		求人情報の提供	企業での職場体験 (インターンシッ プ)	職業に必要な 知識・技術を身に つける職業訓練	職場の人との コミュニケーショ ンを学ぶ機会	自分に向いている 仕事を探す機会や 適性診断テスト	専門家による就職 活動のアドバイス	その他
全体(n=296)		22.0	18.2	15.9	11.5	22.3	6.1	2.0
年代	15～19歳(n=50)	32.0	24.0	6.0	14.0	16.0	2.0	-
	20歳代(n=126)	19.0	18.3	16.7	8.7	27.0	7.9	2.4
	30歳代(n=119)	21.0	16.0	19.3	13.4	20.2	5.9	2.5
自己 肯定感	6点以下(n=39)	7.7	17.9	10.3	10.3	35.9	10.3	2.6
	7～9点(n=70)	22.9	11.4	17.1	8.6	31.4	8.6	-
	10～12点(n=122)	24.6	19.7	18.9	11.5	15.6	4.9	3.3
	13点以上(n=61)	26.2	23.0	11.5	14.8	18.0	3.3	-
ケアラーに該当(n=11)		9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1
引きこもりに該当(n=16)		18.8	6.3	18.8	-	43.8	6.3	6.3

※不明・無回答は省略

問 8 職業に関する考え方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。（複数回答）

職業に関する考え方についてみると、全体では「自分の生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」が 48.6%と最も多く、次いで「努力次第で、地位や収入が得られる仕事（職場）がよい」が 41.2%、「最終的には、定職に就くべきである」が 38.9%となっています。



問 8 職業に関する考え方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。 × 年代（複数回答）

職業に関する考え方について年代別にみると、「自分の生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」は年代が上がるほど多くなっています。

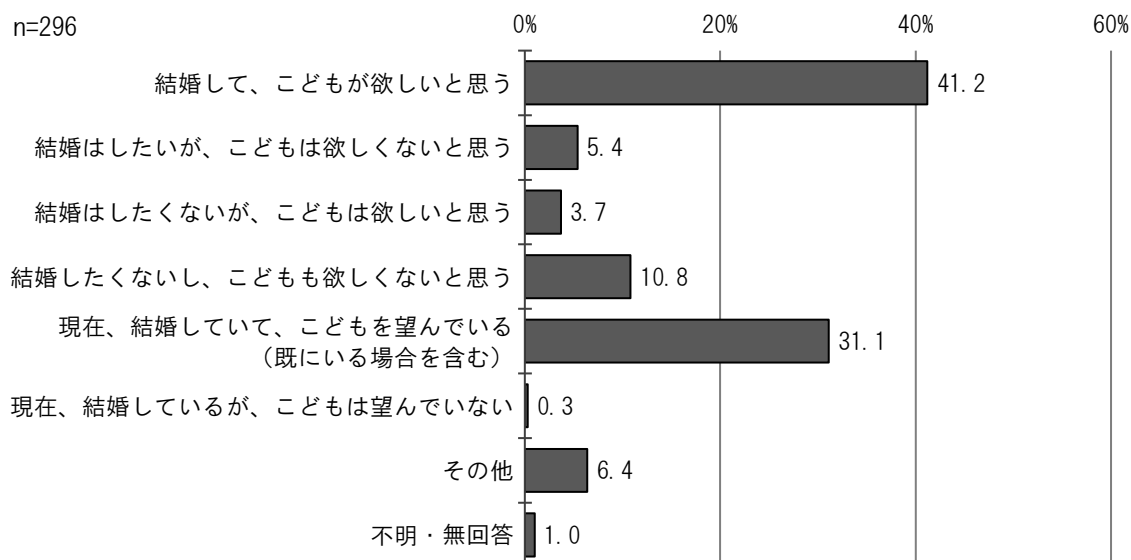
%		やりたいことが見つからなければ、無理に就職することはない	やりがいのある仕事が見つかるまで妥協せずを探す	最終的には、定職に就くべきである	多少つらくても転職せず、できるだけ一つの職場で働き続けた方がよい	自分のやりたい仕事ができれば、収入や社会的地位にはこだわらない	努力次第で、地位や収入が得られる仕事（職場）がよい	収入が少なくても、働く時間が短い仕事（職場）がよい
年代	全体(n=296)	11.8	14.9	38.9	12.8	28.7	41.2	11.1
	15～19歳(n=50)	14.0	24.0	38.0	10.0	32.0	38.0	10.0
	20歳代(n=126)	12.7	17.5	46.0	13.5	25.4	35.7	9.5
	30歳代(n=119)	10.1	8.4	31.9	13.4	31.1	48.7	13.4
%		自分の生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない	その他	不明・無回答				
年代	全体(n=296)	48.6	3.0	1.0				
	15～19歳(n=50)	28.0	-	2.0				
	20歳代(n=126)	47.6	3.2	-				
	30歳代(n=119)	58.8	4.2	0.8				

3 将来のこと、地域のことや暮らしについて

問9 あなたは、結婚についてどのように考えていますか。

(単数回答)

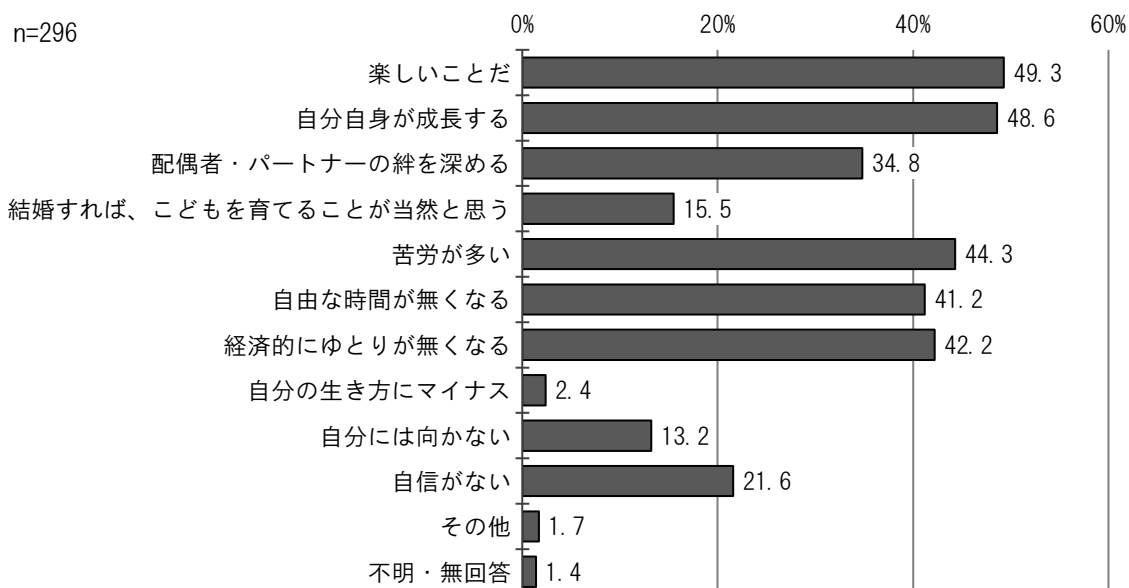
結婚に対する考え方についてみると、全体では「結婚して、こどもが欲しいと思う」が41.2%と最も多く、次いで「現在、結婚していて、こどもを望んでいる(既にいる場合を含む)」が31.1%、「結婚したくないし、こどもも欲しくないと思う」が10.8%となっています。



問10 あなたは、こどもを育てることについてどのようなイメージをお持ちですか。

(複数回答)

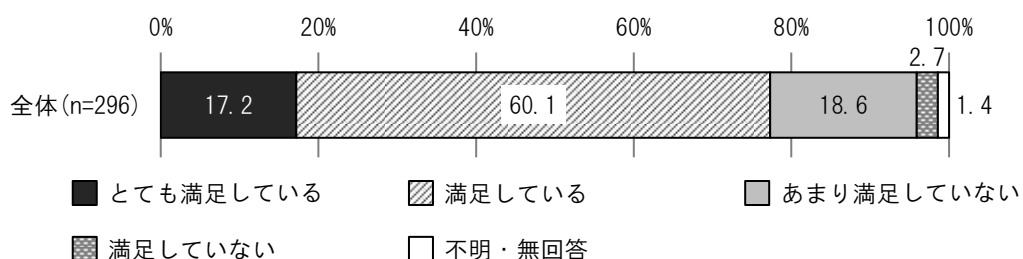
こどもを育てることのイメージについてみると、全体では「楽しいことだ」が49.3%と最も多く、次いで「自分自身が成長する」が48.6%、「苦労が多い」が44.3%となっています。



問 11 あなたは、毎日の生活にどの程度満足していますか。

(単数回答)

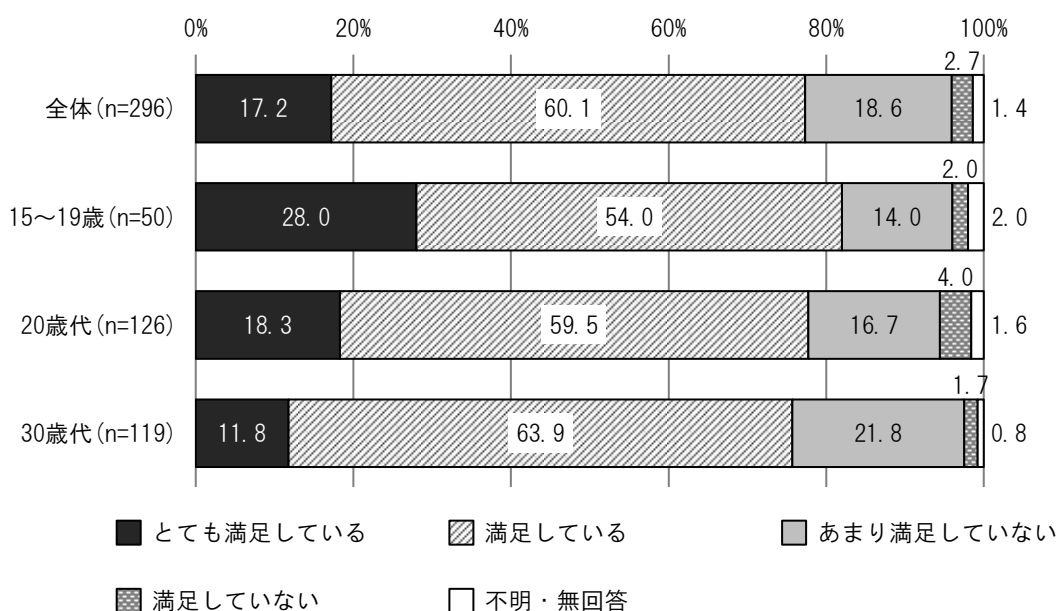
生活の満足度についてみると、全体では「満足している」が 60.1%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が 18.6%、「とても満足している」が 17.2%となっています。



問 11 あなたは、毎日の生活にどの程度満足していますか。 × 年代

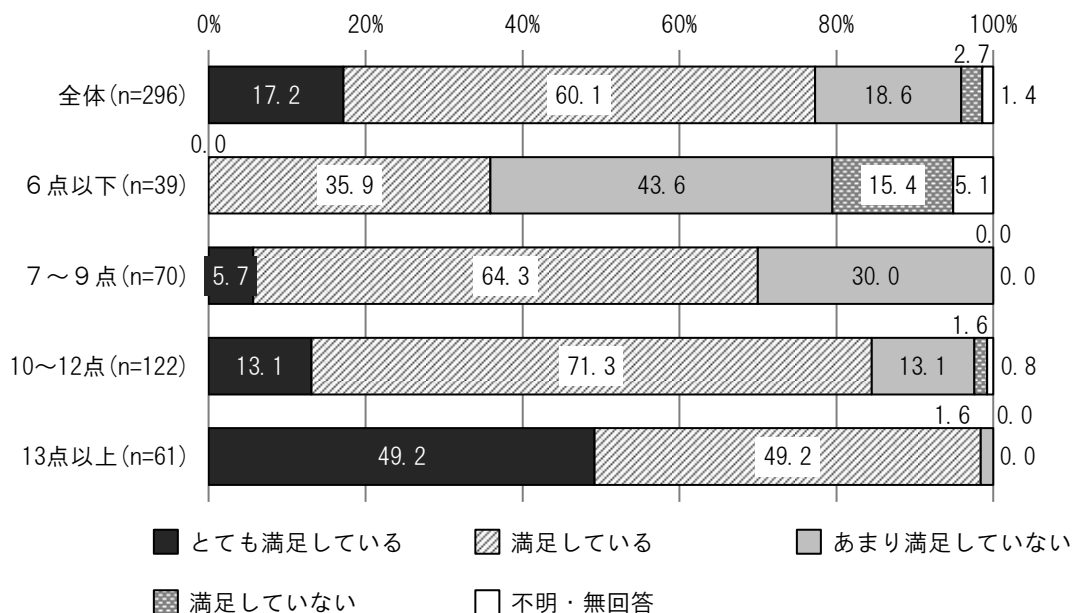
(単数回答)

生活の満足度について年代別にみると、「とても満足している」は年代が上がるほど少なくなっています。



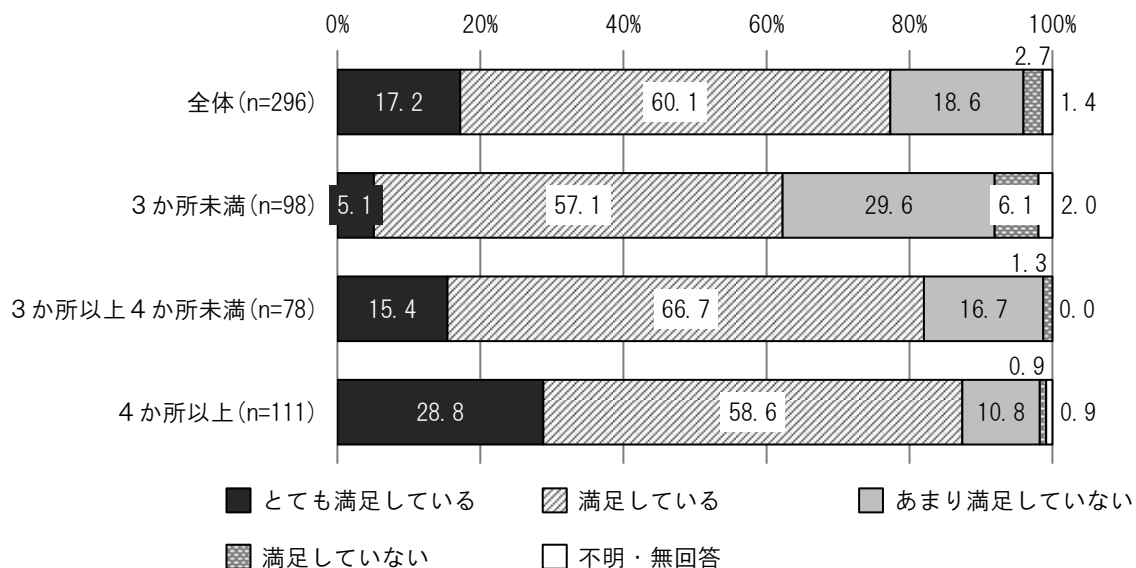
問11 あなたは、毎日の生活にどの程度満足していますか。 × 自己肯定感の度合い (単数回答)

生活の満足度について自己肯定感別にみると、「とても満足している」は自己肯定感が高いほど多くなっており、〈13点以上〉では49.2%となっています。一方で、「あまり満足していない」「満足していない」は自己肯定感が低いほど多くなっており、〈6点以下〉ではこれらの合計が約6割となっています。



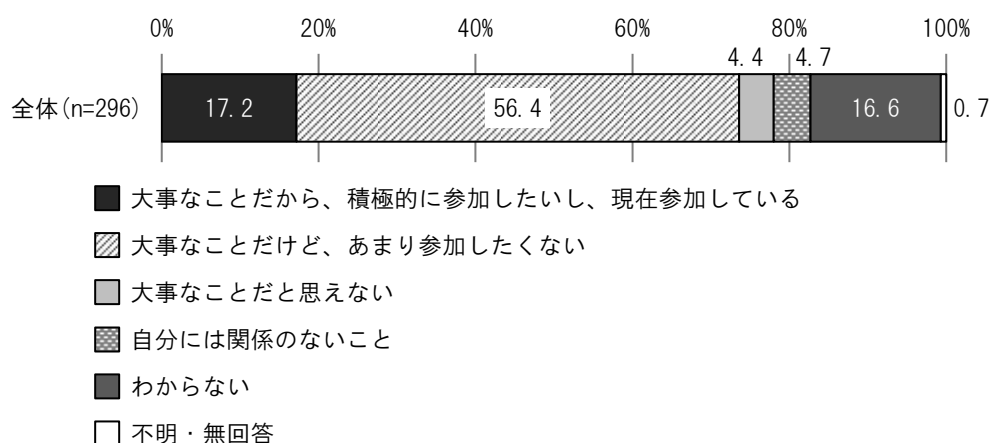
問11 あなたは、毎日の生活にどの程度満足していますか。 × 居場所の多さ (単数回答)

生活の満足度について、居場所の多さ別にみると、「とても満足している」は居場所が多いほど多くなっています。一方で、「あまり満足していない」「満足していない」は居場所が少ないほど多くなっており、〈3か所未満〉ではこれらの合計が35.7%となっています。



問 12 あなたは、地域活動や市民活動について、どのようにお考えですか。（単数回答）

地域活動や市民活動に対する考えについてみると、「大事なことだけど、あまり参加したくない」が 56.4%と最も多く、次いで「大事なことから、積極的に参加したいし、現在参加している」が 17.2%、「わからない」が 16.6%となっています。

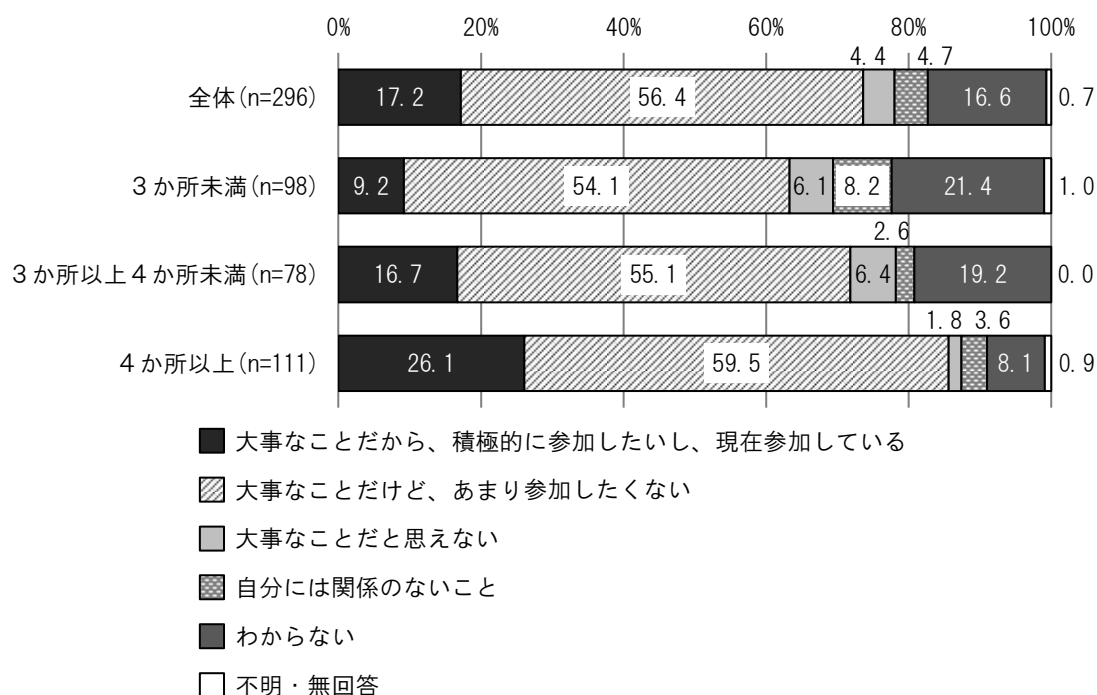


問 12 あなたは、地域活動や市民活動について、どのようにお考えですか。

× 居場所の多さ

（単数回答）

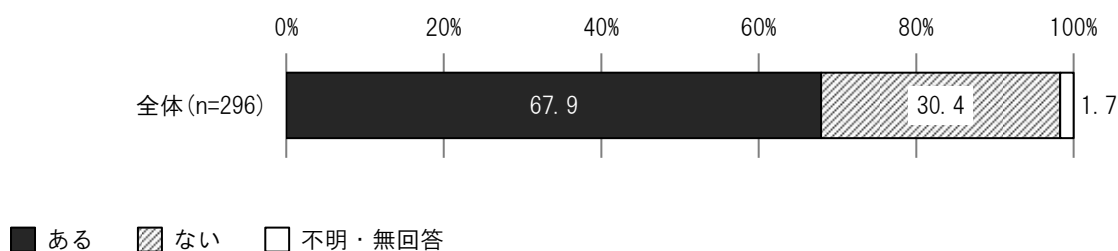
地域活動や市民活動に対する考えについて、居場所の多さ別にみると、「大事なことから、積極的に参加したいし、現在参加している」は居場所が多いほど多くなっており、＜4か所以上＞で 26.1%となっています。一方で、「わからない」については居場所が少ないほど多くなっていきます。



問13 あなたは、男女が平等でないと感じることはありませんか。

(単数回答)

男女が平等でないと感じるかどうかについてみると、「ある」が67.9%、「ない」が30.4%となっています。

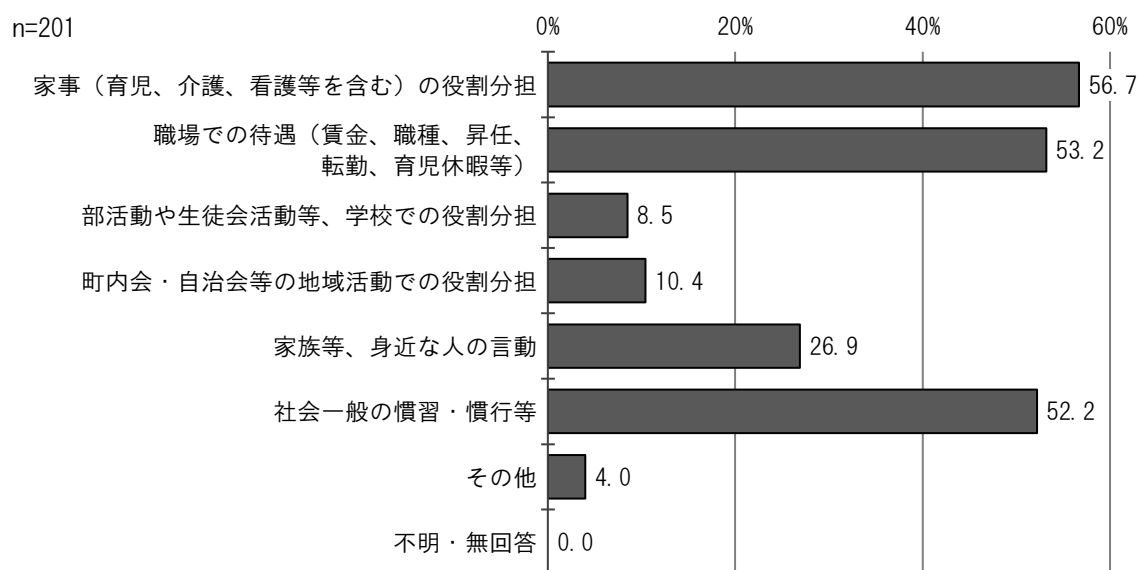


問13で「ある」と答えた方のみ回答

問14 それはどんなことですか。

(複数回答)

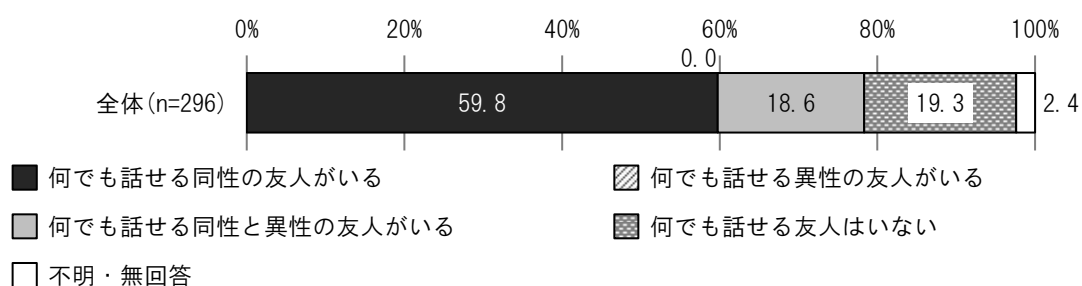
男女が平等でないと感じる内容についてみると、全体では「家事(育児、介護、看護等を含む)の役割分担」が56.7%と最も多く、次いで「職場での待遇(賃金、職種、昇任、転勤、育児休暇等)」が53.2%、「社会一般の慣習・慣行等」が52.2%となっています。



問15 あなたは、何でも話せる友人がいますか。

(単数回答)

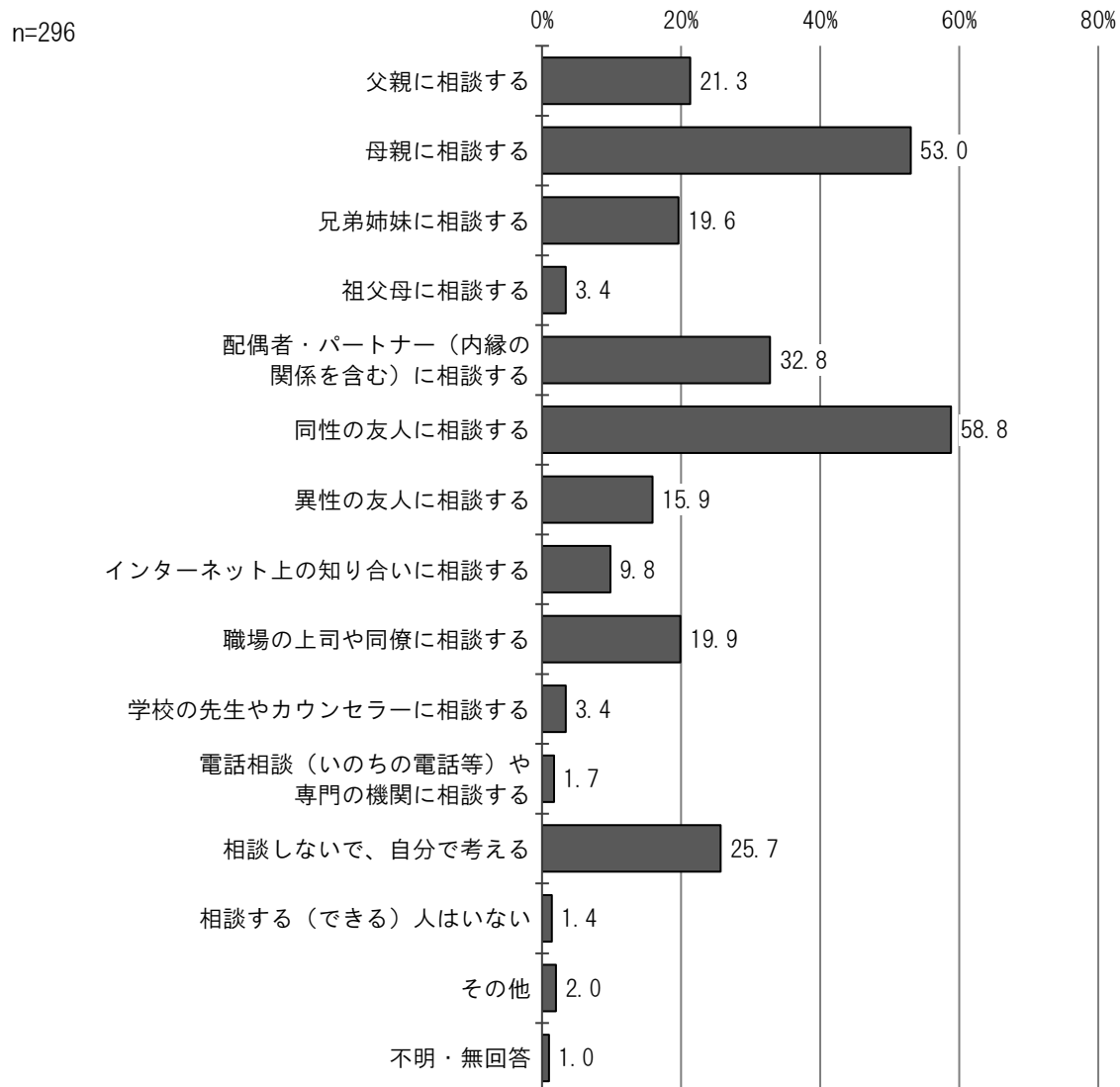
何でも話せる友人がいるかについてみると、全体では「何でも話せる同性の友人がいる」が59.8%と最も多く、次いで「何でも話せる友人はいない」「何でも話せる同性と異性の友人がいる」が2割弱となっています。



問 16 あなたは、悩みや心配ごとがあるとき、どうしていますか。

(複数回答)

悩みや心配ごとがあるときどうしているかについてみると、「同性の友人に相談する」が 58.8%と最も多く、次いで「母親に相談する」が 53.0%、「配偶者・パートナー(内縁の関係を含む)に相談する」が 32.8%となっています。



問16 あなたは、悩みや心配ごとがあるとき、どうしていますか。 × 年代（複数回答）

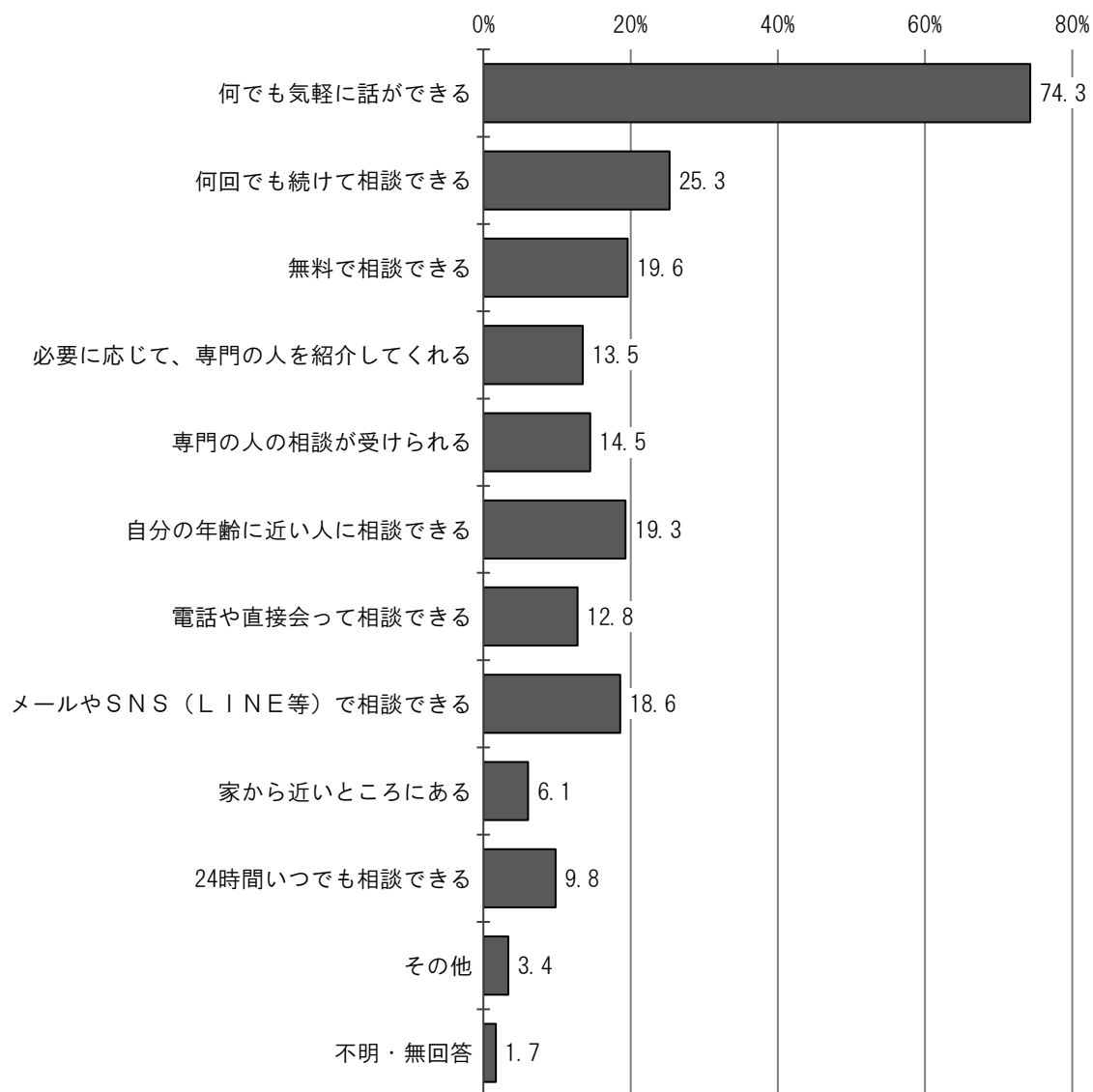
悩みや心配ごとがあるときどうしているかについて、年代別にみると、「相談しないで、自分で考える」「インターネット上の知り合いに相談する」は年代が下がるほど多くなっています。

%		父親に相談する	母親に相談する	兄弟姉妹に相談する	祖父母に相談する	配偶者・パートナー（内縁の関係を含む）に相談する	同性の友人に相談する	異性の友人に相談する
年代	全体(n=296)	21.3	53.0	19.6	3.4	32.8	58.8	15.9
	15～19歳(n=50)	20.0	54.0	24.0	4.0	4.0	64.0	12.0
	20歳代(n=126)	27.8	54.0	13.5	4.8	21.4	57.9	19.8
	30歳代(n=119)	15.1	52.1	24.4	1.7	56.3	58.0	13.4
%		インターネット上の知り合いに相談する	職場の上司や同僚に相談する	学校の先生やカウンセラーに相談する	電話相談（いのちの電話等）や専門の機関に相談する	相談しないで、自分で考える	相談する（できる）人はいない	その他
年代	全体(n=296)	9.8	19.9	3.4	1.7	25.7	1.4	2.0
	15～19歳(n=50)	16.0	-	12.0	-	40.0	-	2.0
	20歳代(n=126)	9.5	25.4	1.6	0.8	24.6	0.8	3.2
	30歳代(n=119)	7.6	22.7	1.7	3.4	20.2	2.5	0.8

問 17 あなたは悩みや心配ごとを相談するときに、何を重視しますか。 (複数回答)

相談する時に重視することについてみると、「何でも気軽に話ができる」が 74.3%と最も多く、次いで「何回でも続けて相談できる」が 25.3%、「無料で相談できる」が 19.6%となっています。

n=296



問17 あなたは悩みや心配ごとを相談するときに、何を重視しますか。

× 年代・自己肯定感・課題等

(複数回答)

相談する時に重視することについて、年代別にみると<15～19歳>では「自分の年齢に近い人に相談できる」「メールやSNS(LINE等)で相談できる」が多くなっています。

自己肯定感別にみると、概ね自己肯定感が低いほど「無料で相談できる」が多くなっており、<6点以下>で30.8%となっています。

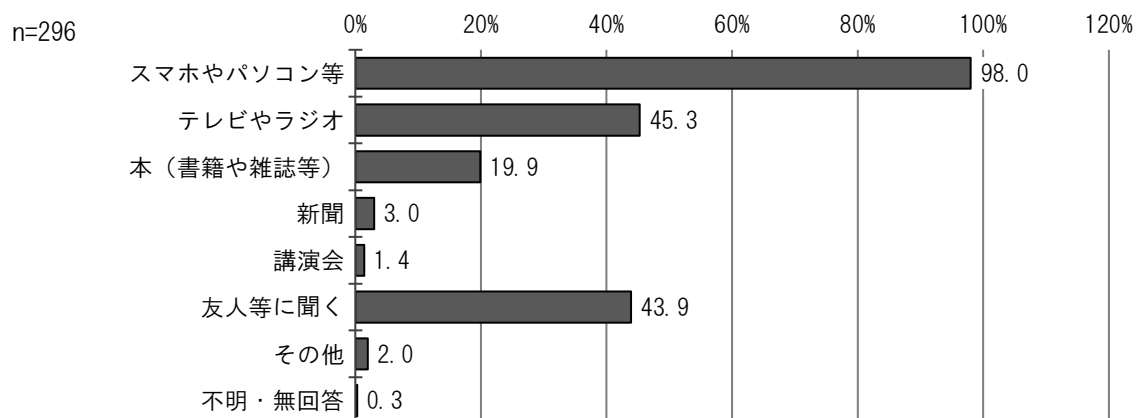
<引きこもりに該当>においては、サンプル数が少ないものの、「専門の人の相談が受けられる」が43.8%と多くなっています。

%		何でも気軽に話ができる	何回でも続けて相談できる	無料で相談できる	必要に応じて、専門の人を紹介してくれる	専門の人の相談が受けられる	自分の年齢に近い人に相談できる	電話や直接会って相談できる
全体(n=296)		74.3	25.3	19.6	13.5	14.5	19.3	12.8
年代	15～19歳(n=50)	68.0	30.0	22.0	8.0	12.0	38.0	12.0
	20歳代(n=126)	81.0	31.0	18.3	10.3	9.5	15.9	15.1
	30歳代(n=119)	69.7	17.6	20.2	19.3	21.0	14.3	10.9
自己肯定感	6点以下(n=39)	56.4	17.9	30.8	20.5	10.3	15.4	10.3
	7～9点(n=70)	71.4	22.9	18.6	17.1	14.3	21.4	11.4
	10～12点(n=122)	80.3	29.5	16.4	13.1	15.6	19.7	13.1
	13点以上(n=61)	80.3	24.6	19.7	6.6	16.4	18.0	16.4
ケアラーに該当(n=11)		81.8	9.1	-	9.1	-	27.3	18.2
引きこもりに該当(n=16)		50.0	6.3	37.5	25.0	43.8	-	6.3
%		メールやSNS(LINE等)で相談できる	家から近いところにある	24時間いつでも相談できる	その他	不明・無回答		
全体(n=296)		18.6	6.1	9.8	3.4	1.7		
年代	15～19歳(n=50)	26.0	-	14.0	-	2.0		
	20歳代(n=126)	16.7	5.6	5.6	4.0	0.8		
	30歳代(n=119)	16.8	9.2	12.6	4.2	2.5		
自己肯定感	6点以下(n=39)	17.9	7.7	12.8	5.1	7.7		
	7～9点(n=70)	20.0	5.7	10.0	1.4	-		
	10～12点(n=122)	21.3	7.4	8.2	4.1	-		
	13点以上(n=61)	13.1	3.3	11.5	1.6	1.6		
ケアラーに該当(n=11)		9.1	18.2	-	-	-		
引きこもりに該当(n=16)		18.8	12.5	12.5	12.5	-		

問18 あなたは、どのようにして必要な情報を得ていますか。

(複数回答)

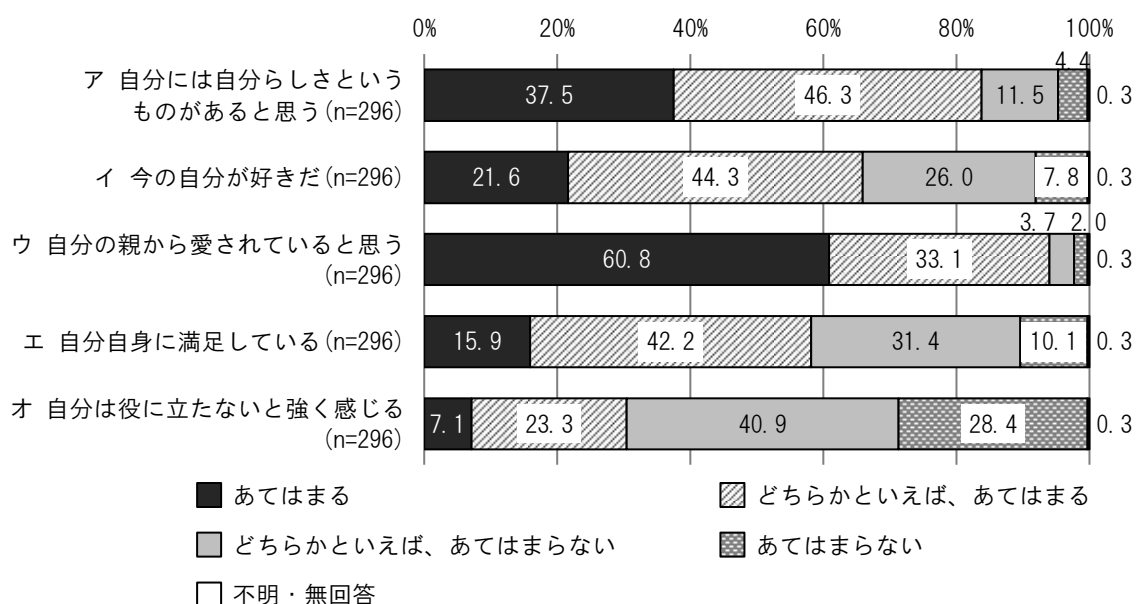
必要な情報をどのように得ているかについてみると、「スマホやパソコン等」が98.0%と最も多く、次いで「テレビやラジオ」が45.3%、「友人等に聞く」が43.9%となっています。



4 あなたの気持ちについて

問 19 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。 (単数回答)

自身についてあてはまると思うことについてみると、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計について、<ウ 自分の親から愛されていると思う>で9割台、<ア 自分には自分らしさというものがあると思う>で8割台、<イ 今の自分が好きだ>で6割台、<エ 自分自身に満足している>で5割台、<オ 自分は役に立たないと強く感じる>で3割台となっています。



自己肯定感の度合いの算出方法

自己肯定感については、問 19 のア～オの 5 項目を用いて算出しています。

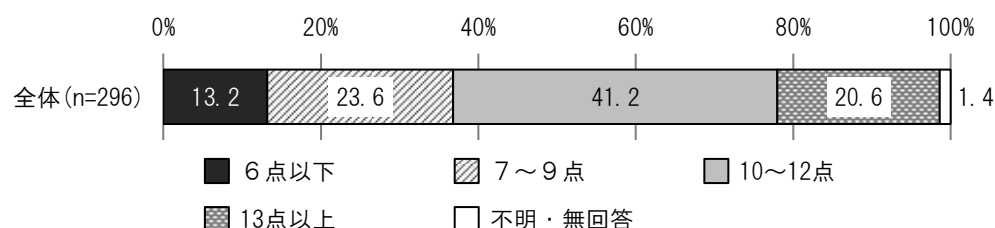
それぞれの回答について、「あてはまる」を 4 点 (1 点)、「どちらかといえば、あてはまる」を 3 点 (2 点)、「どちらかといえば、あてはまらない」を 2 点 (3 点)、「あてはまらない」を 1 点 (4 点) として合計点を集計しています (オのみ、カッコ内の点数で計算)。

なお、1 つ以上で不明・無回答があった回答については、不明・無回答としています。

自己肯定感の度合い

(単数回答)

自己肯定感の度合いについてみると、全体では「10～12 点」が 41.2%と最も多く、次いで「7～9 点」が 23.6%、「13 点以上」が 20.6%となっています。



自己肯定感の度合い × 年代・居場所の多さ・課題等

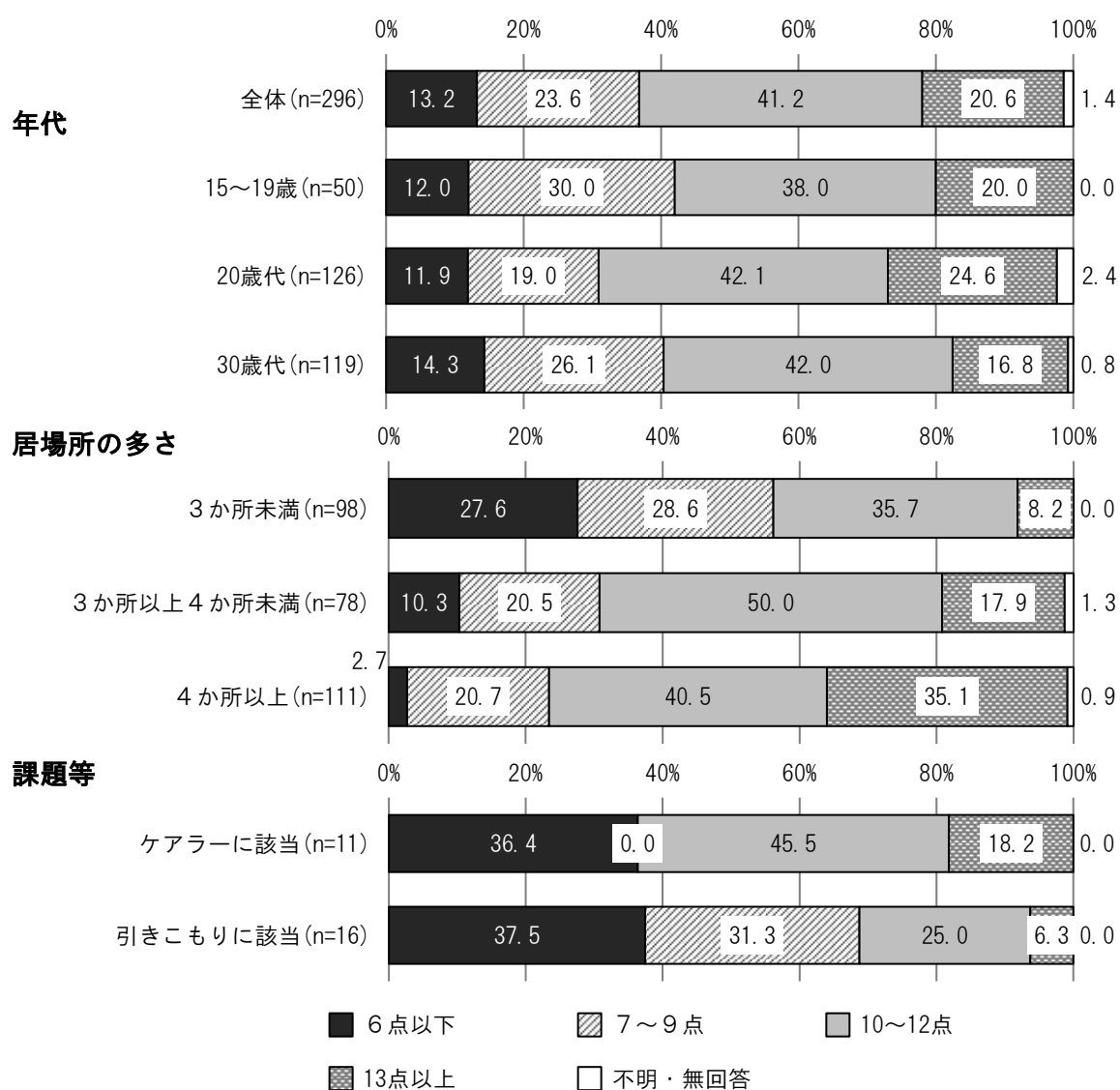
(単数回答)

自己肯定感の度合いについて年代別にみると、20歳代で「7～9点」が少なくなっています。

居場所の多さ別にみると、居場所が多いほど自己肯定感が高くなっています。〈3か所未満〉では「6点以下」が27.6%となっています。

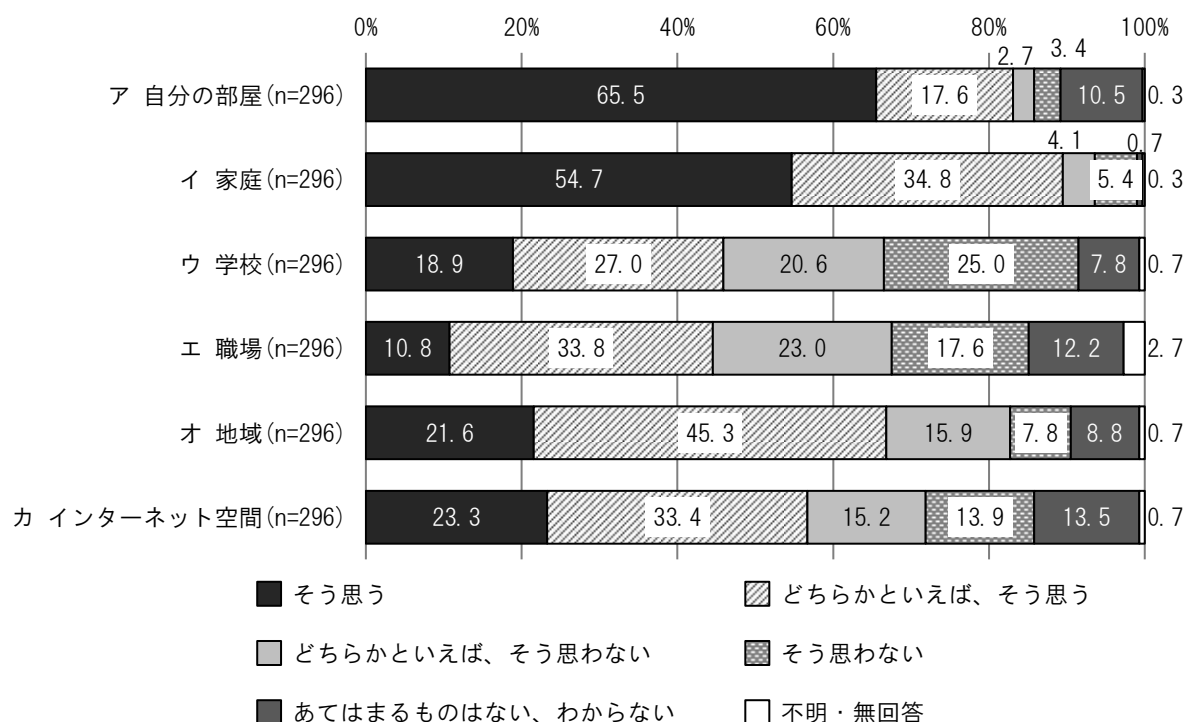
〈ケアラーに該当〉における状況をみると、サンプル数が少ないものの、「6点以下」が36.4%と多く、「7～9点」が0.0%と少なく、「10～12点」「13点以上」は全体と同程度となっています。

〈引きこもりに該当〉における状況をみると、サンプル数が少ないものの、「6点以下」が37.5%と多く、自己肯定感が低い傾向がみられます。



問 20 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所等）
 になっていますか。（単数回答）

それぞれの場所を居場所だと思うかについてみると、「そう思う」について、＜ア 自分の部屋＞で6割台、＜イ 家庭＞で5割台、＜オ 地域＞＜カ インターネット空間＞で2割台、＜ウ 学校＞＜エ 職場＞で1割台となっています。



●●● 居場所の多さの算出方法 ●●●

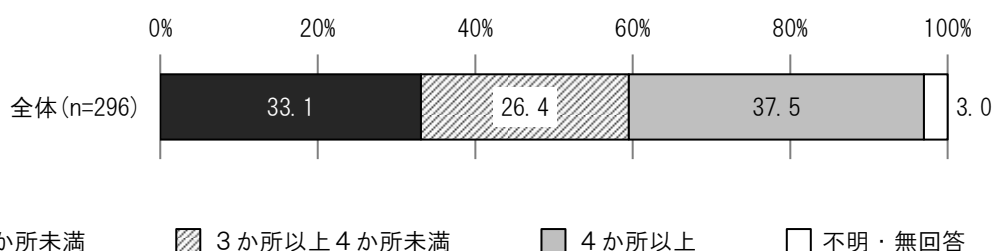
居場所の多さについては、問 20 のア～カの 6 項目を用いて算出しています。

それぞれの回答について、「そう思う」を 1 か所、「どちらかといえば、そう思う」を 0.5 か所として合計の箇所数を算出し、集計しています。

なお、1 つ以上の不明・無回答があった回答については、不明・無回答としています。

居場所の多さ （単数回答）

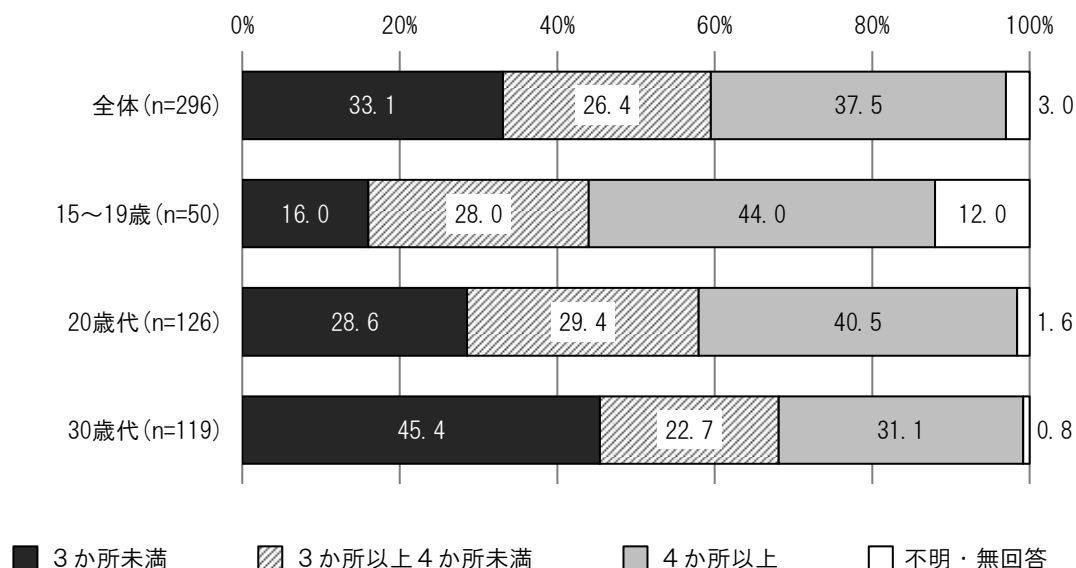
居場所の多さについてみると、全体では「4 か所以上」が 37.5%と最も多く、次いで「3 か所未満」が 33.1%、「3 か所以上 4 か所未満」が 26.4%となっています。



居場所の多さ × 年代

(単数回答)

居場所の多さについて年代別にみると、年代が上がるほど居場所が少ない傾向がみられ、〈30 歳代〉では、「3か所未満」が45.4%となっています。



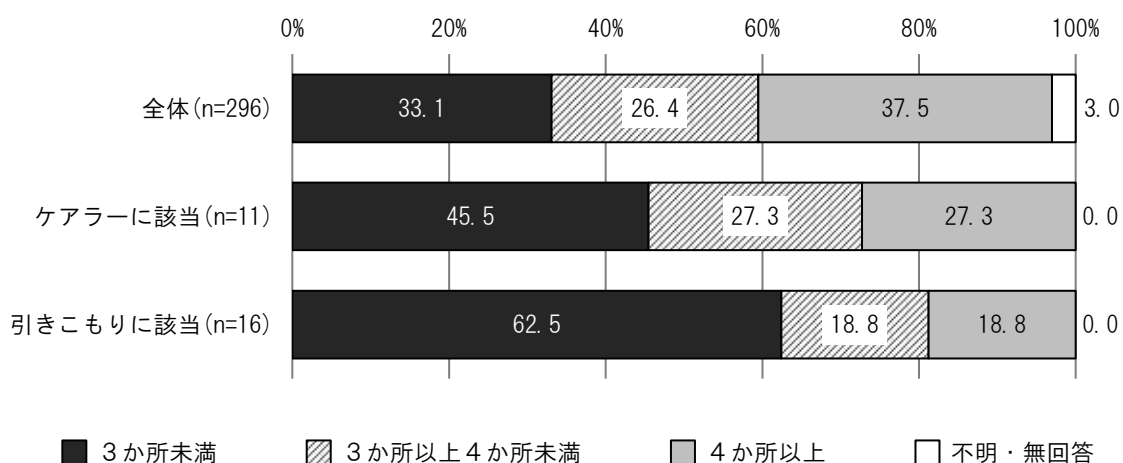
居場所の多さ × ケアラー・引きこもりの該当

(単数回答)

居場所の多さについて、ケアラーにおける状況をみると、サンプル数が少ないものの、「3か所未満」が45.5%と、全体と比べて多くなっています。

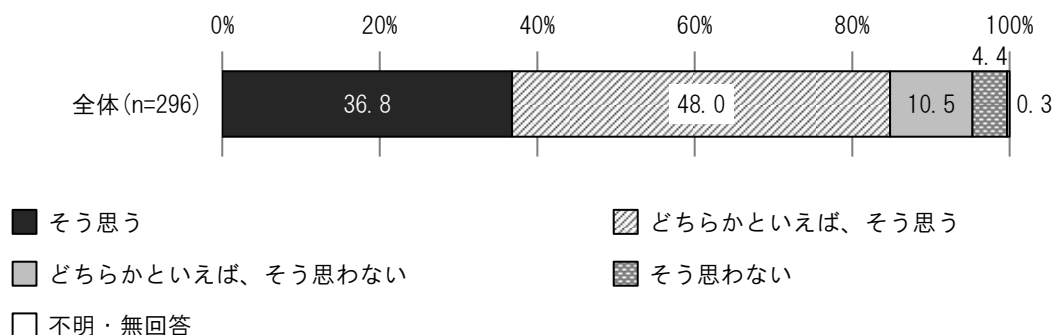
引きこもりにおける状況をみると、サンプル数が少ないものの、「3か所未満」が62.5%と、全体と比べて多くなっています。

いずれにおいても、居場所が少ない傾向がみられます。



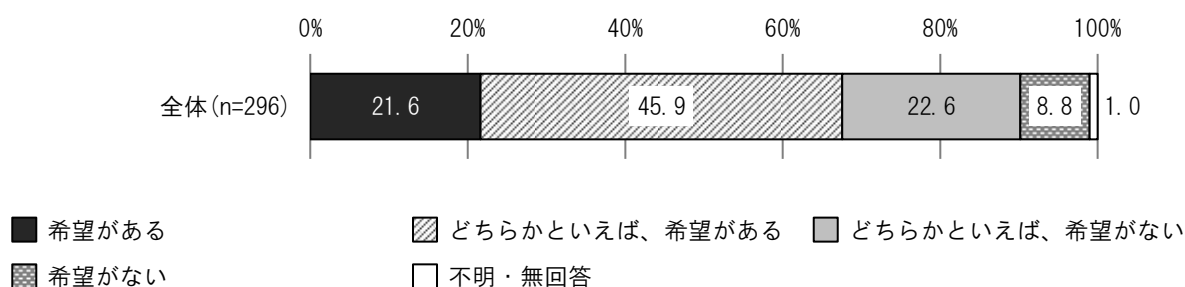
問 21 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。 (単数回答)

社会のために役立つことをしたいと思うかについてみると、「どちらかといえば、そう思う」が 48.0%と最も多く、次いで「そう思う」が 36.8%、「どちらかといえば、そう思わない」が 10.5%となっています。



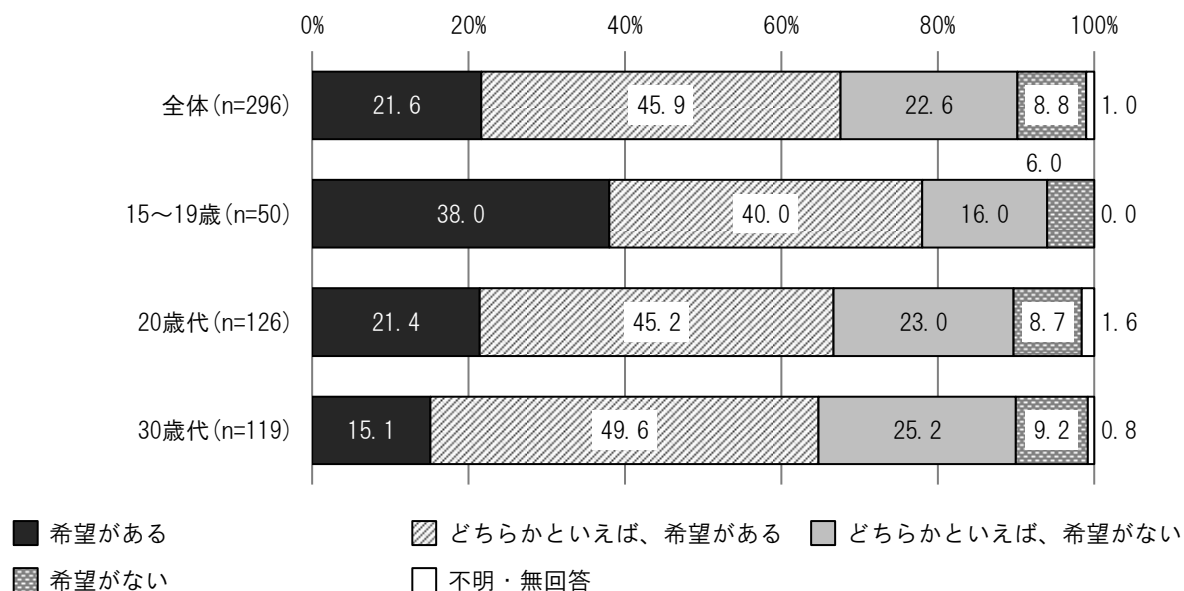
問 22 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 (単数回答)

将来について明るい希望を持っているかについてみると、「どちらかといえば、希望がある」が 45.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば、希望がない」が 22.6%、「希望がある」が 21.6%となっています。



問 22 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。 × 年代（単数回答）

将来について明るい希望を持っているかについて、年代別にみると「希望がある」は年代が下がるほど多く、＜15～19 歳＞で 38.0%となっています。

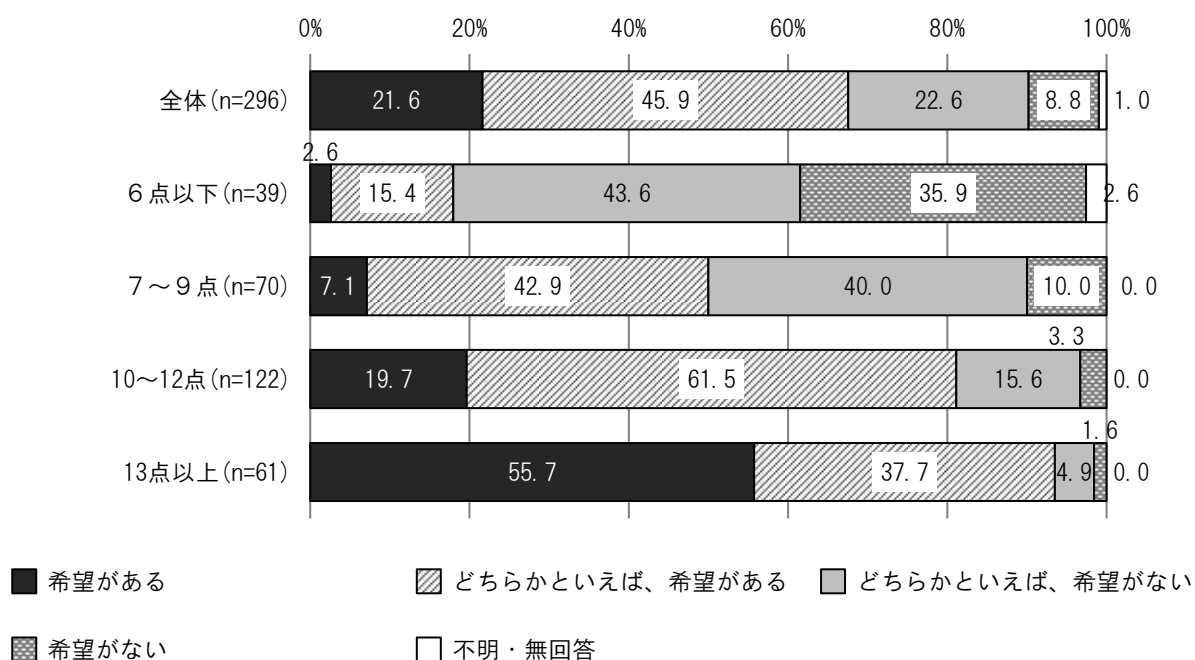


問 22 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

× 自己肯定感の度合い

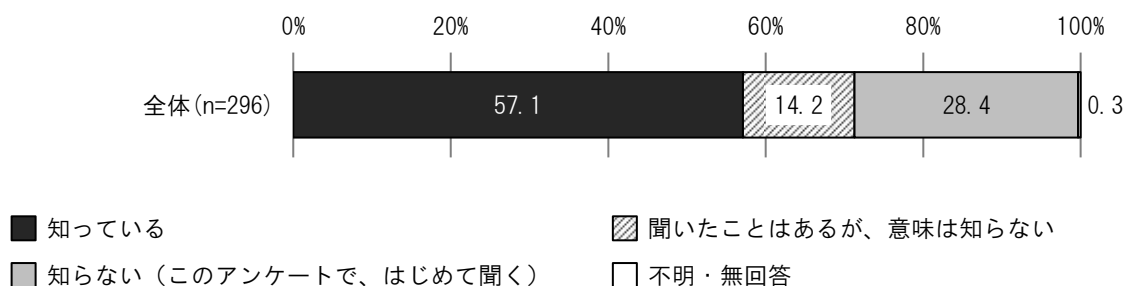
(単数回答)

将来について明るい希望を持っているかについて、自己肯定感別にみると、自己肯定感が高いほど「希望がある」が多く、低いほど「希望がない」が多くなっており、＜6点以下＞では「希望がない」が 35.9%となっています。



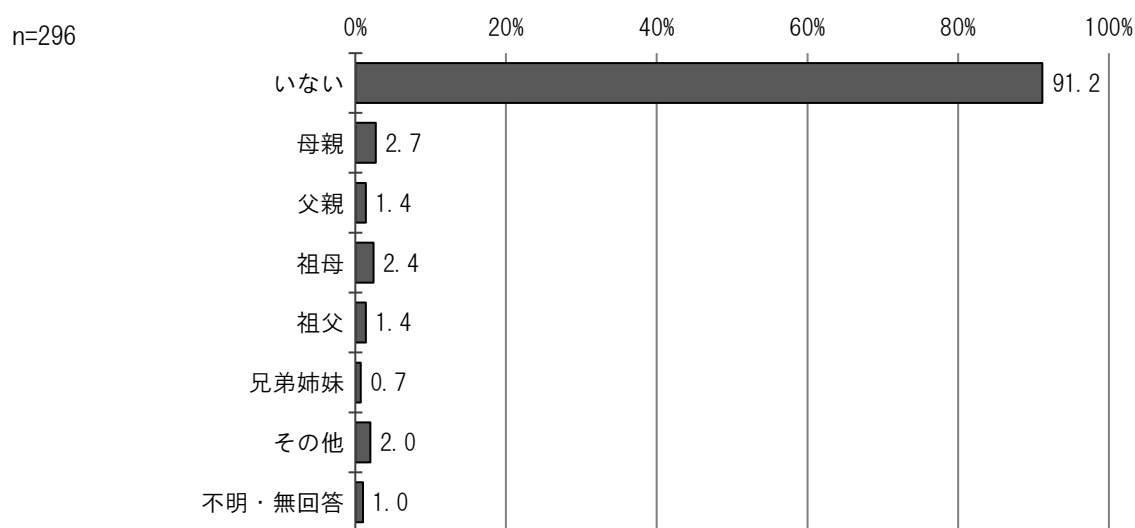
問 23 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。 (単数回答)

ヤングケアラーという言葉を知っているかについてみると、「知っている」が 57.1%と最も多く、次いで「知らない(このアンケートで、はじめて聞く)」が 28.4%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が 14.2%となっています。



問 24 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。いる場合は、世話を必要としている人を教えてください。 (複数回答)

家族の中にお世話をしている人がいるかについてみると、「いない」が 91.2%と最も多く、次いで「母親」が 2.7%、「祖母」が 2.4%となっています。



問 24 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。いる場合は、世話を必要としている人を教えてください。 × 年代 (複数回答)

家族の中にお世話をしている人がいるかについてみると、<15～19 歳>では、「いない」が 100.0%となっています。

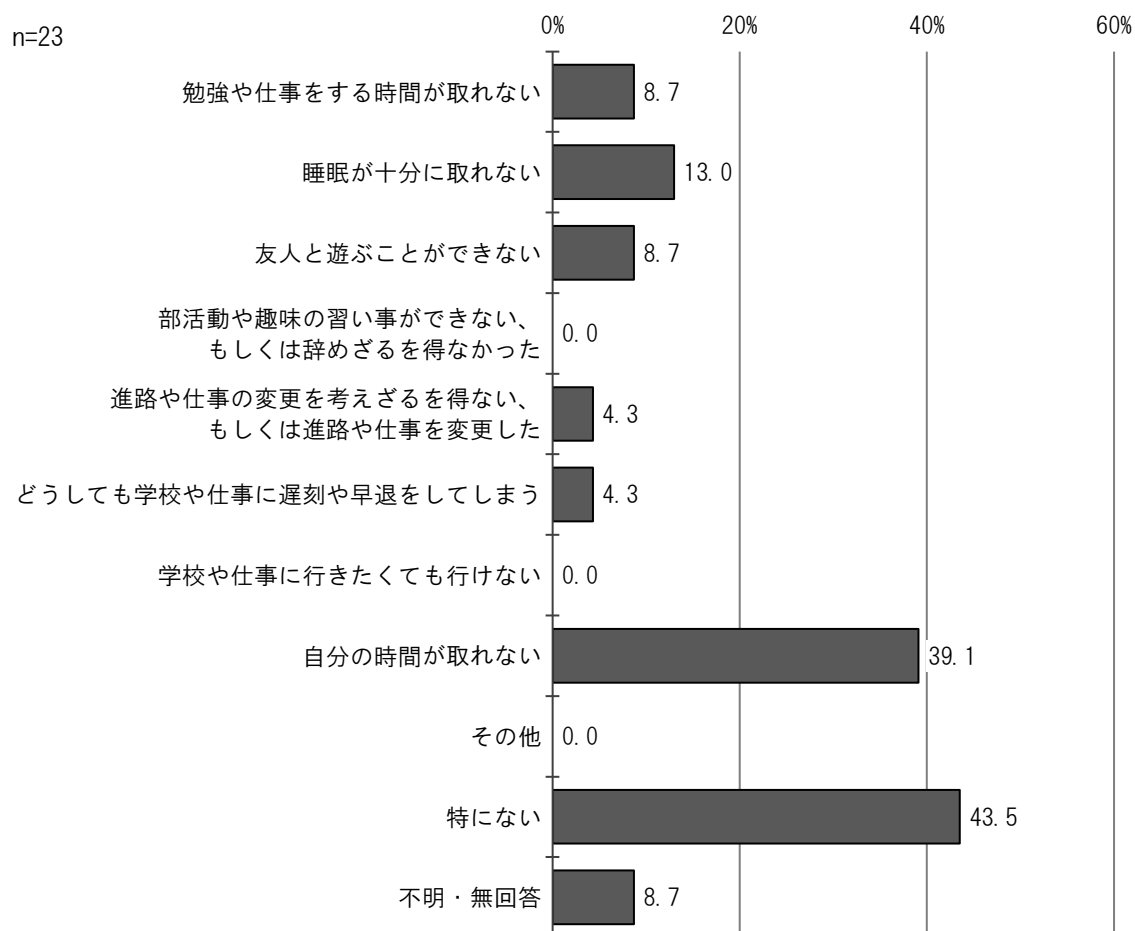
	%	いない	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他
年代	全体(n=296)	91.2	2.7	1.4	2.4	1.4	0.7	2.0
	15～19歳(n=50)	100.0	-	-	-	-	-	-
	20歳代(n=126)	92.1	3.2	2.4	2.4	1.6	0.8	0.8
	30歳代(n=119)	87.4	3.4	0.8	3.4	1.7	0.8	3.4

※不明・無回答は省略

問24で「2 母親」～「7 その他」のいずれかと答えた方のみ回答

問25 世話をしていることで、あなたがやりたいけれど、できていないことはありますか。
(複数回答)

世話をしていることで、あなたがやりたいけれど、できていないことについてみると、「特にない」が43.5%と最も多く、次いで「自分の時間が取れない」が39.1%、「睡眠が十分に取れない」が13.0%となっています。



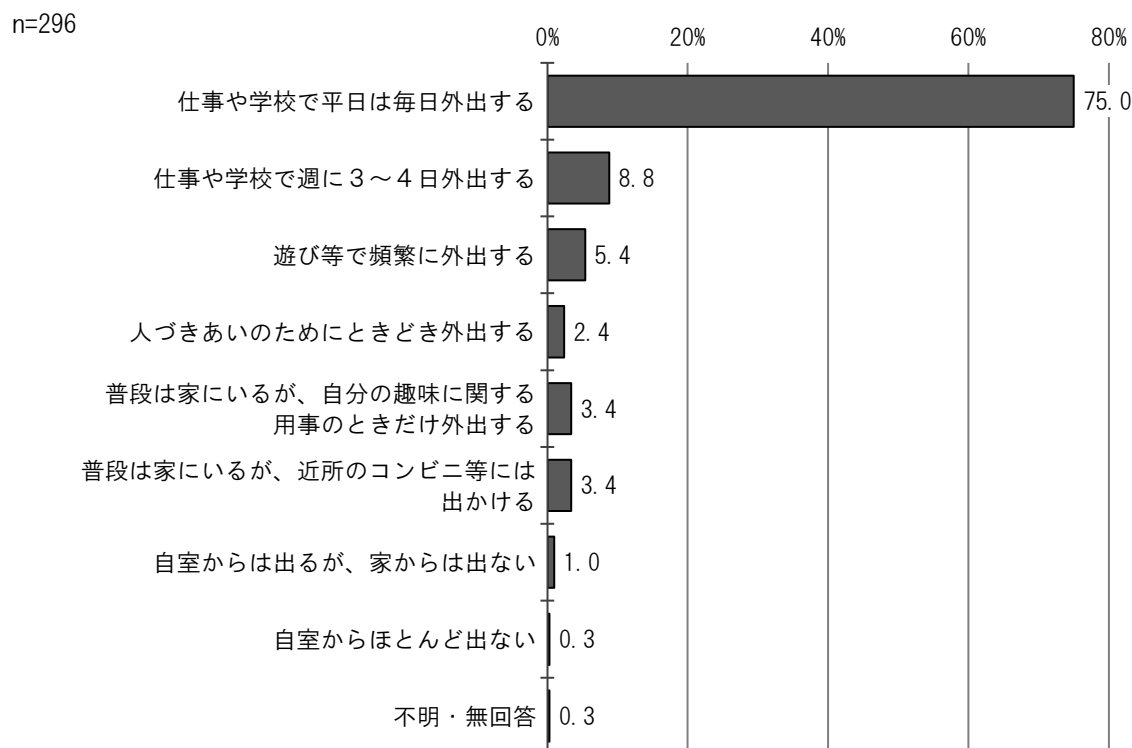
●●● 「ケアラーに該当」の算出方法 ●●●

本報告書の分析における「ケアラーに該当」は、問25で「勉強や仕事をする時間が取れない」から「自分の時間が取れない」までのいずれかに○をつけた方を対象として集計しています。

5 普段の活動について

問 26 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
(単数回答)

外出状況についてみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 75.0%と最も多く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が 8.8%、「遊び等で頻繁に外出する」が 5.4%となっています。



問 26 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。 ×
年代 (単数回答)

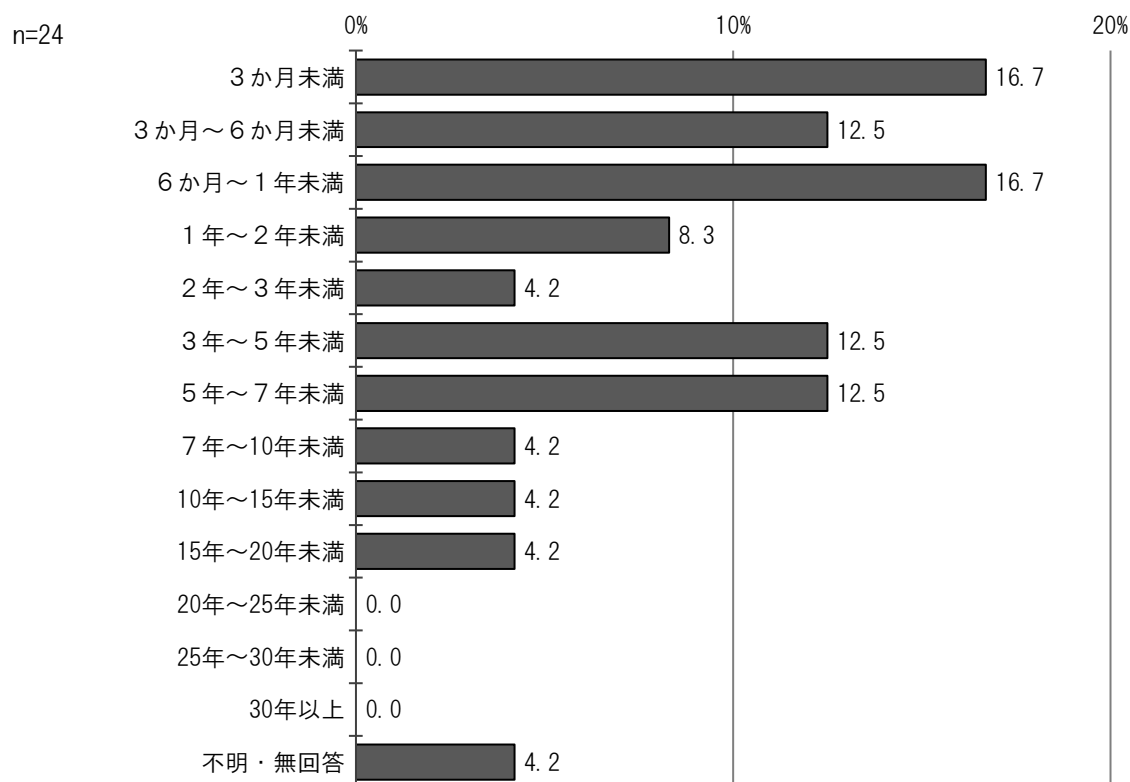
外出状況について年代別にみると、<30 歳代>では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「普段は家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」が他の年代と比べてやや多くなっています。

%		仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3～4日外出する	遊び等で頻繁に外出する	人づきあいのためにときどき外出する	普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	普段は家にいるが、近所のコンビニ等には出かける	自室からは出るが、家からは出ない
年代	全体(n=296)	75.0	8.8	5.4	2.4	3.4	3.4	1.0
	15～19歳(n=50)	92.0	4.0	-	2.0	-	2.0	-
	20歳代(n=126)	76.2	8.7	7.1	3.2	3.2	-	0.8
	30歳代(n=119)	66.4	10.9	5.9	1.7	5.0	7.6	1.7
%		自室からほとんど出ない	不明・無回答					
年代	全体(n=296)	0.3	0.3					
	15～19歳(n=50)	-	-					
	20歳代(n=126)	-	0.8					
	30歳代(n=119)	0.8	-					

問26で「5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」～「8 自宅からほとんど出ない」のいずれかと答えた方のみ回答

問27 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。 (単数回答)

外出状況が現在の状態となってからの期間についてみると、全体では「3か月未満」「6か月～1年未満」が16.7%と最も多く、次いで「3か月～6か月未満」「3年～5年未満」「5年～7年未満」が12.5%となっています。

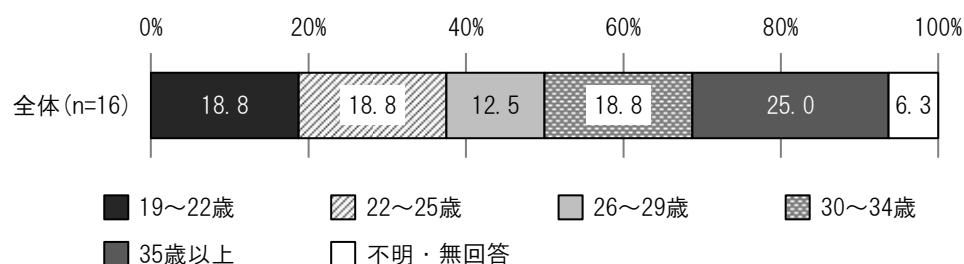


●●● 「引きこもりに該当」の算出方法 ●●●

本報告書の分析における「引きこもりに該当」は、問27で「6か月～1年未満」から「30年以上」までのいずれかに○をつけた方を対象として集計しています。

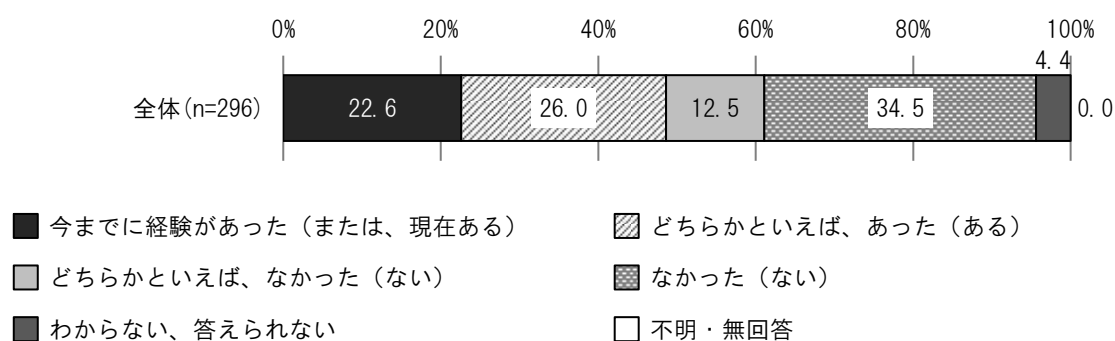
問28 あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。 (単数回答)

外出状況が現在の状態となった年齢についてみると、全体では「35歳以上」が25.0%と最も多く、次いで「19～22歳」「22～25歳」「30～34歳」が18.8%となっています。



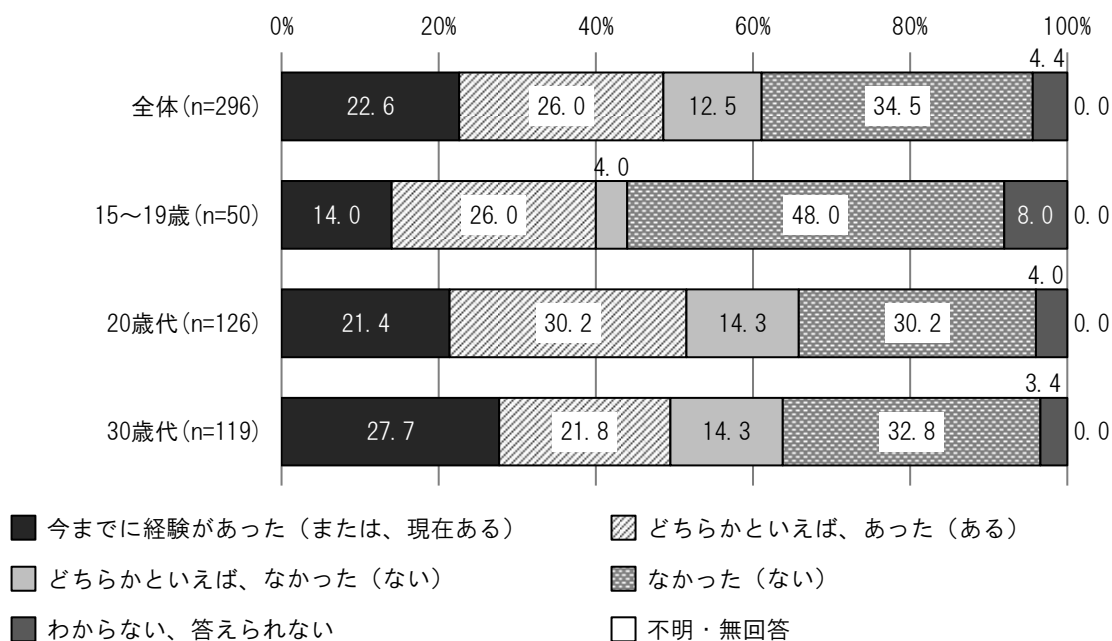
問 29 あなたは、今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。
(単数回答)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験についてみると、「なかった(ない)」が34.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば、あった(ある)」が26.0%、「今までに経験があった(または、現在ある)」が22.6%となっています。



問 29 あなたは、今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。
× 年代 (単数回答)

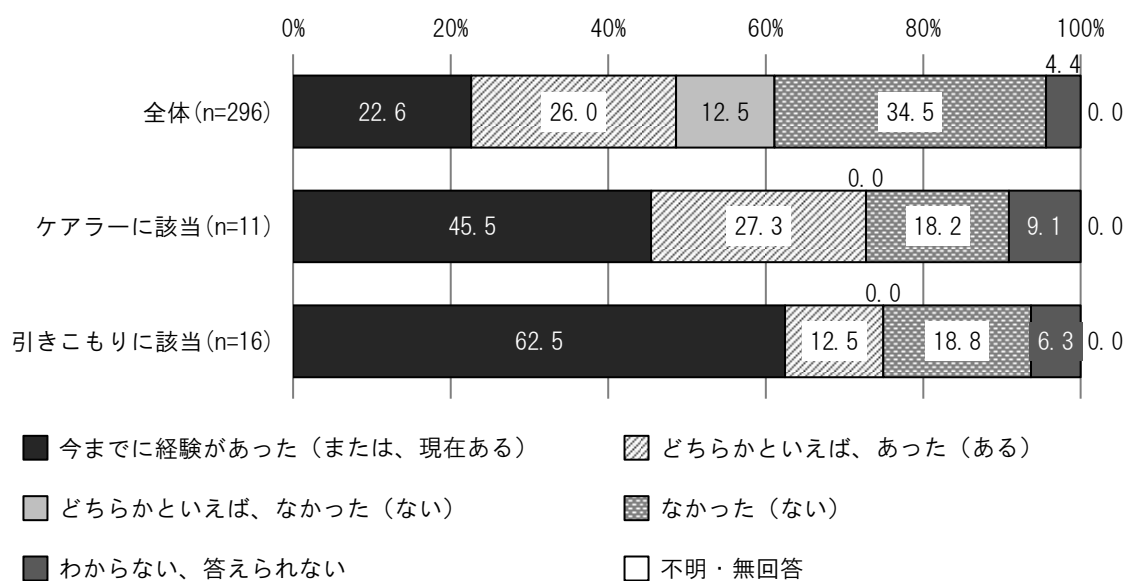
社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験について、年代別にみると、年代が上がるほど「今までに経験があった(または、現在ある)」が多くなっています。



問 29 あなたは、今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。
 × ヤングケアラー・引きこもりの該当 (単数回答)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験について、〈ケアラーに該当〉における状況をみると、サンプル数が少ないものの、「今までに経験があった(または、現在ある)」が 45.5%と、全体と比べて多くなっています。

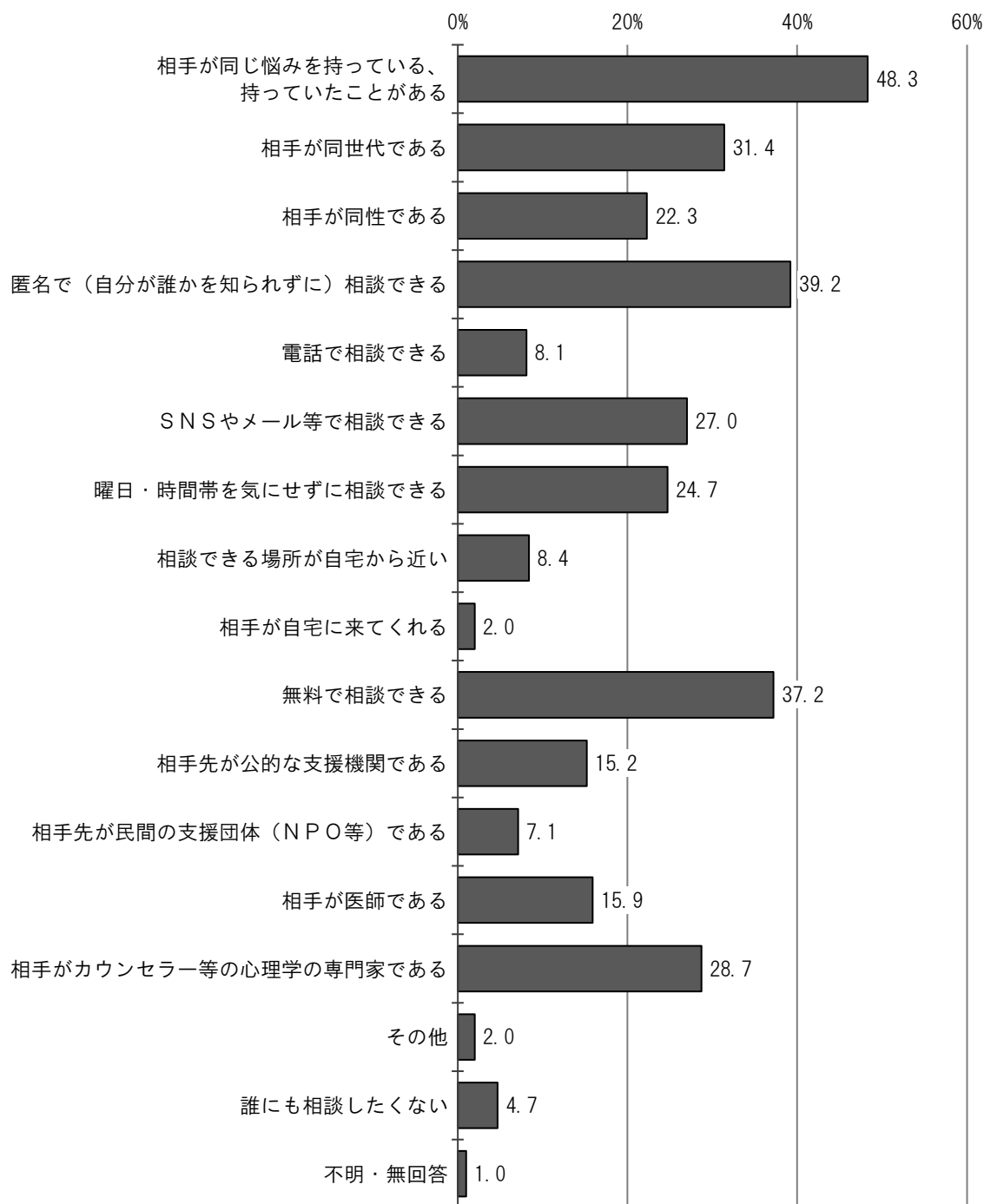
また、〈引きこもりに該当〉においても、サンプル数が少ないものの、「今までに経験があった(または、現在ある)」が 62.5%と全体と比べて多くなっています。



問 30 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。（複数回答）

どのような人や場所なら相談したいと思うかについてみると、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 48.3%と最も多く、次いで「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が 39.2%、「無料で相談できる」が 37.2%となっています。

n=296



問 30 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。 × 年代 (複数回答)

どのような人や場所なら相談したいと思うかについて年代別にみると、〈15～19 歳〉では「相手が同世代である」「相手が同性である」が他の年代と比べて多くなっています。

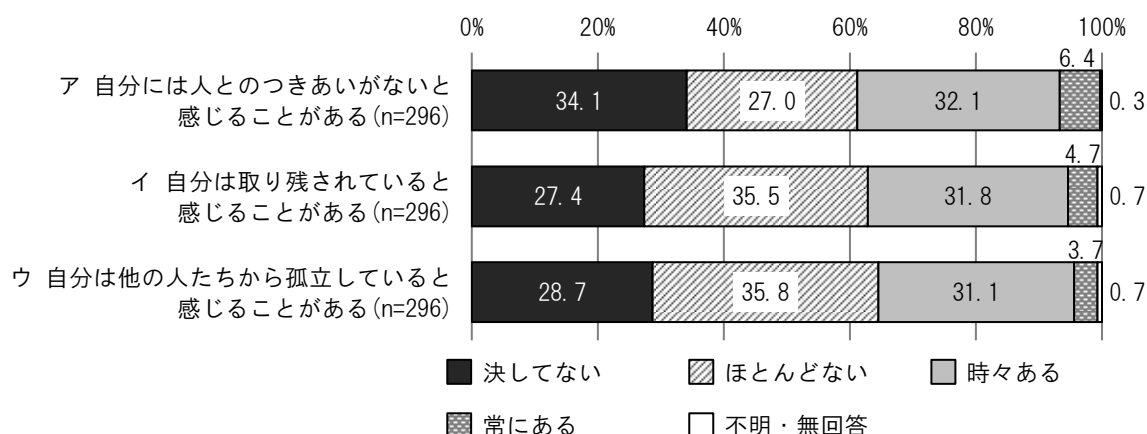
自己肯定感別にみると、〈6点以下〉では、「相手が同性である」が全体と比べて多くなっています。

〈引きこもりに該当〉における状況をみると、サンプル数が少ないものの、「無料で相談できる」「相手が医師である」「相手がカウンセラー等の心理学の専門家である」が全体と比べて多くなっています。

%		相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある	相手が同世代である	相手が同性である	匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる	電話で相談できる	SNSやメール等で相談できる	曜日・時間帯を気にせずに相談できる
全体(n=296)		48.3	31.4	22.3	39.2	8.1	27.0	24.7
年代	15～19歳(n=50)	46.0	44.0	34.0	34.0	2.0	24.0	24.0
	20歳代(n=126)	42.1	33.3	25.4	37.3	8.7	26.2	24.6
	30歳代(n=119)	56.3	24.4	14.3	42.9	10.1	28.6	24.4
	6点以下(n=39)	33.3	28.2	30.8	38.5	7.7	25.6	20.5
自己肯定感	7～9点(n=70)	54.3	34.3	18.6	40.0	5.7	24.3	20.0
	10～12点(n=122)	51.6	30.3	18.9	39.3	9.0	28.7	24.6
	13点以上(n=61)	45.9	32.8	29.5	39.3	9.8	29.5	34.4
ケアラーに該当(n=11)		27.3	45.5	9.1	36.4	-	9.1	9.1
引きこもりに該当(n=16)		31.3	18.8	6.3	31.3	12.5	25.0	31.3
%		相談できる場所が自宅から近い	相手が自宅に来てくれる	無料で相談できる	相手先が公的な支援機関である	相手先が民間の支援団体（NPO等）である	相手が医師である	相手がカウンセラー等の心理学の専門家である
全体(n=296)		8.4	2.0	37.2	15.2	7.1	15.9	28.7
年代	15～19歳(n=50)	12.0	4.0	32.0	10.0	4.0	10.0	18.0
	20歳代(n=126)	4.8	-	32.5	12.7	4.8	15.9	25.4
	30歳代(n=119)	10.9	3.4	43.7	20.2	10.9	18.5	37.0
	6点以下(n=39)	7.7	-	33.3	12.8	10.3	12.8	33.3
自己肯定感	7～9点(n=70)	8.6	2.9	28.6	11.4	8.6	10.0	24.3
	10～12点(n=122)	5.7	2.5	43.4	13.9	5.7	13.1	27.0
	13点以上(n=61)	14.8	1.6	39.3	24.6	6.6	31.1	36.1
ケアラーに該当(n=11)		9.1	-	18.2	9.1	9.1	-	9.1
引きこもりに該当(n=16)		6.3	12.5	56.3	31.3	25.0	37.5	50.0
%		その他	誰にも相談したくない	不明・無回答				
全体(n=296)		2.0	4.7	1.0				
年代	15～19歳(n=50)	-	6.0	2.0				
	20歳代(n=126)	2.4	5.6	1.6				
	30歳代(n=119)	2.5	3.4	-				
	6点以下(n=38)	5.1	5.1	2.6				
自己肯定感	7・8点(n=59)	-	8.6	-				
	9・10点(n=108)	0.8	4.1	1.6				
	11点以上(n=87)	1.6	1.6	-				
ケアラーに該当(n=11)		-	18.2	-				
引きこもりに該当(n=16)		12.5	12.5	-				

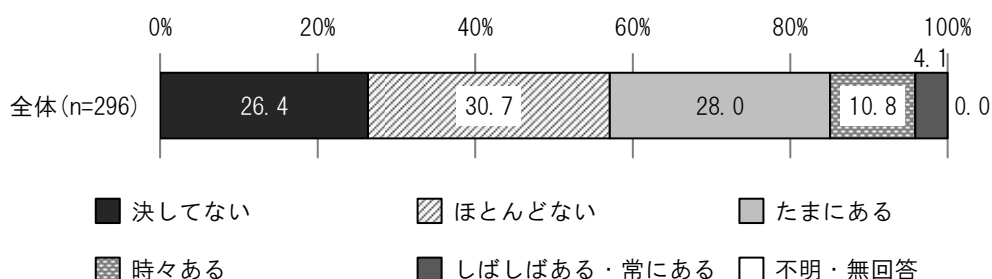
問 31 次のことについて、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。 (単数回答)

人とのつきあい等で感じることにしてみると、<ア 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある><イ 自分は取り残されていると感じることがある><ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある>いずれも「時々ある」が3割程度となっています。



問 32 あなたは、孤独であると感じることがどの程度ありますか。 (単数回答)

孤独を感じることにどの程度あるかについてみると、「ほとんどない」が 30.7%と最も多く、次いで「たまにある」が 28.0%、「決してない」が 26.4%となっています。



●●● 孤独を感じる度合いの算出方法 ●●●

孤独を感じる度合い（右ページ）については、問 31 のア～ウと問 32 の4項目を用いて算出しています。

問 31 のそれぞれの回答について、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点、また、問 32 について「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「たまにある」を3点、「時々ある」を4点、「しばしばある・常にある」を5点として合計点を算出し、集計しています。

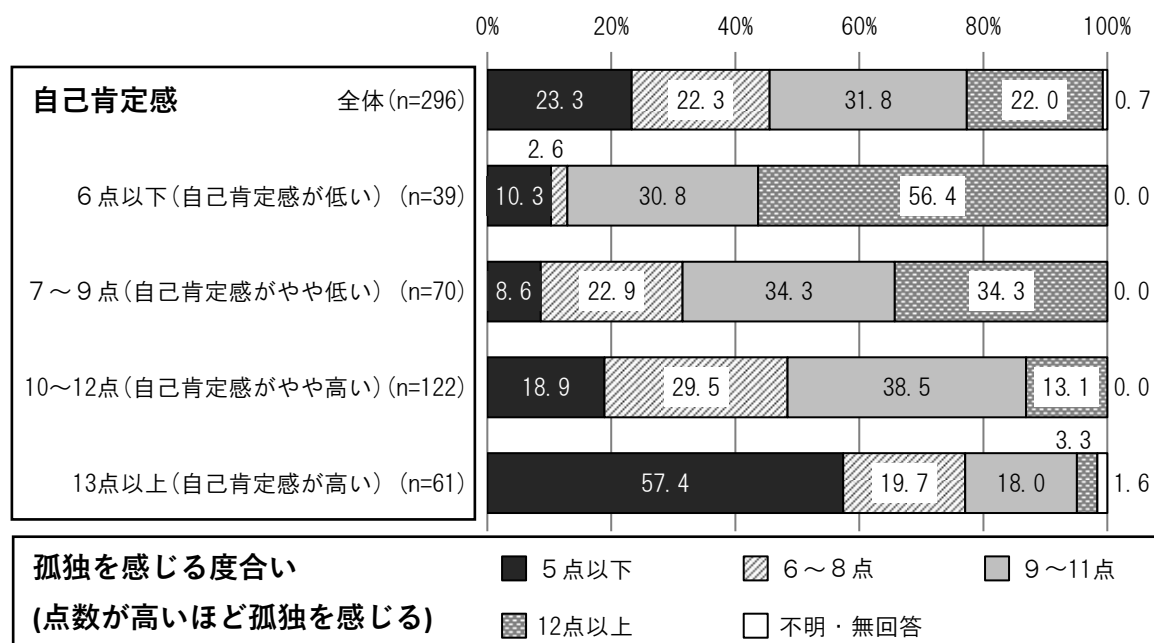
これにより、「孤独を感じる度合い」については、点数が高いほど孤独を感じる傾向を示す指標として算出をしています。

なお、1つ以上の不明・無回答があった回答については、不明・無回答としています。

孤独を感じる度合い × 自己肯定感の度合い

(単数回答)

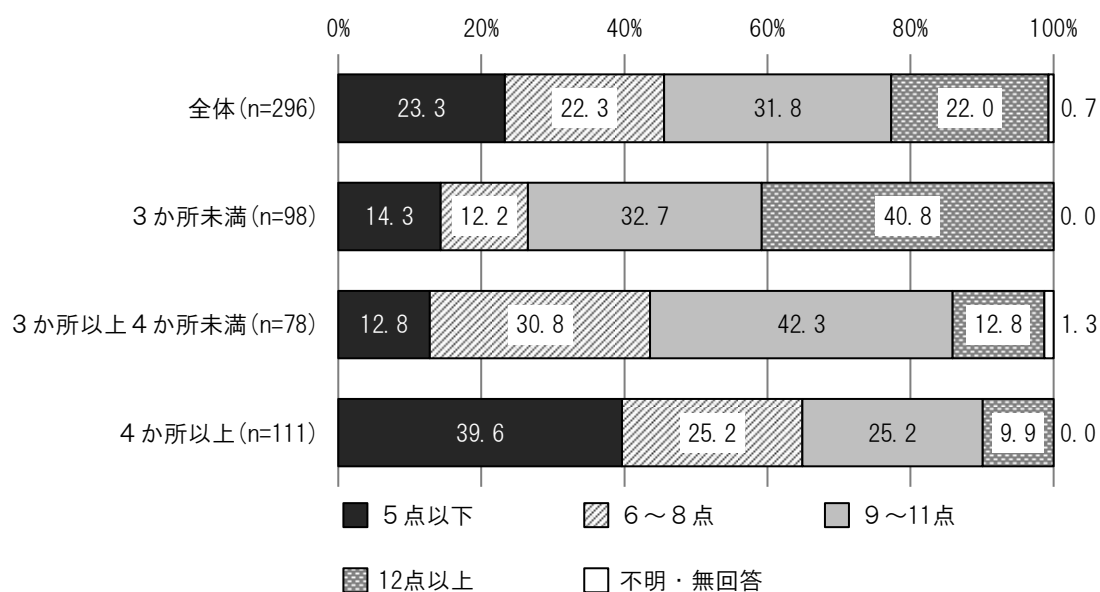
孤独を感じる度合いについて、自己肯定感別にみると、自己肯定感が低いほど孤独を感じる度合いが高く、自己肯定感<6点以下>では、孤独を感じる度合い「12点以上」が56.4%となっています。



孤独を感じる度合い × 居場所の多さ

(単数回答)

孤独を感じる度合いについて、居場所別にみると、概ね居場所が少ないほど孤独を感じる度合いが高く、居場所<3か所未満>では孤独を感じる度合い「12点以上」が40.8%となっています。



問 33 将来に向けて心配なこと、仕事や生活の悩みごと等を自由にお書きください。

心配なことや悩みごと等についての回答件数及び、主なご意見については次のとおりです。

分類	件数	主なご意見
子育て支援について	20	○将来、家庭をもったときに経済的にうまくやっていけるのか、子育てをうまくできるか、仕事と両立ができるかが不安。 ○不妊治療の経済的な負担が大きい。 ○ひとり親で遅くまで働いており、日中のこどものお世話は祖母に任せているが、祖母も夜は働いているため、こどもの生活リズムやメンタルが心配。また、自身の環境が他人に理解されない。
経済的な課題について	37	○物価の上昇などにより、将来に対する漠然とした不安がある。 ○物価高で節約していても、貯金ができない。年金も少なくなると思うので、将来心配なのはお金のこと。
職場環境について	16	○職場で同性を含めた同僚から無言の圧力があり、子育てとの両立が難しいように感じる。働き方の意識改革を進めてほしい。
精神的健康について	8	○うつ病で通院しているが、父親に理解が無く苦しい。また、病気を理由にどこの会社にも雇ってもらえないのではないかと不安。
結婚やライフプランについて	12	○将来的に結婚したいが、貯蓄をしても足りるのかが心配。また、家のローンや老後のことを思うと、結婚や出産、転職が難しいのではないかと感じてしまう。 ○30 歳代になるが、出会いが無く、結婚できるのか心配。
進路や就職について	20	○労働環境の悪い会社に入らないようにするためには何に気をつければよいのかが分からない。 ○どのような仕事が自分に向いているのか分からない。 ○地元で自分のしたい仕事がないかもしれないと感じる。 ○自分のキャリアやライフプランの考え方がわからない。
その他	27	○趣味がないので、趣味を見つけられるような場所がほしい。 ○フリーランスで働いているが、仕事で移動するときに、バスなどが無いので不便を感じる。

筑西市こども計画策定に向けた
調査結果報告書

発行 令和6年6月

編集 筑西市 こども部 こども課

〒308-8616 茨城県筑西市丙 360 番地

TEL 0296-24-2104

URL <https://www.city.chikusei.lg.jp/>